

## 9. 市の取組に対する評価・要望

### (1) 市の取組の評価

問45. 吹田市が進めているさまざまな取組などについて、あなたはどのように思いますか。  
以下の①～⑯の項目について、それぞれ1つずつ選んで番号に○印をつけてください。

※『肯定』:「そう思う」と「どちらかというと思う」の合計  
『否定』:「どちらかというと思わない」と「そう思わない」の合計  
『評価点』:「そう思う」=100点、「どちらかというと思う」=75点、  
「どちらとも言えない」=50点、「どちらかというと思わない」=25点、  
「そう思わない」=0点として算出

(評価点については、p. 27 参照)

N=1,193

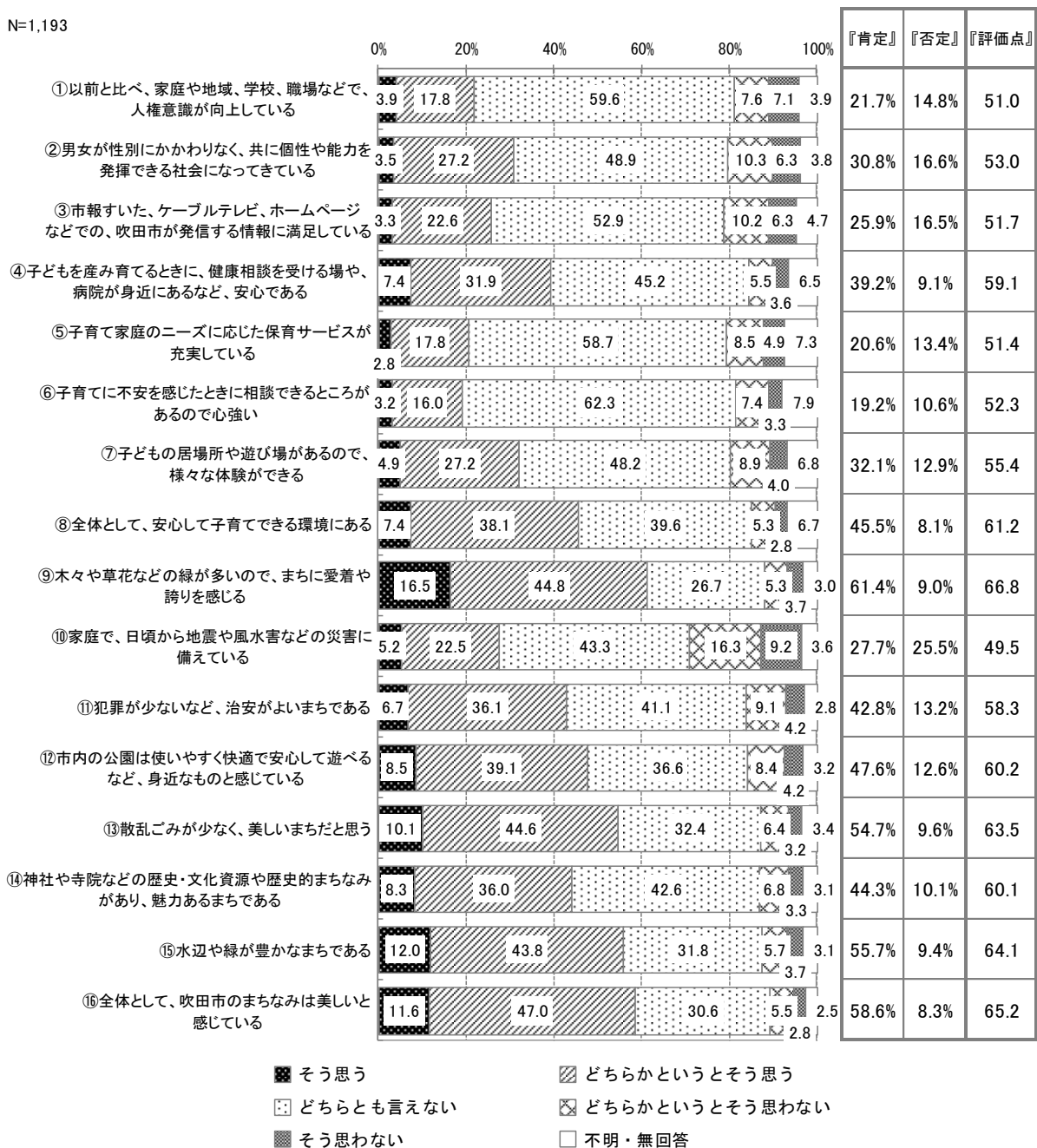
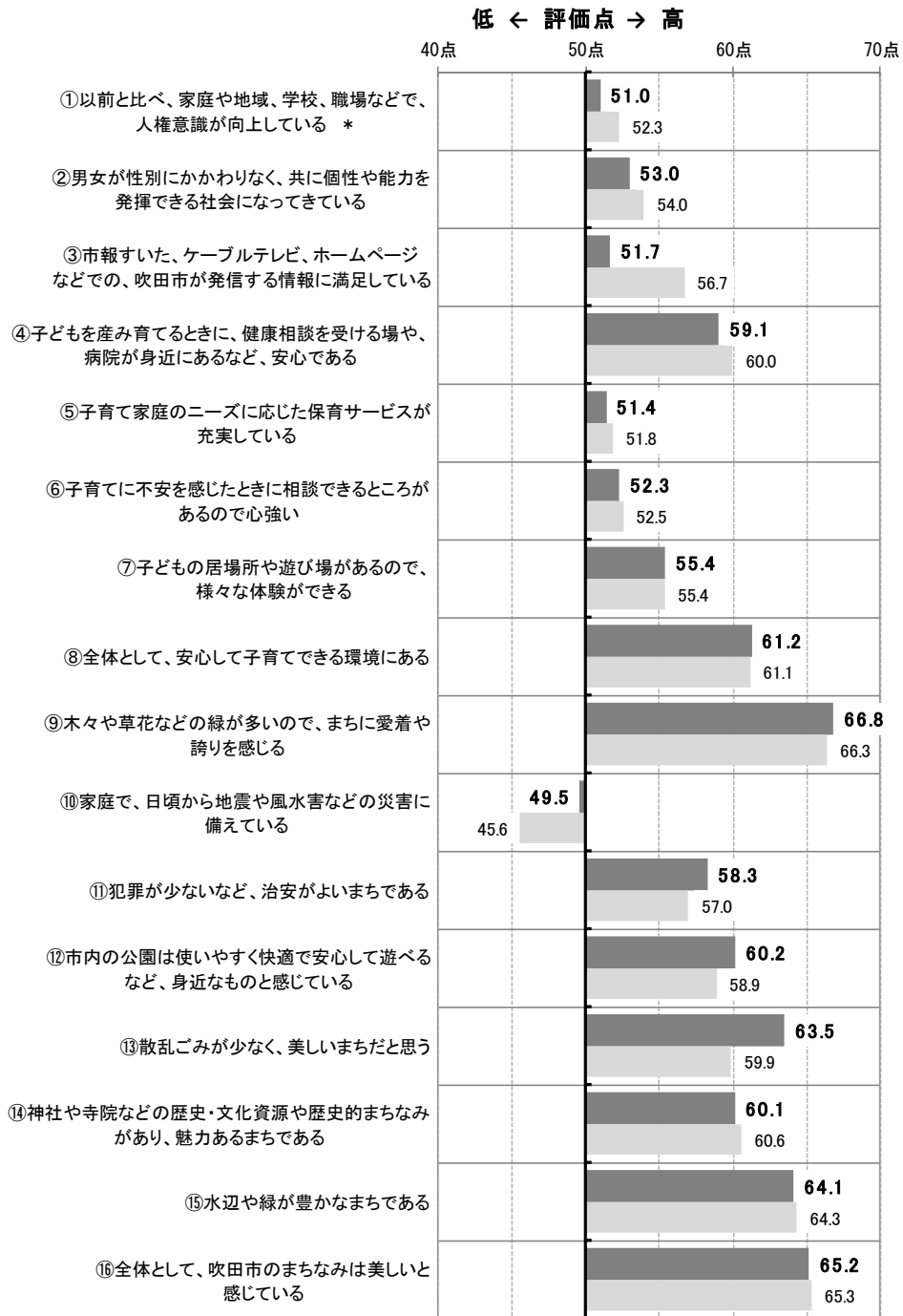


図 3.9.1 吹田市の取組に対する評価



\* 調査票では、「①以前(5年くらい前)と比べ、家庭や地域、学校、職場などで、女性、子ども、高齢者、同和問題、外国人などの人権問題について、一人ひとりの価値観や考え方が尊重されるなど、人権意識が向上している」

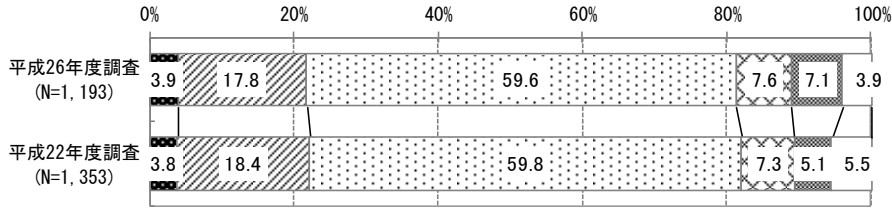
■ 平成26年度調査 (N=1,193)

■ 平成22年度調査 (N=1,353)

図 3.9.2 吹田市の取組に対する評価 (評価点経年比較)

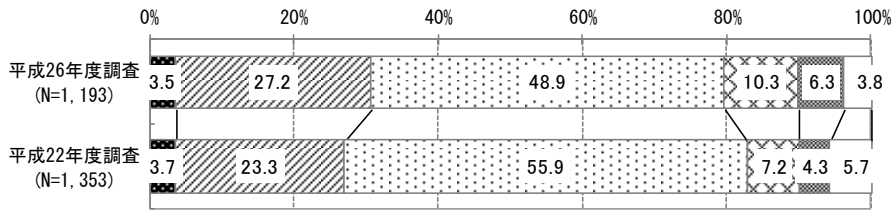
- 吹田市の取組に対する評価（図3.9.1）は、全項目で『肯定』の方が『否定』に比べて割合が高い。特に『肯定』の割合が高い項目は、《⑨木々や草花などの緑が多いので、まことに愛着や誇りを感じる》（61.4%）、《⑯全体として、吹田市のまちなみは美しいと感じている》（58.6%）、《⑮水辺や緑が豊かなまちである》（55.7%）、《⑬散乱ごみが少なく、美しいまちだと思う》（54.7%）となっている。
- 評価点は、《⑩家庭で、日頃から地震や風水害などの災害に備えている》（49.5点）以外の取組では50点以上の評価となっている。特に、《⑨木々や草花などの緑が多いので、まことに愛着や誇りを感じる》（66.8点）、《⑯全体として、吹田市のまちなみは美しいと感じている》（65.2点）では65点以上と高くなっている。
- 平成22年度と比較（図3.9.2～図3.9.6）すると、評価点が平成22年度よりも高くなっているのは《⑩家庭で、日頃から地震や風水害などの災害に備えている》（3.9点増）、《⑬散乱ごみが少なく、美しいまちだと思う》（3.6点増）などとなっている。一方、評価点が低くなっているのは《③市報すいた、ケーブルテレビ、ホームページなどでの、吹田市が発信する情報に満足している》（5.0点減）などとなっている。
- 性別に評価点（図3.9.7～図3.9.14）をみると、男女ともに《⑨吹田市は、木々や草花などの緑が多いので、まことに愛着や誇りを感じる》が最も高くなっているが、男性（63.7点）よりも女性（69.2点）の方が5.5点高くなっている。また、《⑮吹田市は、水辺や緑が豊かなまちである》、《⑭吹田市は、神社や寺院などの歴史・文化資源や歴史的まちなみがあり、魅力あるまちである》などでも女性の方が評価点が高くなっている。
- 年齢別に評価点をみると、年代による差が最も大きいのは《①以前と比べ、家庭や地域、学校、職場などで、人権意識が向上している》で、70歳以上では56.1点となっているが、30歳代（44.0点）、40歳代（47.2点）では50点未満となっている。次いで差が大きいのは《②男女が性別にかかわらず、共に個性や能力を發揮できる社会になってきている》で、70歳以上（57.6点）と30歳未満（57.4点）では55点以上となっているが、30歳代（46.4点）では50点未満となっている。また、《⑩家庭で、日頃から地震や風水害などの災害に備えている》は、概ね加齢とともに高くなり、60歳代以上で50点以上となっている。
- 居住地域別に評価点をみると、片山・岸部地域、J R以南地域では《⑭吹田市は、神社や寺院などの歴史・文化資源や歴史的まちなみがあり、魅力あるまちである》、それ以外の地域では《⑨吹田市は、木々や草花などの緑が多いので、まことに愛着や誇りを感じる》が最も高くなっている。また、地域による差が最も大きいのは《⑨吹田市は、木々や草花などの緑が多いので、まことに愛着や誇りを感じる》で、千里ニュータウン・万博・阪大地域では76.7点となっているが、J R以南地域では54.0点となっている。次いで差が大きいのは《⑮吹田市は、水辺や緑が豊かなまちである》で、千里ニュータウン・万博・阪大地域では71.1点となっているが、J R以南地域では54.5点となっている。

①以前(5年くらい前)と比べ、家庭や地域、学校、職場などで、女性、子ども、高齢者、同和問題、外国人などの人権問題について、一人ひとりの価値観や考え方が尊重されるなど、人権意識が向上している



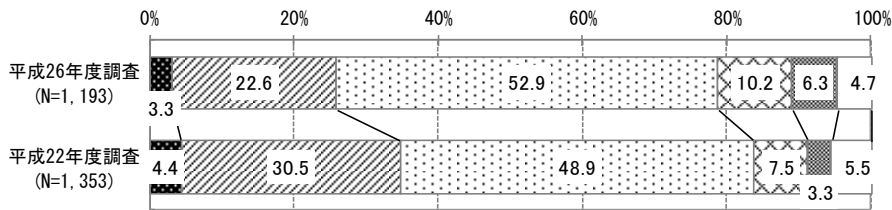
『肯定』	『否定』	『評価点』
21.7%	14.8%	51.0
22.2%	12.4%	52.3

②男女が性別にかかわらず、共に個性や能力を発揮できる社会になってきている



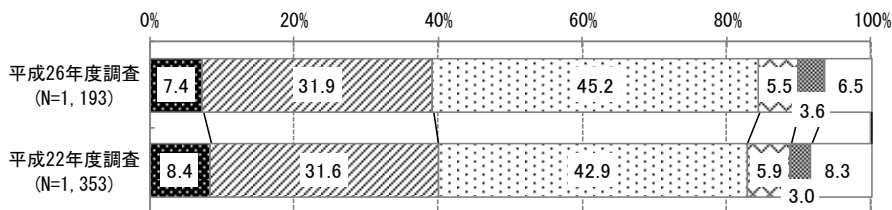
『肯定』	『否定』	『評価点』
30.8%	16.6%	53.0
27.0%	11.5%	54.0

③市報すいた、ケーブルテレビ、ホームページなどでの、吹田市が発信する情報に満足している



『肯定』	『否定』	『評価点』
25.9%	16.5%	51.7
34.9%	10.8%	56.7

④吹田市は、子どもを産み育てるときに、健康相談を受ける場や、病院が身近にあるなど、安心である

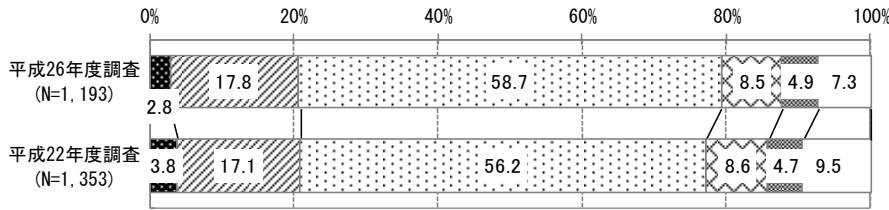


『肯定』	『否定』	『評価点』
39.2%	9.1%	59.1
40.0%	8.9%	60.0

- そう思う
- ▨ どちらかというと思う
- ▤ どちらとも言えない
- ▩ どちらかというと思わない
- そう思わない
- 不明・無回答

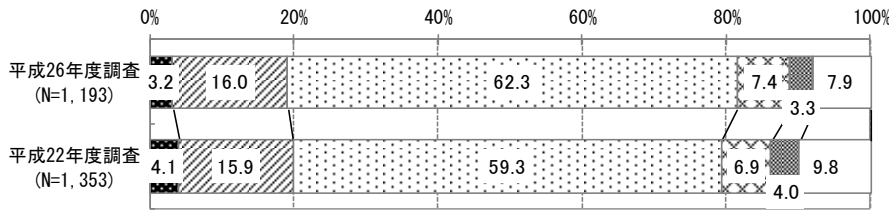
図 3.9.3 吹田市の取組に対する評価(経年比較)①

⑤吹田市は、子育て家庭のニーズに応じた保育サービスが充実している



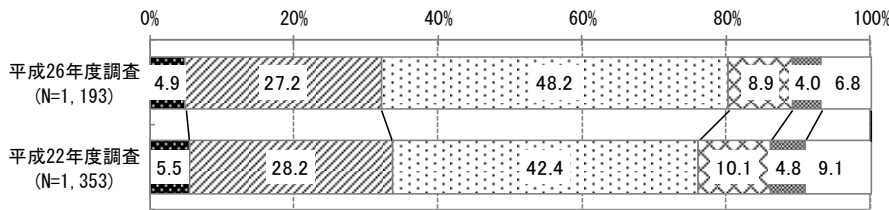
『肯定』	『否定』	『評価点』
20.6%	13.4%	51.4
20.9%	13.4%	51.8

⑥吹田市は、子育てに不安を感じたときに相談できる場所があるので心強い



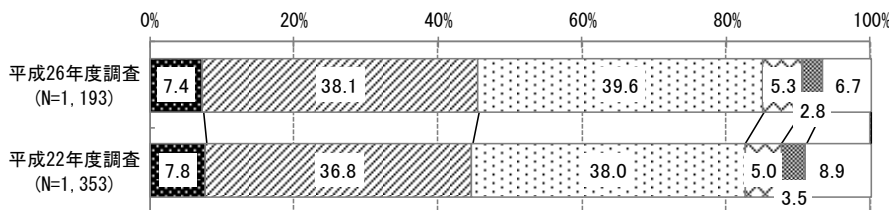
『肯定』	『否定』	『評価点』
19.2%	10.6%	52.3
20.0%	10.9%	52.5

⑦吹田市は、子どもの居場所や遊び場があるので、様々な体験ができる



『肯定』	『否定』	『評価点』
32.1%	12.9%	55.4
33.7%	14.9%	55.4

⑧吹田市は、全体として、安心して子育てできる環境にある

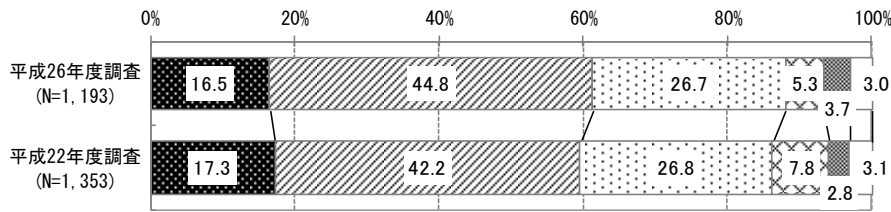


『肯定』	『否定』	『評価点』
45.5%	8.1%	61.2
44.6%	8.4%	61.1

- そう思う
- ▨ どちらかというと思う
- ▤ どちらとも言えない
- ▧ どちらかというと思わない
- そう思わない
- 不明・無回答

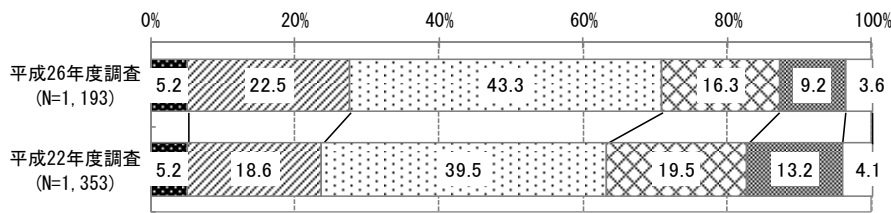
図 3.9.4 吹田市の取組に対する評価（経年比較）②

⑨吹田市は、木々や草花などの緑が多いので、まちに愛着や誇りを感じる



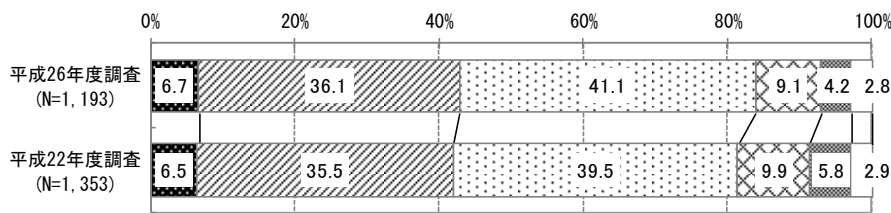
『肯定』	『否定』	『評価点』
61.4%	9.0%	66.8
59.5%	10.6%	66.3

⑩家庭で、非常持出品の備蓄や非常食の備蓄、避難路や連絡方法の確認など、日頃から地震や風水害などの災害に備えている



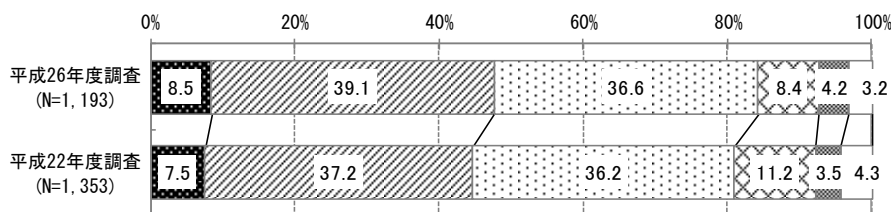
『肯定』	『否定』	『評価点』
27.7%	25.5%	49.5
23.7%	32.7%	45.6

⑪吹田市は、犯罪が少ないなど、治安がよいまちである



『肯定』	『否定』	『評価点』
42.8%	13.2%	58.3
42.0%	15.7%	57.0

⑫吹田市内の公園は使いやすく快適で安心して遊べるなど、身近なものと感じている

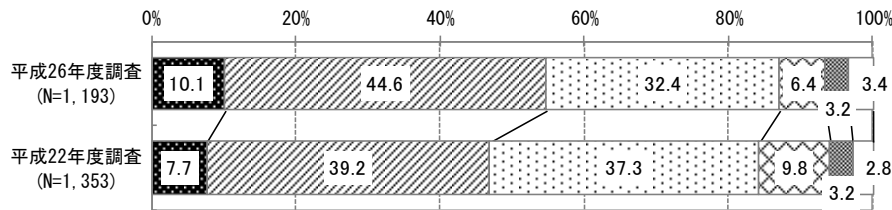


『肯定』	『否定』	『評価点』
47.6%	12.6%	60.2
44.7%	14.8%	58.9

- そう思う
- ▨ どちらかというと思う
- ▤ どちらとも言えない
- ▩ どちらかというと思わない
- そう思わない
- 不明・無回答

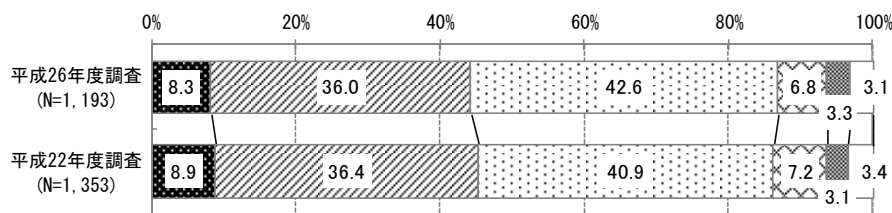
図 3.9.5 吹田市の取組に対する評価（経年比較）③

⑬吹田市は、散乱ごみが少なく、美しいまちだと思う



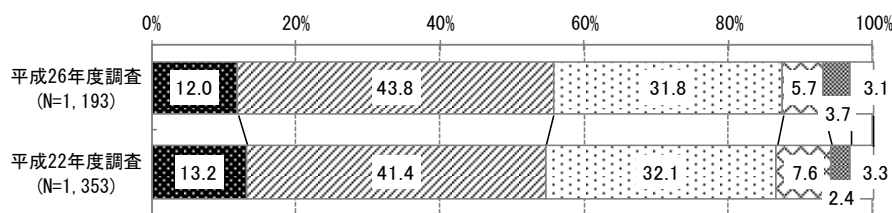
『肯定』	『否定』	『評価点』
54.7%	9.6%	63.5
46.9%	13.0%	59.9

⑭吹田市は、神社や寺院などの歴史・文化資源や歴史的まちなみがあり、魅力あるまちである



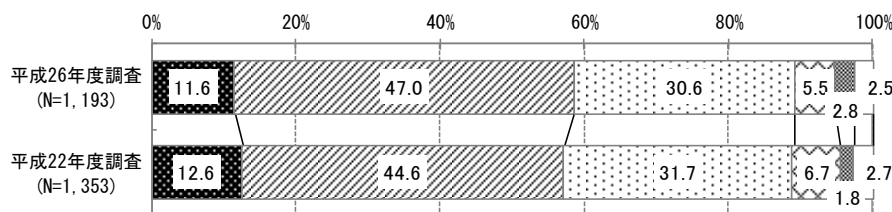
『肯定』	『否定』	『評価点』
44.3%	10.1%	60.1
45.3%	10.3%	60.6

⑮吹田市は、水辺や緑が豊かなまちである



『肯定』	『否定』	『評価点』
55.7%	9.4%	64.1
54.6%	10.1%	64.3

⑯全体として、吹田市のまちなみは美しいと感じている

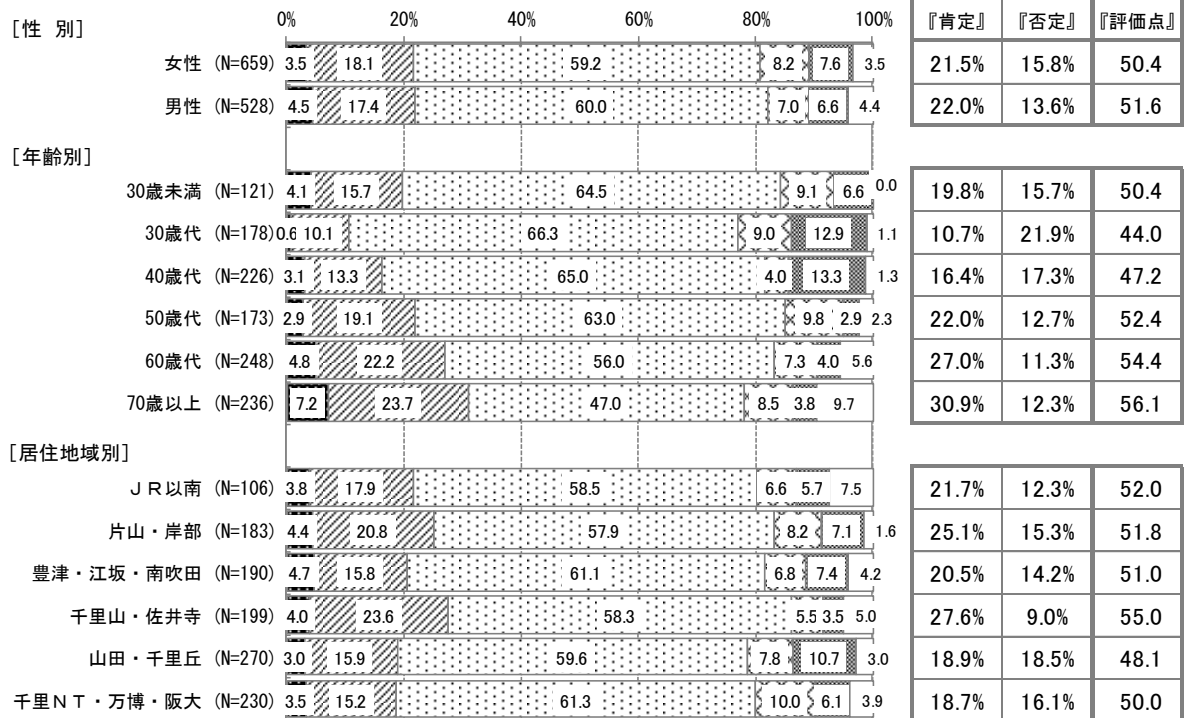


『肯定』	『否定』	『評価点』
58.6%	8.3%	65.2
57.1%	8.4%	65.3

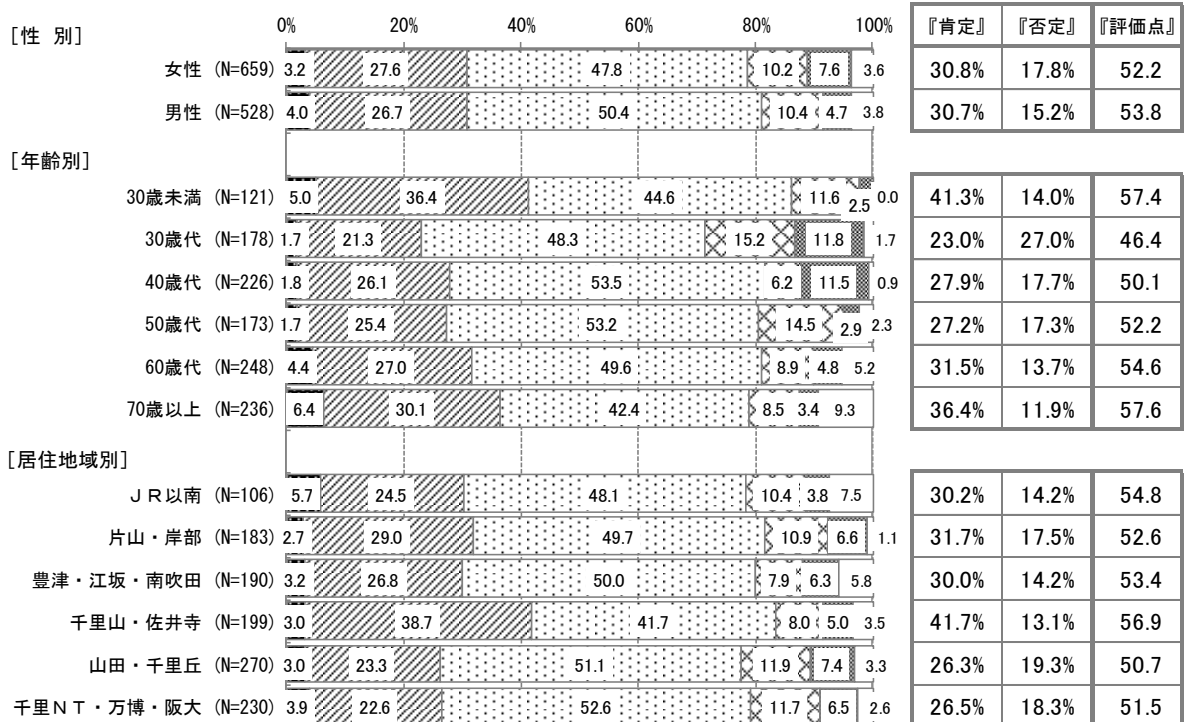
- そう思う
- ▨ どちらかというと思う
- ▤ どちらとも言えない
- ▧ どちらかというと思わない
- そう思わない
- 不明・無回答

図 3.9.6 吹田市の取組に対する評価（経年比較）④

①以前と比べ、家庭や地域、学校、職場などで、人権意識が向上している



②男女が性別にかかわらず、共に個性や能力を発揮できる社会になってきている

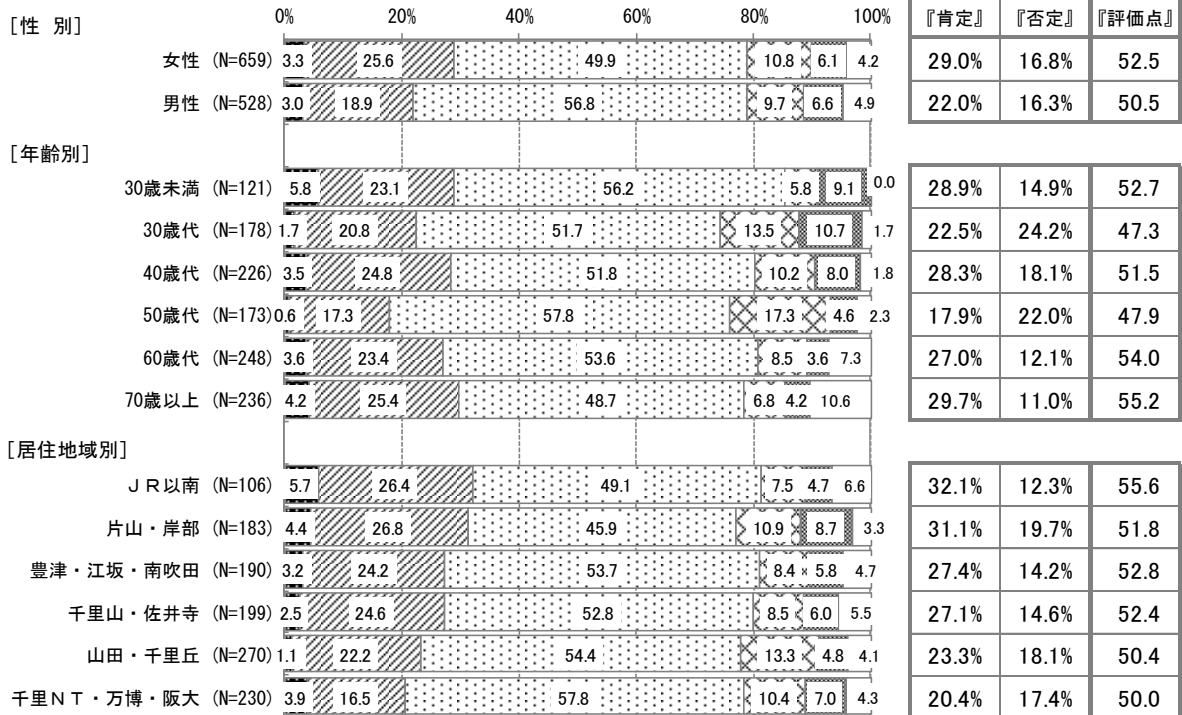


そう思う  
 どちらかというと思う  
 どちらとも言えない  
 どちらかというと思わない  
 そう思わない  
 不明・無回答

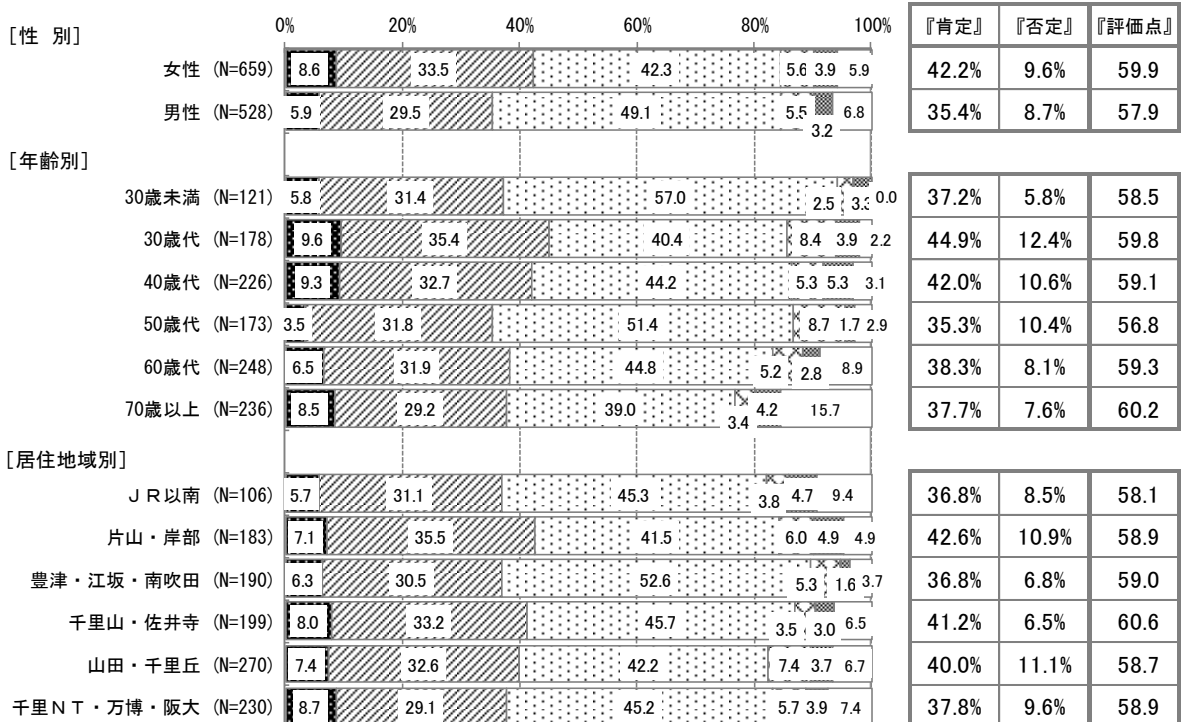
図 3.9.7 性別・年齢別・居住地域別 市の取組に対する評価①



③市報すいた、ケーブルテレビ、ホームページなどでの、吹田市が発信する情報に満足している



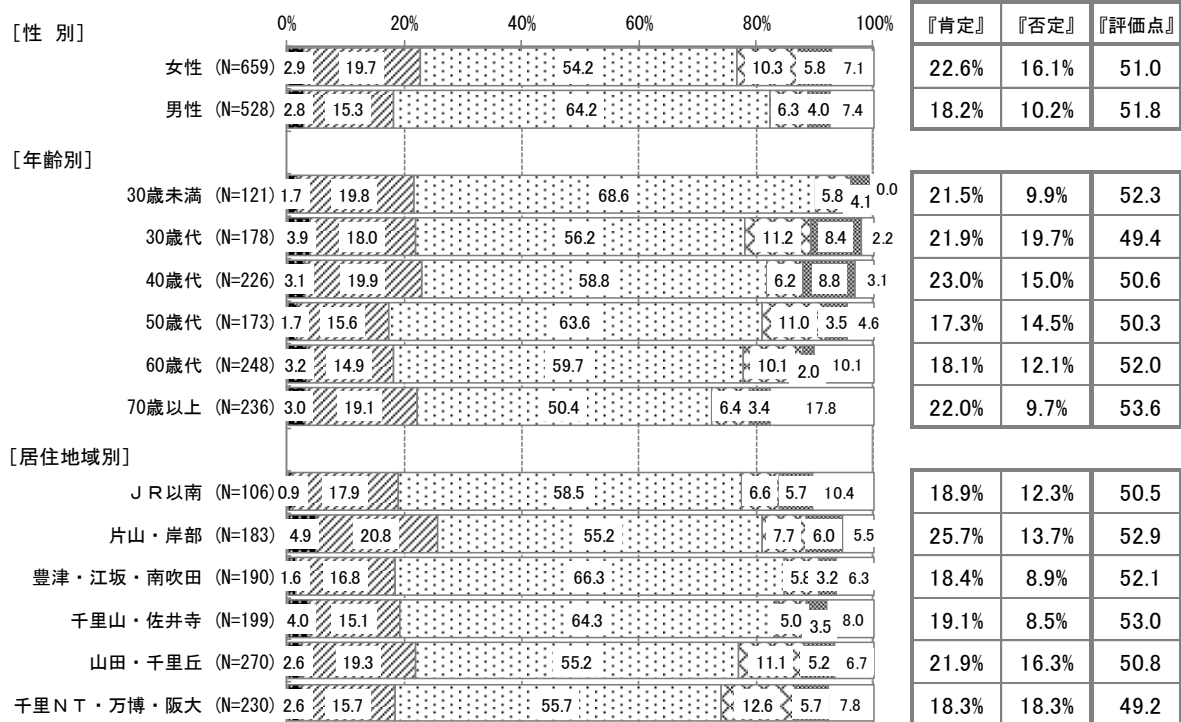
④吹田市は、子どもを産み育てるときに、健康相談を受ける場や、病院が身近にあるなど、安心である



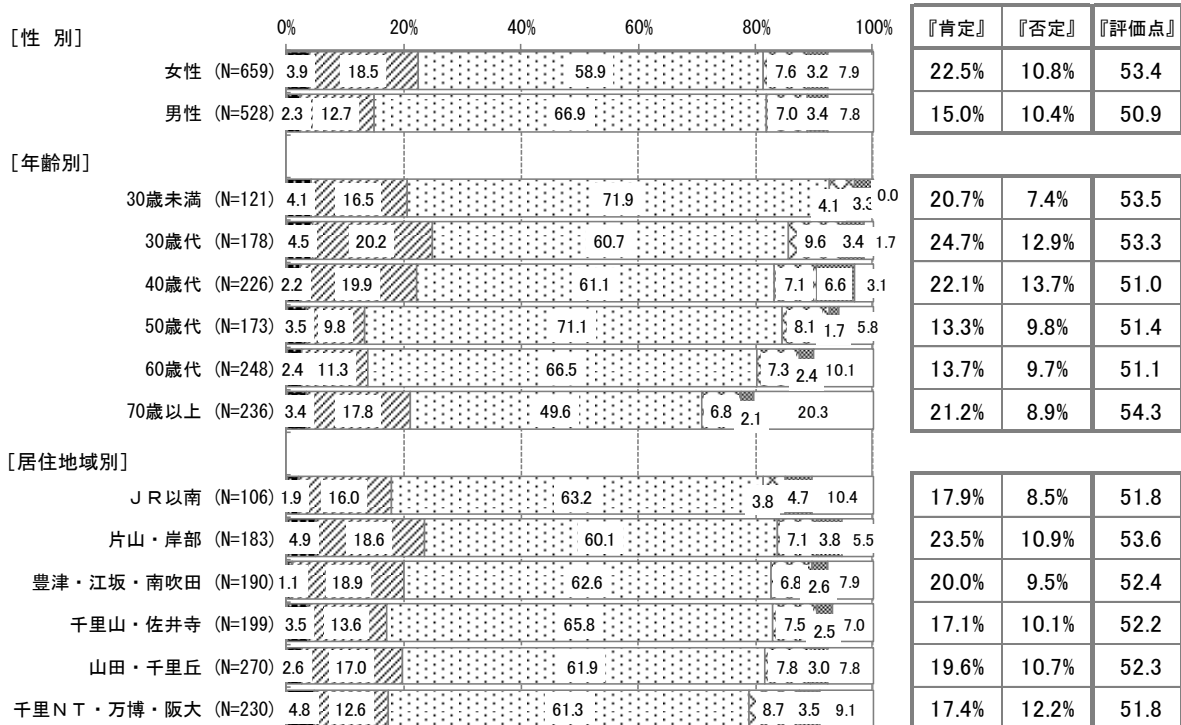
そう思う  
 どちらかというと思う  
 どちらとも言えない  
 どちらかというと思わない  
 そう思わない  
 不明・無回答

図 3.9.8 性別・年齢別・居住地域別 市の取組に対する評価②

⑤吹田市は、子育て家庭のニーズに応じた保育サービスが充実している



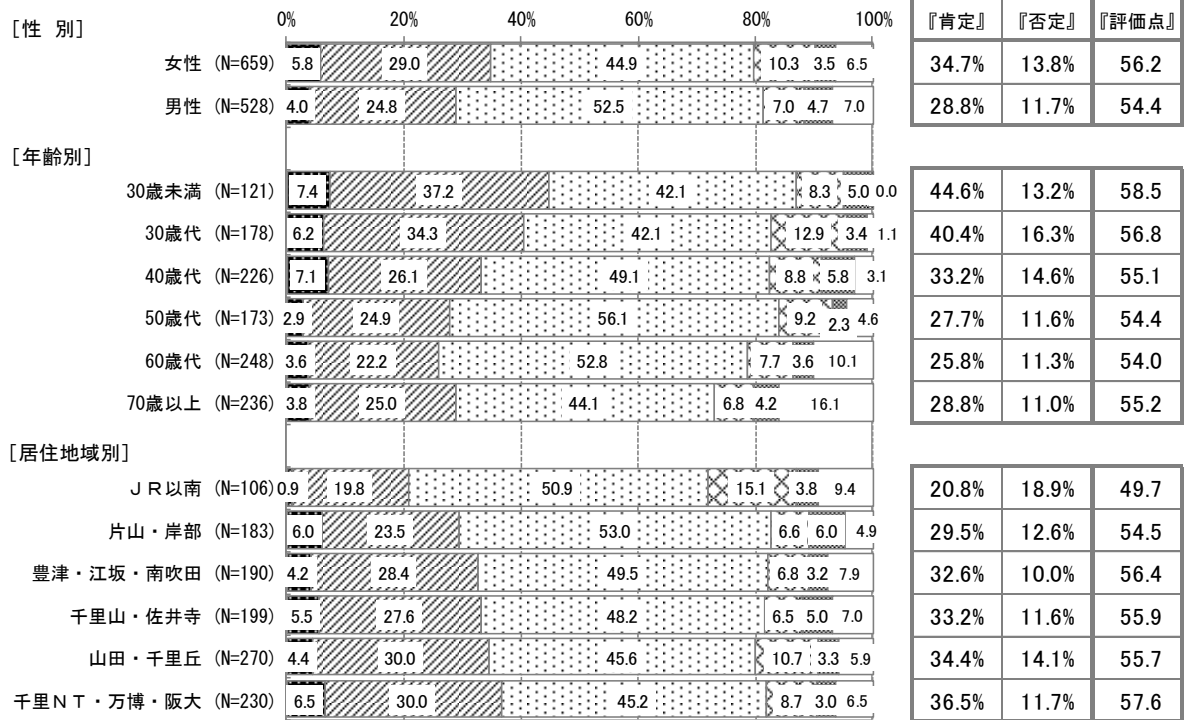
⑥吹田市は、子育てに不安を感じたときに相談できるところがあるので心強い



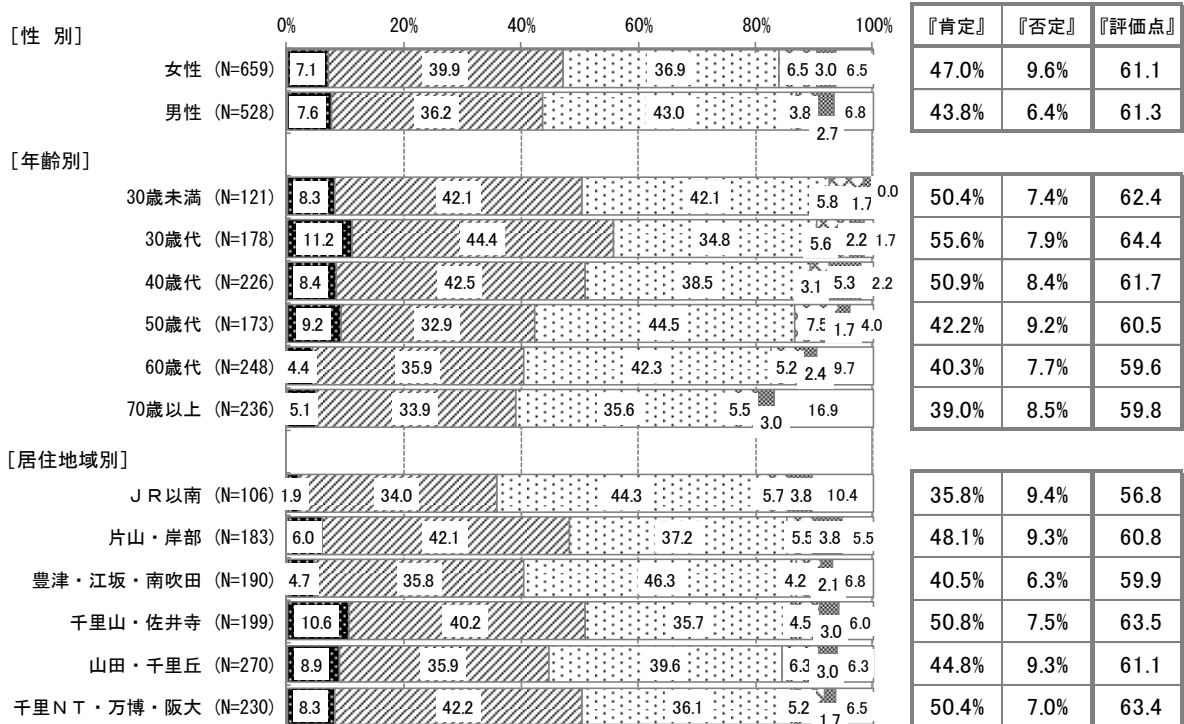
そう思う
  どちらかというと思う
   
 どちらとも言えない
  どちらかというと思わない
   
 そう思わない
  不明・無回答

図 3.9.9 性別・年齢別・居住地域別 市の取組に対する評価③

⑦吹田市は、子どもの居場所や遊び場があるので、様々な体験ができる



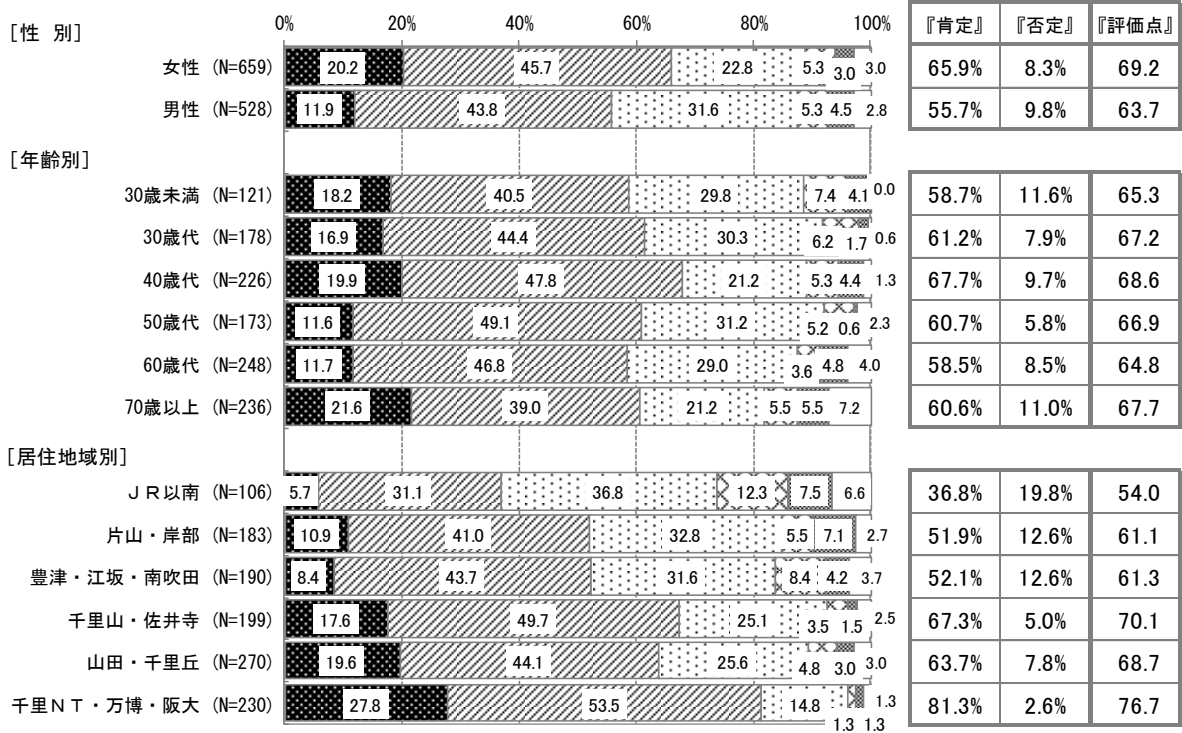
⑧吹田市は、全体として、安心して子育てできる環境にある



- そう思う
- ▨ どちらかというと思う
- どちらとも言えない
- ▩ どちらかというと思わない
- そう思わない
- 不明・無回答

図 3.9.10 性別・年齢別・居住地域別 市の取組に対する評価④

⑨吹田市は、木々や草花などの緑が多いので、まちに愛着や誇りを感じる



⑩家庭で、日頃から地震や風水害などの災害に備えている

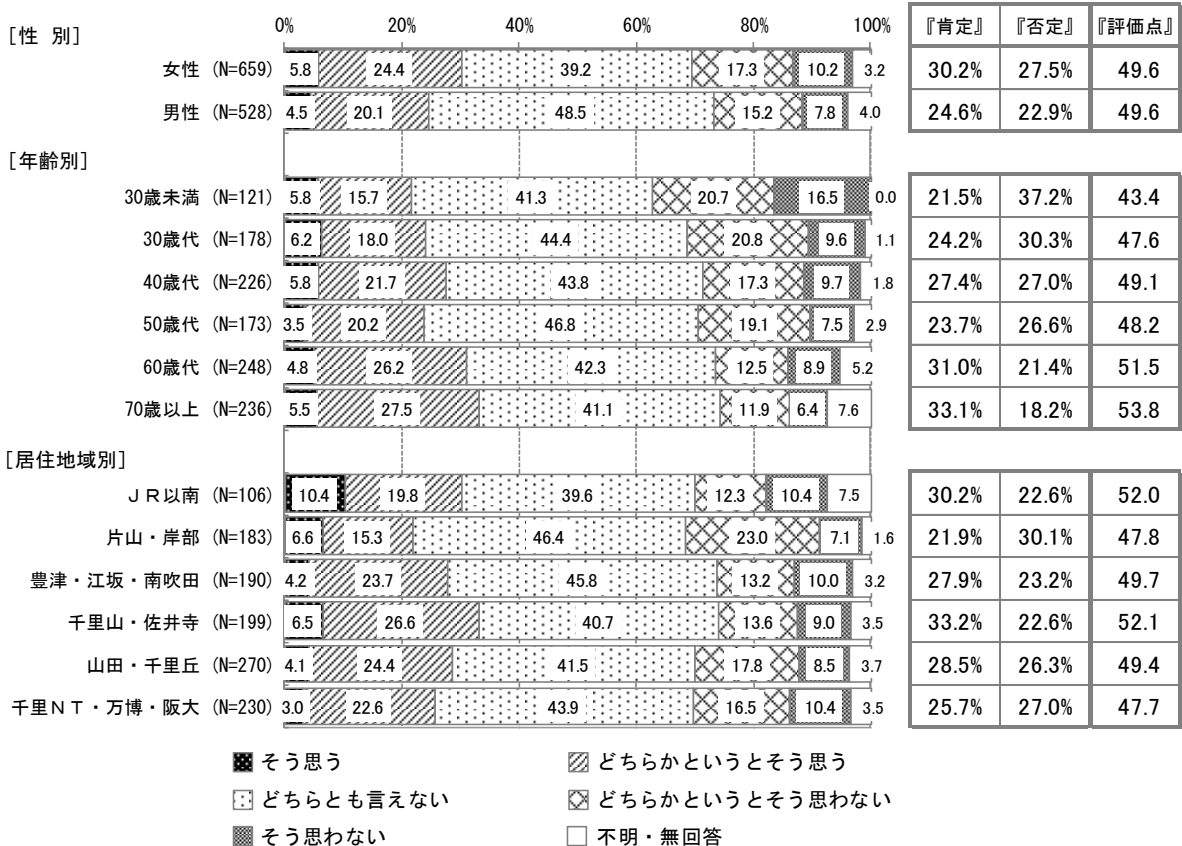
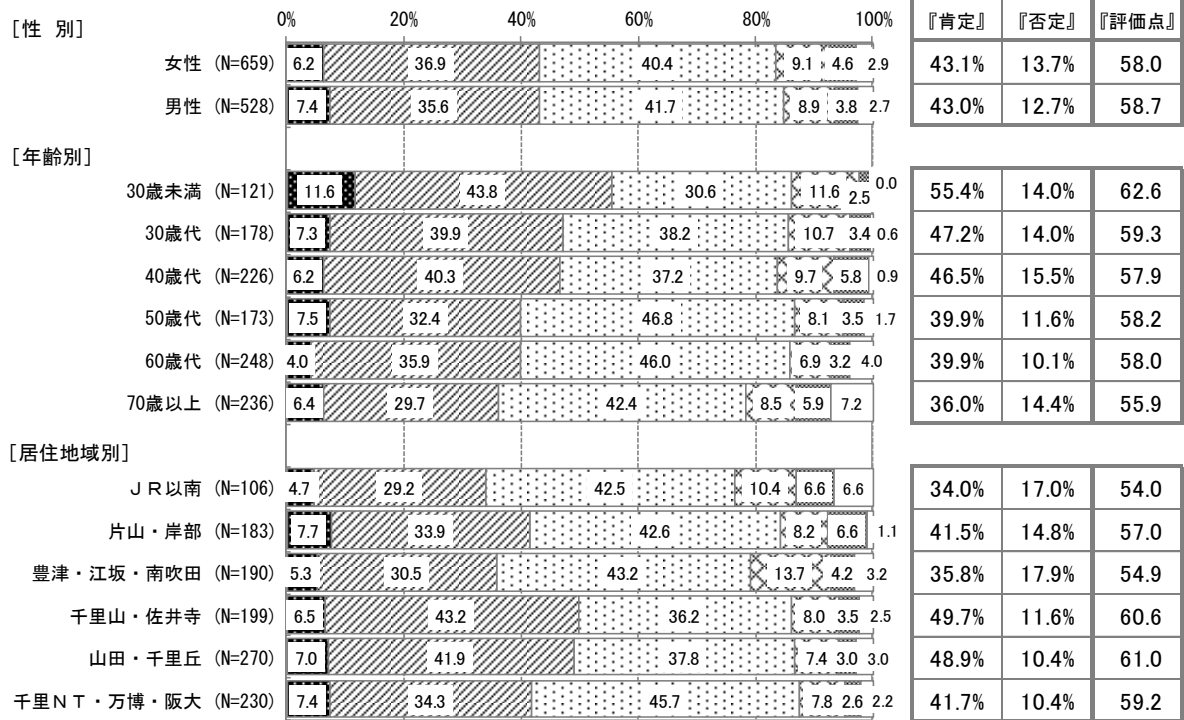
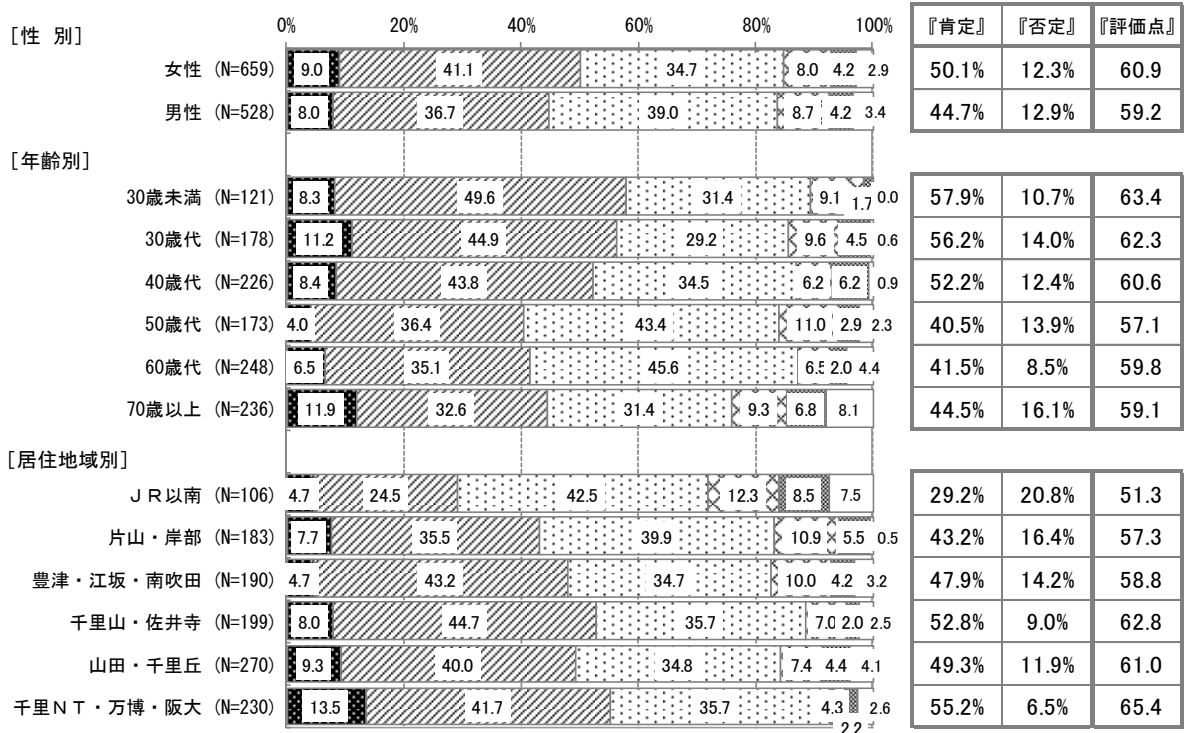


図 3.9.11 性別・年齢別・居住地域別 市の取組に対する評価⑤

⑪吹田市は、犯罪が少ないなど、治安がよいまちである



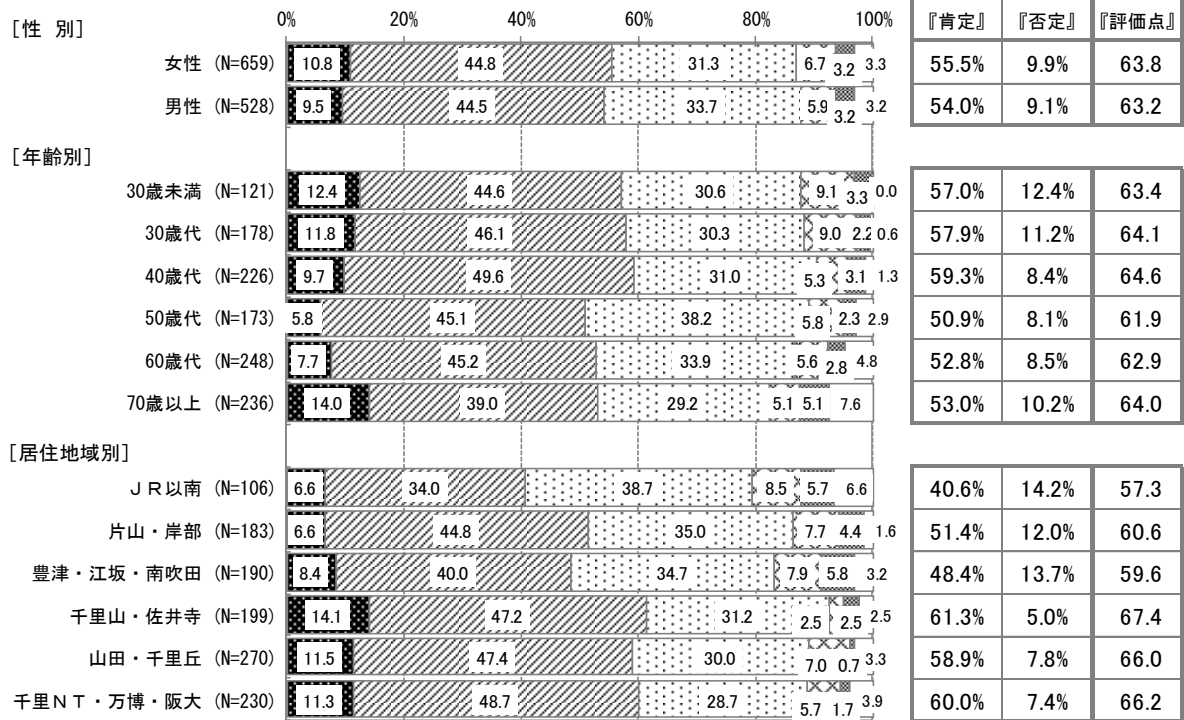
⑫吹田市内の公園は使いやすく快適で安心して遊べるなど、身近なものと感じている



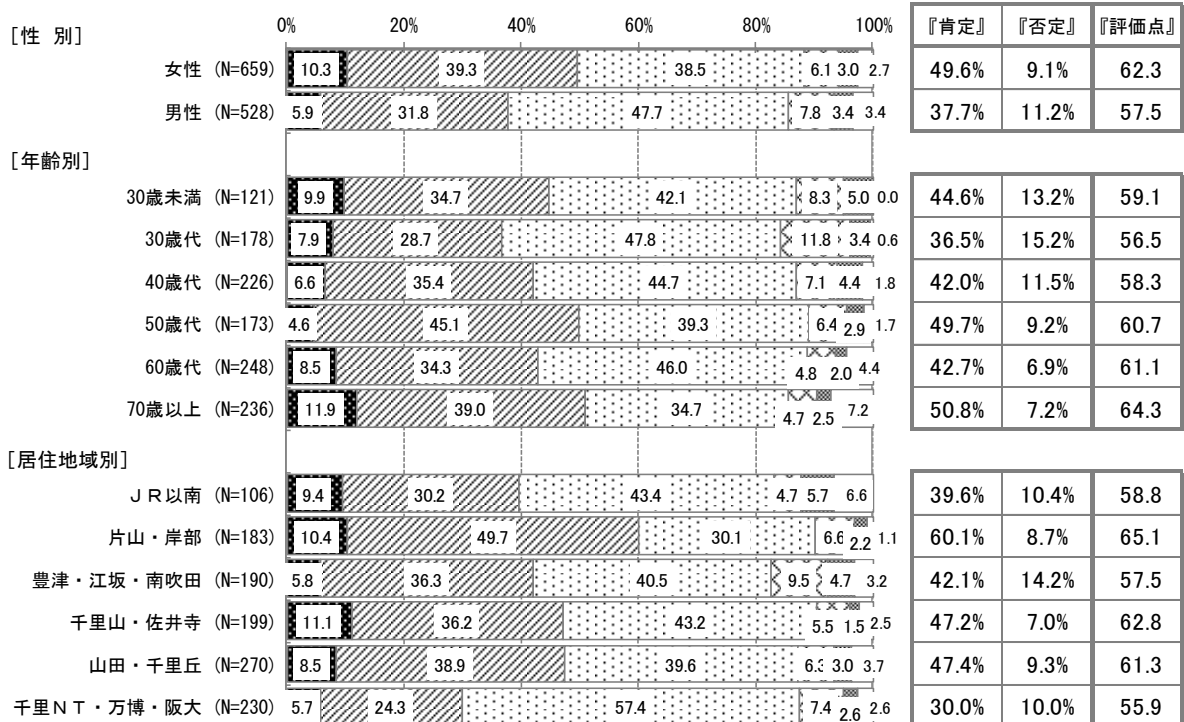
そう思う                       どちらかというと思う  
 どちらとも言えない                       どちらかというと思わない  
 そう思わない                       不明・無回答

図 3.9.12 性別・年齢別・居住地域別 市の取組に対する評価⑥

⑬吹田市は、散乱ごみが少なく、美しいまちだと思う



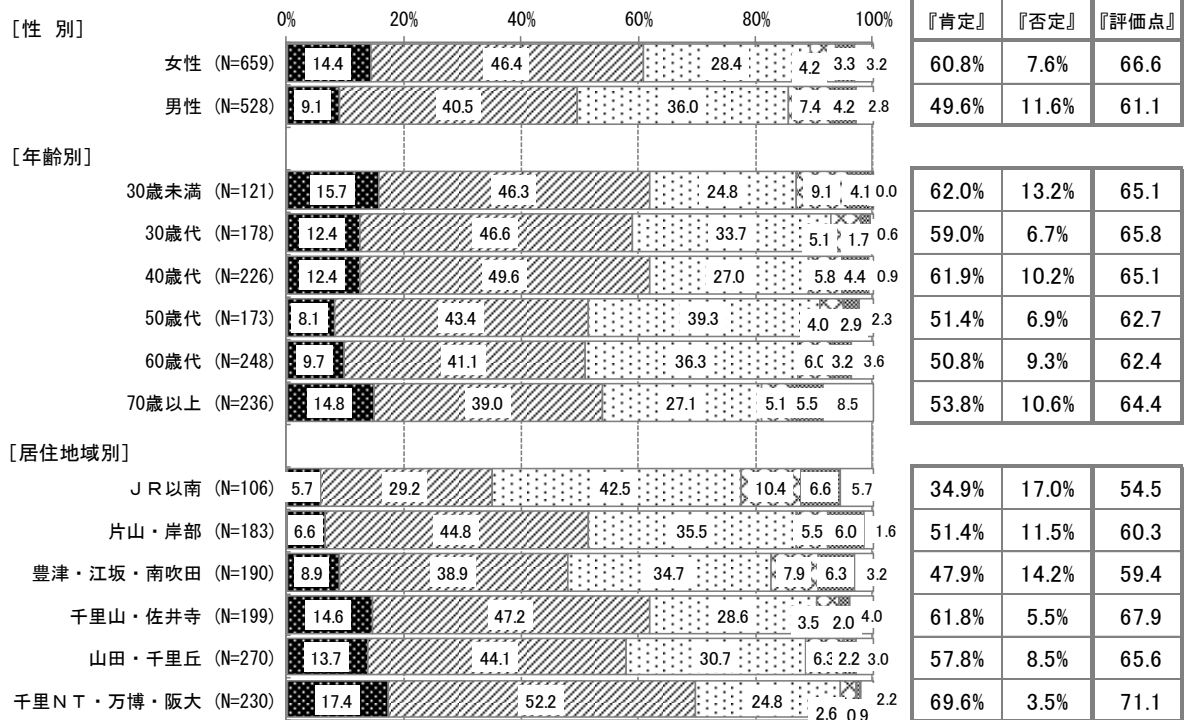
⑭吹田市は、神社や寺院などの歴史・文化資源や歴史的まちなみがあり、魅力あるまちである



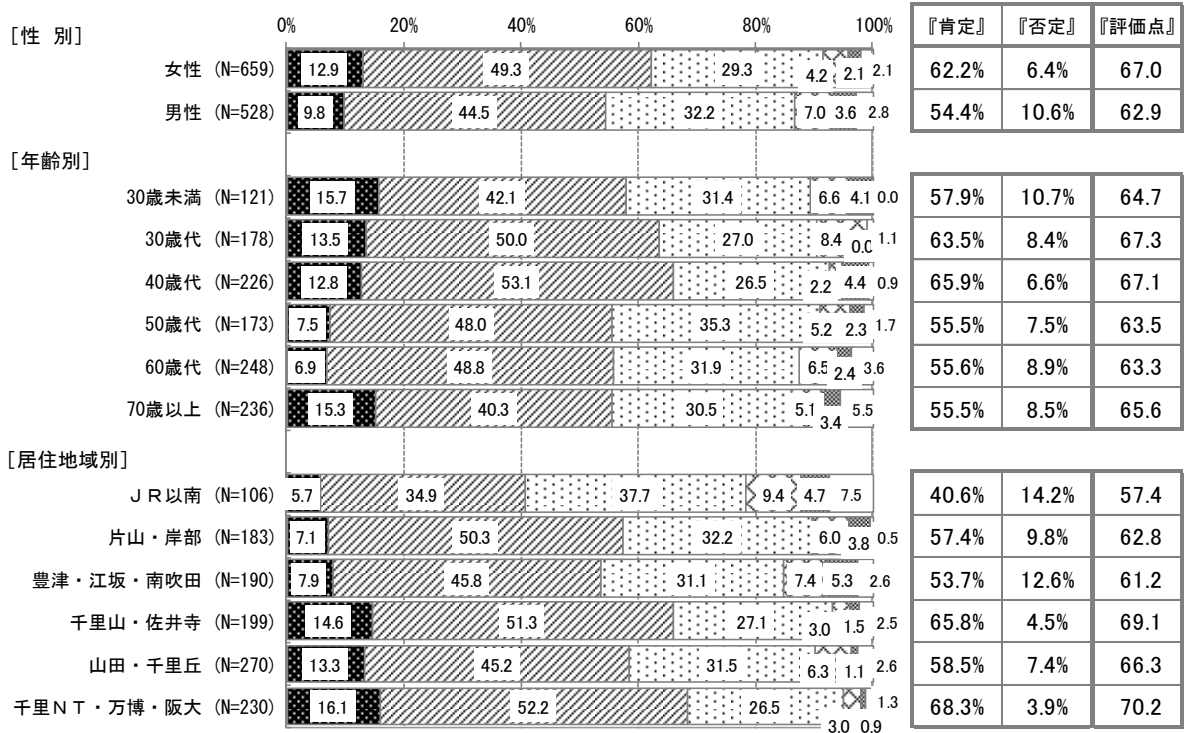
- そう思う
- ▨ どちらかというと思う
- どちらとも言えない
- ▩ どちらかというと思わない
- そう思わない
- 不明・無回答

図 3.9.13 性別・年齢別・居住地域別 市の取組に対する評価⑦

⑮吹田市は、水辺や緑が豊かなまちである



⑯全体として、吹田市のまちなみは美しいと感じている



- そう思う
- ▨ どちらかというと思う
- ▤ どちらとも言えない
- ▧ どちらかというと思わない
- そう思わない
- 不明・無回答

図 3.9.14 性別・年齢別・居住地域別 市の取組に対する評価⑧

## (2) 市政の満足度・重要度

問46. あなたは、吹田市における1～48の項目について、どの程度満足していますか。また、今後の市政を進めるにあたってどの程度重要だと思いますか。あなたの考え方に一番近いものを、「満足度」と「重要度」からそれぞれ1つずつ選んで番号に○印をつけてください。

※『満足』:「満足している」と「どちらかといえば満足している」の合計  
 『不満』:「どちらかといえば不満である」と「不満である」の合計  
 『満足度評価点』:「満足している」=100点、「どちらかといえば満足している」=75点、「普通」=50点、「どちらかといえば不満である」=25点、「不満である」=0点として算出

※『重要である』:「重要である」と「どちらかといえば重要である」の合計  
 『重要ではない』:「どちらかといえば重要ではない」と「重要ではない」の合計  
 『重要度評価点』:「重要である」=100点、「どちらかといえば重要である」=75点、「今の程度で良い」=50点、「どちらかといえば重要ではない」=25点、「重要ではない」=0点として算出

(評価点については、p. 27 参照)

### (2)-1 人権・平和・男女共同参画についての満足度・重要度

N=1,193

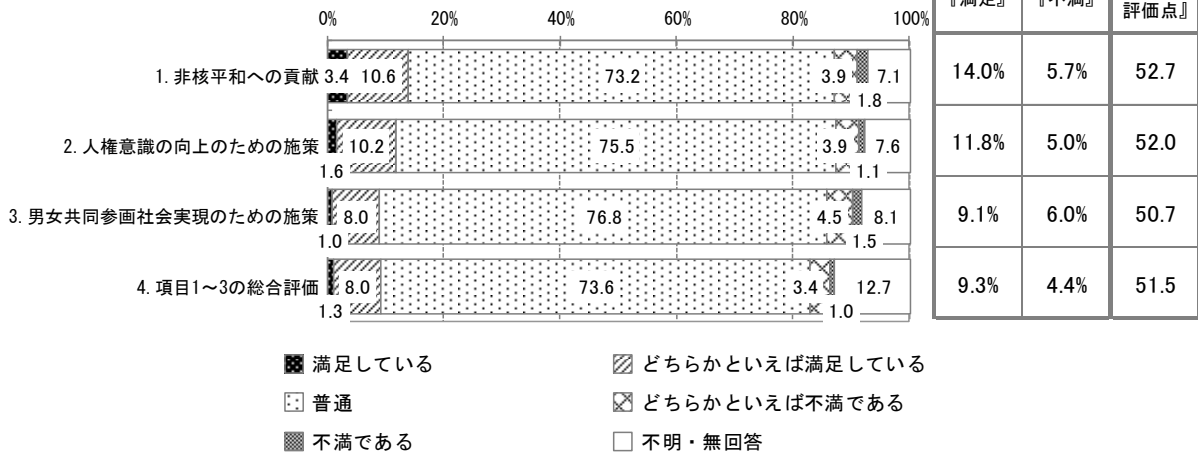


図 3.9.15 人権・平和・男女共同参画についての満足度

N=1,193

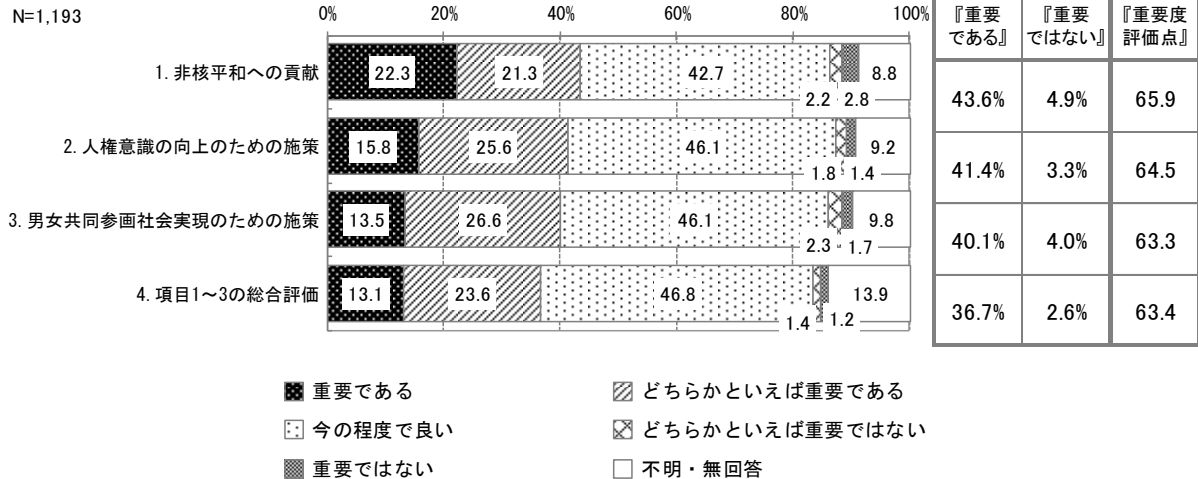


図 3.9.16 人権・平和・男女共同参画についての重要度



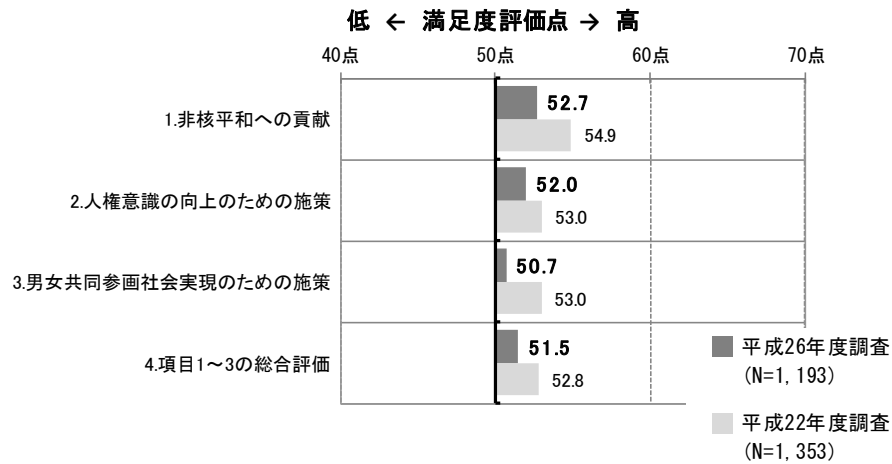


図 3.9.17 人権・平和・男女共同参画についての満足度評価点の経年比較

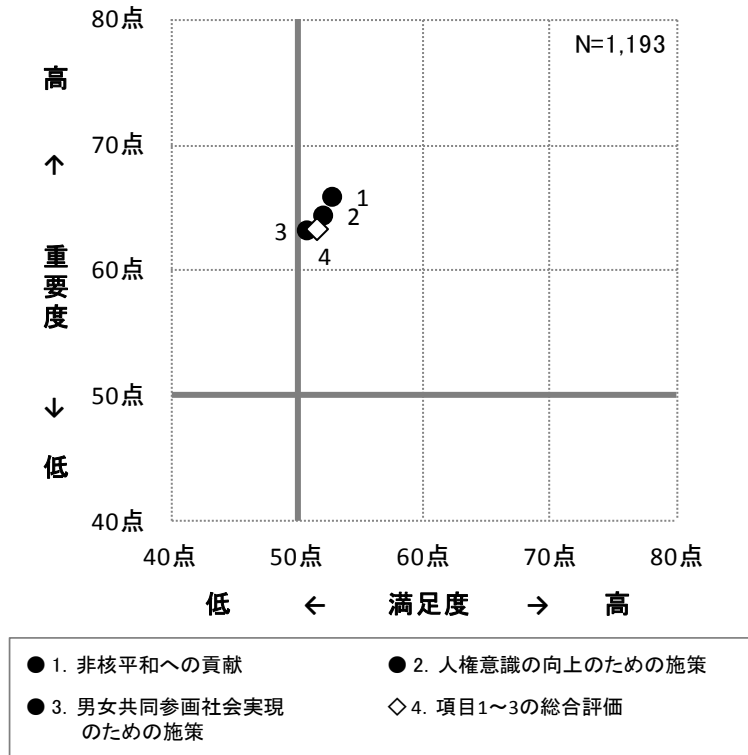


図 3.9.18 人権・平和・男女共同参画についての満足度と重要度の関係

## ■満足度

- 人権・平和・男女共同参画についての満足度（図3.9.15）は、全項目で「普通」が7割台を占めている。また、全項目で『満足』の方が『不満』に比べ割合が高くなっている。
- 満足度の評価点は、《1. 非核平和への貢献》（52.7点）が最も高いが、いずれも50点以上となっている。
- 平成22年度と比較（図3.9.17）すると、全ての項目で平成22年度よりも低くなっている。
- 性別に評価点（図3.9.19～図3.9.22）をみると、《3. 男女共同参画社会実現のための施策》は、やや女性（50.4点）より男性（51.0点）の方が高くなっている。
- 年齢別に評価点をみると、《1. 非核平和への貢献》、《2. 人権意識の向上のための施策》は60歳代、それ以外の項目は30歳未満が最も高くなっている。
- 居住地域別に評価点をみると、《1. 非核平和への貢献》、《3. 男女共同参画社会実現のための施策》は片山・岸部地域、それ以外の項目は豊津・江坂・南吹田地域が最も高くなっている。一方、全項目で千里ニュータウン・万博・阪大地域の評価点が最も低くなっている。

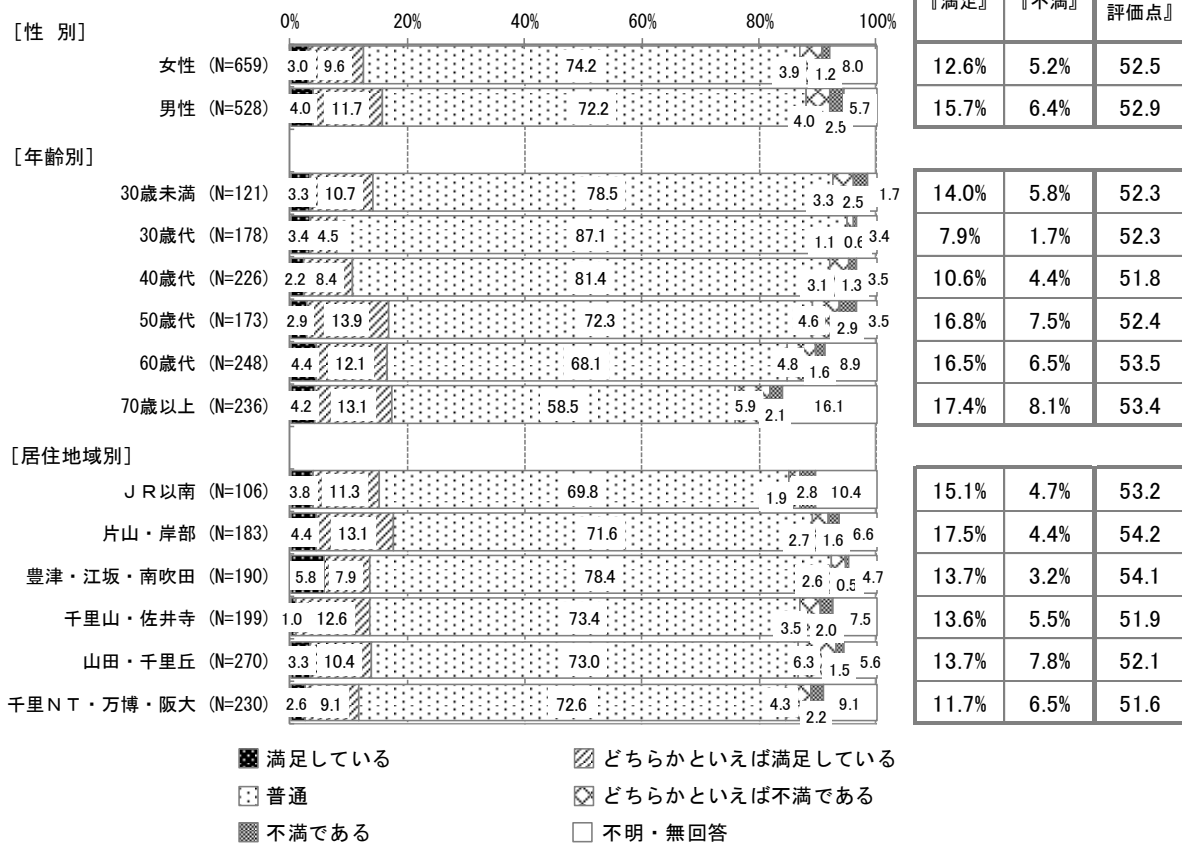
## ■重要度

- 人権・平和・男女共同参画についての重要度（図3.9.16）は、全項目で「今の程度が良い」が4割台を占めている。また、全項目で『重要である』の方が『重要ではない』に比べ割合が高くなっている。
- 重要度の評価点は、《1. 非核平和への貢献》（65.9点）が最も高いが、いずれも60点以上となっている。
- 性別に評価点（図3.9.19～図3.9.22）をみると、女性は《1. 非核平和への貢献》、男性は《2. 人権意識の向上のための施策》が最も高くなっている。また、全項目で男性より女性の方が評価点が高く、特に《1. 非核平和への貢献》（女性68.5点、男性62.8点）は男女差が大きくなっている。
- 年齢別に評価点をみると、《1. 非核平和への貢献》は70歳以上、それ以外の項目は30歳未満が最も高くなっている。また、《1. 非核平和への貢献》は年代による差が大きく、最も高い70歳以上（72.6点）と最も低い30歳代（59.2点）では13.4点の差がある。
- 居住地域別に評価点をみると、《1. 非核平和への貢献》は片山・岸部地域、《4. 項目1～3の総合評価》は千里ニュータウン・万博・阪大地域、それ以外の項目は千里山・佐井寺地域が最も高くなっている。

## ■満足度と重要度の関係

- 満足度と重要度の関係（図3.9.18）について、重要と考えながら満足度が相対的にみて低い項目（重要度評価点が高く、かつ満足度の評価点が低いもので、両者の差が大きい項目）の上位をみると、《1. 非核平和への貢献》（満足度52.7点、重要度65.9点、差13.2点）、《3. 男女共同参画社会実現のための施策》（満足度50.7点、重要度63.3点、差12.6点）となっている。

1. 非核平和への貢献【満足度】



1. 非核平和への貢献【重要度】

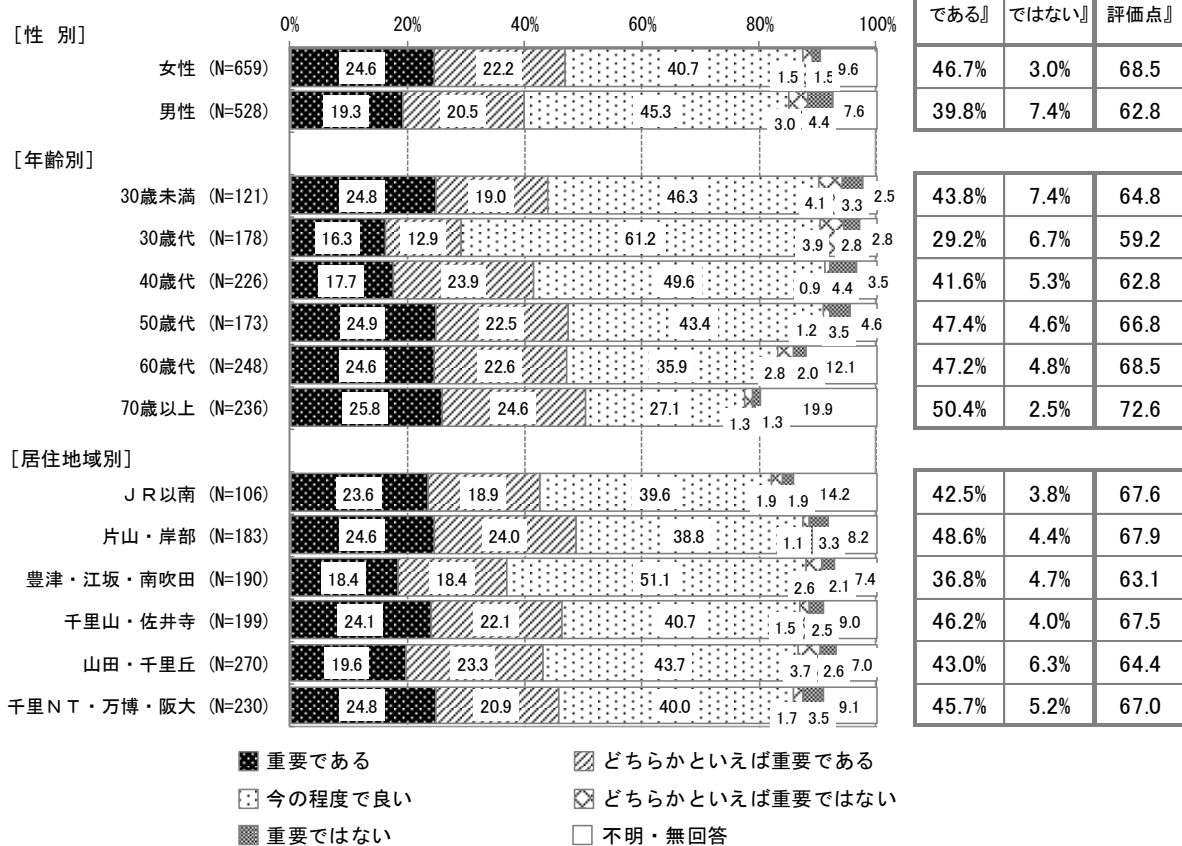
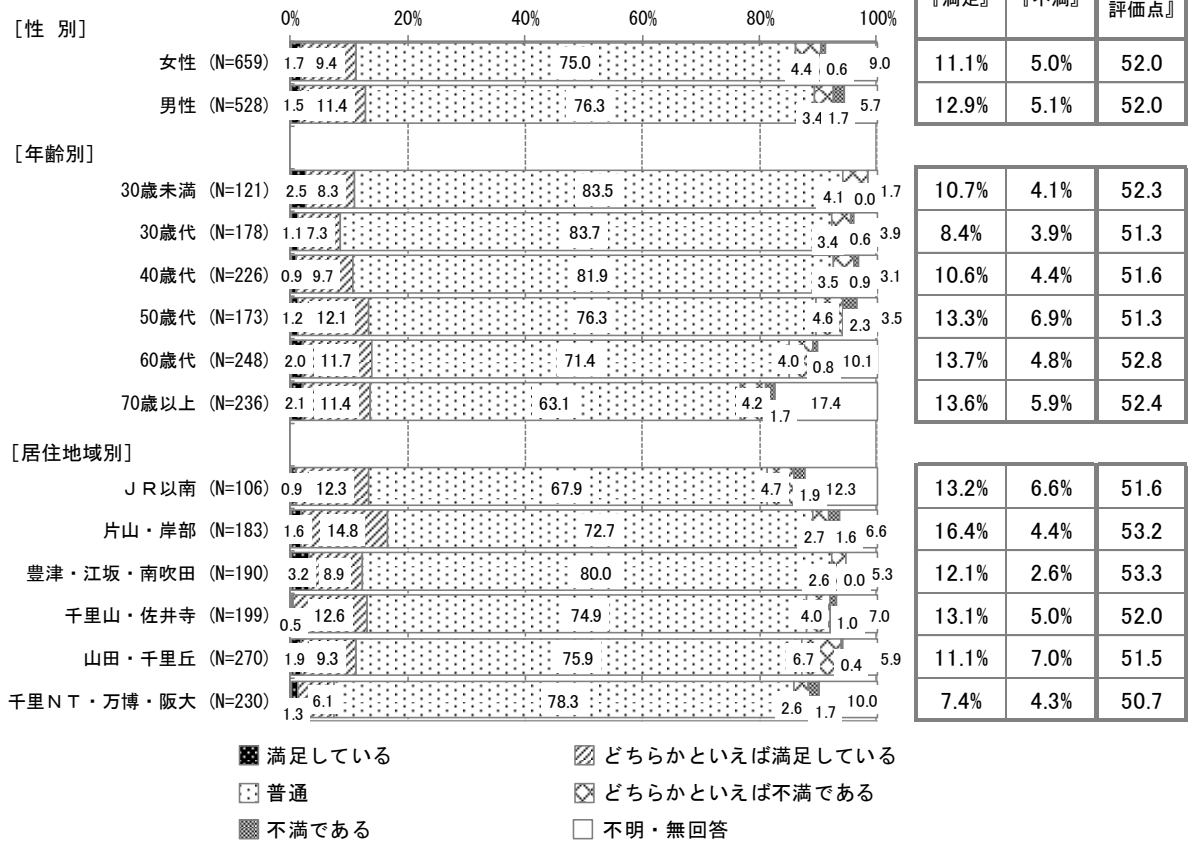


図 3.9.19 性別・年齢別・居住地域別 人権・平和・男女共同参画についての満足度・重要度①

2. 人権意識の向上のための施策 【満足度】



2. 人権意識の向上のための施策 【重要度】

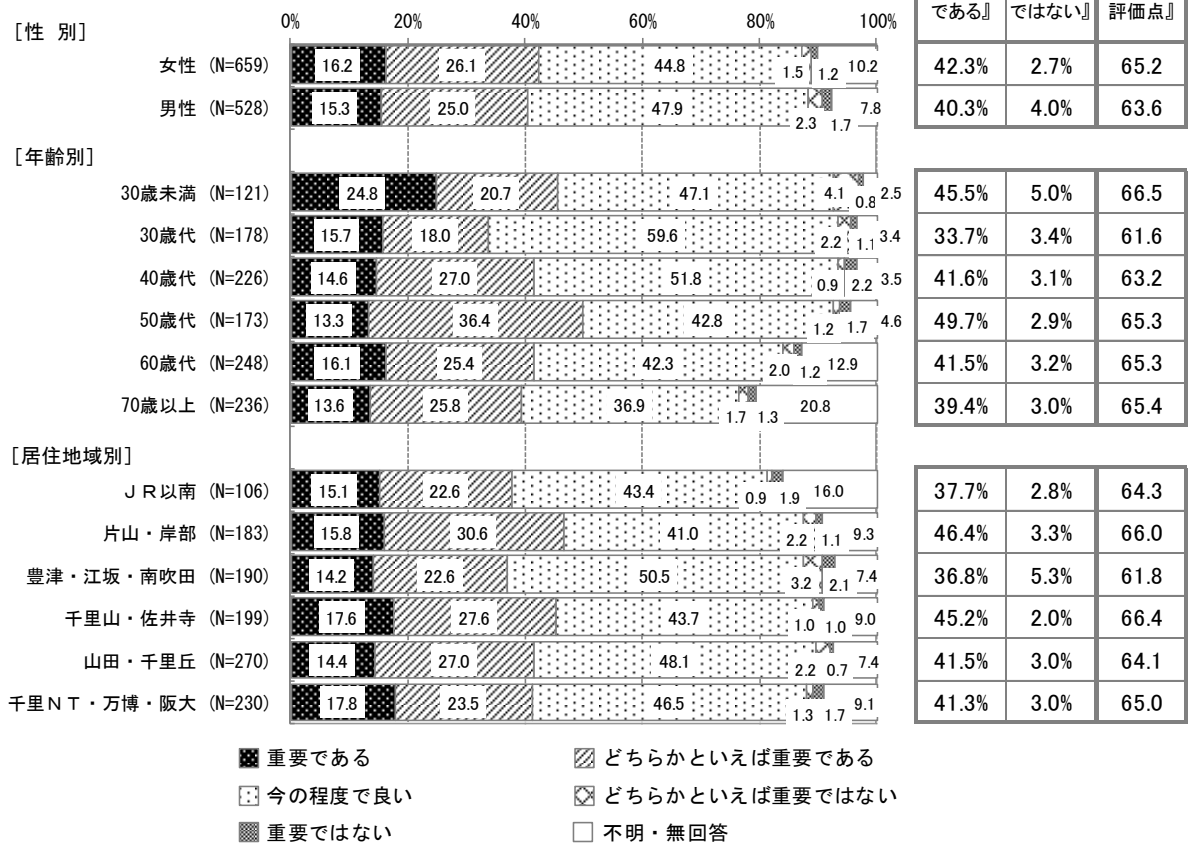
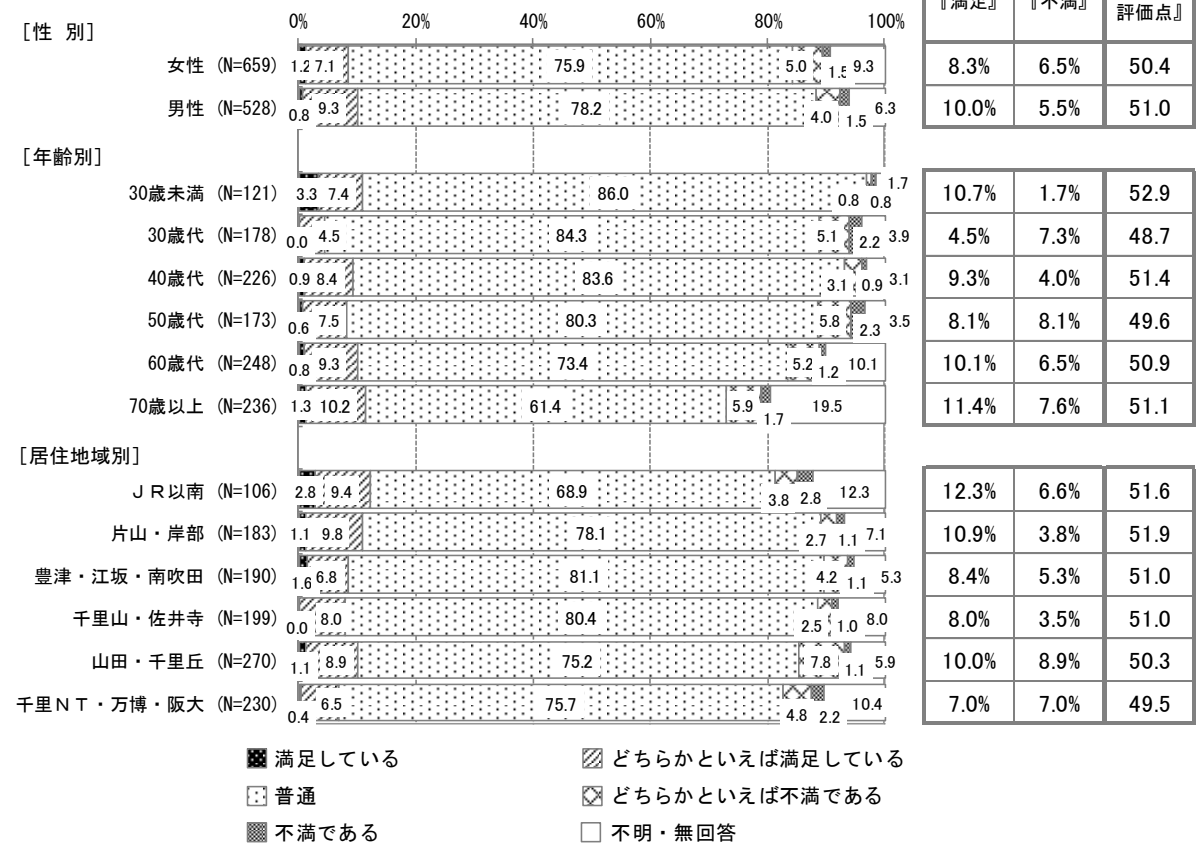


図 3.9.20 性別・年齢別・居住地域別 人権・平和・男女共同参画についての満足度・重要度②

3. 男女共同参画社会実現のための施策 【満足度】



3. 男女共同参画社会実現のための施策 【重要度】

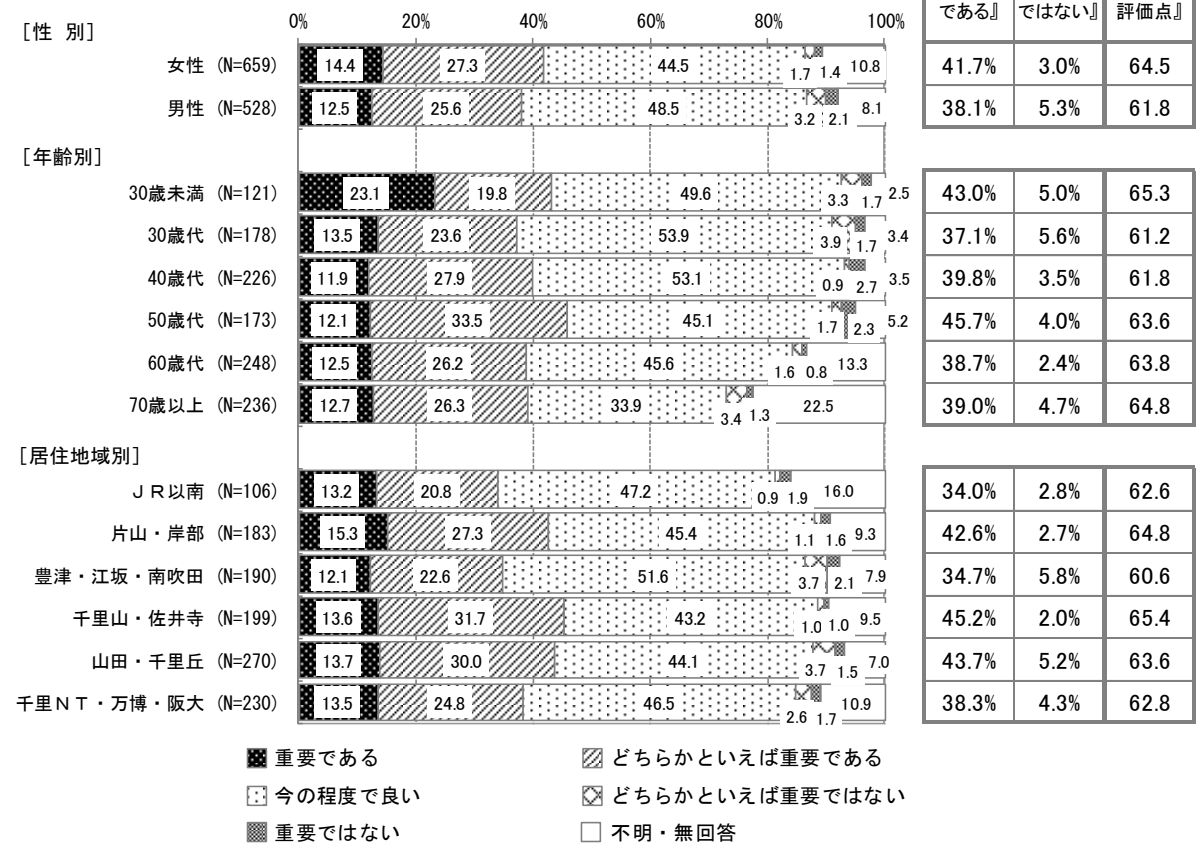
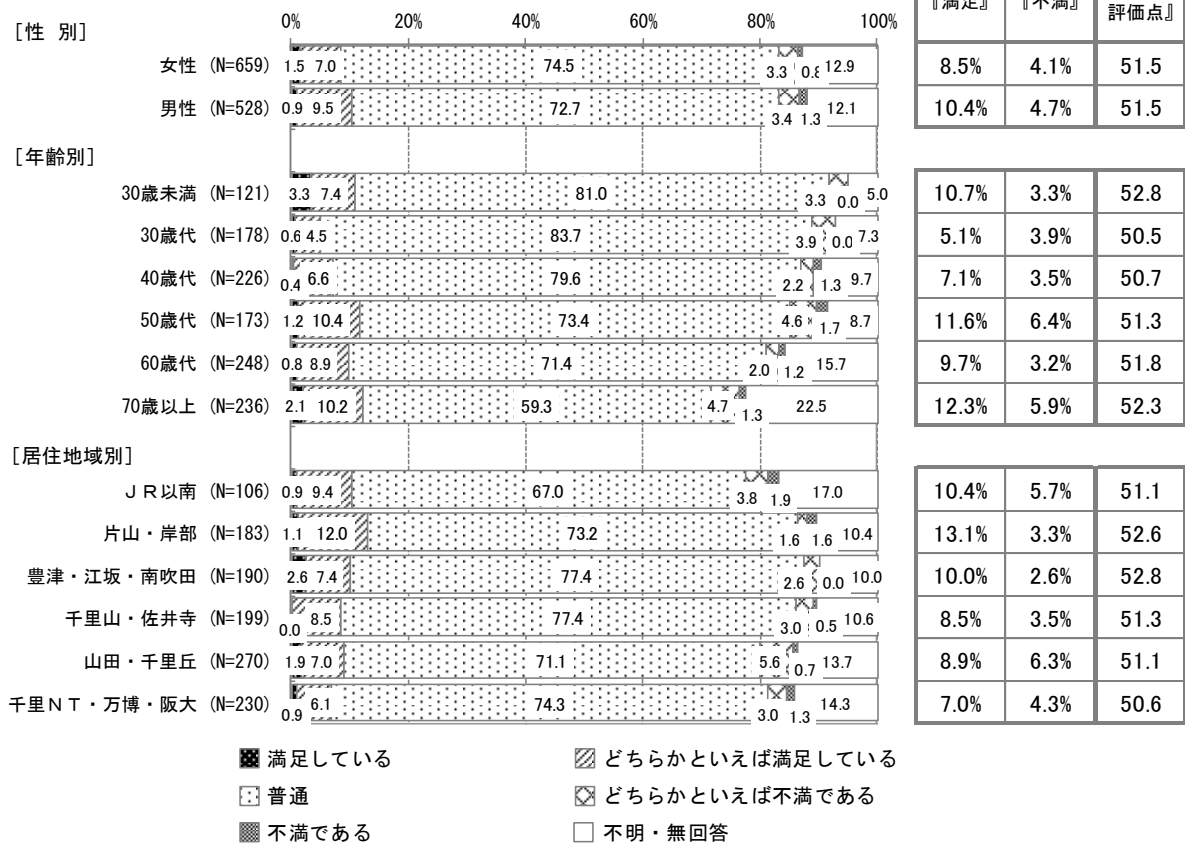


図 3.9.21 性別・年齢別・居住地域別 人権・平和・男女共同参画についての満足度・重要度③

4. 項目1~3の総合評価【満足度】



4. 項目1~3の総合評価【重要度】

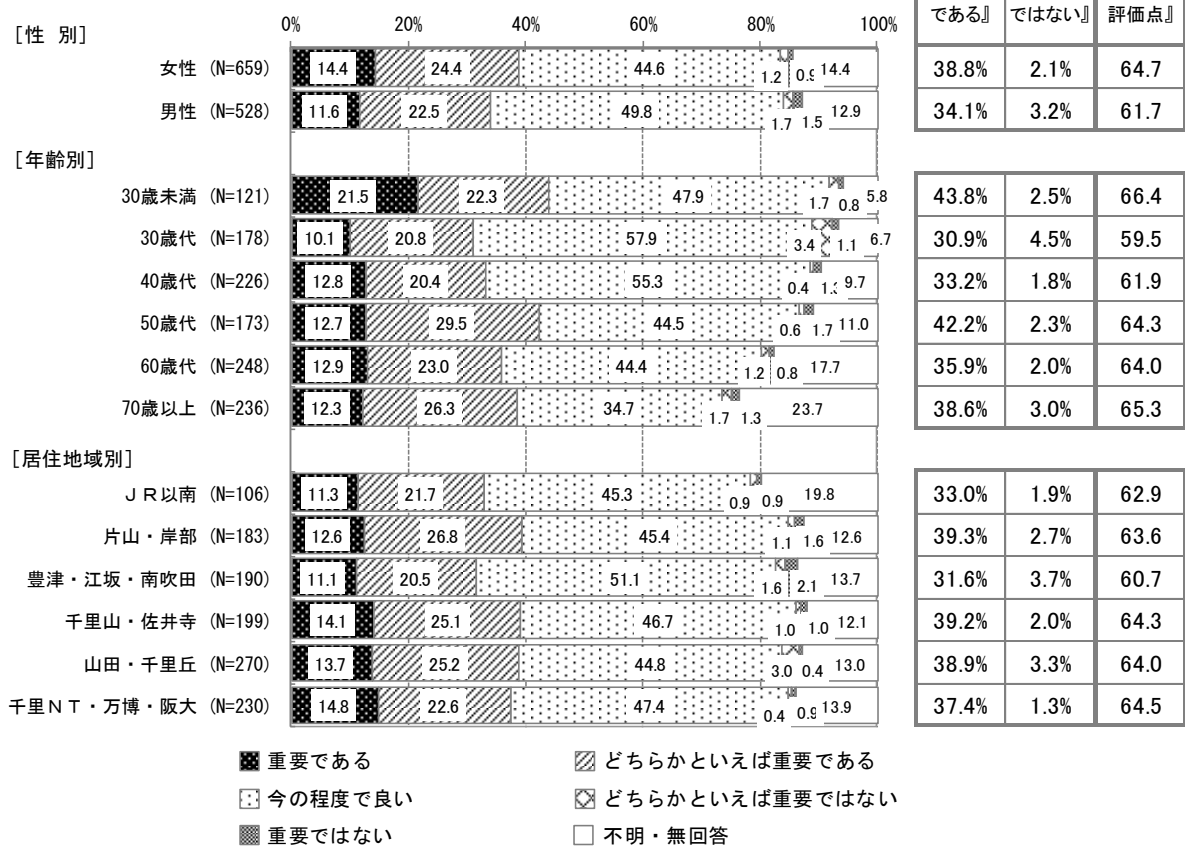


図 3.9.22 性別・年齢別・居住地域別 人権・平和・男女共同参画についての満足度・重要度④

## (2)-2 市民自治についての満足度・重要度

N=1,193

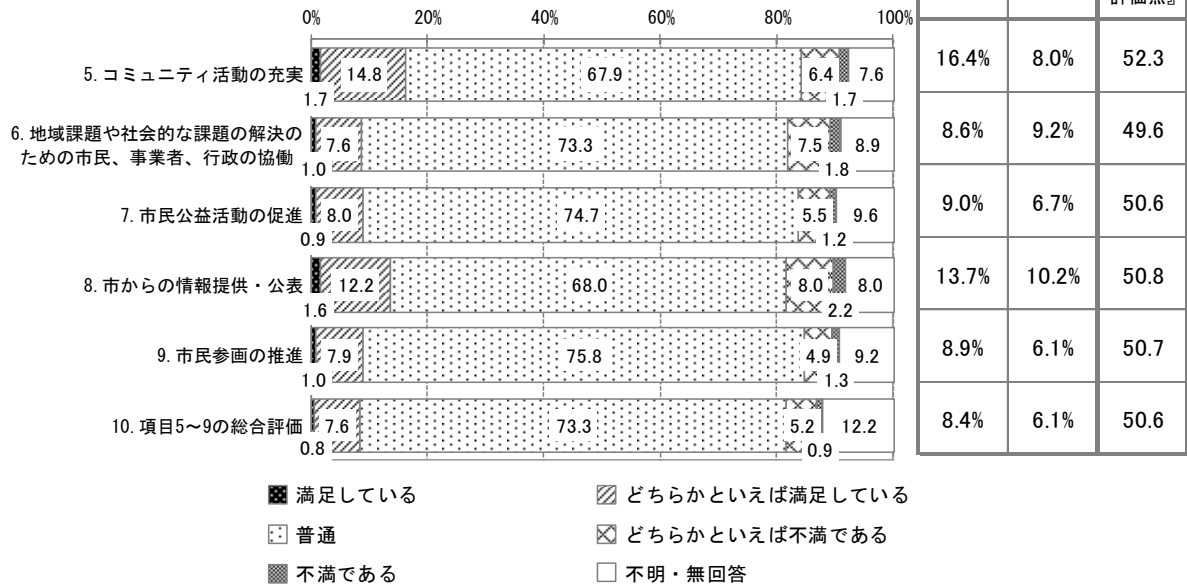


図 3.9.23 市民自治についての満足度

N=1,193

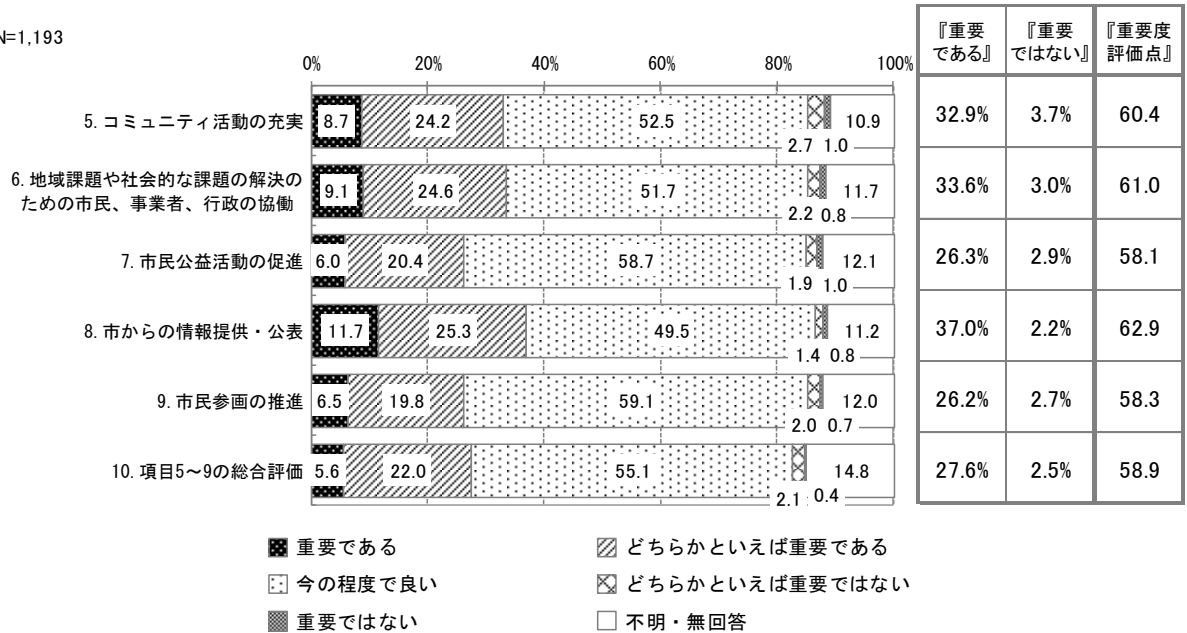


図 3.9.24 市民自治についての重要度

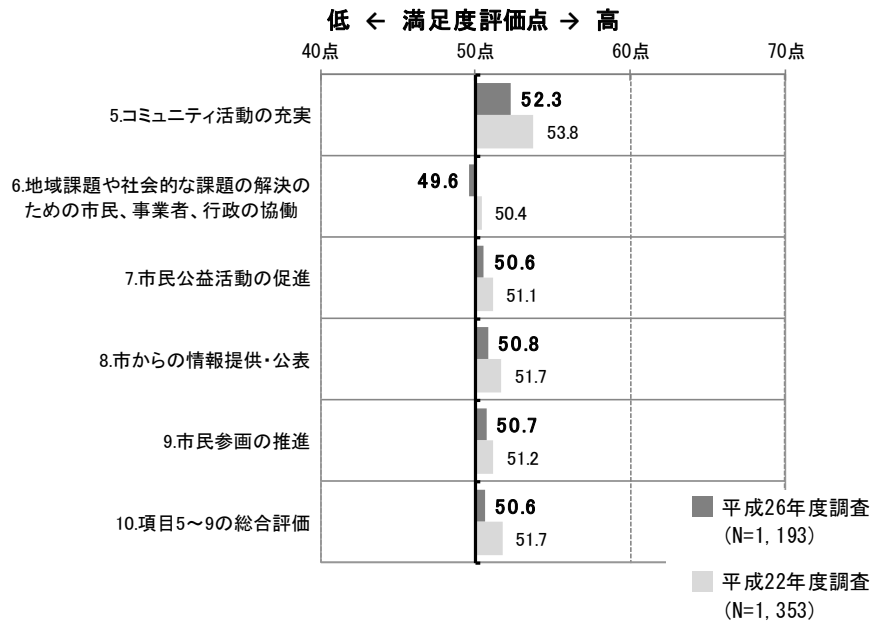


図 3.9.25 市民自治についての満足度評価点の経年比較

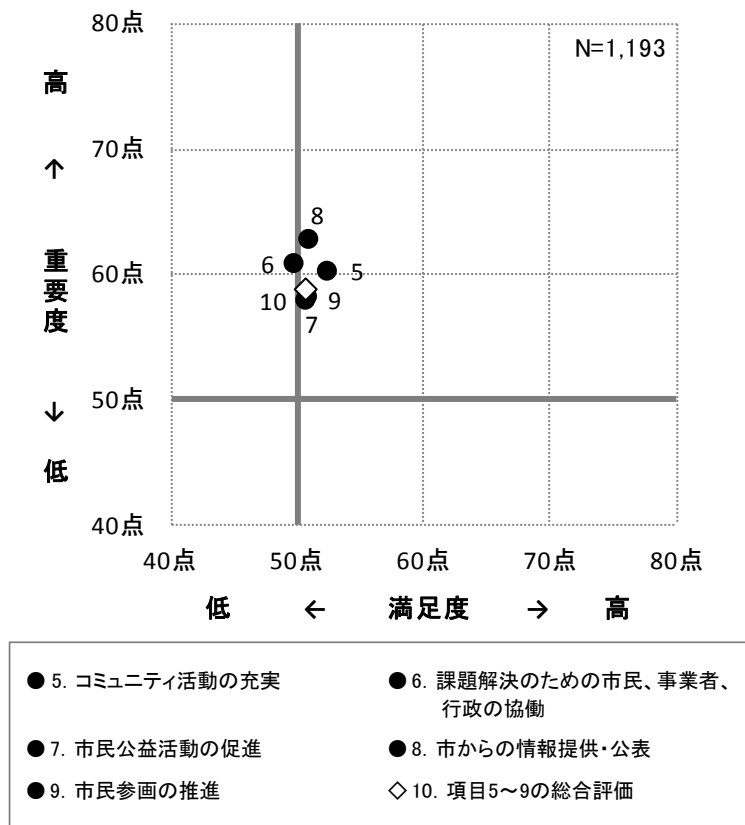


図 3.9.26 市民自治についての満足度と重要度の関係



## ■満足度

- 市民自治についての満足度（図3.9.23）は、全項目で「普通」が7割前後を占めている。また、ほとんどの項目で『満足』の方が『不満』に比べ割合が高くなっており、特に、《5. コミュニティ活動の充実》（16.4%）が他の項目と比べて高くなっている。
- 満足度の評価点は、《5. コミュニティ活動の充実》（52.3点）が最も高いのに対し、《6. 地域課題や社会的な課題の解決のための市民、事業者、行政の協働》（49.6点）が最も低くなっている。
- 平成22年度と比較（図3.9.25）すると、全ての項目で平成22年度よりも低くなっている。
- 性別に評価点（図3.9.27～図3.9.31）をみると、《7. 市民公益活動の促進》を除く項目で、男性より女性の方が高くなっている。特に、《5. コミュニティ活動の充実》の差は2.8点と大きくなっている。
- 年齢別に評価点をみると、《6. 地域課題や社会的な課題の解決のための市民、事業者、行政の協働》以外の項目では、50歳代が最も低くなっている。特に、《8. 市からの情報提供・公表》は最も高い70歳以上（52.8点）と最も低い50歳代（47.2点）との差が大きくなっている。
- 居住地域別に評価点をみると、《5. コミュニティ活動の充実》、《6. 地域課題や社会的な課題の解決のための市民、事業者、行政の協働》、《7. 市民公益活動の促進》は千里山・佐井寺地域、それ以外の項目は片山・岸部地域が最も高くなっている。一方、《7. 市民公益活動の促進》以外の全項目でJ R以南地域の評価点が最も低く、50点未満となっている。

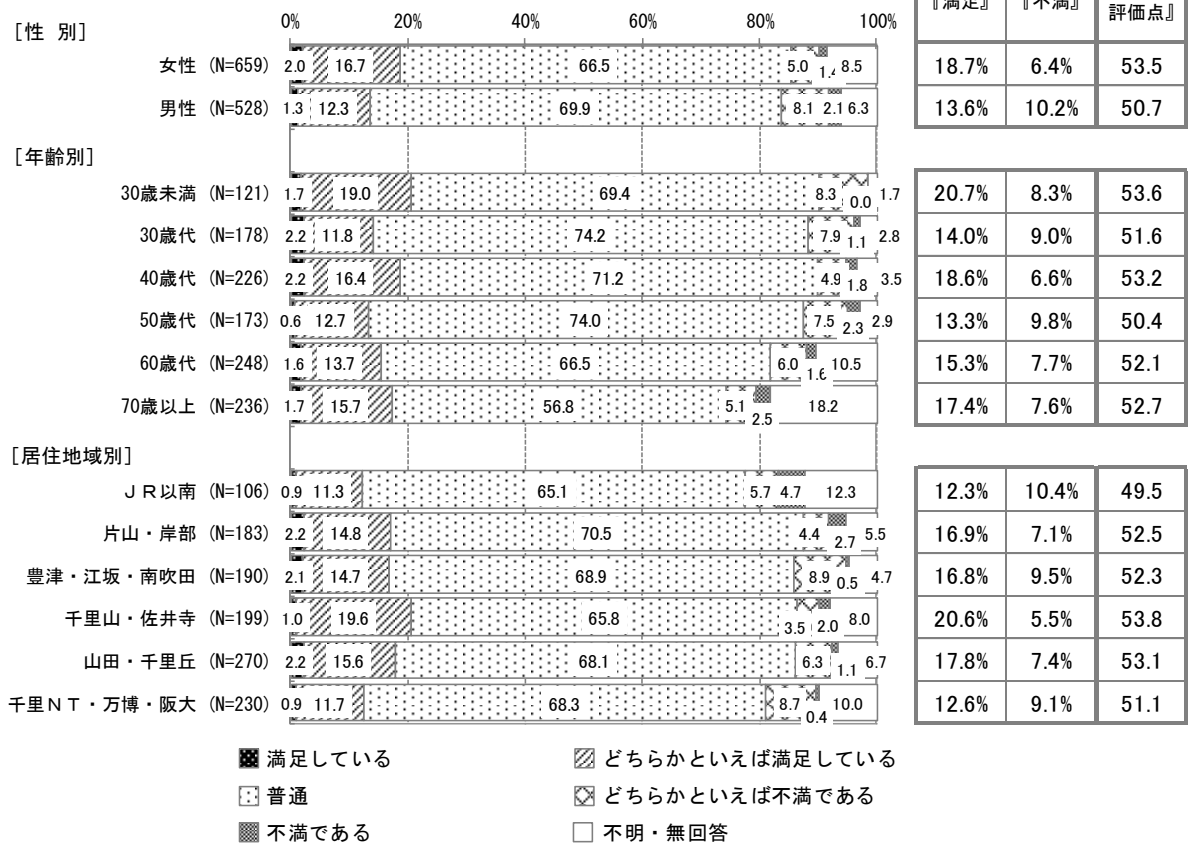
## ■重要度

- 市民自治についての重要度（図3.9.24）は、全項目で「今の程度で良い」が5割前後を占めている。また、全項目で『重要である』の方が『重要ではない』に比べ割合が高い。特に、《8. 市からの情報提供・公表》（37.0%）が他の項目と比べて高くなっている。
- 重要度の評価点は、《8. 市からの情報提供・公表》（62.9点）が最も高く、次いで、《6. 地域課題や社会的な課題の解決のための市民、事業者、行政の協働》（61.0点）、《5. コミュニティ活動の充実》（60.4点）が60点以上となっている。
- 性別に評価点（図3.9.27～図3.9.31）をみると、男女ともに《8. 市からの情報提供・公表》が最も高く、次いで、《6. 地域課題や社会的な課題の解決のための市民、事業者、行政の協働》となっている。
- 年齢別に評価点をみると、全項目で70歳以上が最も高くなっている。
- 居住地域別に評価点をみると、《6. 地域課題や社会的な課題の解決のための市民、事業者、行政の協働》は千里山・佐井寺地域、《8. 市からの情報提供・公表》は千里ニュータウン・万博・阪大地域、それ以外の項目は片山・岸部地域が最も高くなっている。

## ■満足度と重要度の関係

- 満足度と重要度の関係（図3.9.26）について、重要と考えながら満足度が相対的にみて低い項目（重要度評価点が高く、かつ満足度の評価点が低いもので、両者の差が大きい項目）の上位をみると、《8. 市からの情報提供・公表》（満足度50.8点、重要度62.9点、差12.1点）、《6. 地域課題や社会的な課題の解決のための市民、事業者、行政の協働》（満足度49.6点、重要度61.0点、差11.4点）となっている。

5. コミュニティ活動の充実 【満足度】



5. コミュニティ活動の充実 【重要度】

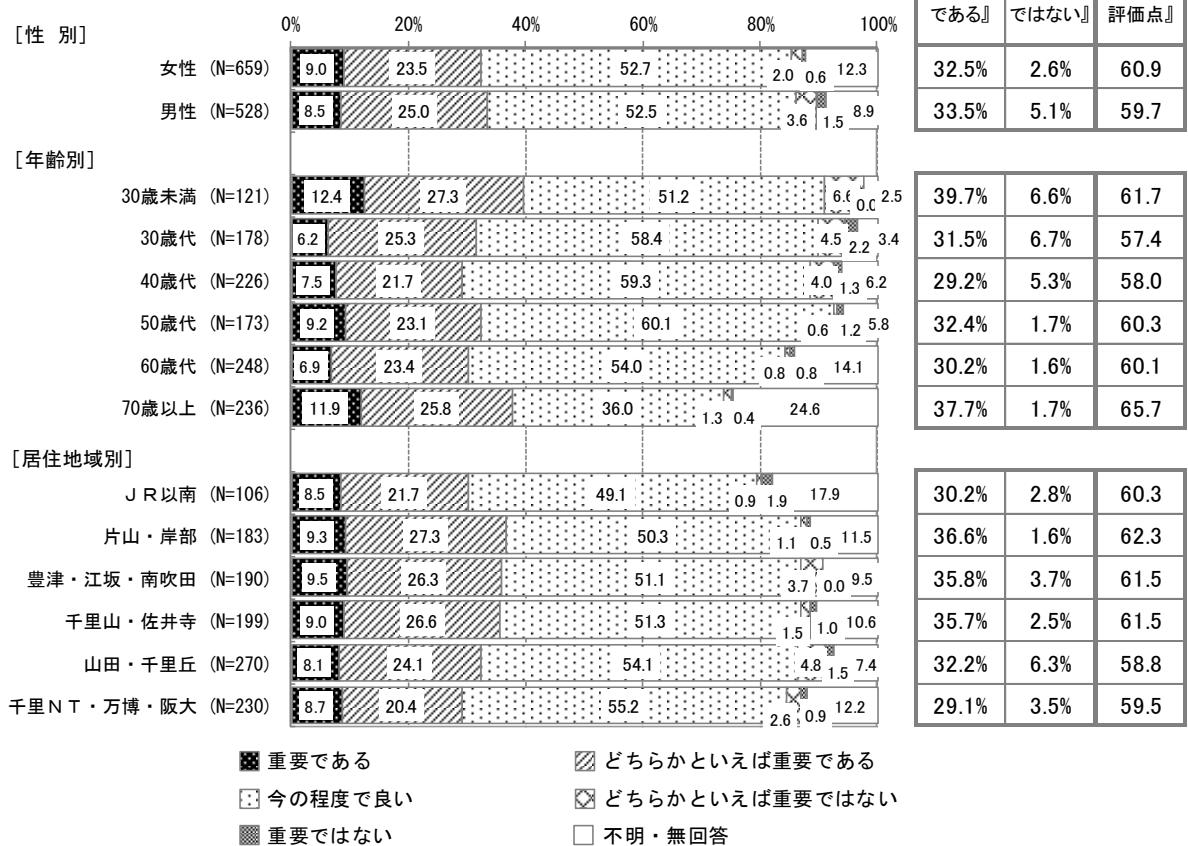
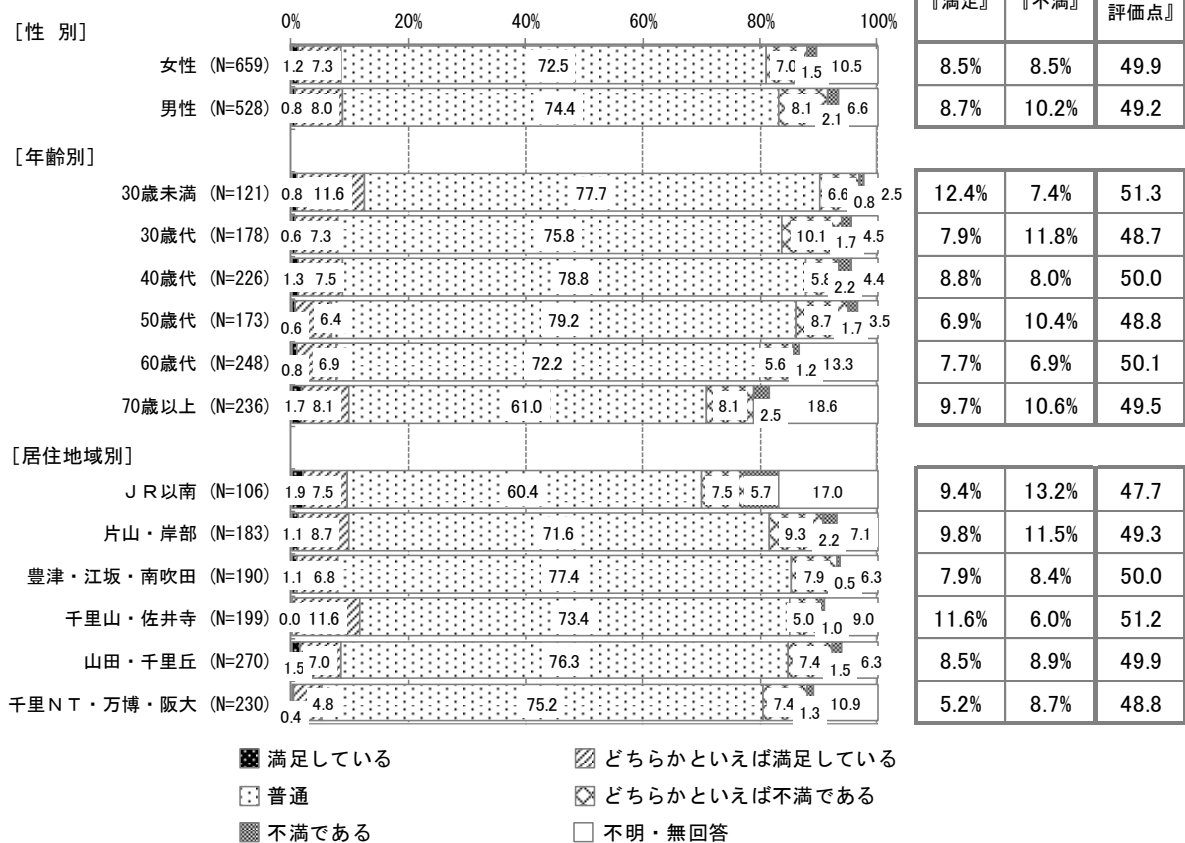


図 3.9.27 性別・年齢別・居住地域別 市民自治についての満足度・重要度①

6. 地域課題や社会的な課題の解決のための市民、事業者、行政の協働 【満足度】



6. 地域課題や社会的な課題の解決のための市民、事業者、行政の協働 【重要度】

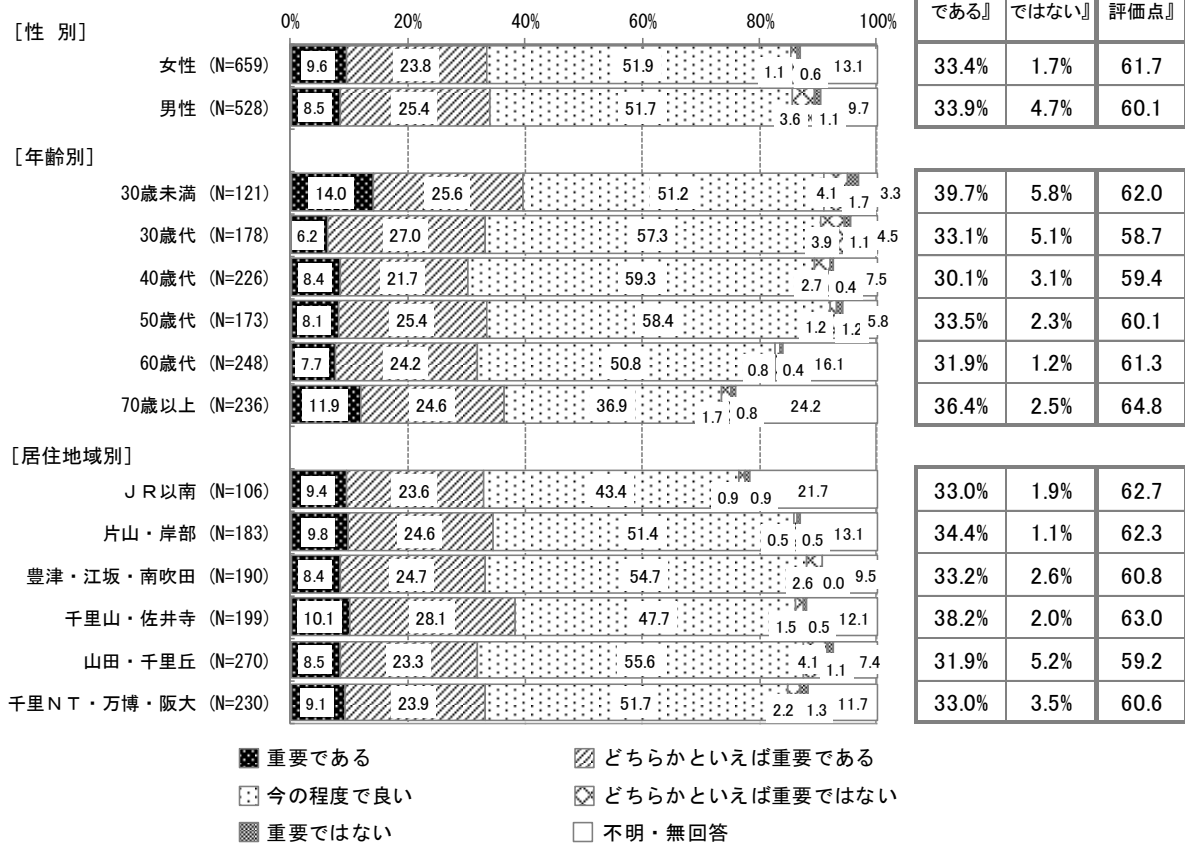
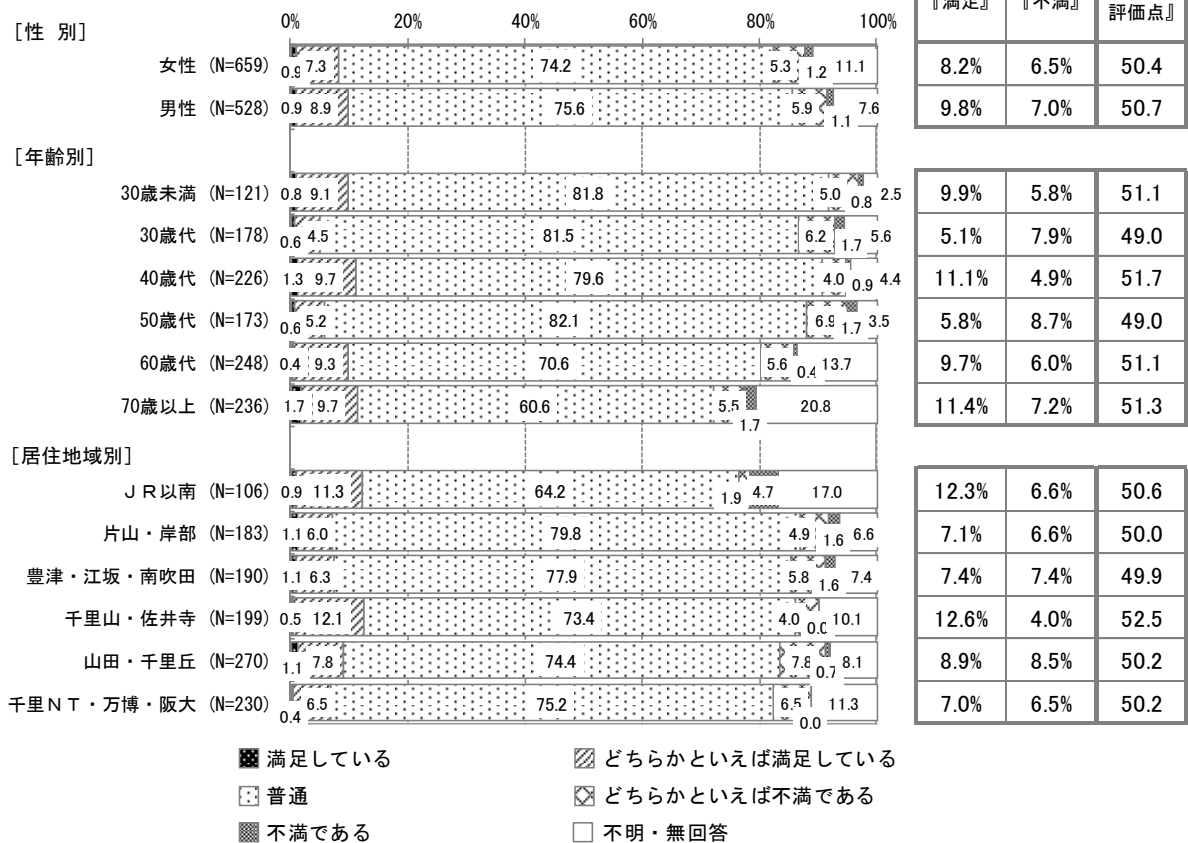


図 3.9.28 性別・年齢別・居住地域別 市民自治についての満足度・重要度②

7. 市民公益活動の促進【満足度】



7. 市民公益活動の促進【重要度】

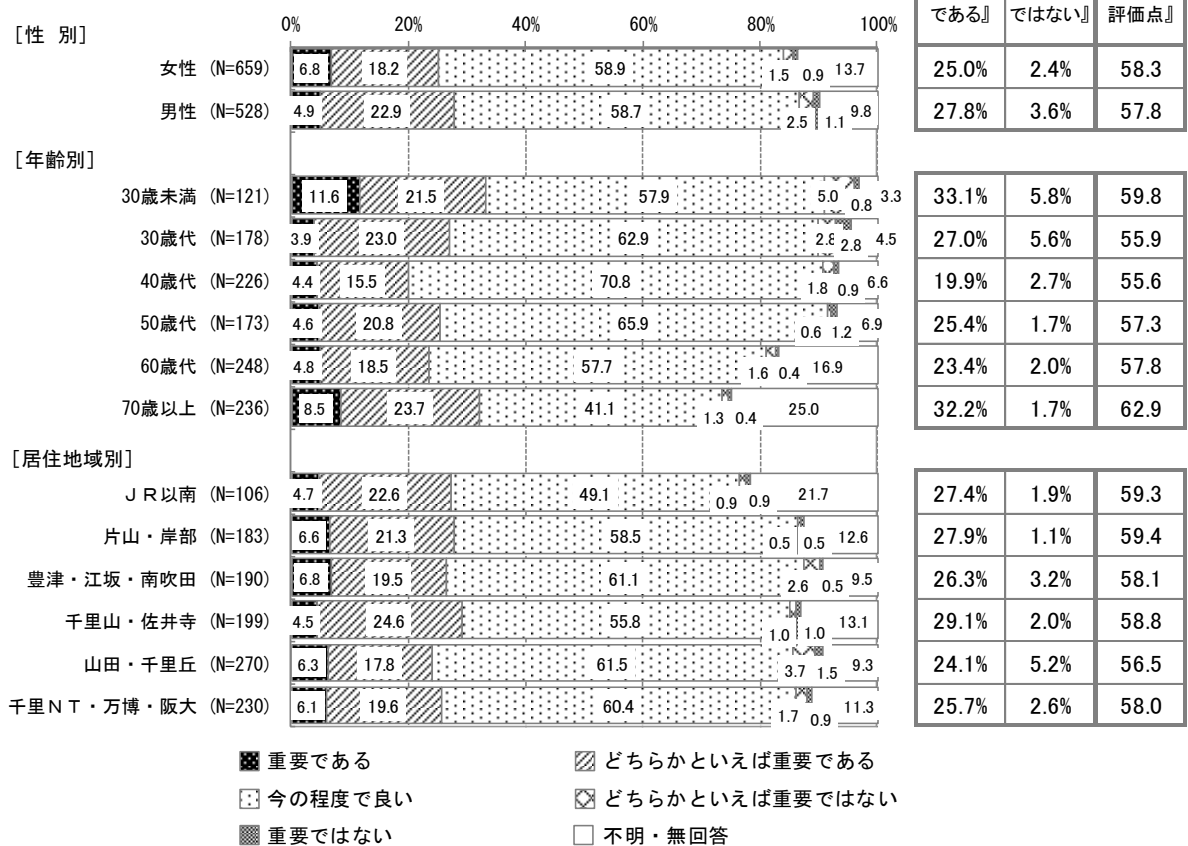
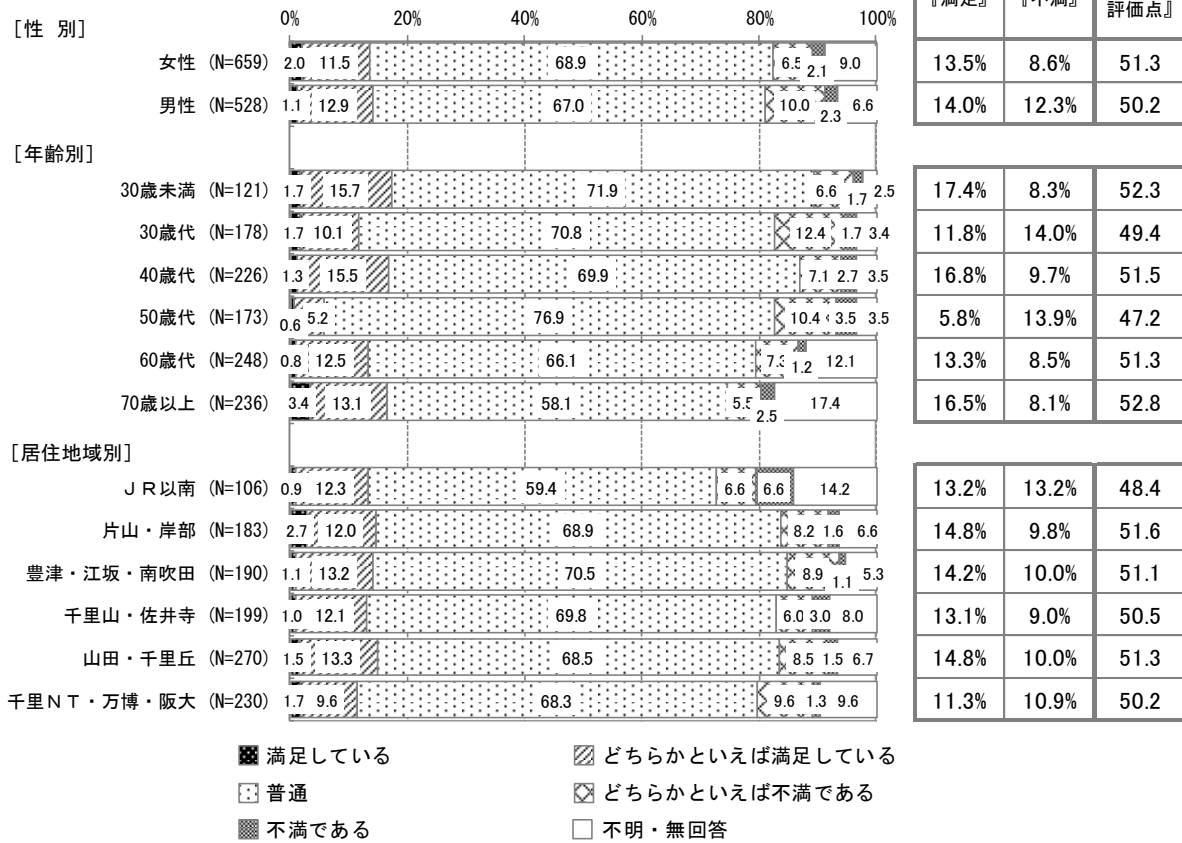


図 3.9.29 性別・年齢別・居住地域別 市民自治についての満足度・重要度③

8. 市からの情報提供・公表 【満足度】



8. 市からの情報提供・公表 【重要度】

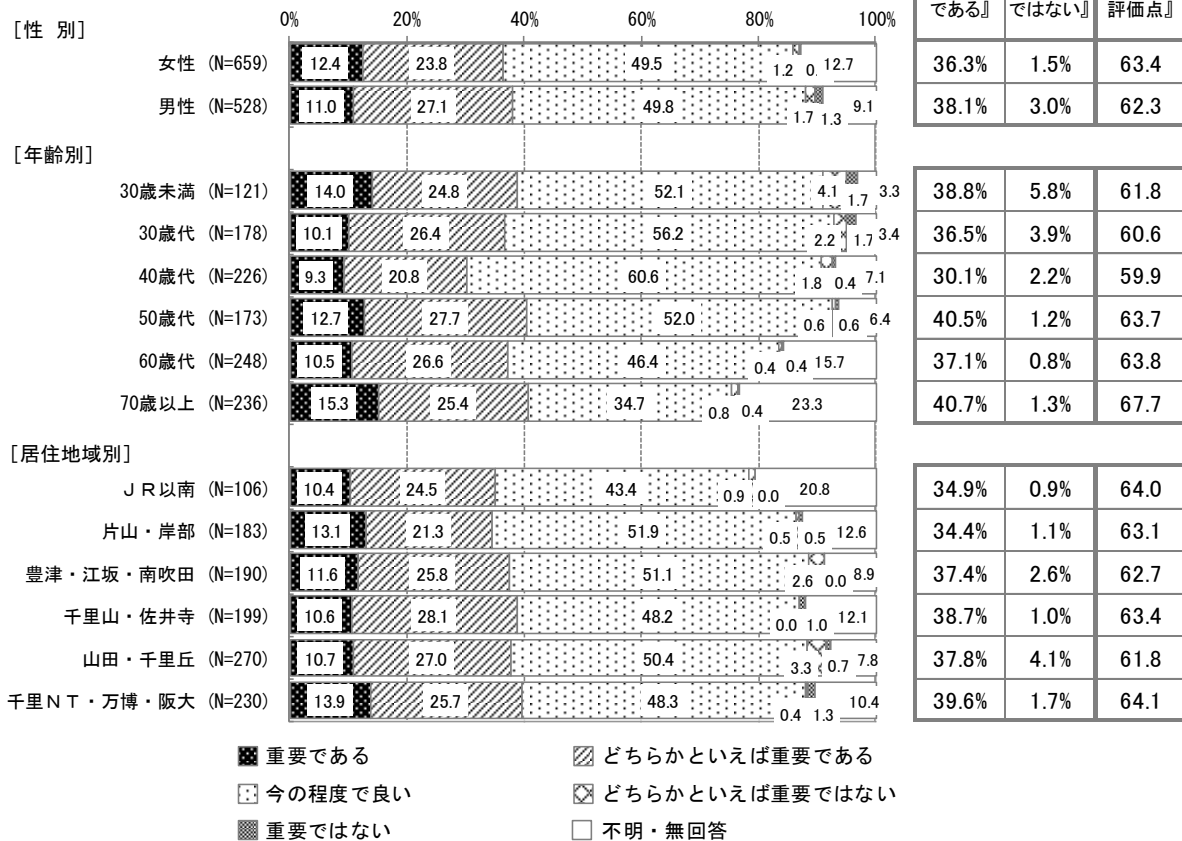
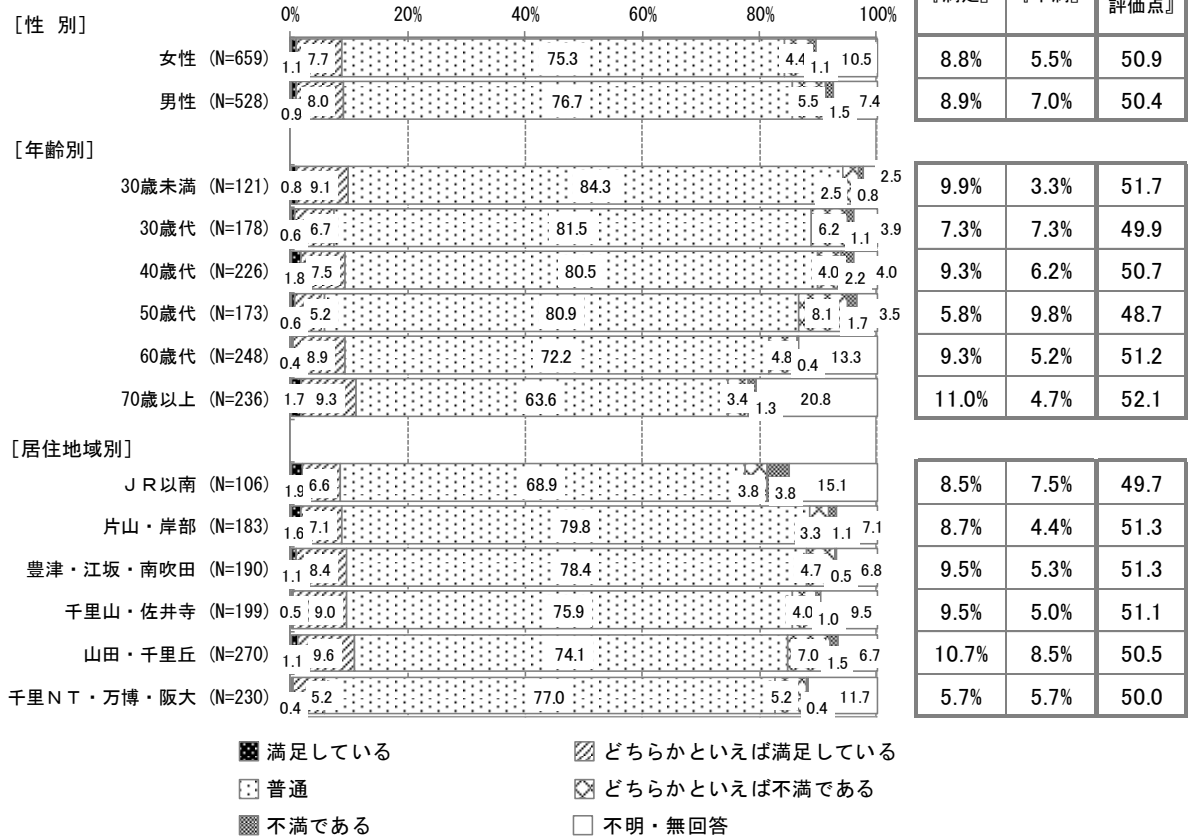


図 3.9.30 性別・年齢別・居住地域別 市民自治についての満足度・重要度④

9. 市民参画の推進【満足度】



9. 市民参画の推進【重要度】

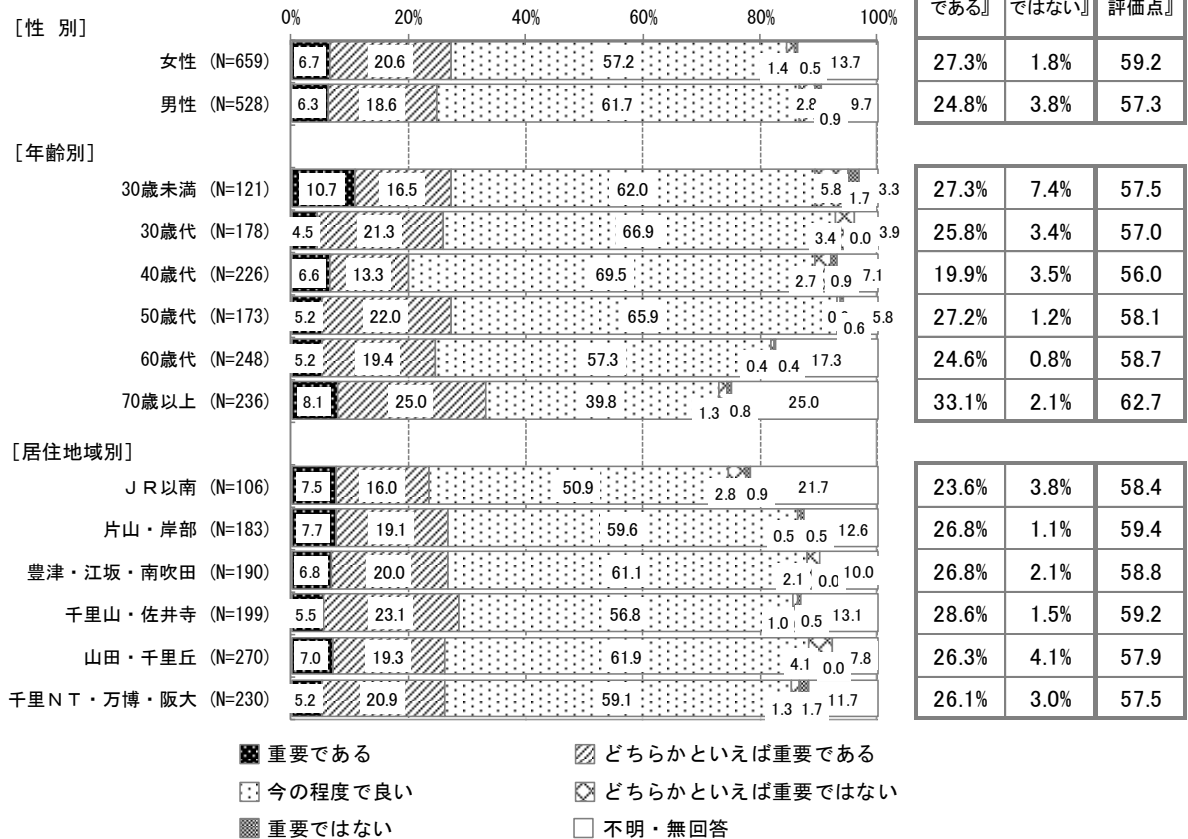
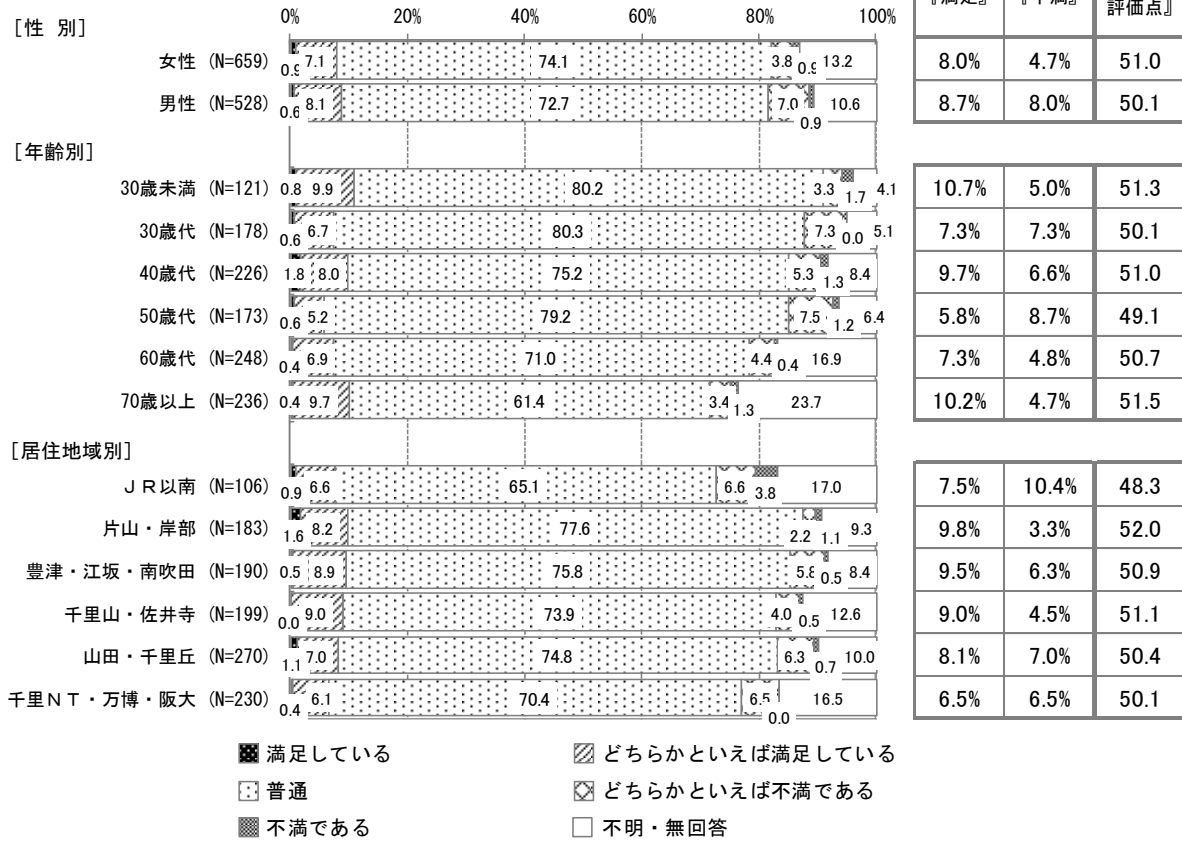


図 3.9.31 性別・年齢別・居住地域別 市民自治についての満足度・重要度⑤

10. 項目5～9の総合評価【満足度】



10. 項目5～9の総合評価【重要度】

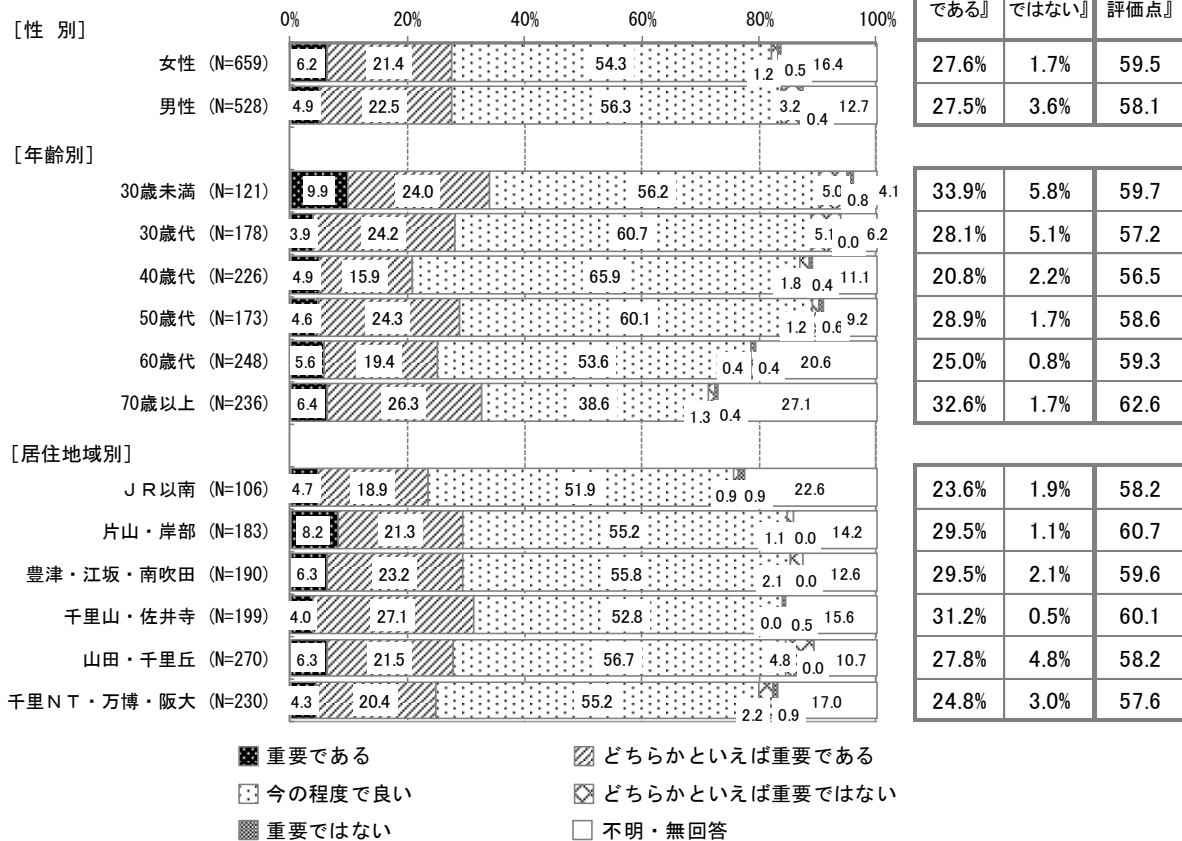


図 3.9.32 性別・年齢別・居住地域別 市民自治についての満足度・重要度⑥

(2)-3 くらし・健康についての満足度・重要度

N=1,193

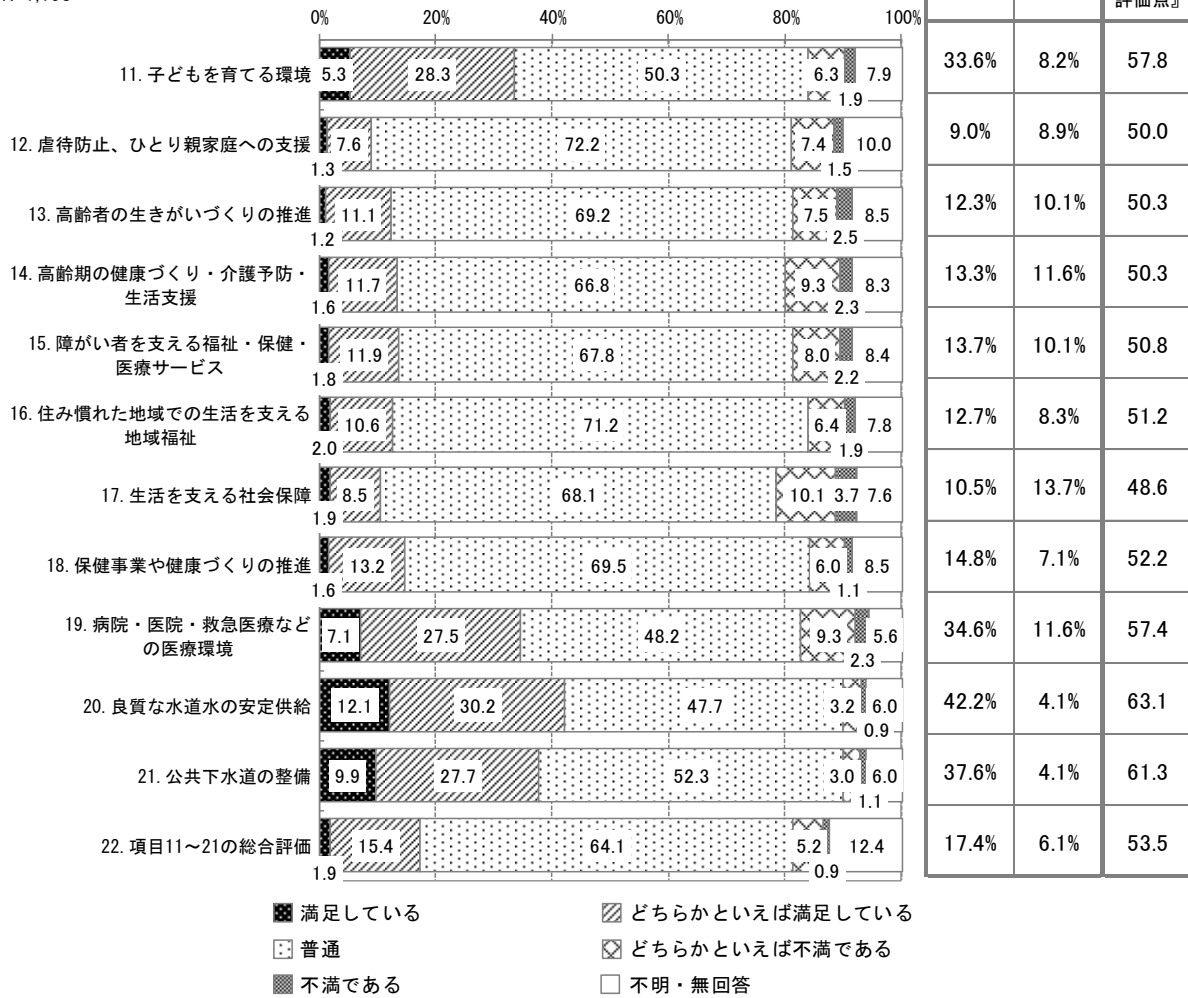


図 3.9.33 くらし・健康についての満足度



N=1,193

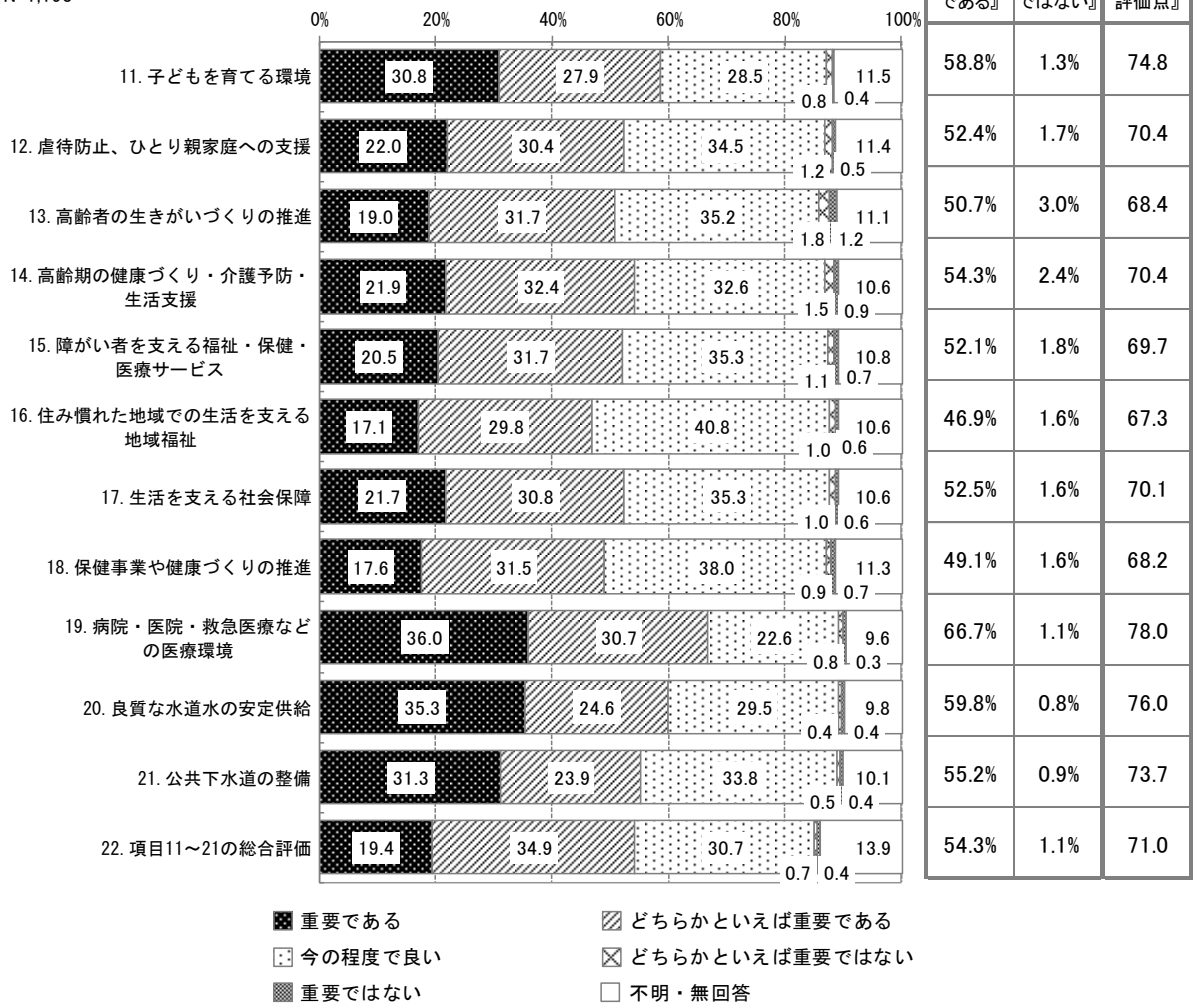


図 3.9.34 暮らし・健康についての重要度

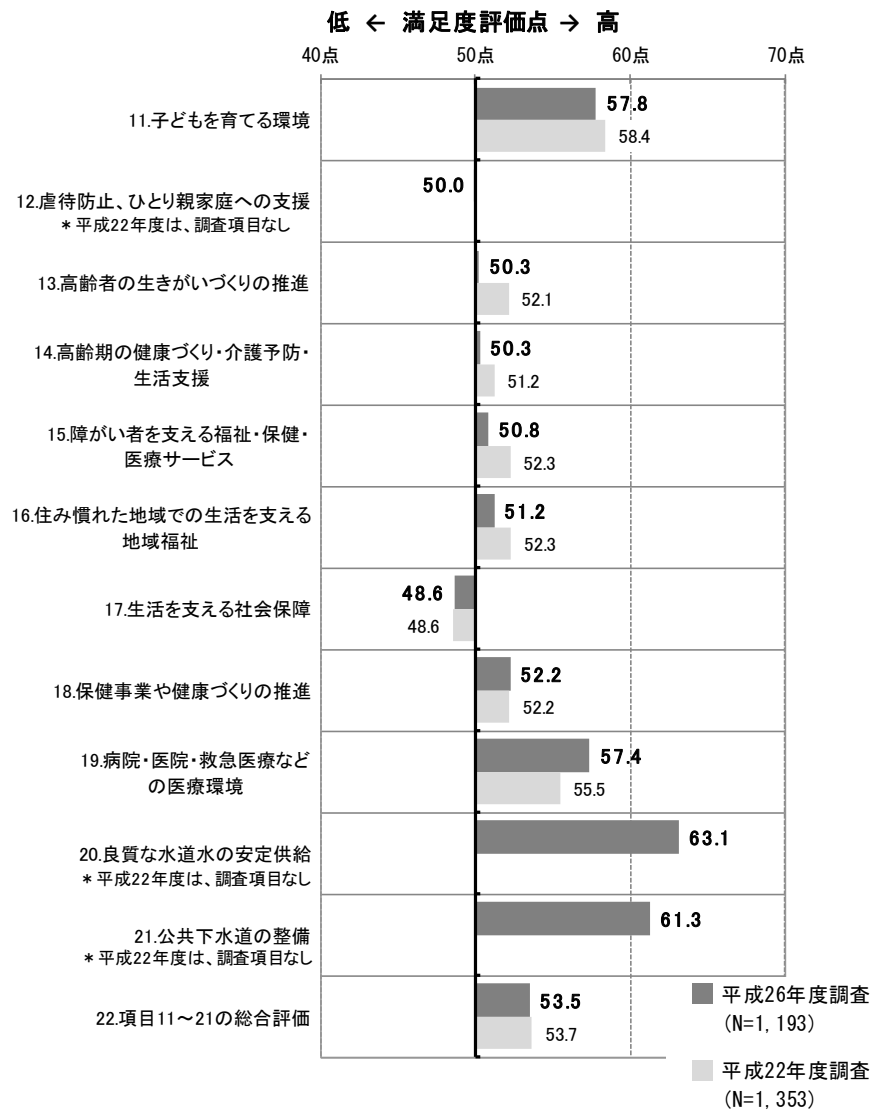
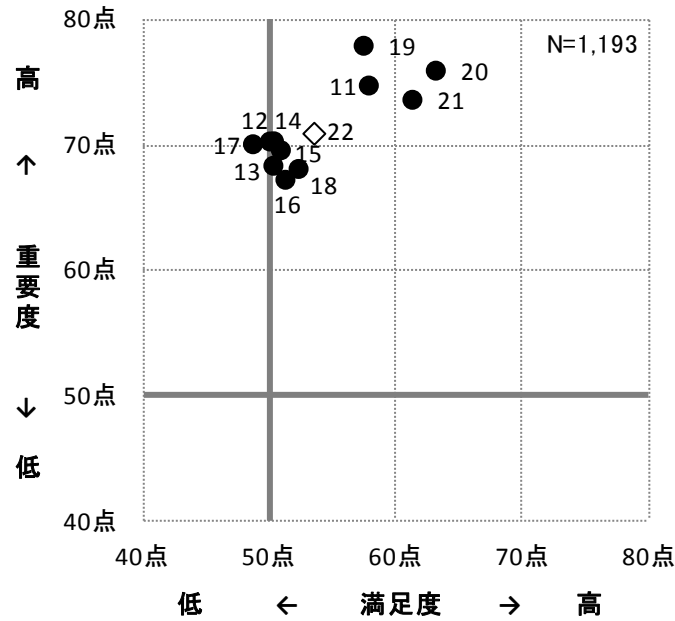


図 3.9.35 くらし・健康についての満足度評価点の経年比較



- 11. 子どもを育てる環境
- 12. 虐待防止、ひとり親家庭への支援
- 13. 高齢者の生きがいの推進
- 14. 高齢期の健康づくり・介護予防・生活支援
- 15. 障がい者を支える福祉・保健・医療サービス
- 16. 住み慣れた地域での生活を支える医療サービス地域福祉
- 17. 生活を支える社会保障
- 18. 保健事業や健康づくりの推進
- 19. 病院・医院・救急医療などの医療環境
- 20. 良質な水道水の安定供給
- 21. 公共下水道の整備
- ◇ 22. 項目11～21の総合評価

図 3.9.36 くらし・健康についての満足度と重要度の関係

## ■満足度

- くらし・健康についての満足度（図3.9.33）は、全項目で「普通」が最も多い。また、ほとんどの項目で『満足』の方が『不満』に比べ割合が高い。特に、《20. 良質な水道水の安定供給》（42.2%）、《21. 公共下水道の整備》（37.6%）、《19. 病院・医院・救急医療などの医療環境》（34.6%）、《11. 子どもを育てる環境》（33.6%）が他の項目と比べて高くなっている。
- 満足度の評価点は、《20. 良質な水道水の安定供給》（63.1点）、《21. 公共下水道の整備》（61.3点）で60点以上となっている。一方、《17. 生活を支える社会保障》（48.6点）が最も低く50点未満となっている。
- 平成22年度と比較（図3.9.35）すると、《19. 病院・医院・救急医療などの医療環境》は平成22年度よりも高くなっている。一方、《13. 高齢者の生きがいの推進》、《15. 障がい者を支える福祉・保健・医療サービス》などは、平成22年度よりも低くなっている。
- 性別に評価点（図3.9.37～図3.9.48）をみると、《19. 病院・医院・救急医療などの医療環境》などは女性（56.7点）より男性（58.0点）の方が高くなっている。一方、《13. 高齢者の生きがいの推進》、《16. 住み慣れた地域での生活を支える地域福祉》などは、女性の方が高くなっている。
- 年齢別に評価点をみると、《19. 病院・医院・救急医療などの医療環境》、《20. 良質な水道水の安定供給》、《21. 公共下水道の整備》、《22. 項目11～21の総合評価》は70歳以上、それ以外の項目は30歳未満が最も高くなっている。また、《20. 良質な水道水の安定供給》（70歳以上68.5点、30歳代59.7点）、《19. 病院・医療・救急医療などの医療環境》（70歳以上61.1点、30歳代53.6点）、《22. 項目11～21の総合評価》（70歳以上56.8点、30歳代50.2点）などでは年代による差が大きくなっている。
- 居住地域別に評価点をみると、《19. 病院・医院・救急医療などの医療環境》、《20. 良質な水道水の安定供給》、《21. 公共下水道の整備》は千里ニュータウン・万博・阪大地域、それ以外の項目は千里山・佐井寺地域が最も高くなっている。一方、JR以南地域は12項目中8項目で最も低く、5項目が50点未満となっている。また、《11. 子どもを育てる環境》（千里山・佐井寺地域61.2点、JR以南地域50.0点）、《19. 病院・医院・救急医療などの医療環境》（千里NT・万博・阪大地域60.7点、豊津・江坂・南吹田地域53.6点）などでは地域による差が大きくなっている。

## ■重要度

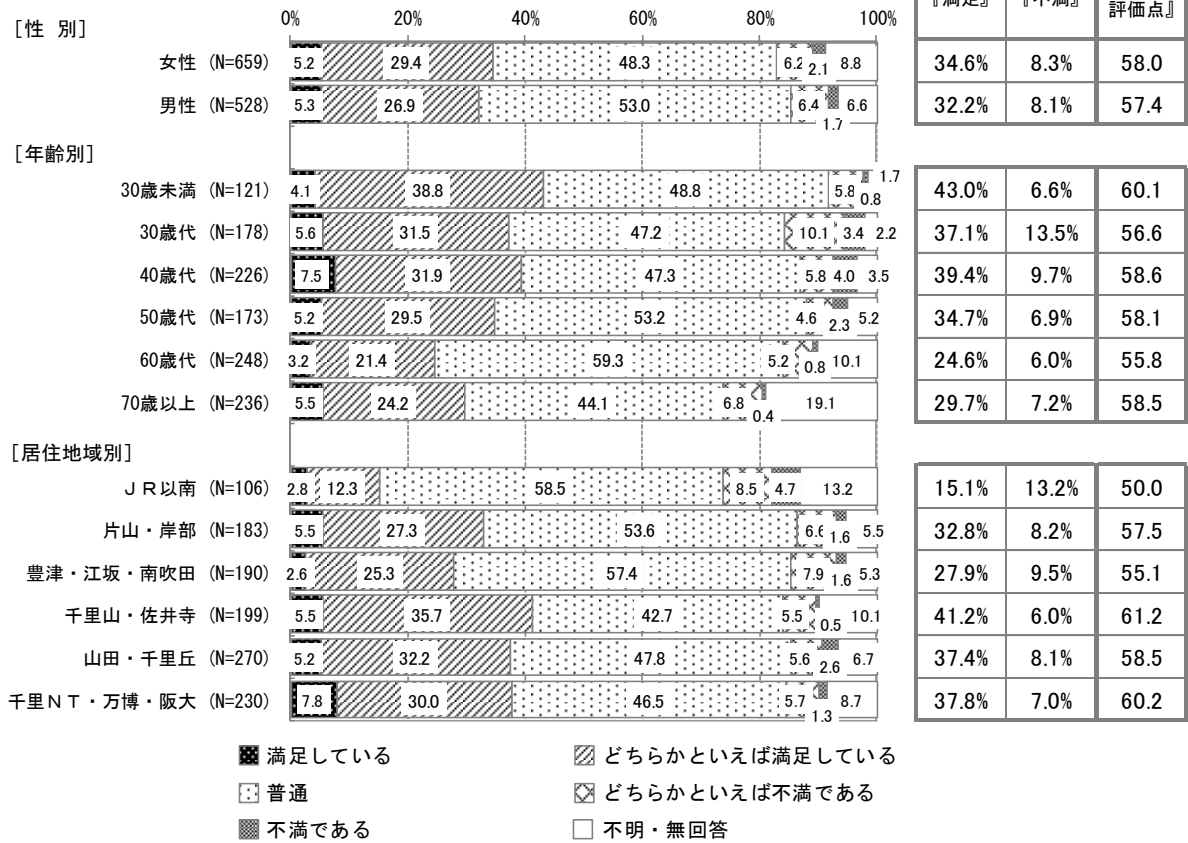
- くらし・健康についての重要度（図3.9.34）は、全項目で『重要である』の方が『重要ではない』に比べ割合が高い。また、ほとんどの項目で『重要である』が5割を占める。特に、《19. 病院・医院・救急医療などの医療環境》（66.7%）が他の項目と比べて高くなっている。
- 重要度の評価点は、いずれの項目も65点以上、12項目中8項目が70点以上と高くなっている。なかでも《19. 病院・医院・救急医療などの医療環境》（78.0点）が最も高く、次いで、《20. 良質な水道水の安定供給》（76.0点）となっている。

- 性別に評価点（図3.9.37～図3.9.48）をみると、男女ともに《19.病院・医院・救急医療などの医療環境》が最も高く、次いで、《20.良質な水道水の安定供給》となっている。全項目で男性より女性の方が評価点が高く、女性は12項目中9項目が70点以上となっている。
- 年齢別に評価点をみると、《11.子どもを育てる環境》は30歳代、《12.虐待防止、ひとり親家庭への支援》は30歳未満、それ以外の項目は70歳以上が最も高くなっている。また、《16.住み慣れた地域での生活を支える地域福祉》（70歳以上73.3点、30歳代64.2点）、《14.高齢期の健康づくり・介護予防・生活支援》（70歳以上74.9点、30歳代66.5点）などは年代による差が大きくなっている。
- 居住地域別に評価点をみると、《16.住み慣れた地域での生活を支える地域福祉》、《18.保健事業や健康づくりの推進》、《19.病院・医院・救急医療などの医療環境》は片山・岸部地域、それ以外の項目は千里山・佐井寺地域が最も高くなっている。また、《15.障がい者を支える福祉・保健・医療サービス》（千里山・佐井寺地域73.9点、豊津・江坂・南吹田地域66.4点）、《14.高齢期の健康づくり・介護予防・生活支援》（千里山・佐井寺地域73.2点、豊津・江坂・南吹田地域66.6点）、《19.病院・医院・救急医療などの医療環境》（片山・岸部地域79.5点、豊津・江坂・南吹田地域73.1点）などは地域による差が大きくなっている。

#### ■満足度と重要度の関係

- 満足度と重要度の関係（図3.9.36）について、重要と考えながら満足度が相対的にみて低い項目（重要度評価点が高く、かつ満足度の評価点が低いもので、両者の差が大きい項目）の上位をみると、《17.生活を支える社会保障》（満足度48.6点、重要度70.1点、差21.5点）、《19.病院・医院・救急医療などの医療環境》（満足度57.4点、重要度78.0点、差20.6点）となっている。

11. 子どもを育てる環境【満足度】



11. 子どもを育てる環境【重要度】

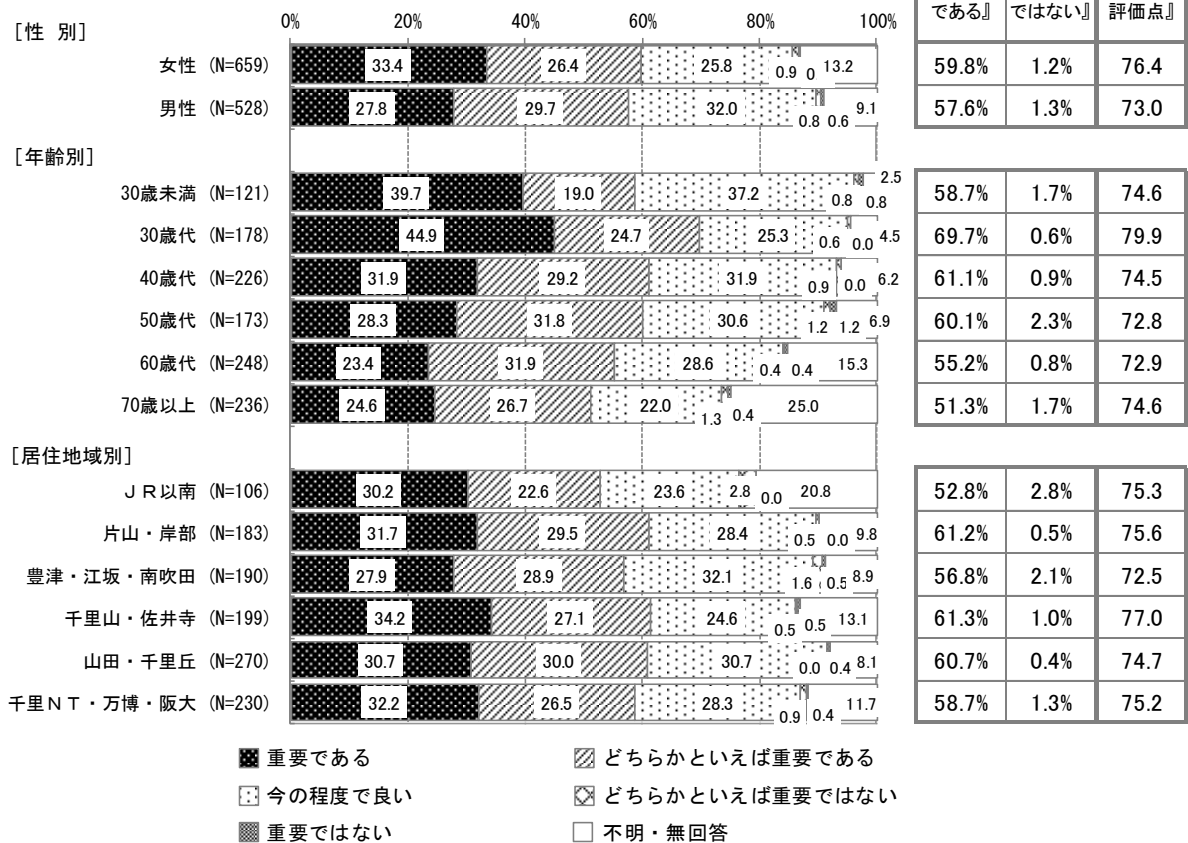
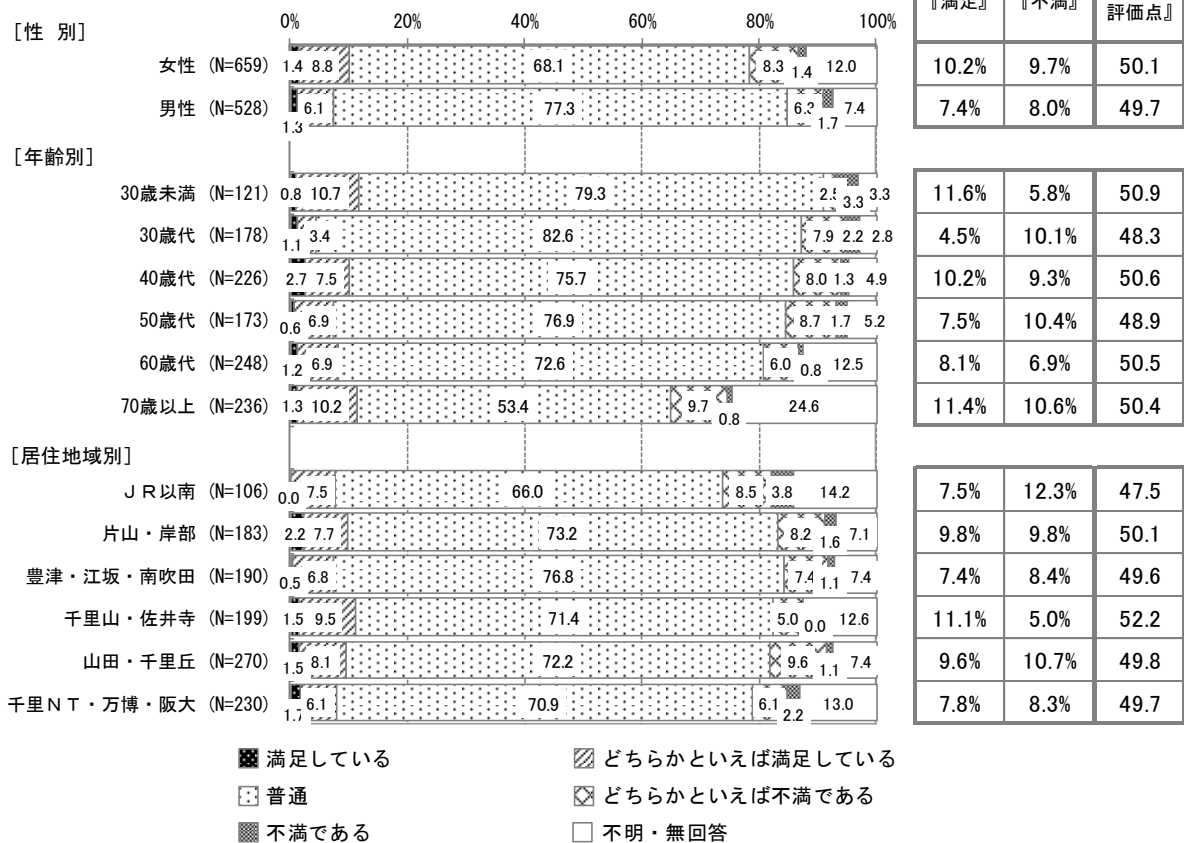


図 3.9.37 性別・年齢別・居住地域別 暮らし・健康についての満足度・重要度①

12. 虐待防止、ひとり親家庭への支援 【満足度】



12. 虐待防止、ひとり親家庭への支援 【重要度】

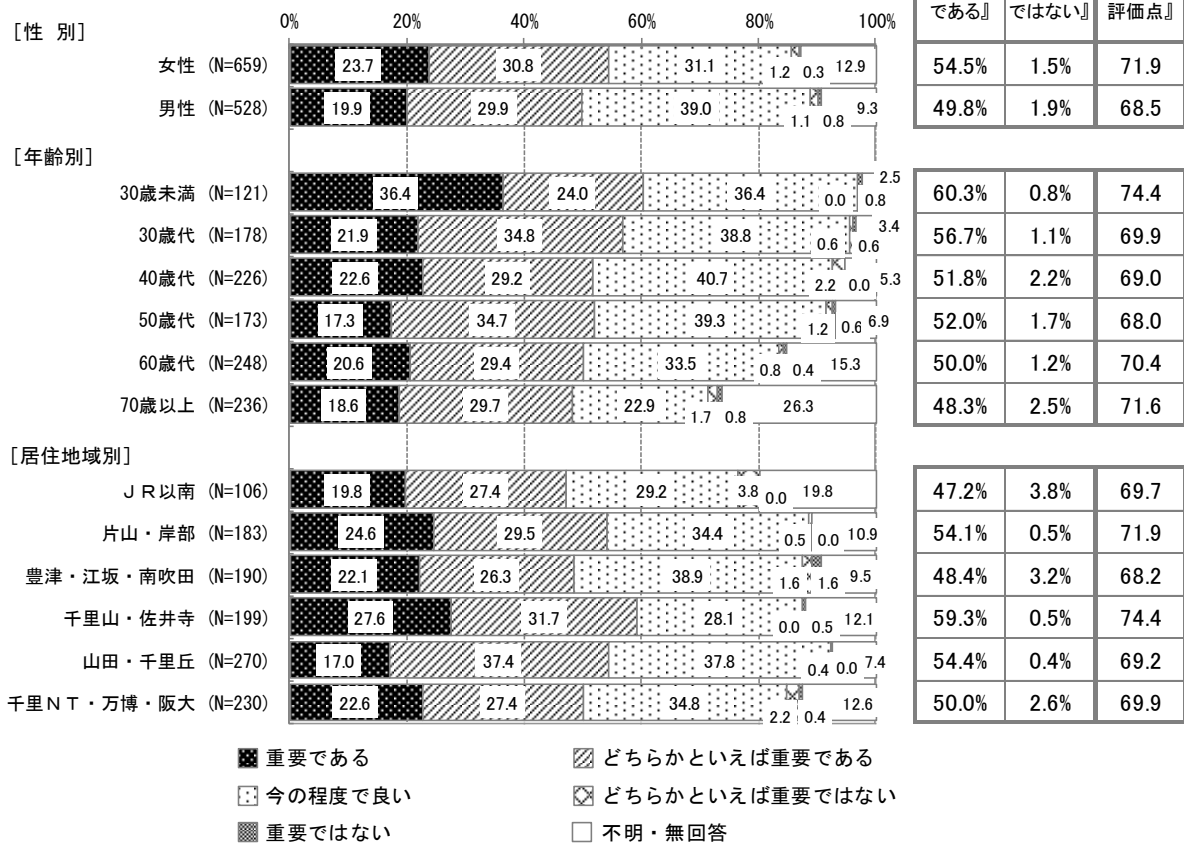
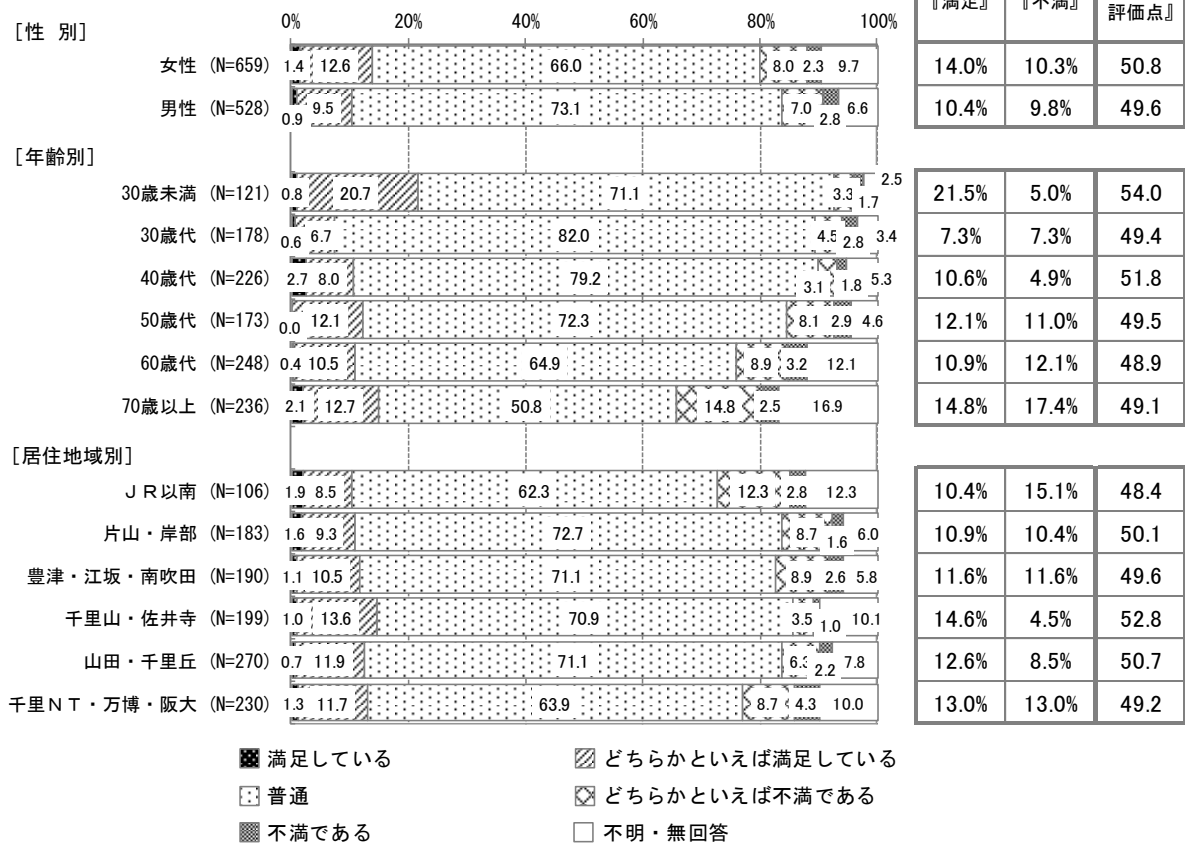


図 3.9.38 性別・年齢別・居住地域別 暮らし・健康についての満足度・重要度②

13. 高齢者の生きがいづくりの推進 【満足度】



13. 高齢者の生きがいづくりの推進 【重要度】

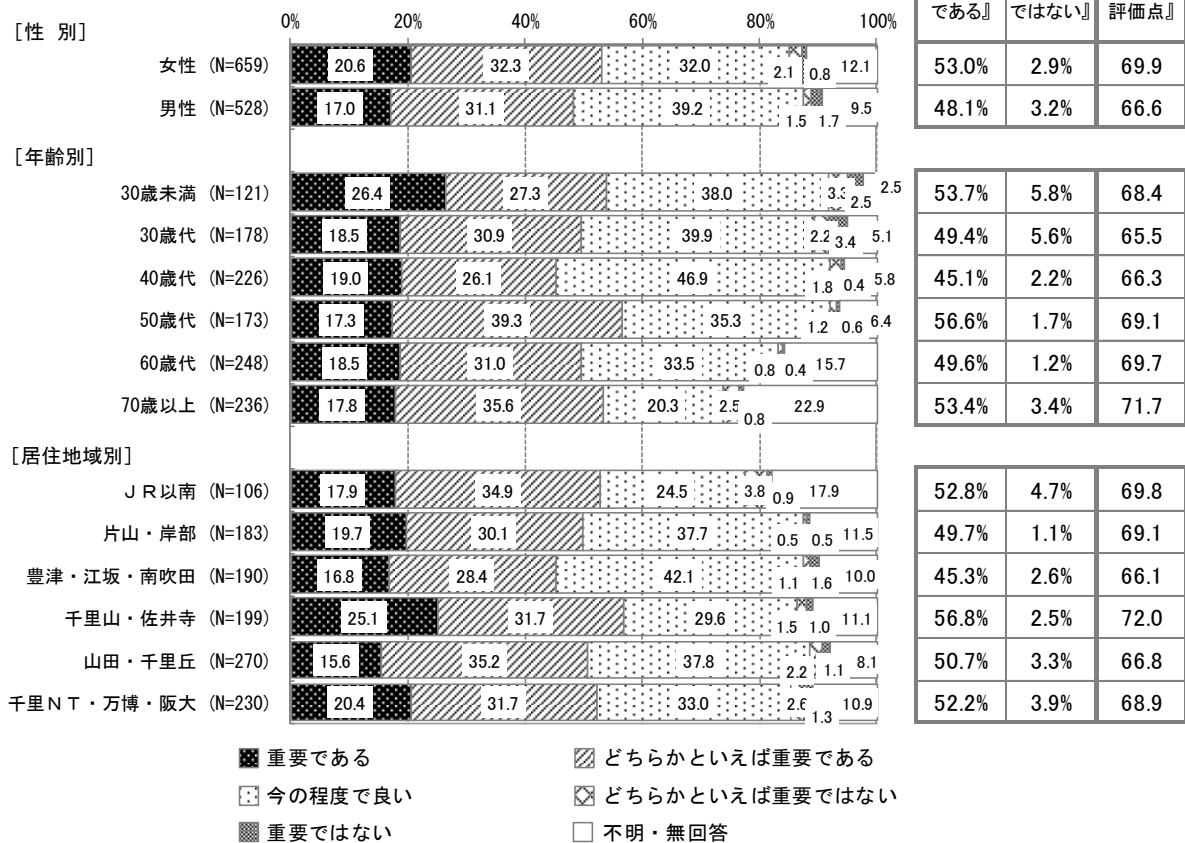
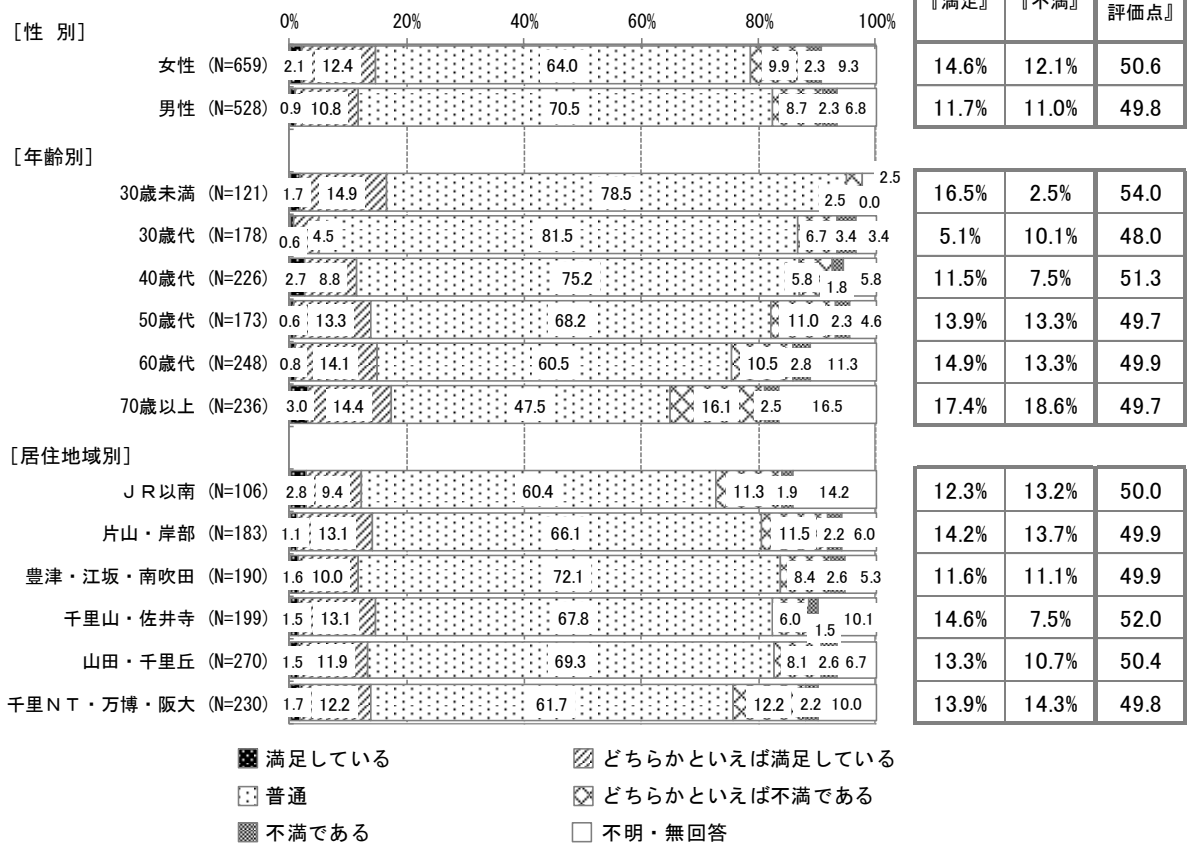


図 3.9.39 性別・年齢別・居住地域別 暮らし・健康についての満足度・重要度③



14. 高齢期の健康づくり・介護予防・生活支援 【満足度】



14. 高齢期の健康づくり・介護予防・生活支援 【重要度】

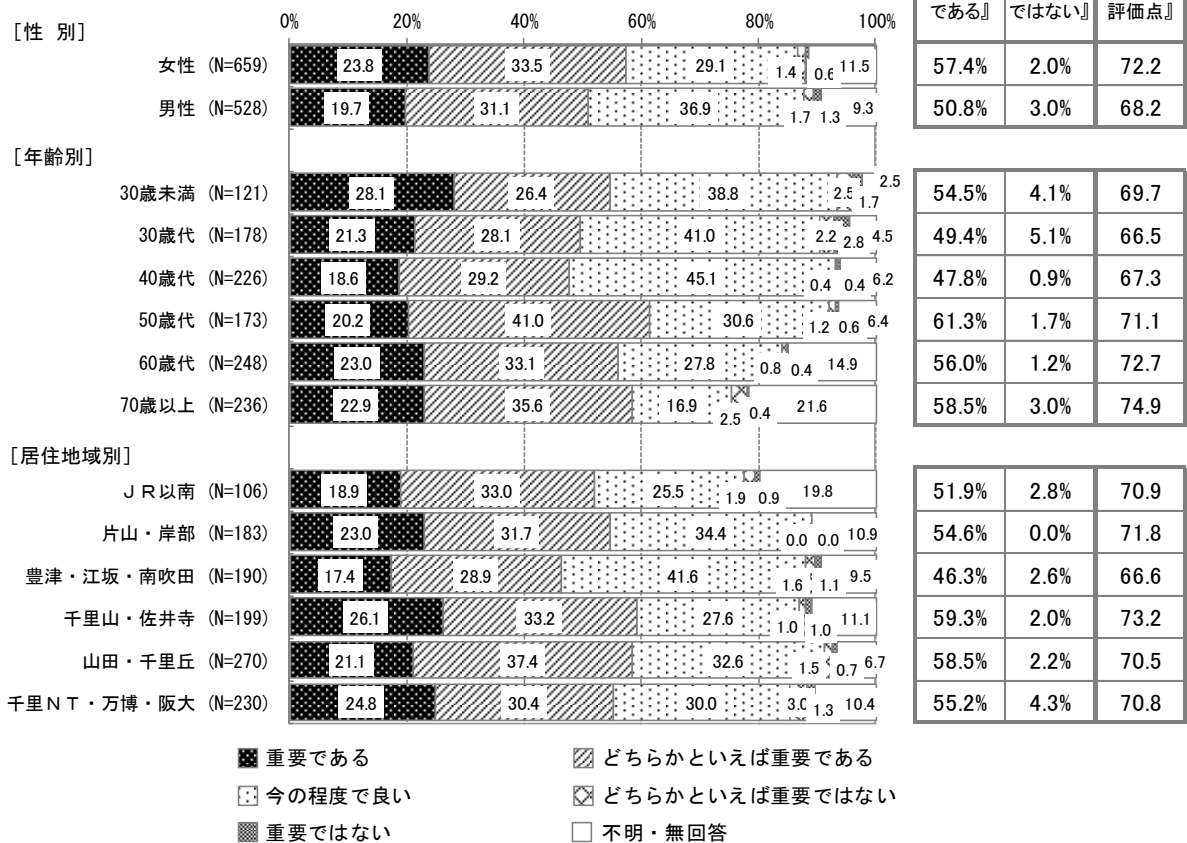
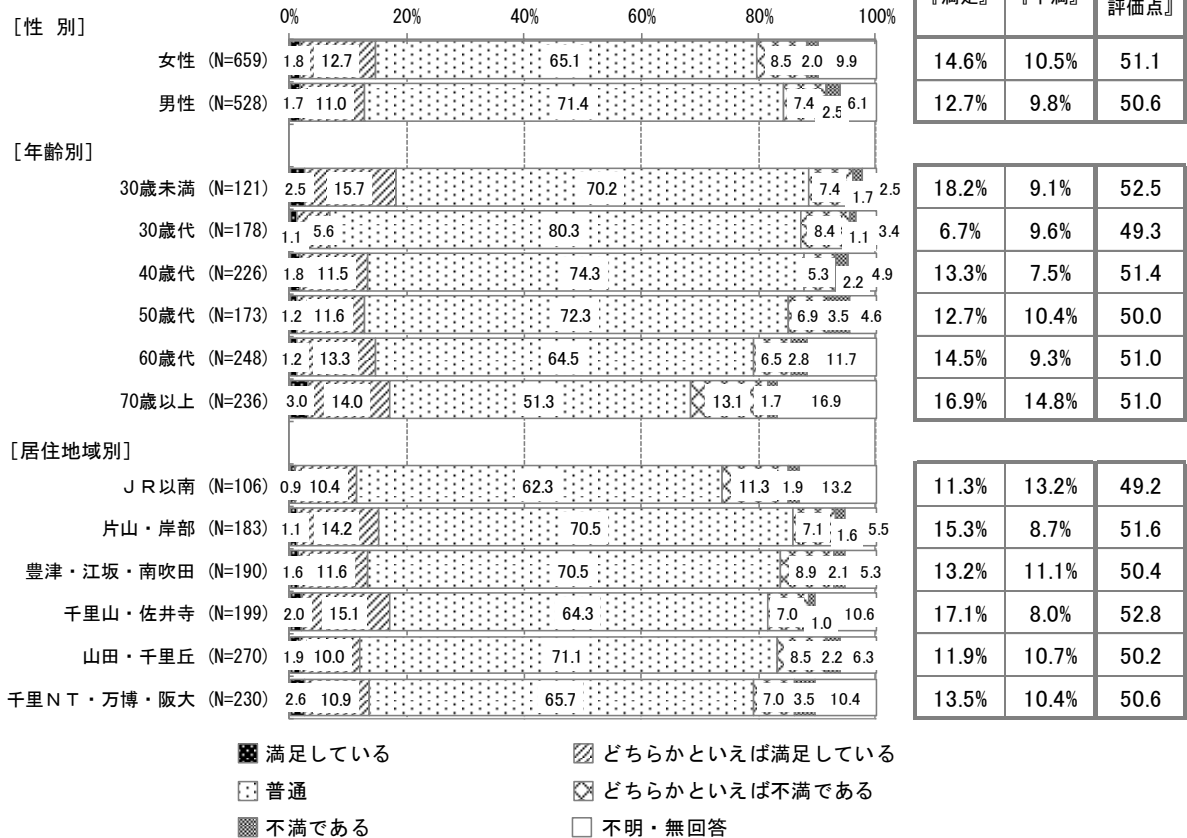


図 3.9.40 性別・年齢別・居住地域別 暮らし・健康についての満足度・重要度④

15. 障がい者を支える福祉・保健・医療サービス 【満足度】



15. 障がい者を支える福祉・保健・医療サービス 【重要度】

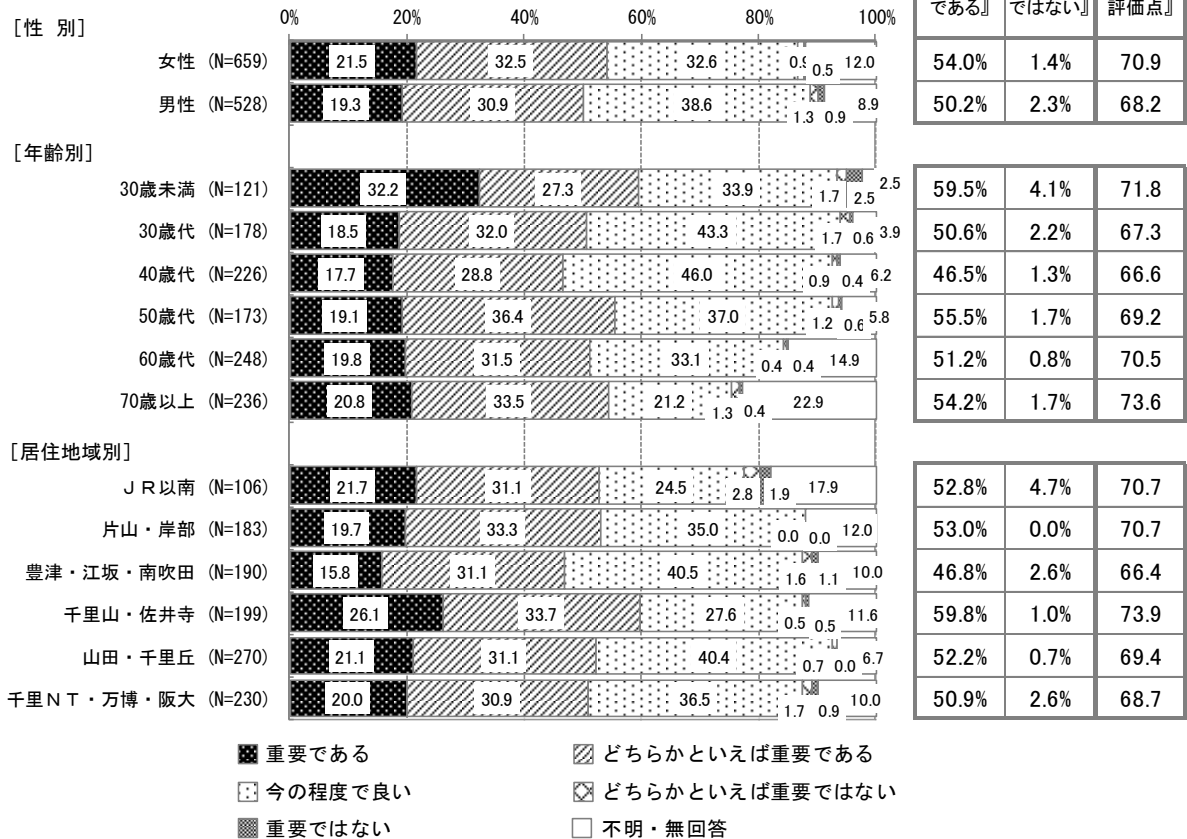
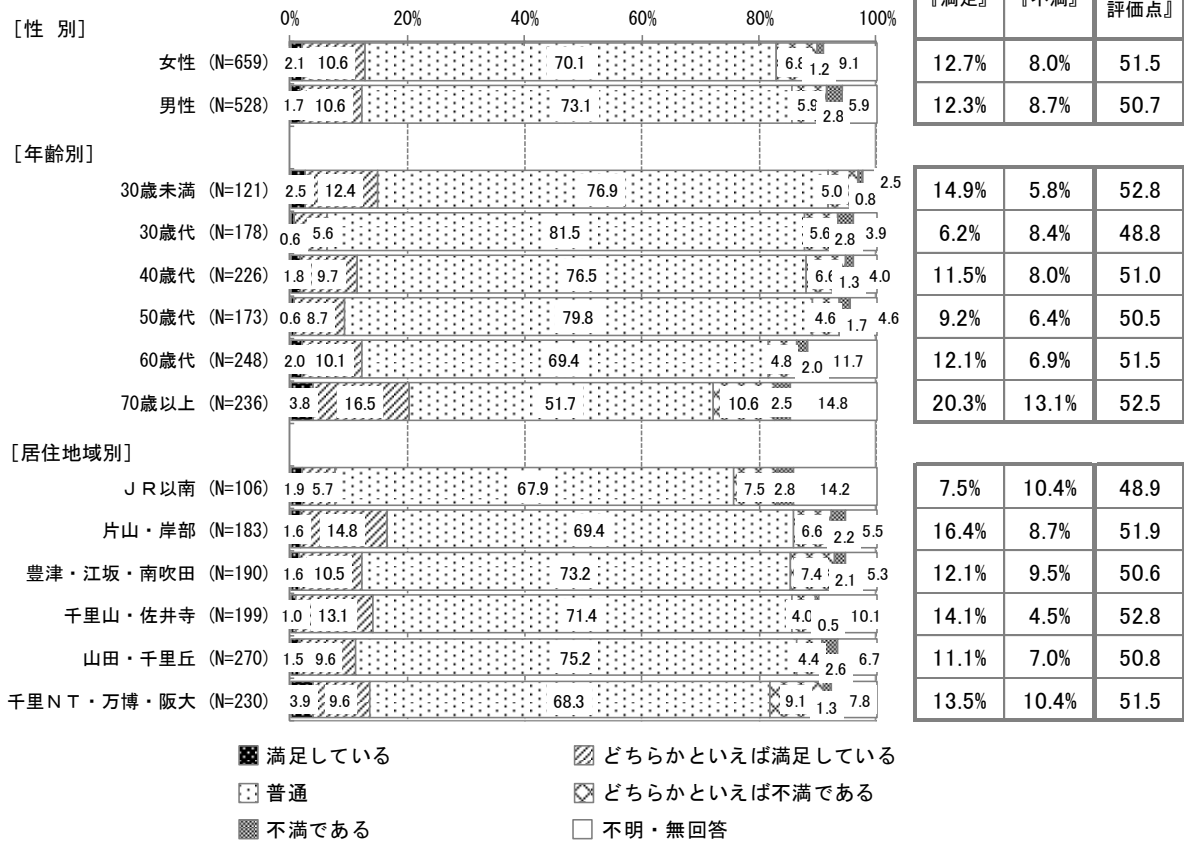


図 3.9.41 性別・年齢別・居住地域別 暮らし・健康についての満足度・重要度⑤

16. 住み慣れた地域での生活を支える地域福祉 【満足度】



16. 住み慣れた地域での生活を支える地域福祉 【重要度】

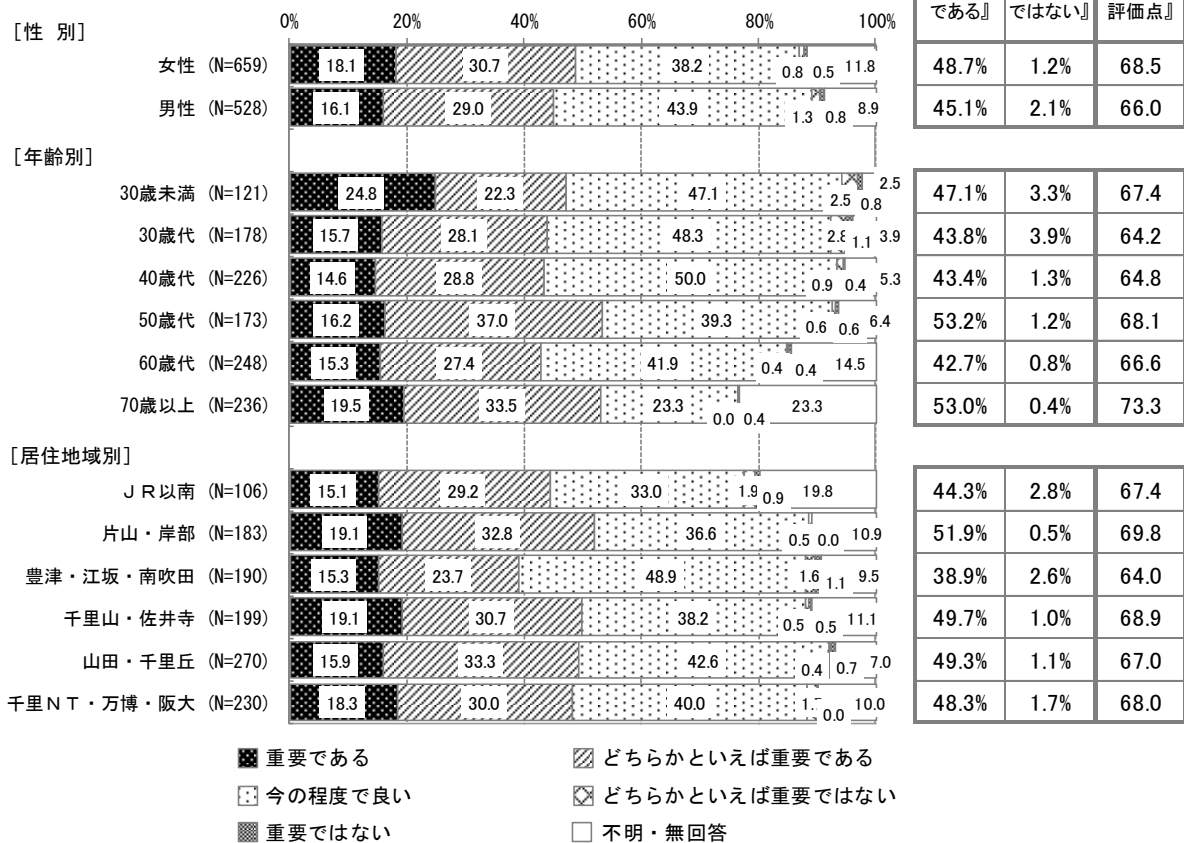
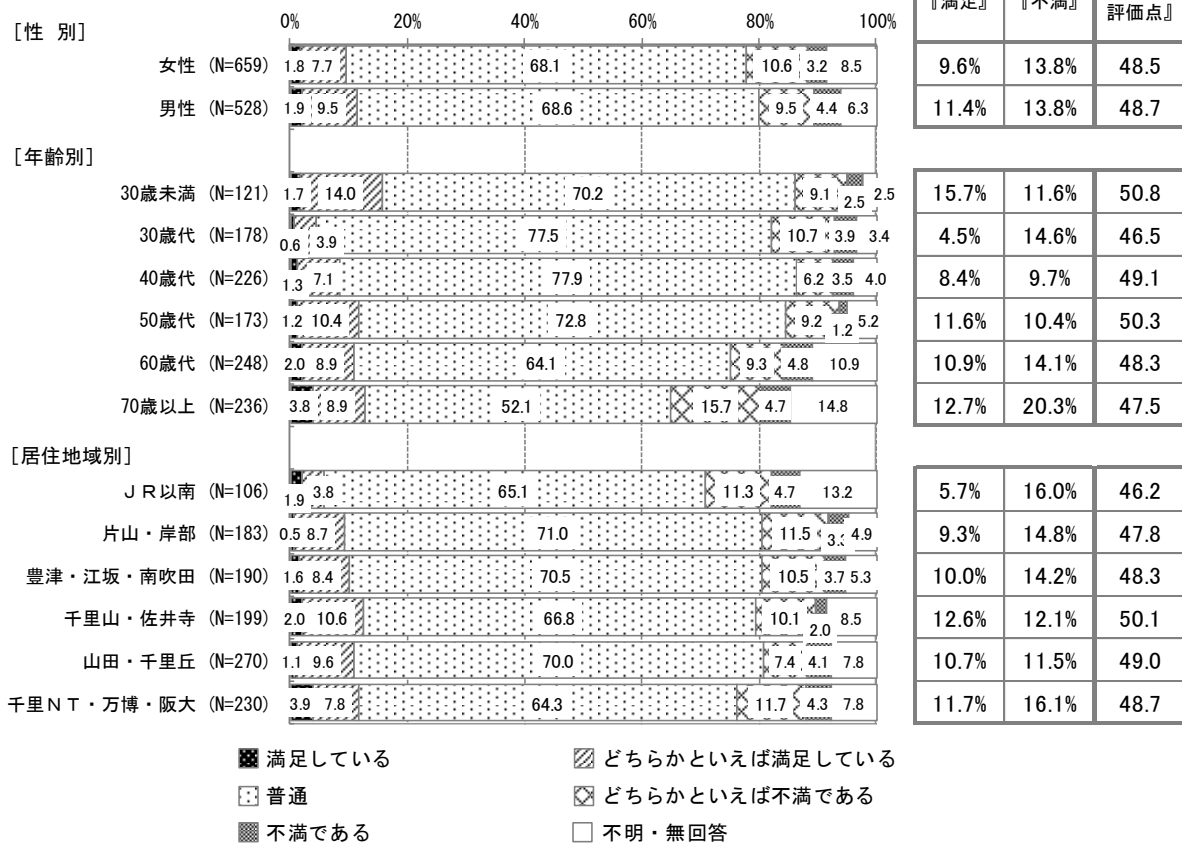


図 3.9.42 性別・年齢別・居住地域別 暮らし・健康についての満足度・重要度⑥

17. 生活を支える社会保障 【満足度】



17. 生活を支える社会保障 【重要度】

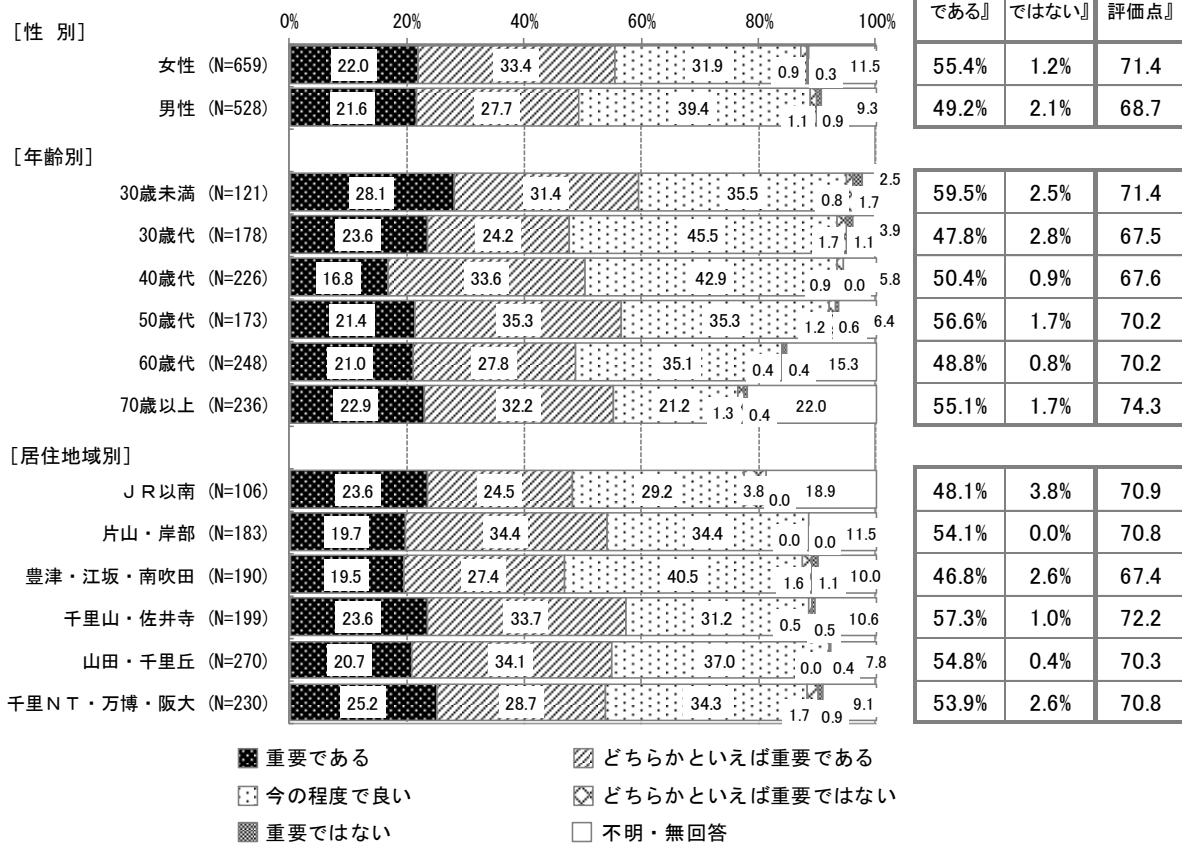
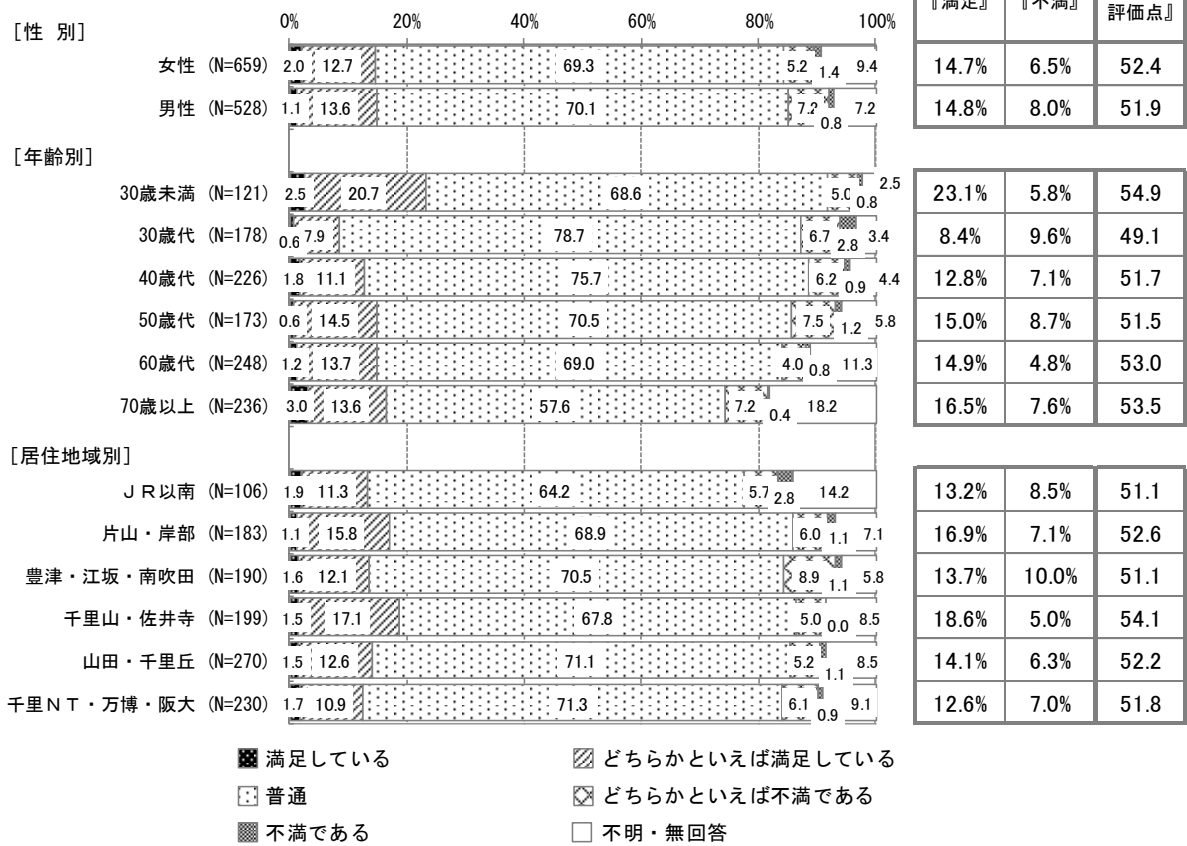


図 3.9.43 性別・年齢別・居住地域別 暮らし・健康についての満足度・重要度⑦

18. 保健事業や健康づくりの推進 【満足度】



18. 保健事業や健康づくりの推進 【重要度】

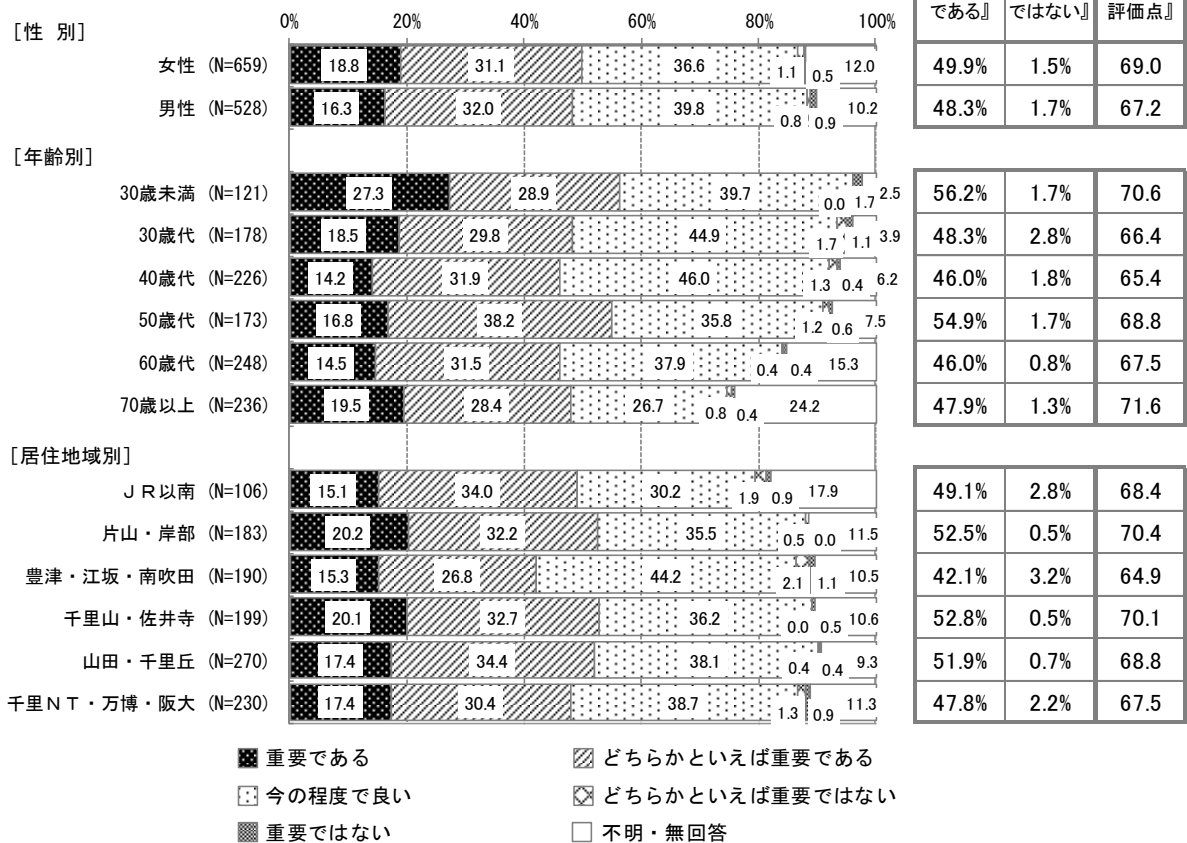
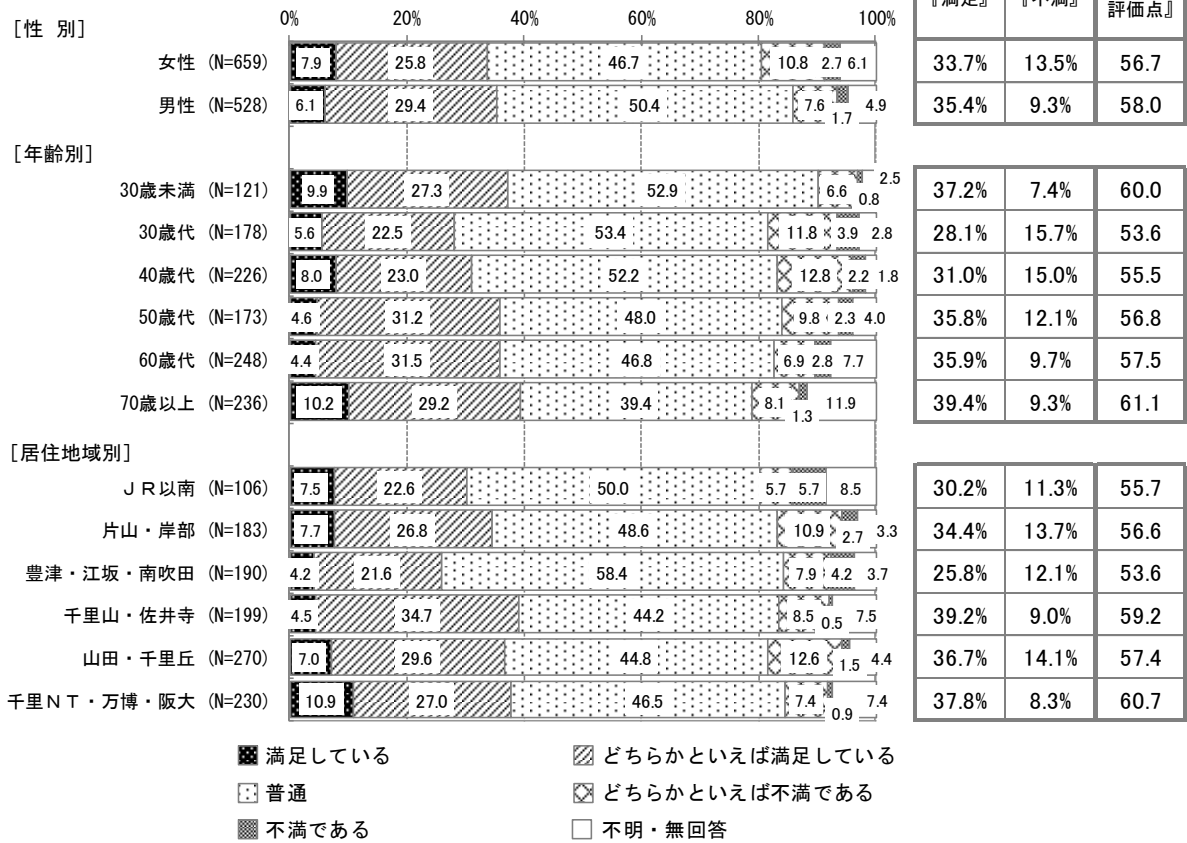


図 3.9.44 性別・年齢別・居住地域別 暮らし・健康についての満足度・重要度⑧

19. 病院・医院・救急医療などの医療環境 【満足度】



19. 病院・医院・救急医療などの医療環境 【重要度】

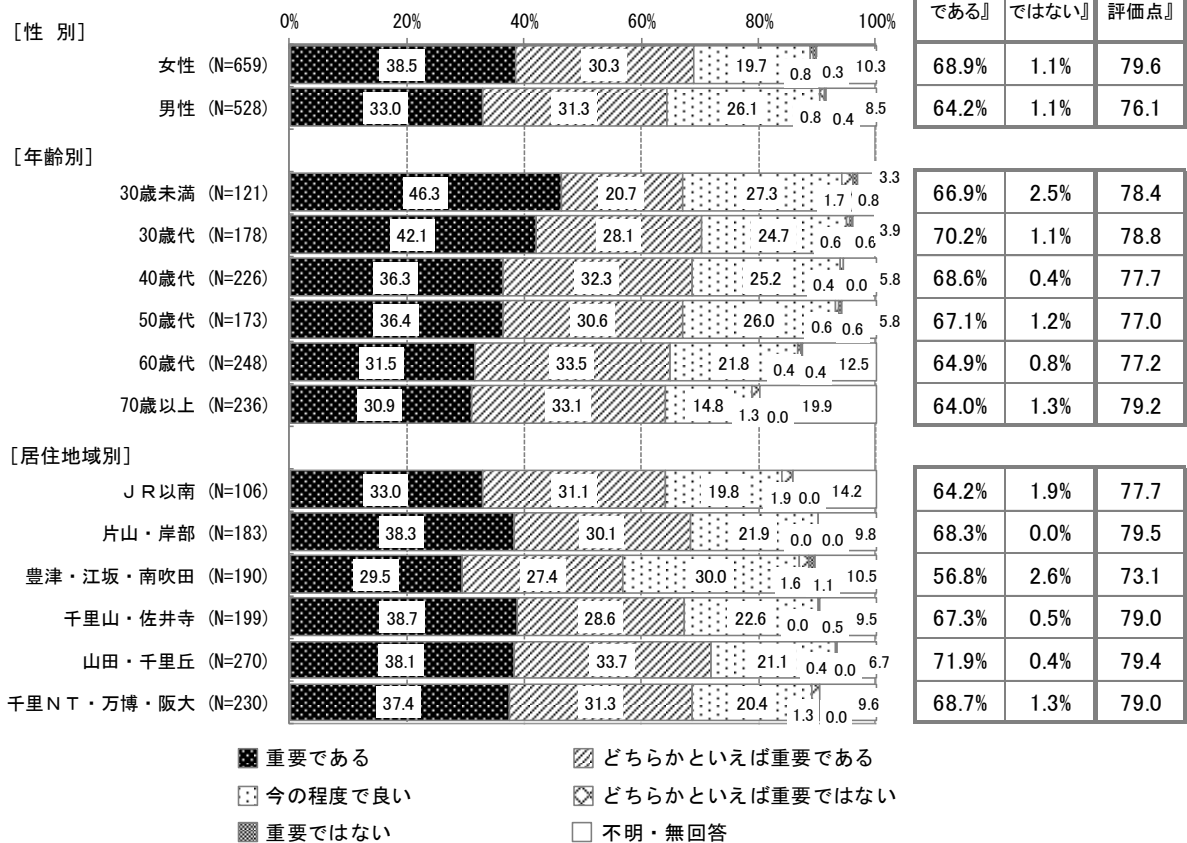
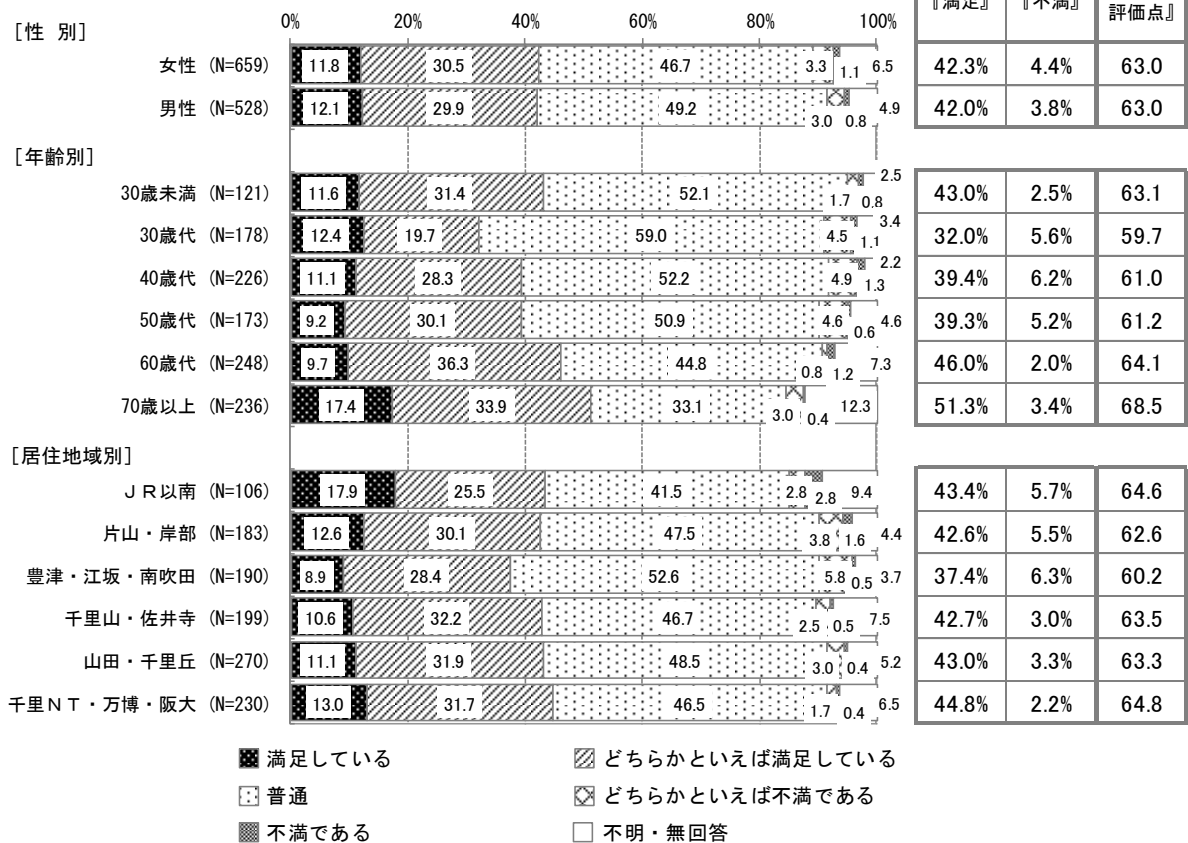


図 3.9.45 性別・年齢別・居住地域別 暮らし・健康についての満足度・重要度⑨

20. 良質な水道水の安定供給 【満足度】



20. 良質な水道水の安定供給 【重要度】

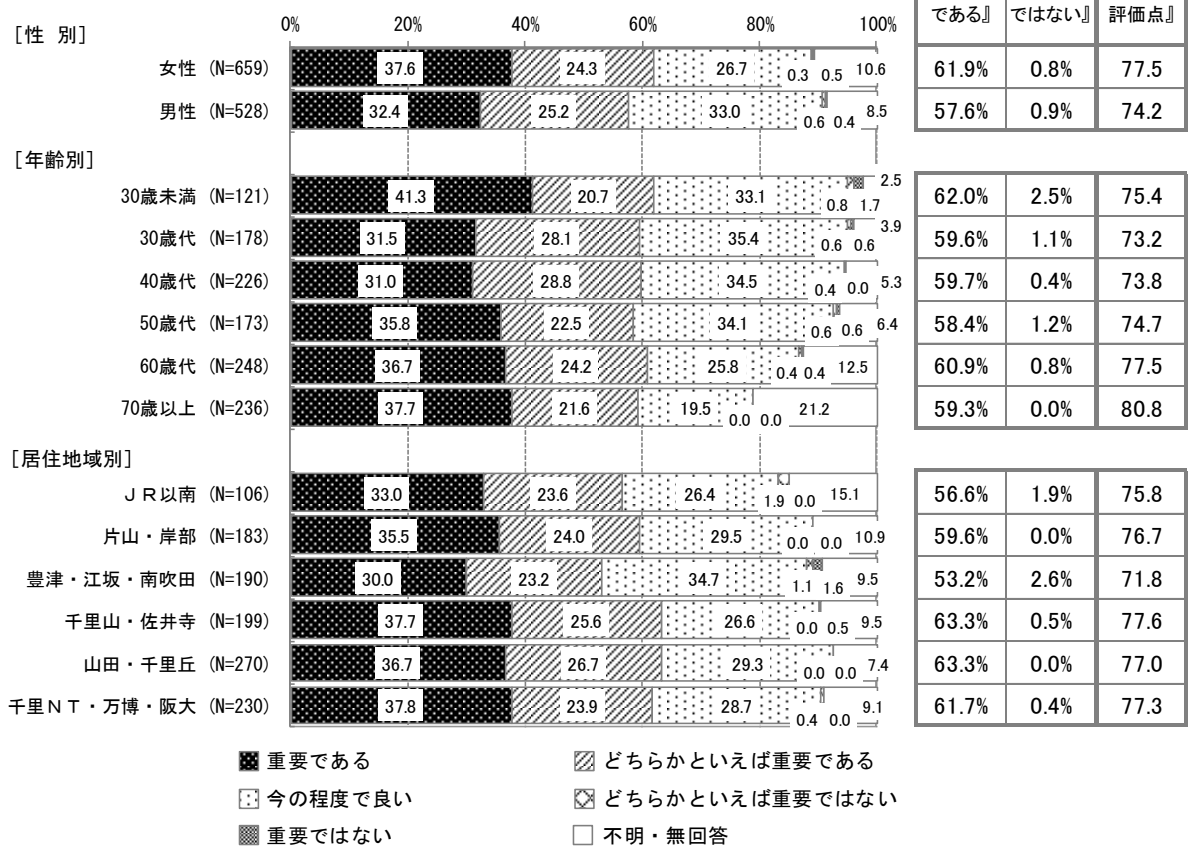
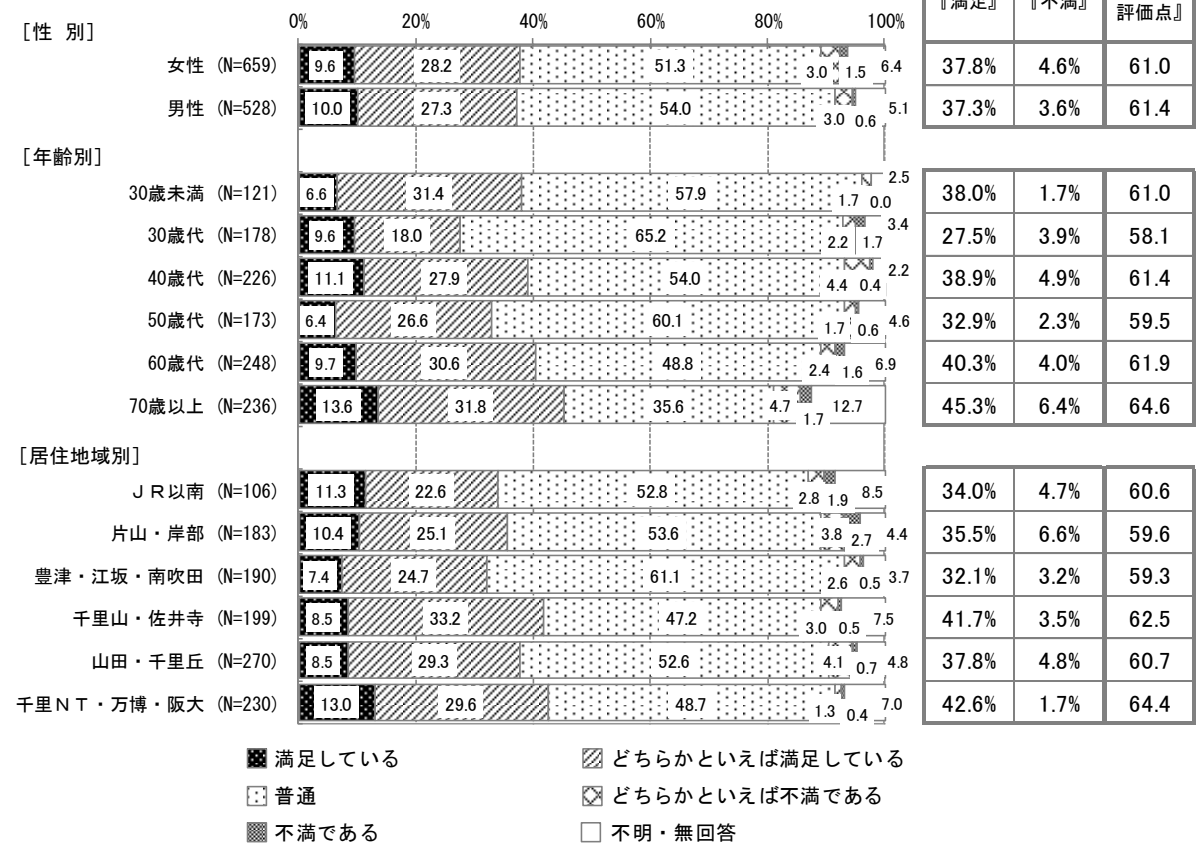


図 3.9.46 性別・年齢別・居住地域別 暮らし・健康についての満足度・重要度⑩

21. 公共下水道の整備 【満足度】



21. 公共下水道の整備 【重要度】

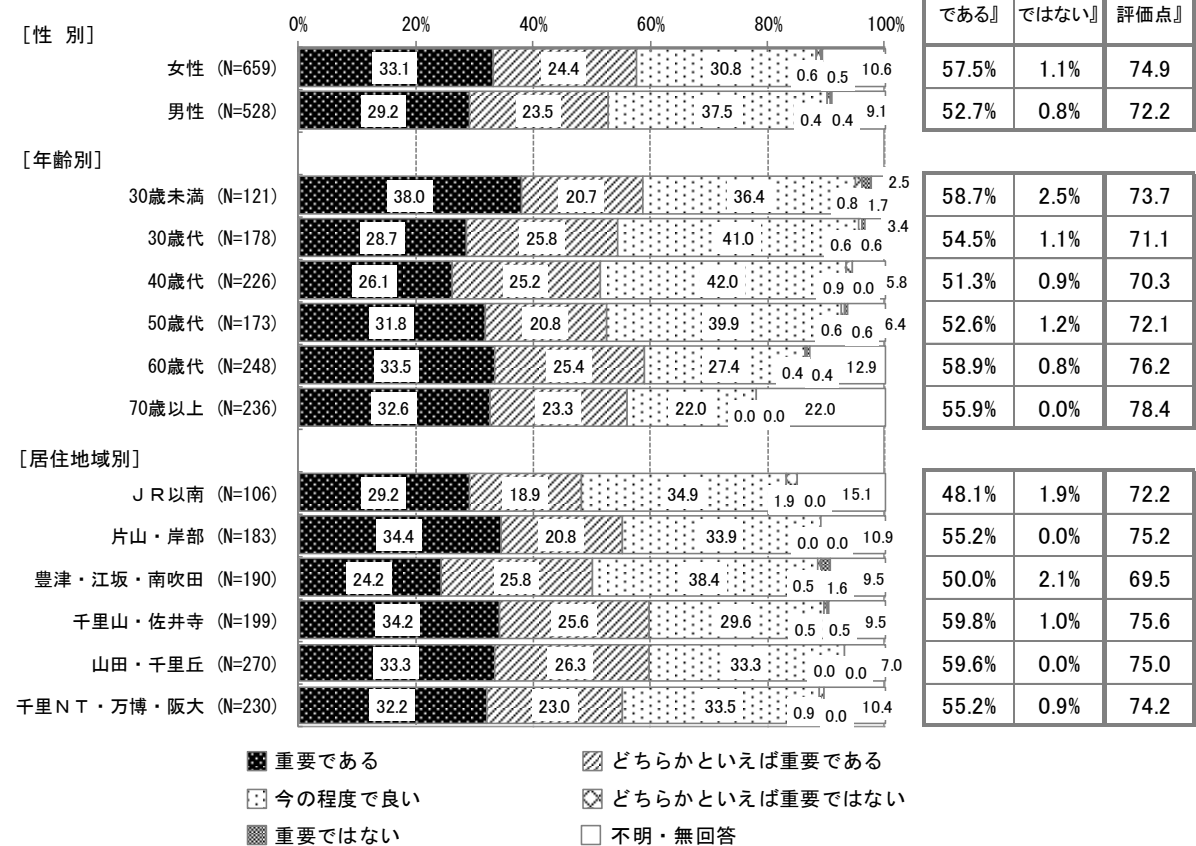
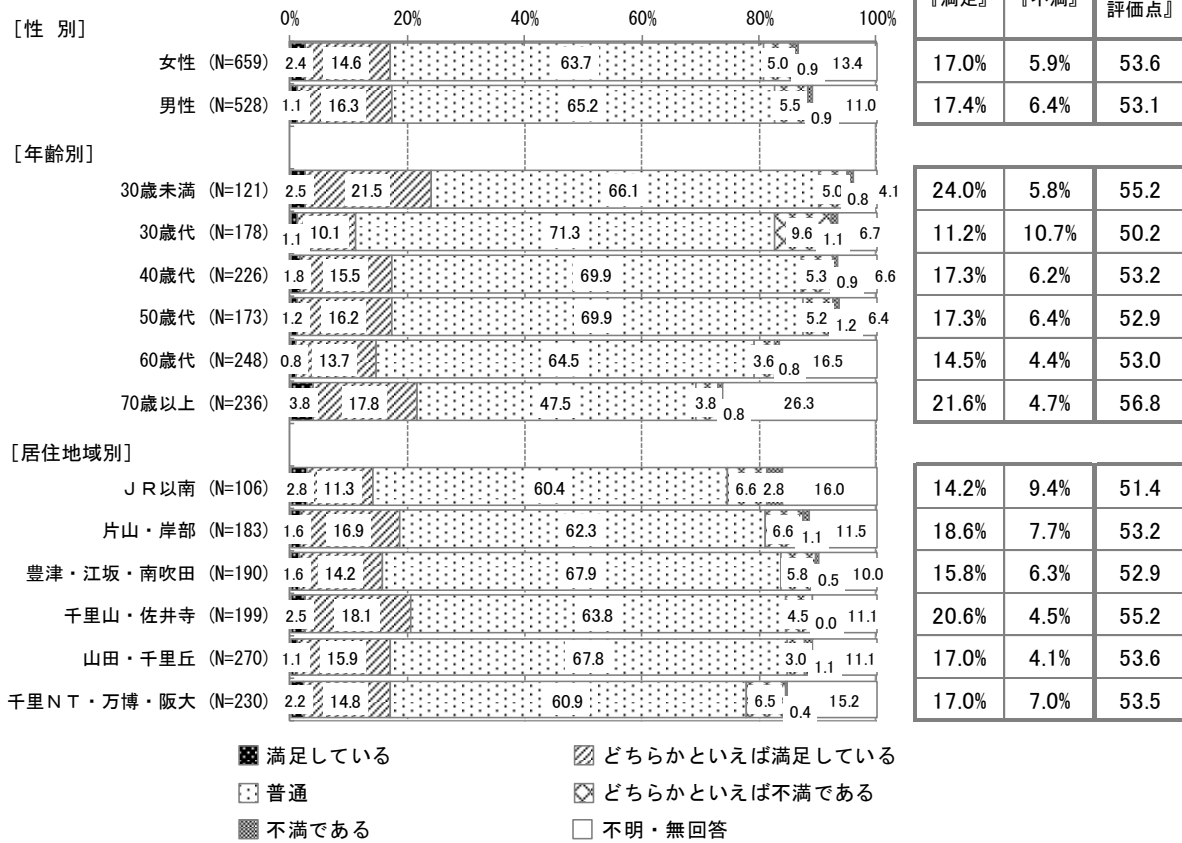


図 3.9.47 性別・年齢別・居住地域別 暮らし・健康についての満足度・重要度⑪



22. 項目11～21の総合評価【満足度】



22. 項目11～21の総合評価【重要度】

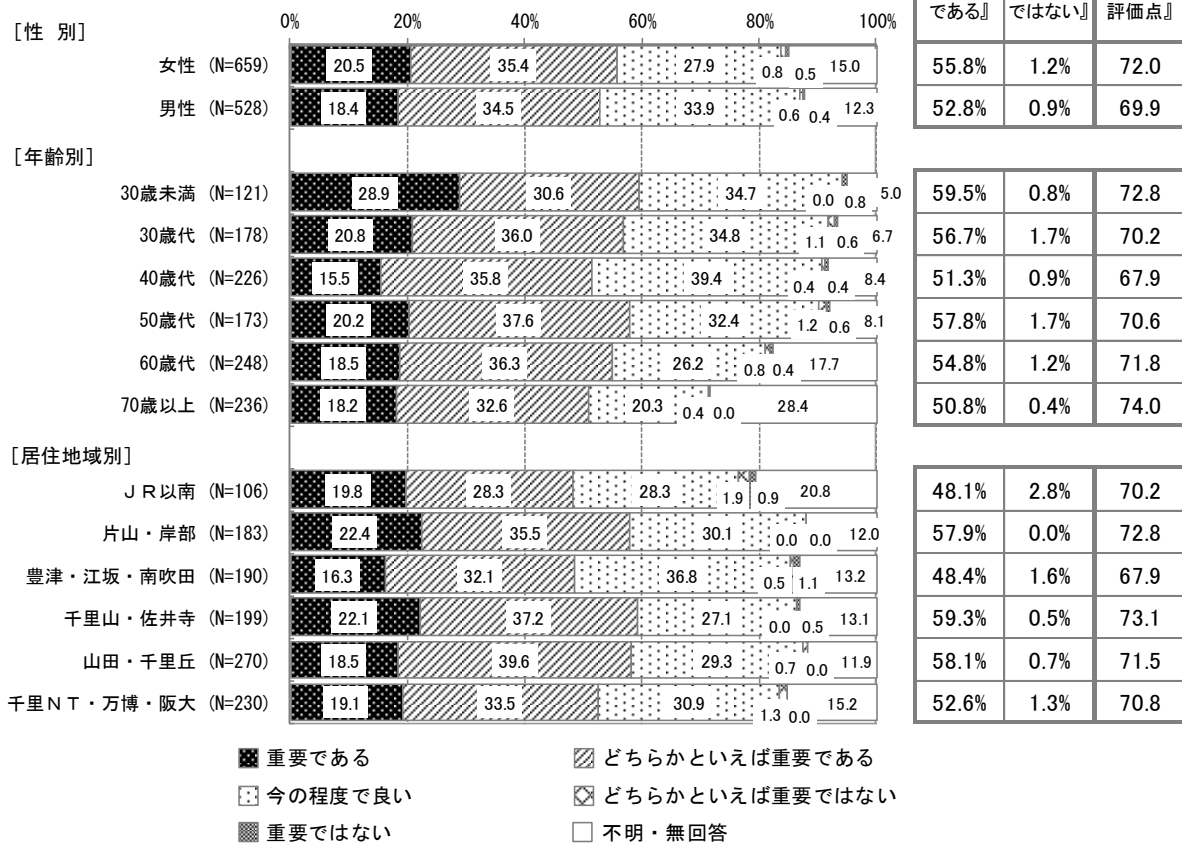


図 3.9.48 性別・年齢別・居住地域別 暮らし・健康についての満足度・重要度⑫

## (2)-4 教育・文化についての満足度・重要度

N=1,193

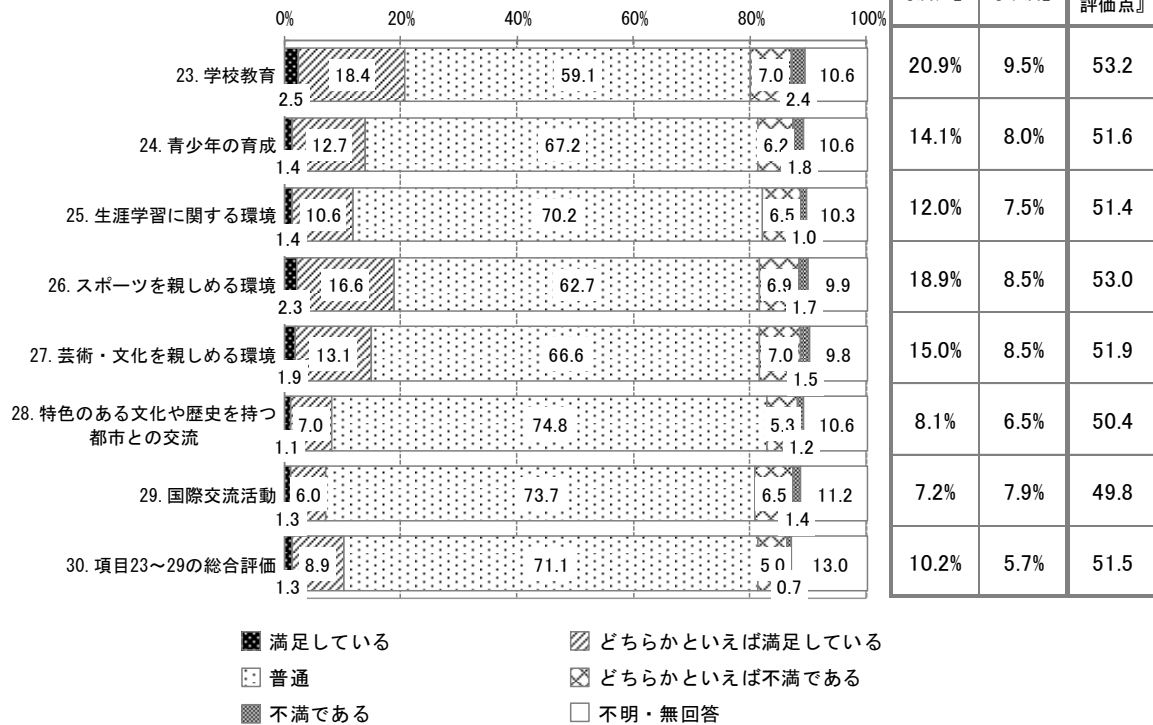


図 3.9.49 教育・文化についての満足度

N=1,193

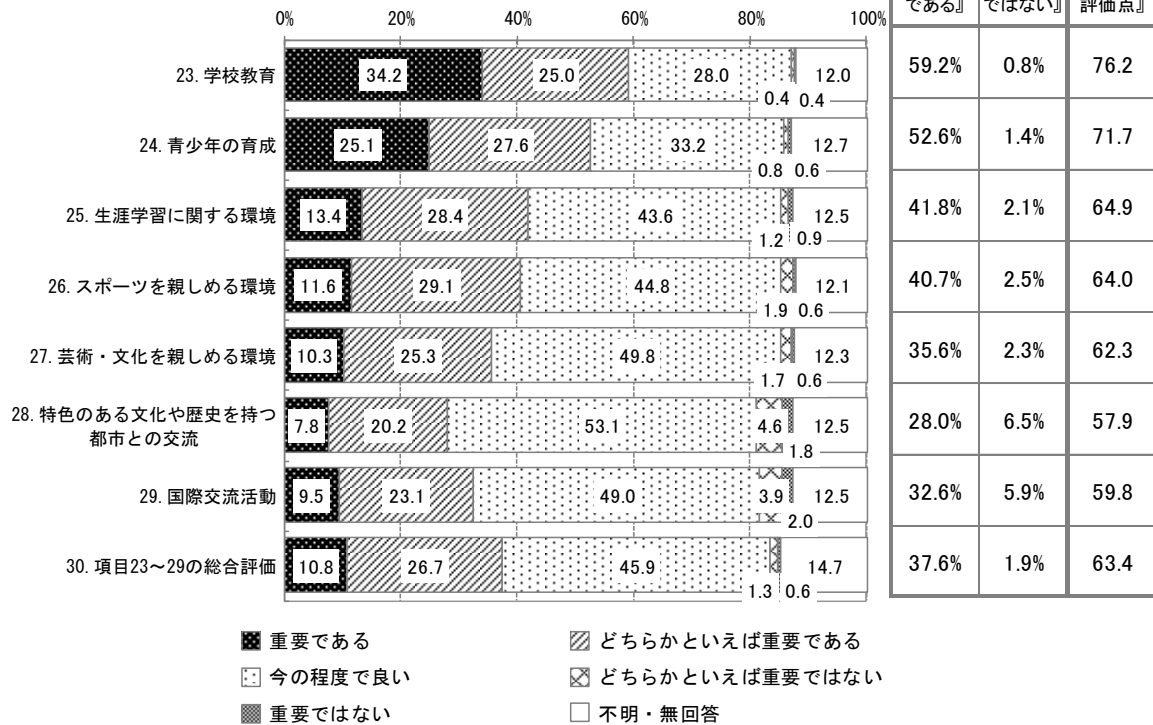


図 3.9.50 教育・文化についての重要度

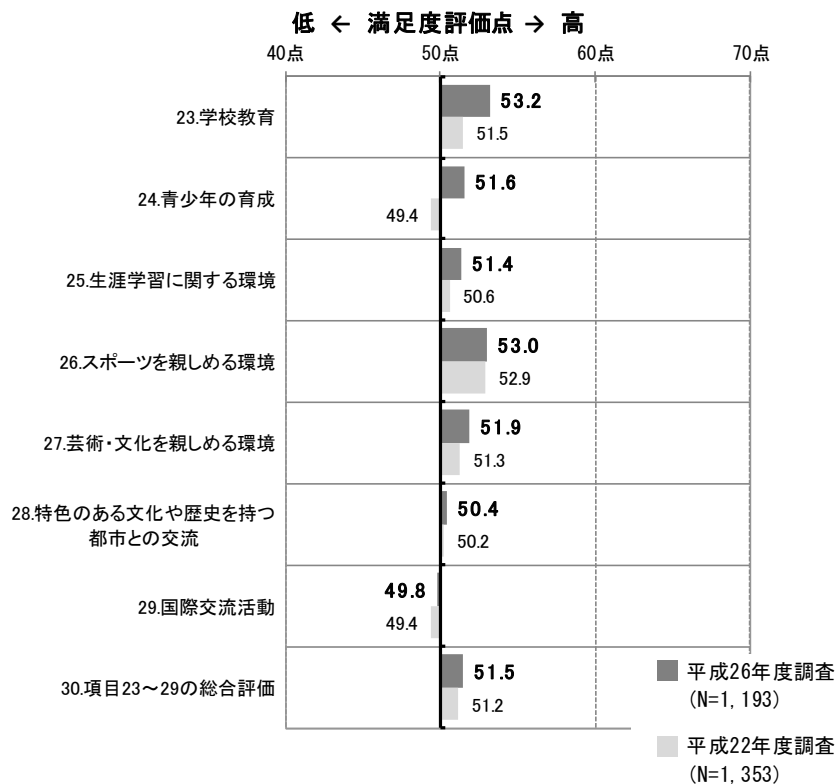


図 3.9.51 教育・文化についての満足度評価点の経年比較

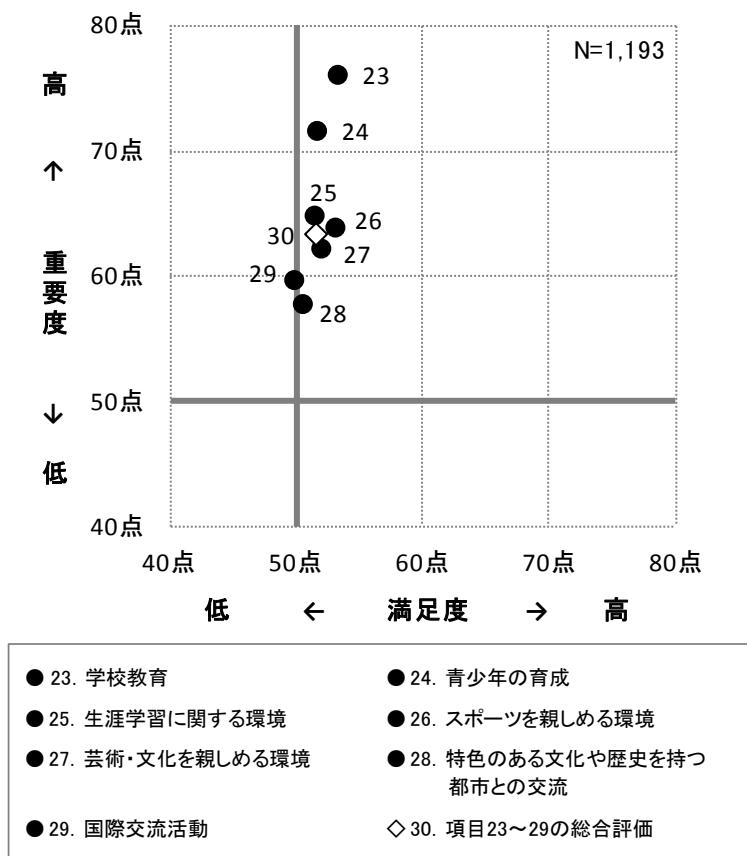


図 3.9.52 教育・文化についての満足度と重要度の関係

## ■満足度

- 教育・文化についての満足度（図3.9.49）は、全項目で「普通」が6～7割を占めている。また、ほとんどの項目で『満足』の方が『不満』に比べ割合が高い。特に、『23.学校教育』（20.9%）が他の項目と比べて高くなっている。
- 満足度の評価点は、『23.学校教育』（53.2点）が最も高く、次いで、『26.スポーツを親しめる環境』（53.0点）となっている。一方、『29.国際交流活動』（49.8点）が最も低く、50点未満となっている。
- 平成22年度と比較（図3.9.51）すると、全ての項目で平成22年度よりも高くなっている。特に、『24.青少年の育成』、『23.学校教育』で評価点が上がっている。
- 性別に評価点（図3.9.53～図3.9.60）をみると、全項目で男性よりも女性の方が高く、特に『27.芸術・文化を親しめる環境』、『24.青少年の育成』、『26.スポーツを親しめる環境』の差が大きくなっている。
- 年齢別に評価点をみると、『24.青少年の育成』、『25.生涯学習に関する環境』は30歳未満、『28.特色のある文化や歴史を持つ都市との交流』、『29.国際交流活動』は60歳代、それ以外の項目は70歳以上が最も高くなっている。
- 居住地域別に評価点をみると、全項目で千里山・佐井寺地域が最も高くなっている。また、『23.学校教育』（千里山・佐井寺地域56.2点、JR以南地域48.3点）、『25.生涯学習に関する環境』（千里山・佐井寺地域54.8点、JR以南地域48.1点）などは地域による差が大きくなっている。

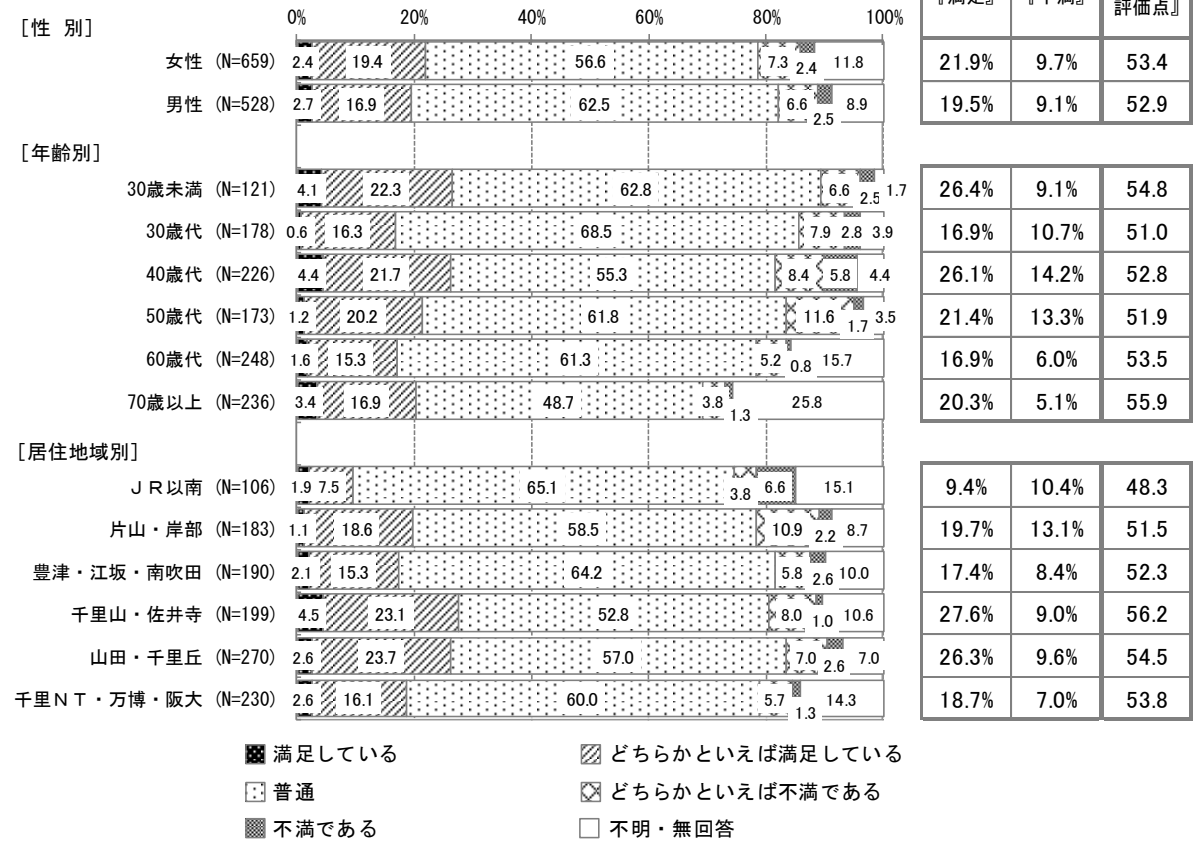
## ■重要度

- 教育・文化についての重要度（図3.9.50）は、全項目で『重要である』の方が『重要ではない』に比べ割合が高い。特に、『23.学校教育』（59.2%）、『24.青少年の育成』（52.6%）が他の項目と比べて高くなっている。
- 重要度の評価点は、『23.学校教育』（76.2点）が最も多く、次いで、『24.青少年の育成』（71.7点）が70点以上となっている。
- 性別に評価点（図3.9.53～図3.9.60）をみると、男女ともに『23.学校教育』が最も高く、次いで、『24.青少年の育成』となっている。また、全項目で男性より女性の方が評価点が高く、特に『23.学校教育』（女性78.0点、男性73.9点）、『29.国際交流活動』（女性61.6点、男性57.5点）は男女差が大きくなっている。
- 年齢別に評価点をみると、全項目で70歳以上が最も高くなっている。
- 居住地域別に評価点をみると、『23.学校教育』は山田・千里丘地域、『28.特色のある文化や歴史を持つ都市との交流』は片山・岸部地域、それ以外の項目は千里山・佐井寺地域が最も高くなっている。

## ■満足度と重要度の関係

- 満足度と重要度の関係（図3.9.52）について、重要と考えながら満足度が相対的にみて低い項目（重要度評価点が高く、かつ満足度の評価点が低いもので、両者の差が大きい項目）の上位をみると、『23.学校教育』（満足度53.2点、重要度76.2点、差23.0点）、『24.青少年の育成』（満足度51.6点、重要度71.7点、差20.1点）となっている。

23. 学校教育【満足度】



23. 学校教育【重要度】

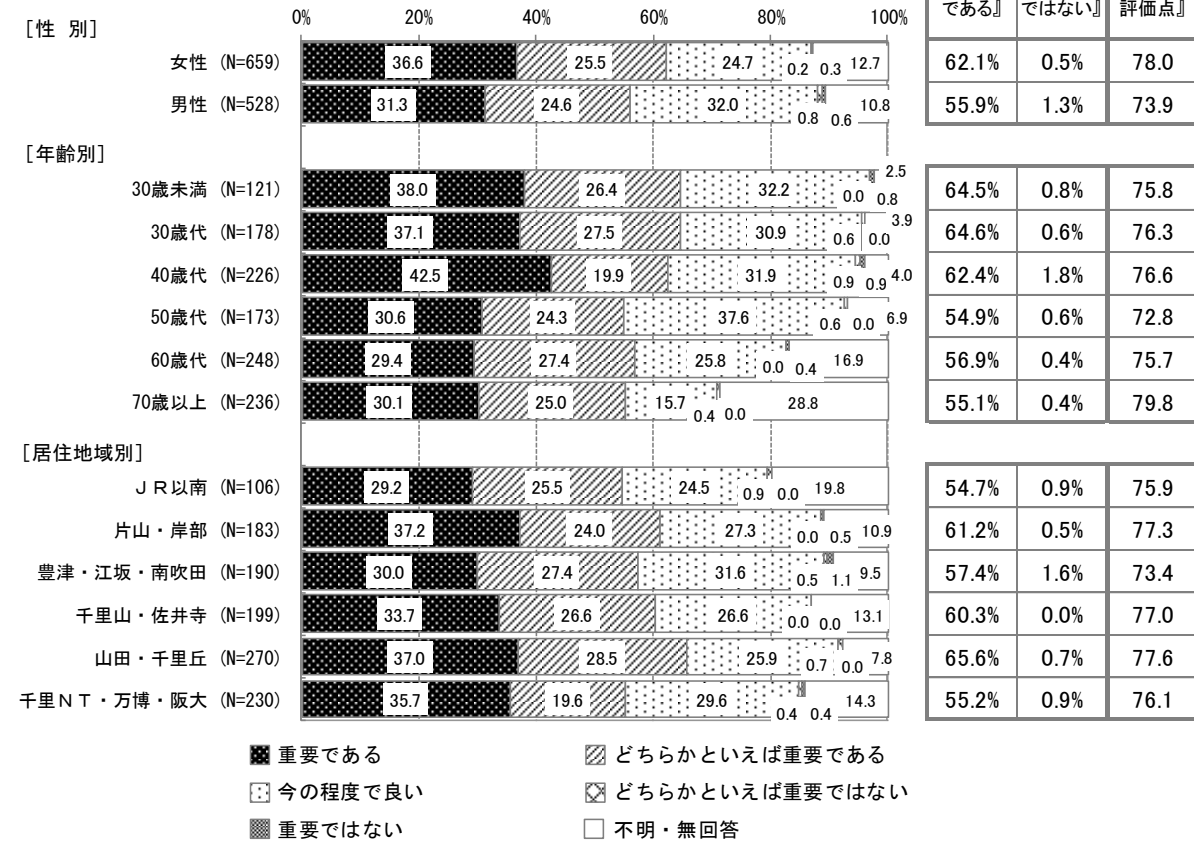
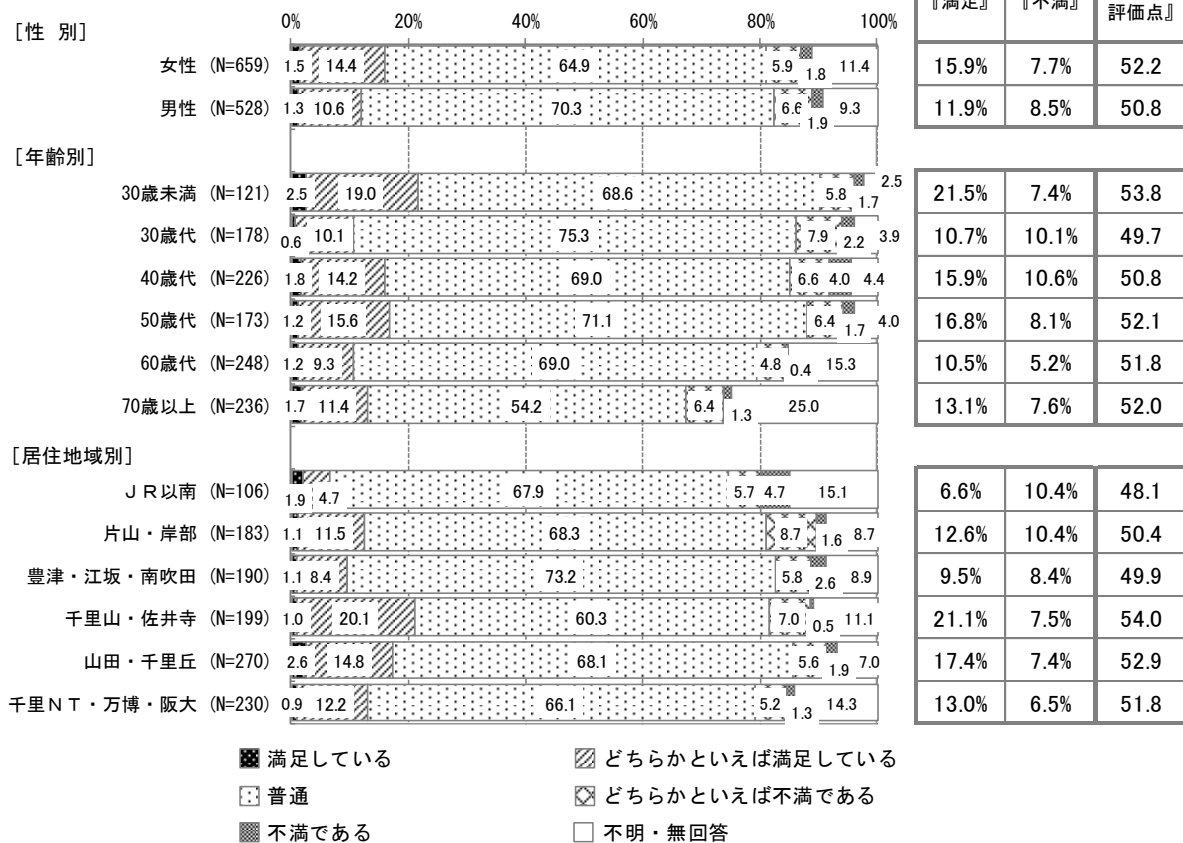


図 3.9.53 性別・年齢別・居住地域別 教育・文化についての満足度・重要度①

24. 青少年の育成【満足度】



24. 青少年の育成【重要度】

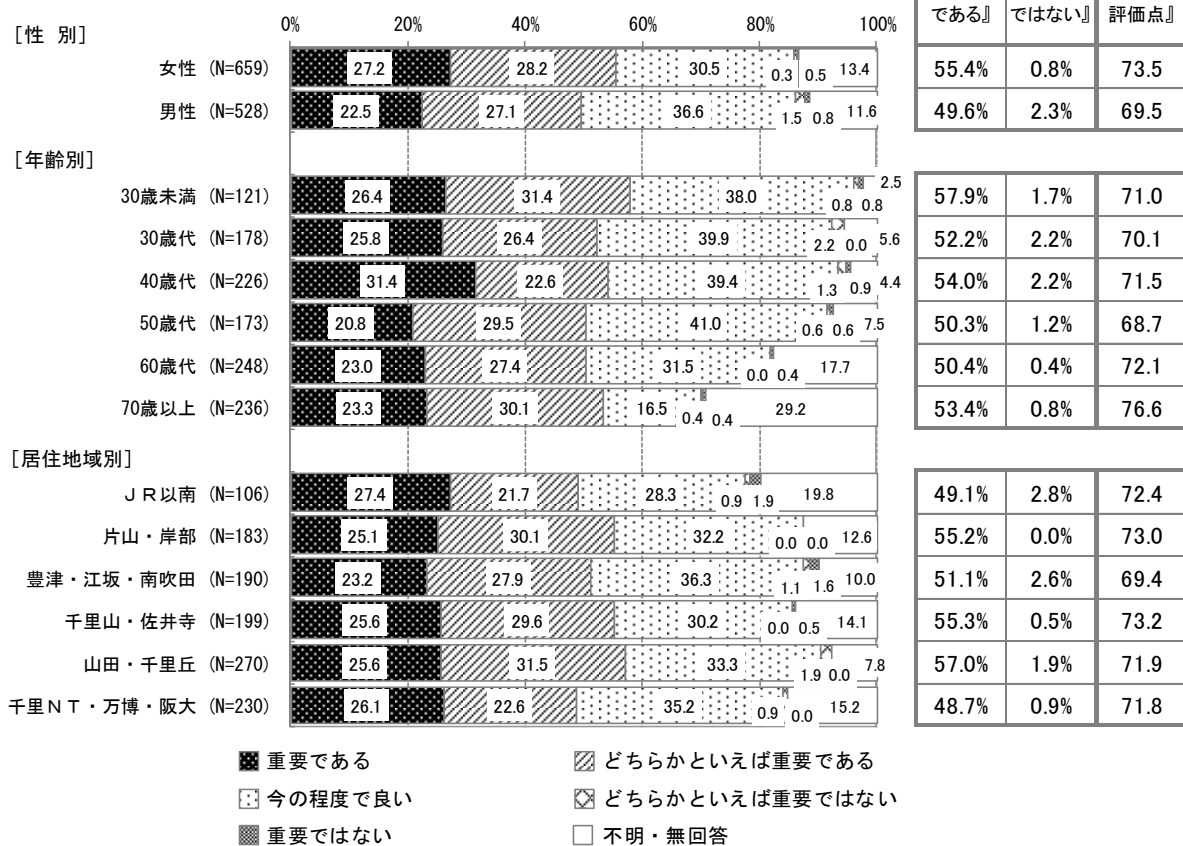
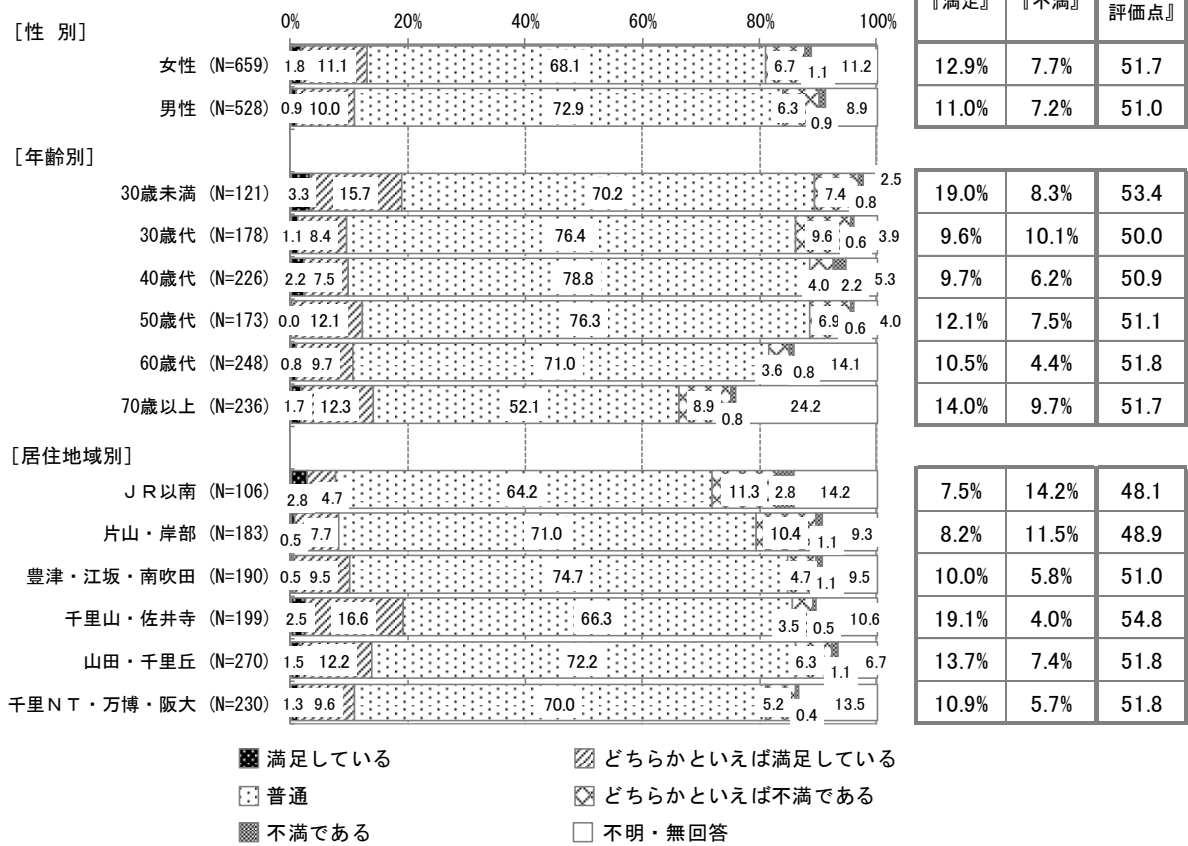


図 3.9.54 性別・年齢別・居住地域別 教育・文化についての満足度・重要度②

25. 生涯学習に関する環境 【満足度】



25. 生涯学習に関する環境 【重要度】

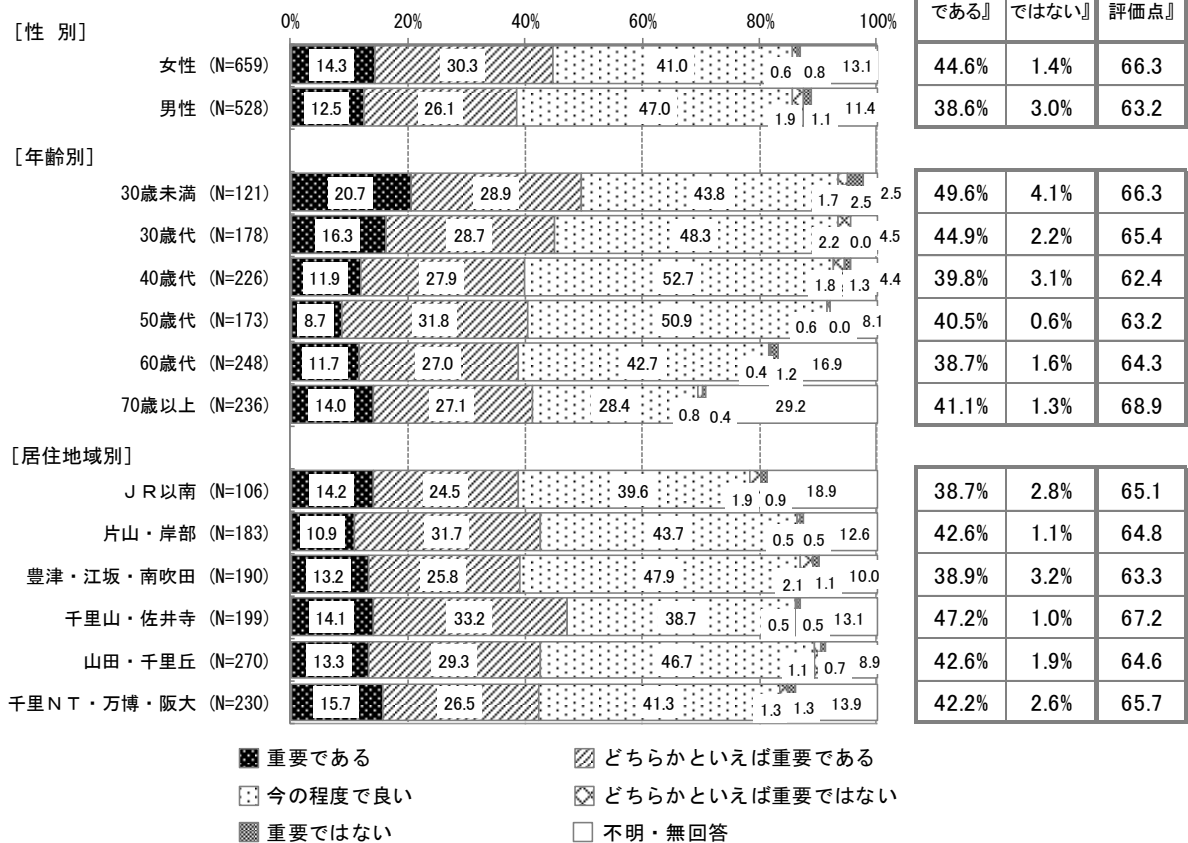
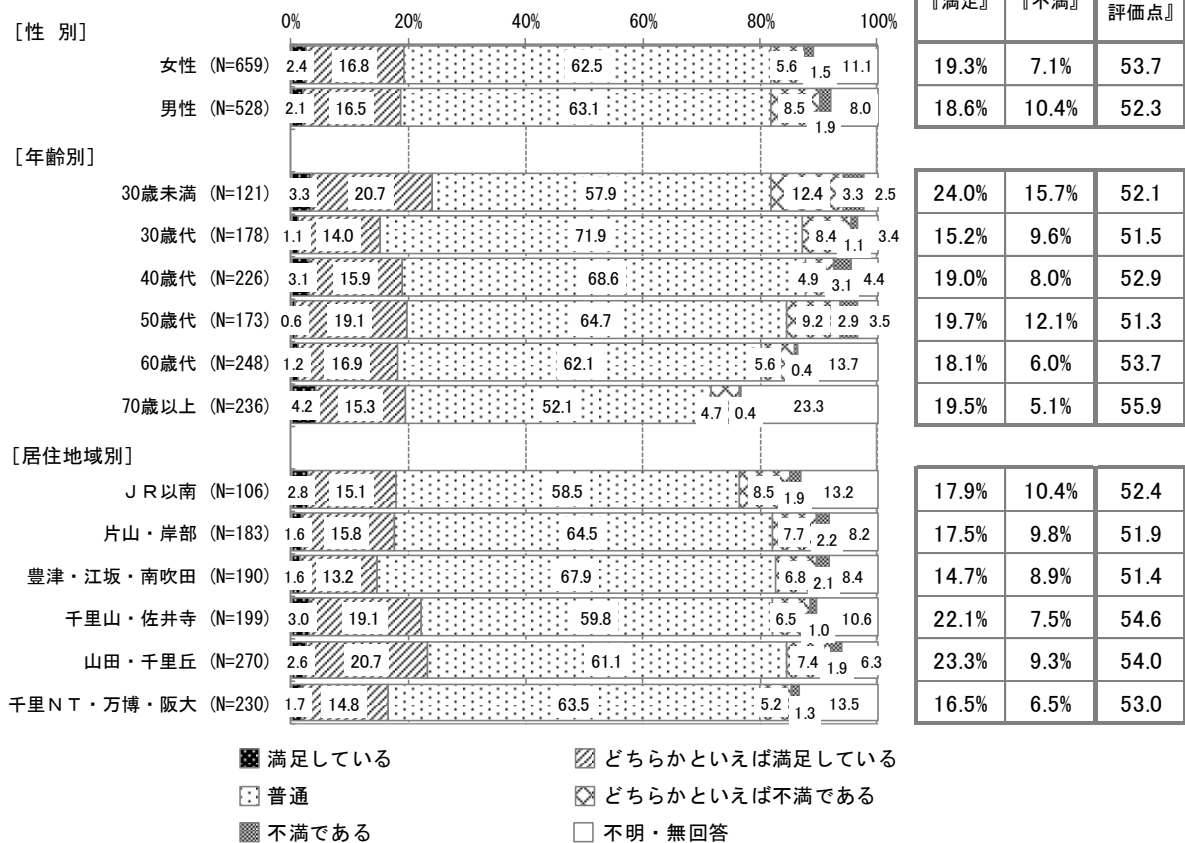


図 3.9.55 性別・年齢別・居住地域別 教育・文化についての満足度・重要度③

26. スポーツを親しめる環境 【満足度】



26. スポーツを親しめる環境 【重要度】

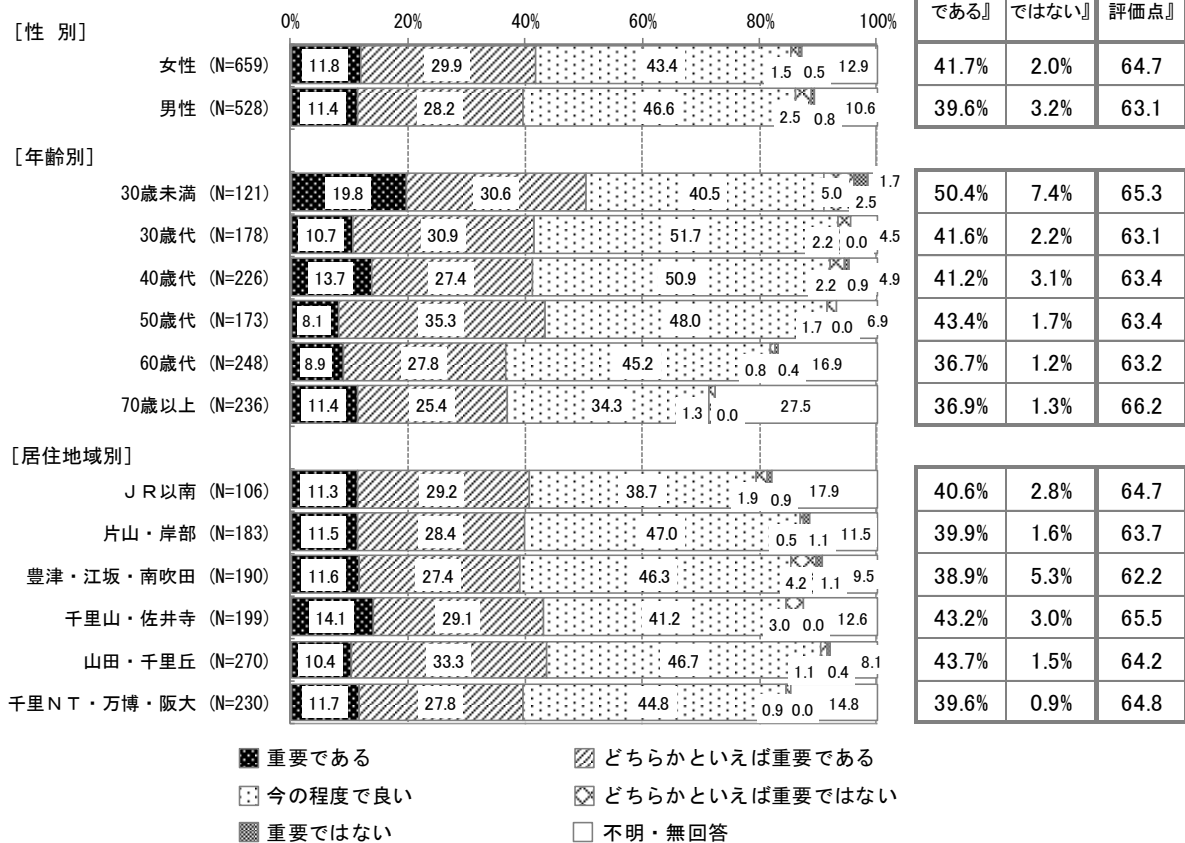
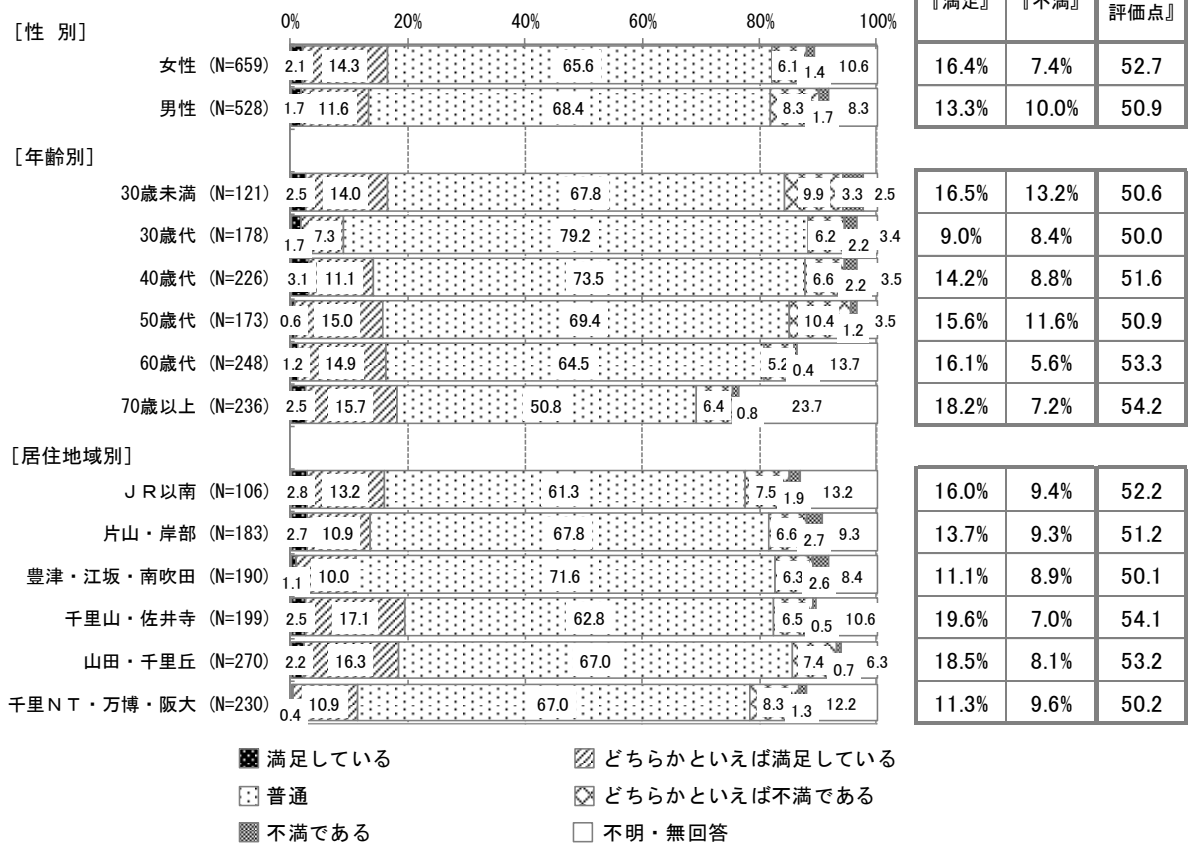


図 3.9.56 性別・年齢別・居住地域別 教育・文化についての満足度・重要度④



27. 芸術・文化を親しめる環境 【満足度】



27. 芸術・文化を親しめる環境 【重要度】

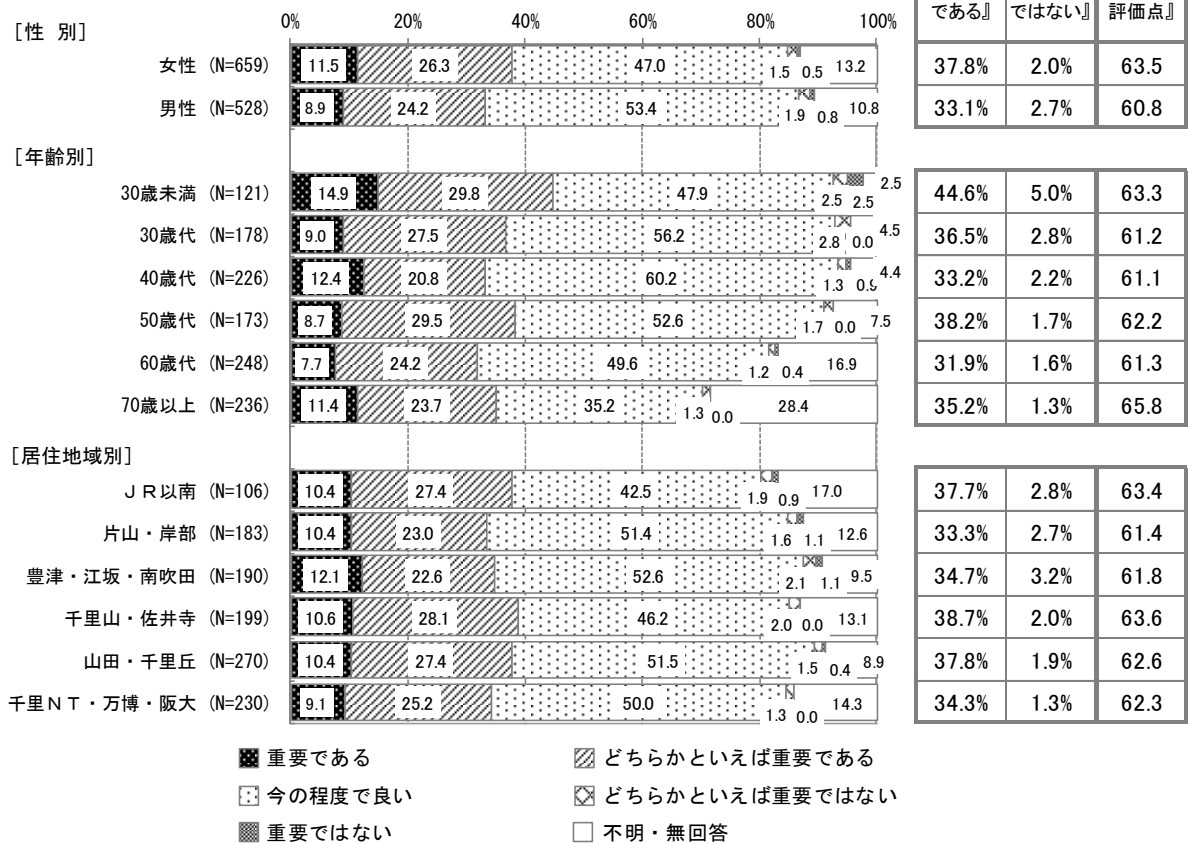
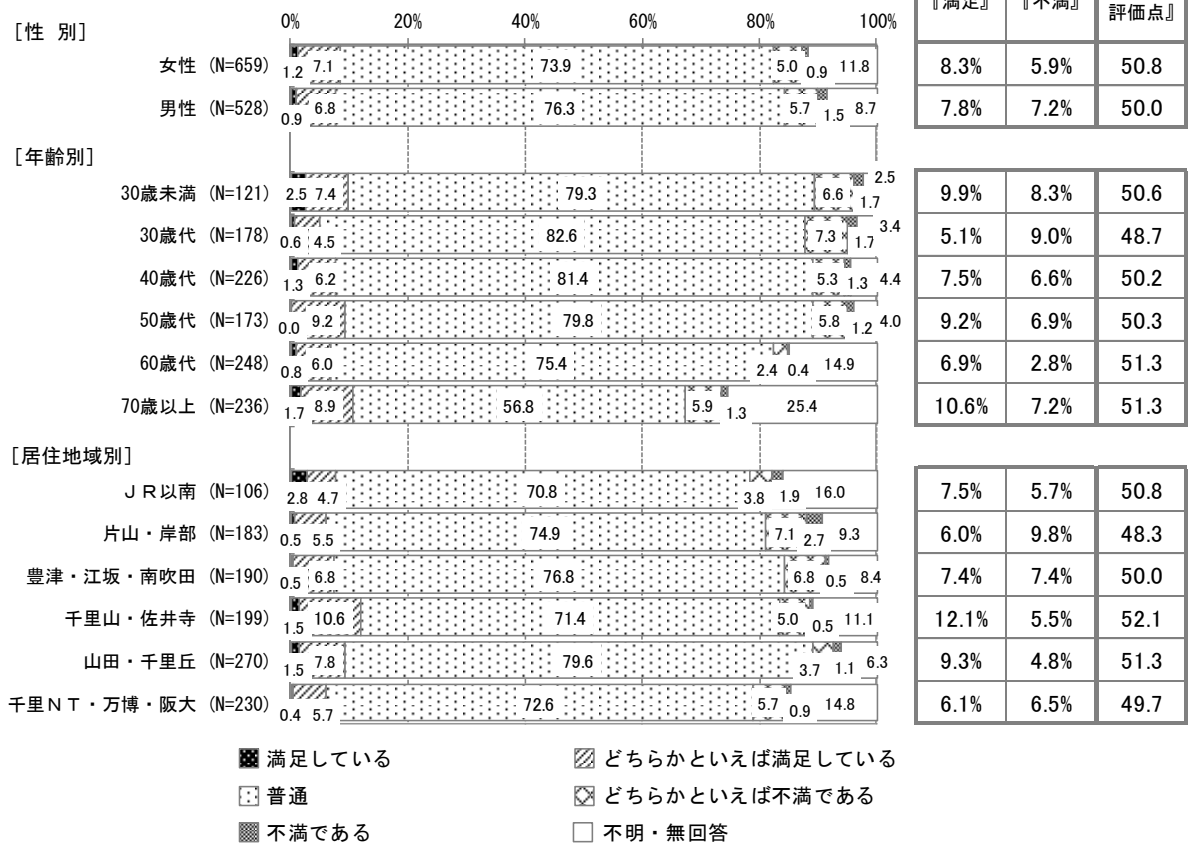


図 3.9.57 性別・年齢別・居住地域別 教育・文化についての満足度・重要度⑤

28. 特色のある文化や歴史を持つ都市との交流 【満足度】



28. 特色のある文化や歴史を持つ都市との交流 【重要度】

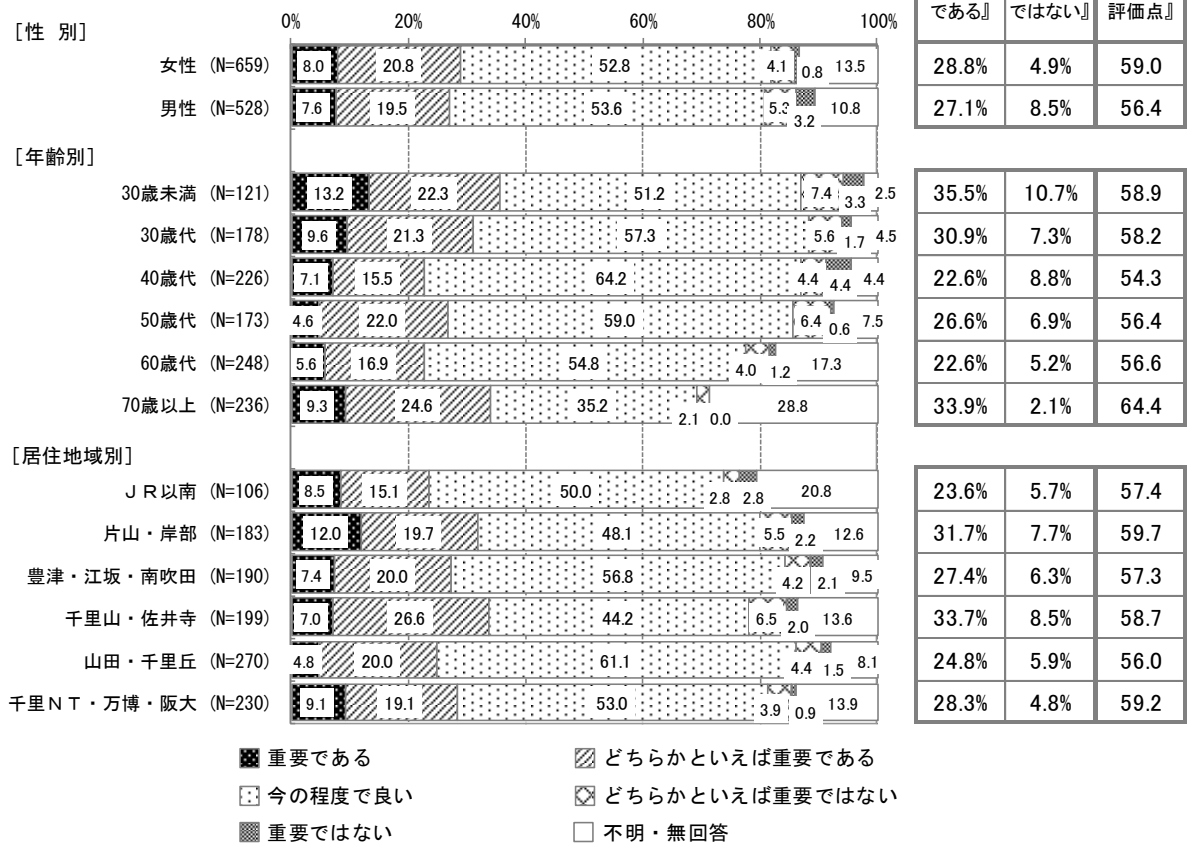
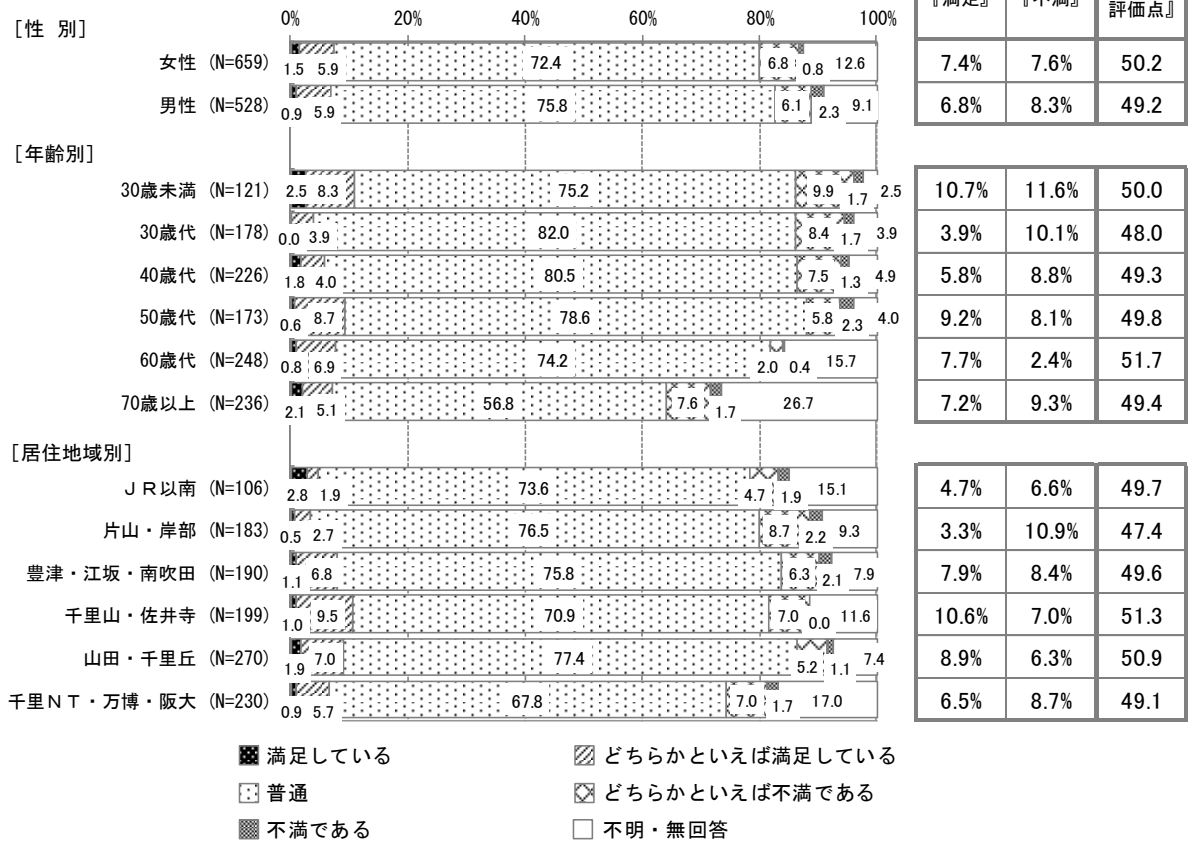


図 3.9.58 性別・年齢別・居住地域別 教育・文化についての満足度・重要度⑥

29. 国際交流活動【満足度】



29. 国際交流活動【重要度】

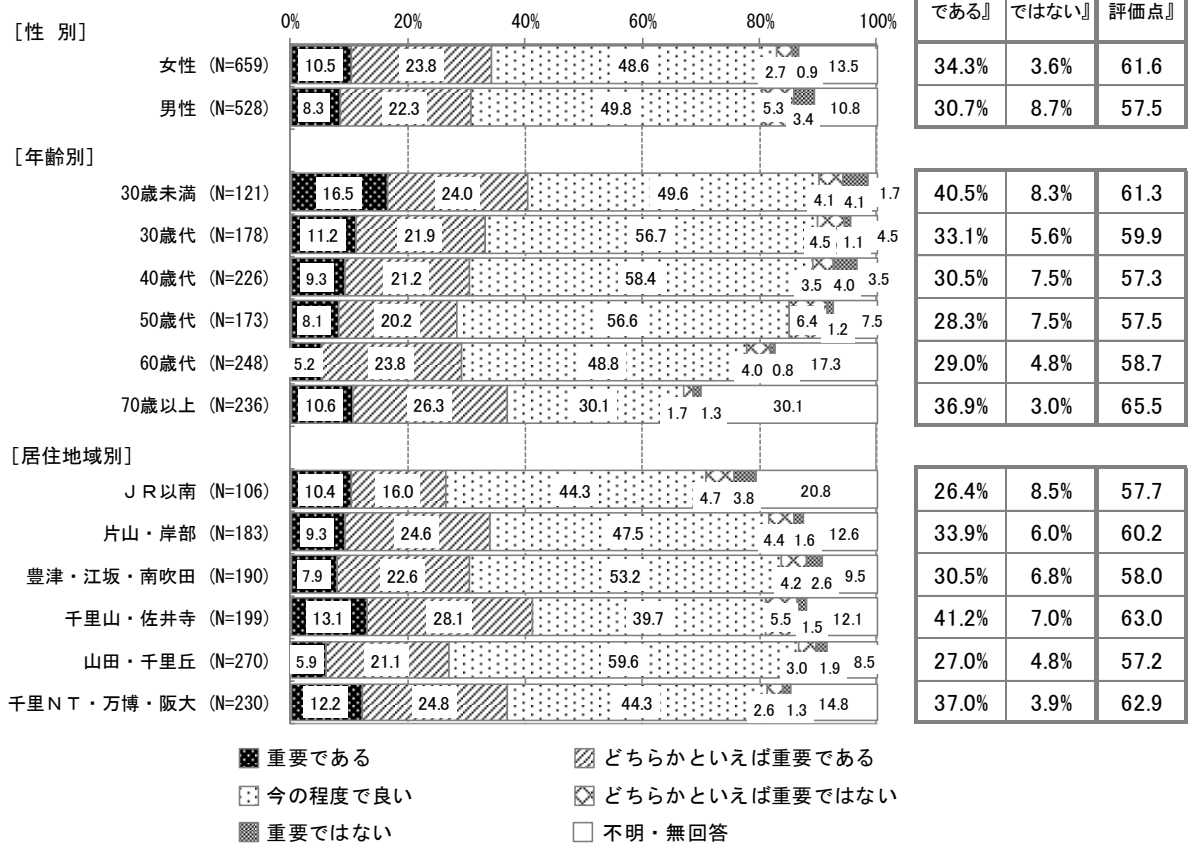
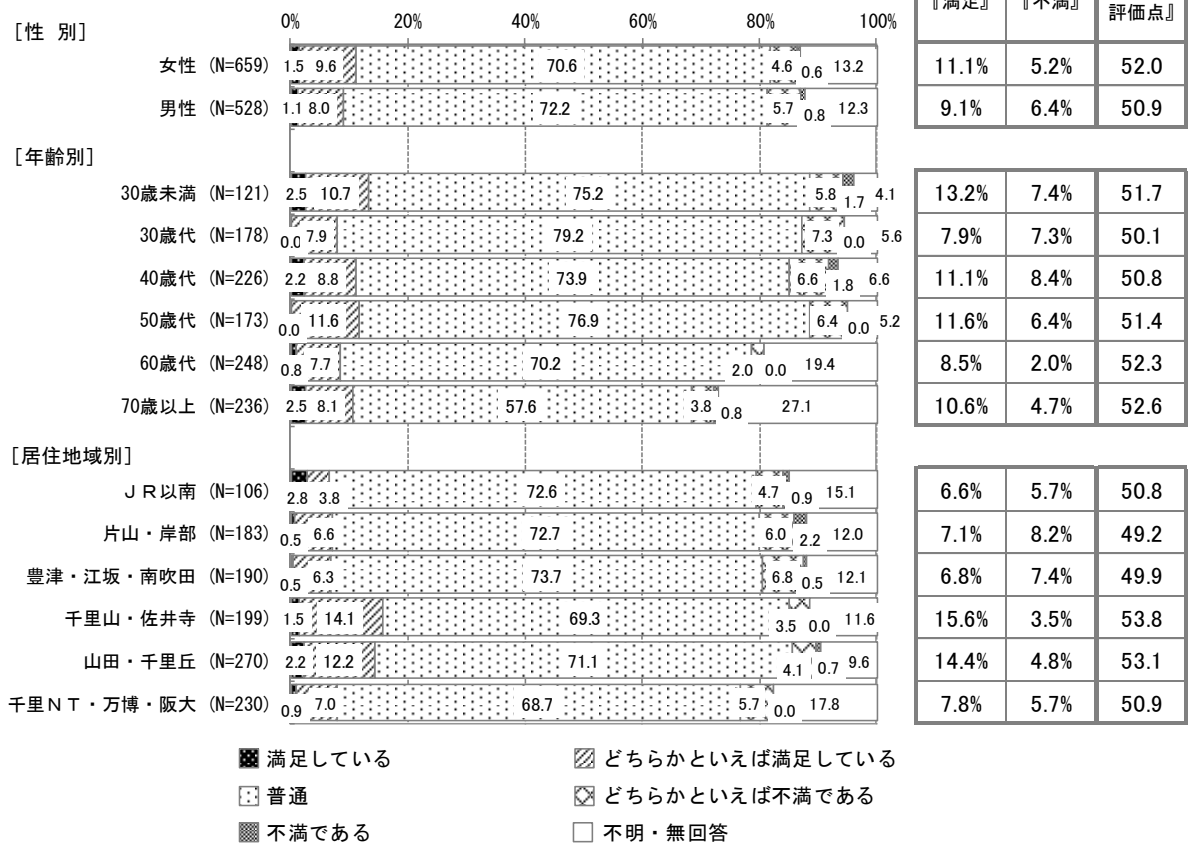


図 3.9.59 性別・年齢別・居住地域別 教育・文化についての満足度・重要度⑦

30. 項目23～29の総合評価【満足度】



30. 項目23～29の総合評価【重要度】

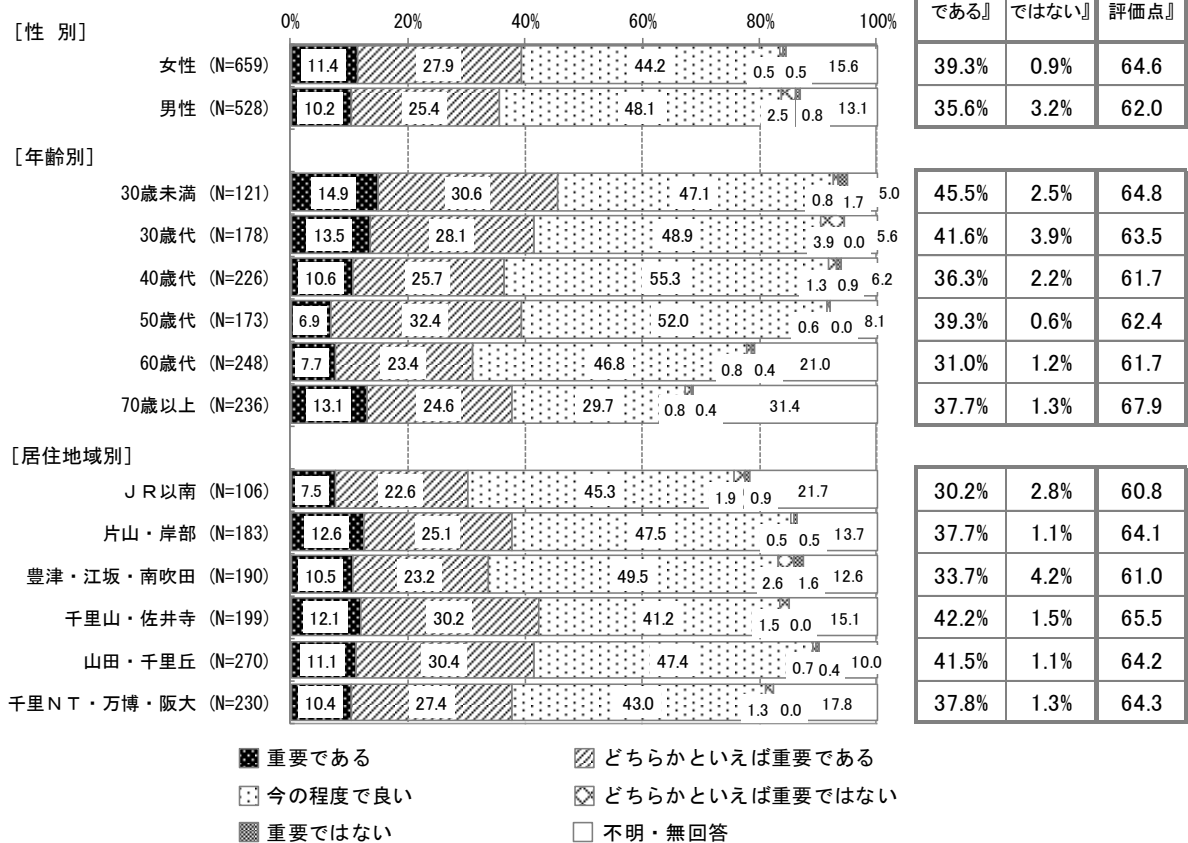


図 3.9.60 性別・年齢別・居住地域別 教育・文化についての満足度・重要度⑧

## (2)-5 環境についての満足度・重要度

N=1,193

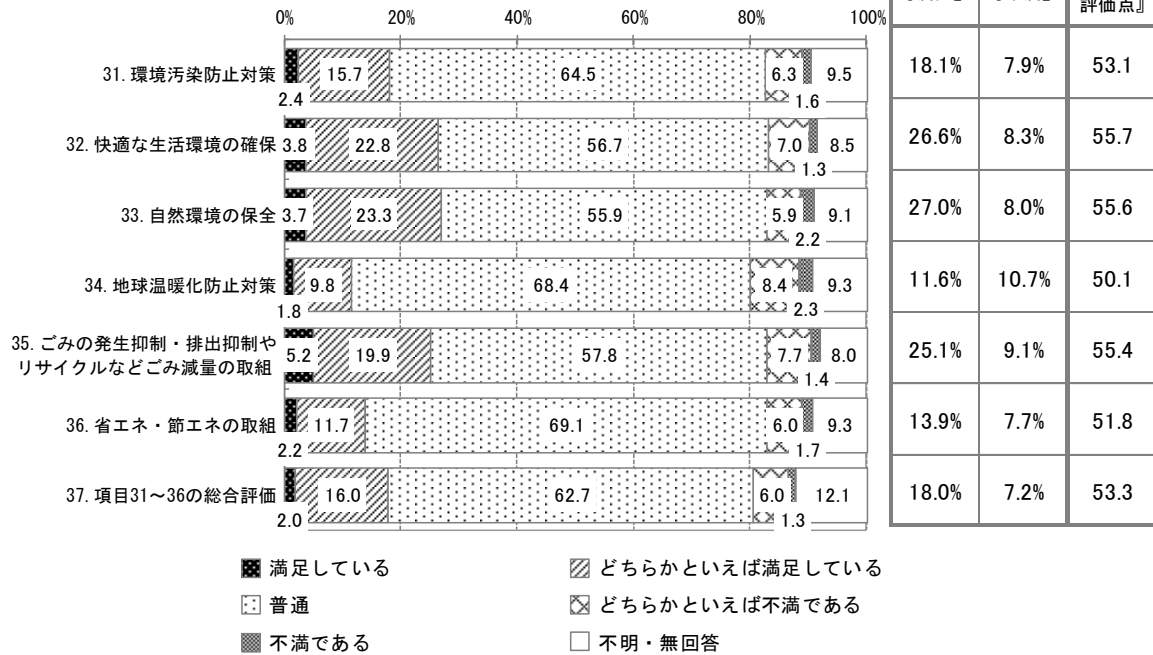


図 3.9.61 環境についての満足度

N=1,193

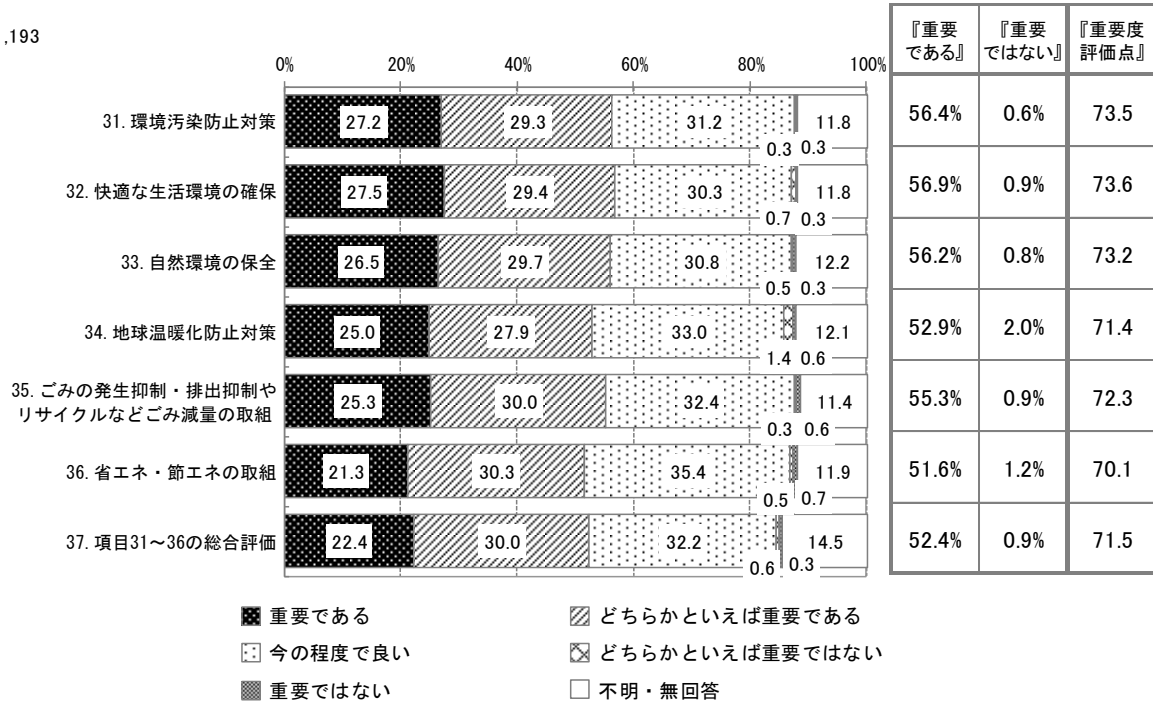


図 3.9.62 環境についての重要度

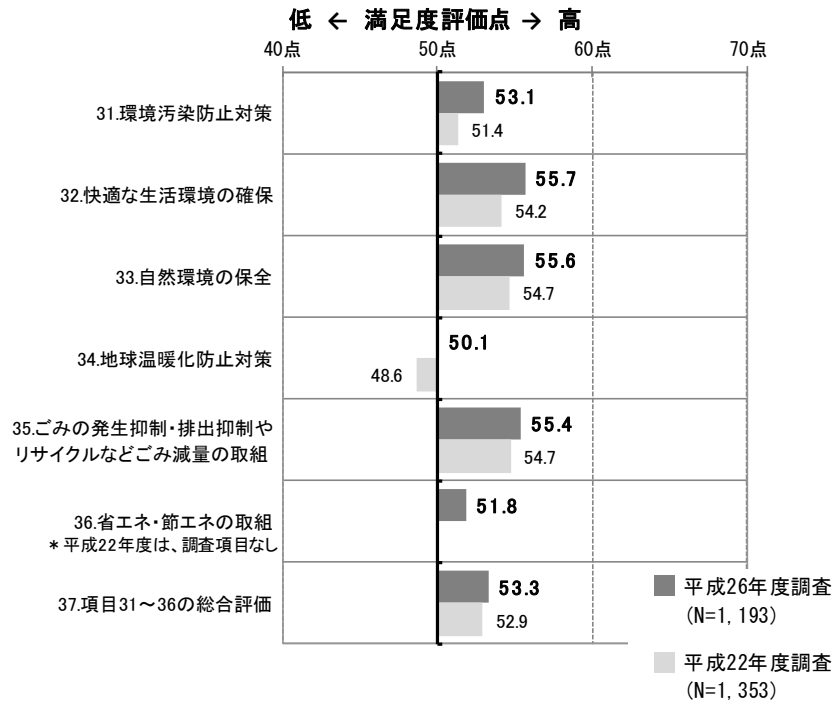


図 3.9.63 環境についての満足度評価点の経年比較

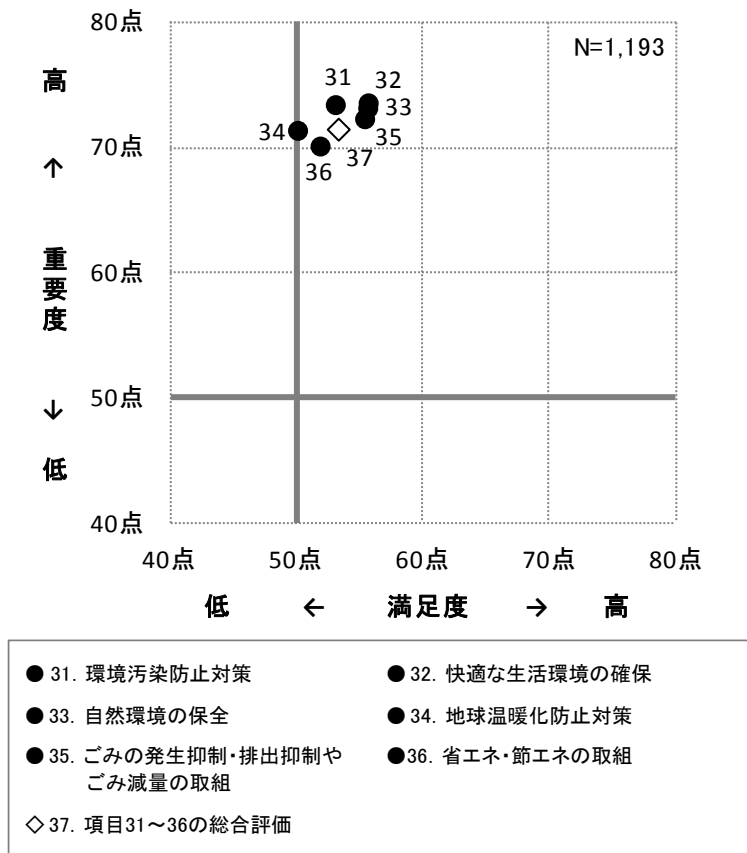


図 3.9.64 環境についての満足度と重要度の関係

## ■満足度

- 環境についての満足度（図3.9.61）は、全項目で「普通」が最も多い。また、全項目で『満足』の方が『不満』に比べ割合が高い。特に、《33. 自然環境の保全》（27.0%）、《32. 快適な生活環境の確保》（26.6%）、《35. ごみの発生抑制・排出抑制やリサイクルなどごみ減量の取組》（25.1%）が他の項目と比べて高くなっている。
- 満足度の評価点は、《32. 快適な生活環境の確保》（55.7点）が最も高く、次いで、《33. 自然環境保全》（55.6点）となっている。それ以外の項目もいずれも50点以上となっている。
- 平成22年度と比較（図3.9.63）すると、全ての項目で平成22年度よりも高くなっている。特に、《31. 環境汚染防止対策》、《32. 快適な生活環境の確保》、《34. 地球温暖化防止対策》で評価点が上がっている。
- 性別に評価点（図3.9.65～図3.9.71）をみると、《32. 快適な生活環境の確保》、《33. 自然環境の保全》などは、男性より女性の方が高くなっている。一方、《34. 地球温暖化防止対策》などは男性の方が高くなっている。
- 年齢別に評価点をみると、《34. 地球温暖化防止対策》は40歳代、それ以外の項目は70歳以上が最も高くなっている。一方、全項目で30歳代の評価点が最も低くなっている。また、《35. ごみの発生抑制・排出抑制やリサイクルなどごみ減量の取組》は最も高い70歳以上（60.5点）と最も低い30歳代（51.2点）との差が大きくなっている。
- 居住地域別に評価点をみると、《34. 地球温暖化防止対策》、《36. 省エネ・節エネの取組》は千里山・佐井寺地域、それ以外の項目は千里ニュータウン・万博・阪大地域が最も高くなっている。また、《33. 自然環境の保全》（千里NT・万博・阪大地域60.3点、JR以南地域50.0点）、《32. 快適な生活環境の確保》（千里NT・万博・阪大地域59.6点、JR以南地域51.1点）などは地域による差が大きくなっている。

## ■重要度

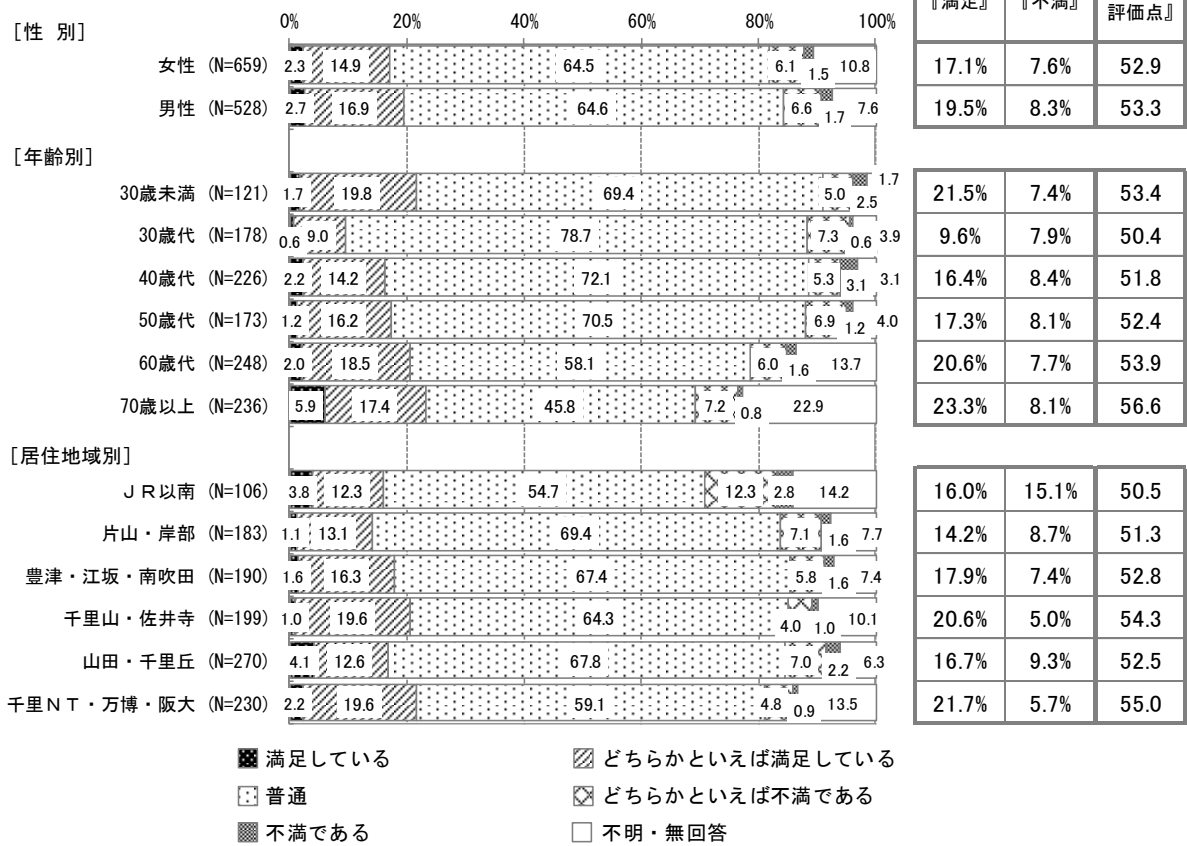
- 環境についての重要度（図3.9.62）は、全項目で『重要である』が5割台を占めている。
- 重要度の評価点は、全項目で70点以上と高くなっている。特に、《32. 快適な生活環境の確保》（73.6点）、《31. 環境汚染防止対策》（73.5点）、《33. 自然環境の保全》（73.2点）で評価点が高い。
- 性別に評価点（図3.9.65～図3.9.71）をみると、女性は《35. ごみの発生抑制・排出抑制やリサイクルなどごみ減量の取組》、男性は《32. 快適な生活環境の確保》が最も高くなっている。また、全項目で男性より女性の方が評価点が高く、特に《35. ごみの発生抑制・排出抑制やリサイクルなどごみ減量の取組》（女性74.8点、男性69.3点）、《34. 地球温暖化防止対策》（女性73.6点、男性68.6点）は男女差が大きくなっている。
- 年齢別に評価点をみると、《33. 自然環境の保全》は60歳代、それ以外の項目は70歳以上が最も高くなっている。
- 居住地域別に評価点をみると、《31. 環境汚染防止対策》、《36. 省エネ・節エネの取組》は片山・岸部地域、《35. ごみの発生抑制・排出抑制やリサイクルなどごみ減量の取組》は千里ニュータウン・万博・阪大地域、それ以外の項目は千里山・佐井寺地域が最も高くなっている。

## ■満足度と重要度の関係

- 満足度と重要度の関係（図3.9.64）について、重要と考えながら満足度が相対的にみて低い項目（重要度評価点が高く、かつ満足度の評価点が低いもので、両者の差が大きい項目）の上位をみると、《34.地球温暖化防止対策》（満足度50.1点、重要度71.4点、差21.3点）、《31.環境汚染防止対策》（満足度53.1点、重要度73.5点、差20.4点）となっている。



31. 環境汚染防止対策【満足度】



31. 環境汚染防止対策【重要度】

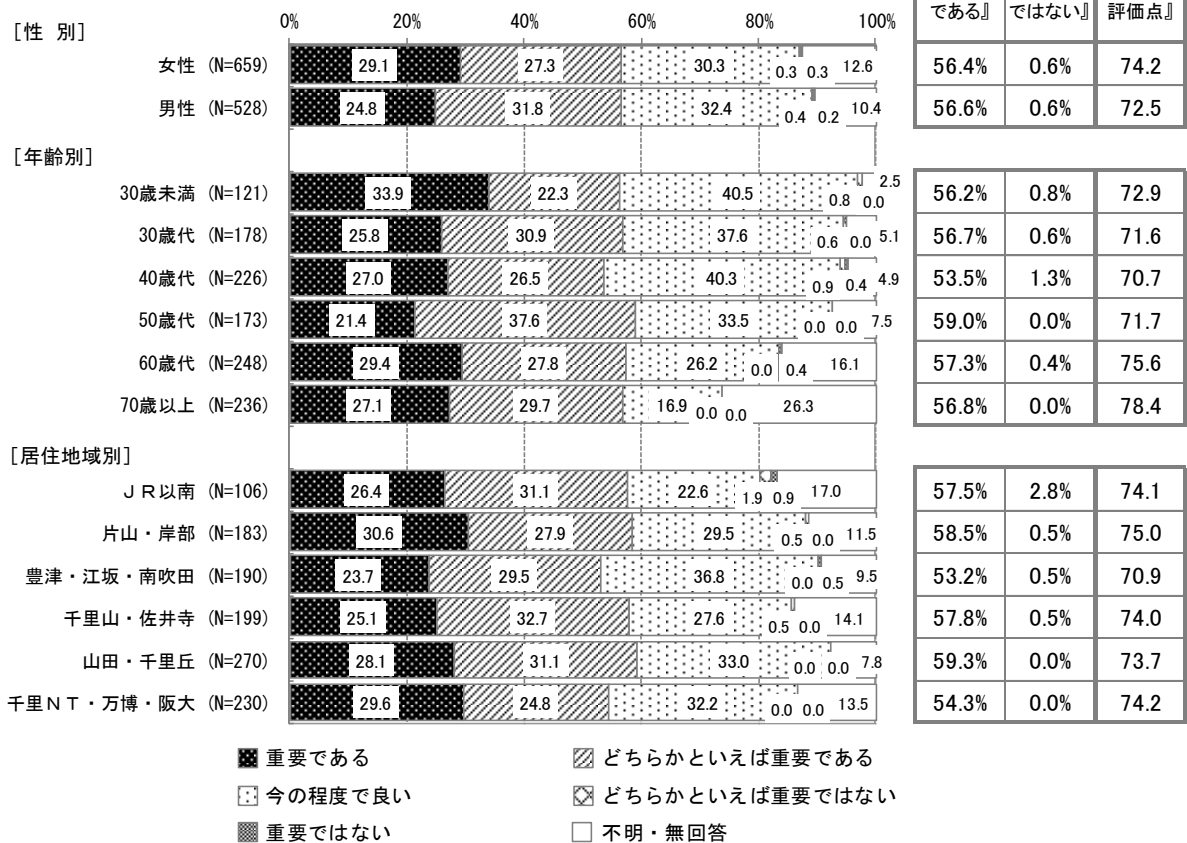
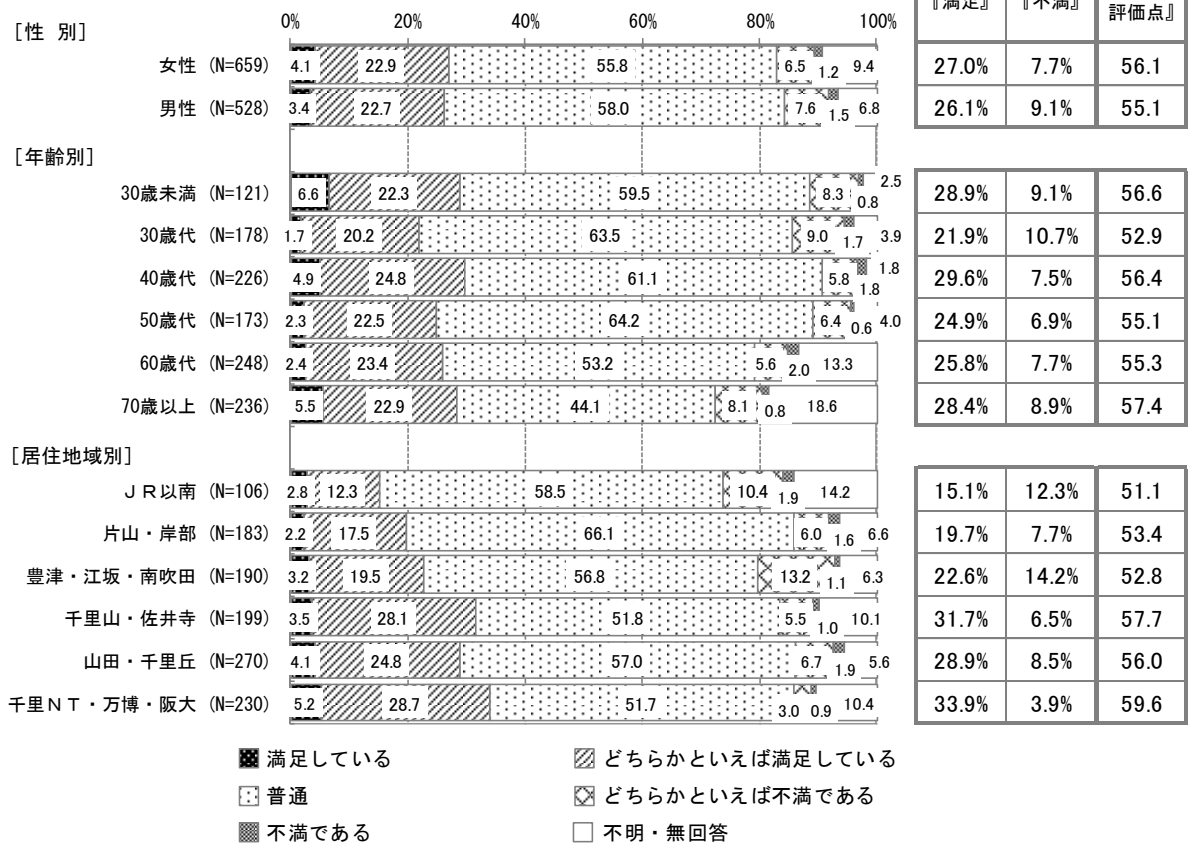


図 3.9.65 性別・年齢別・居住地域別 環境についての満足度・重要度①

32. 快適な生活環境の確保 【満足度】



32. 快適な生活環境の確保 【重要度】

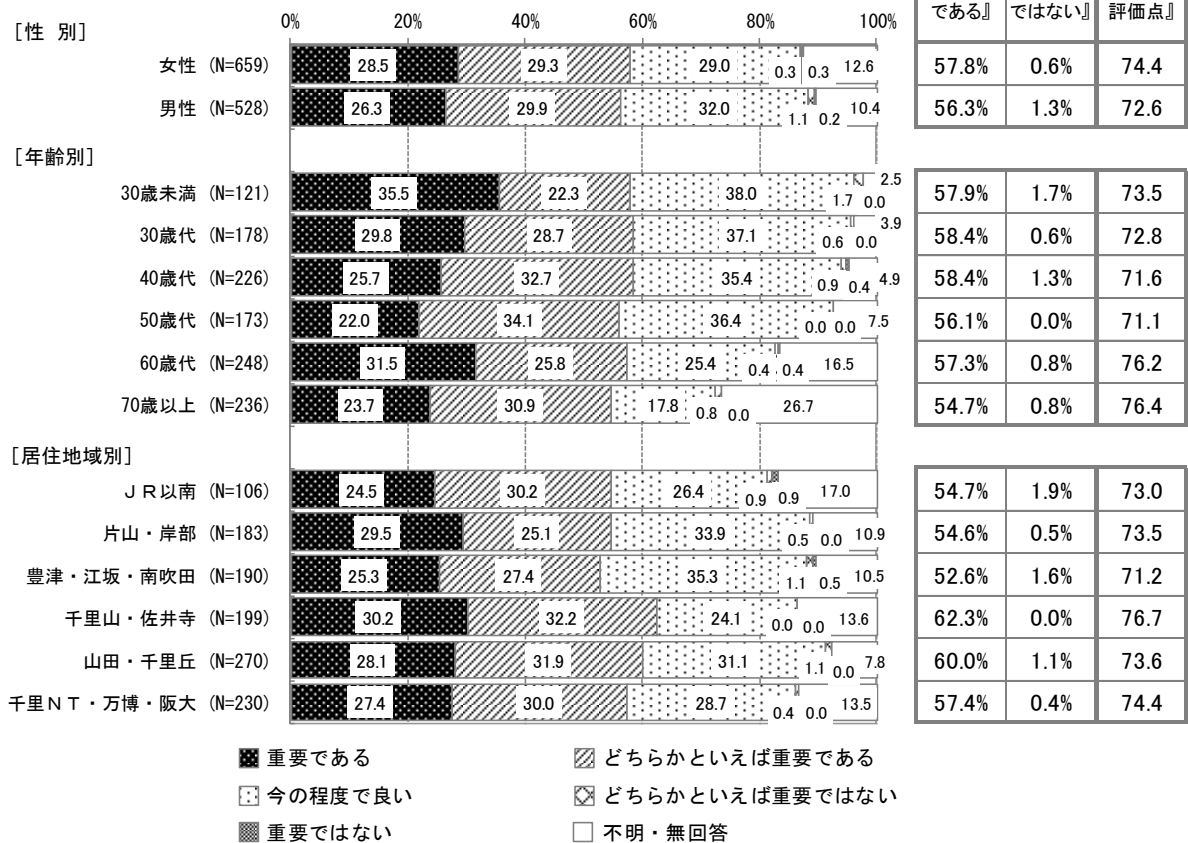
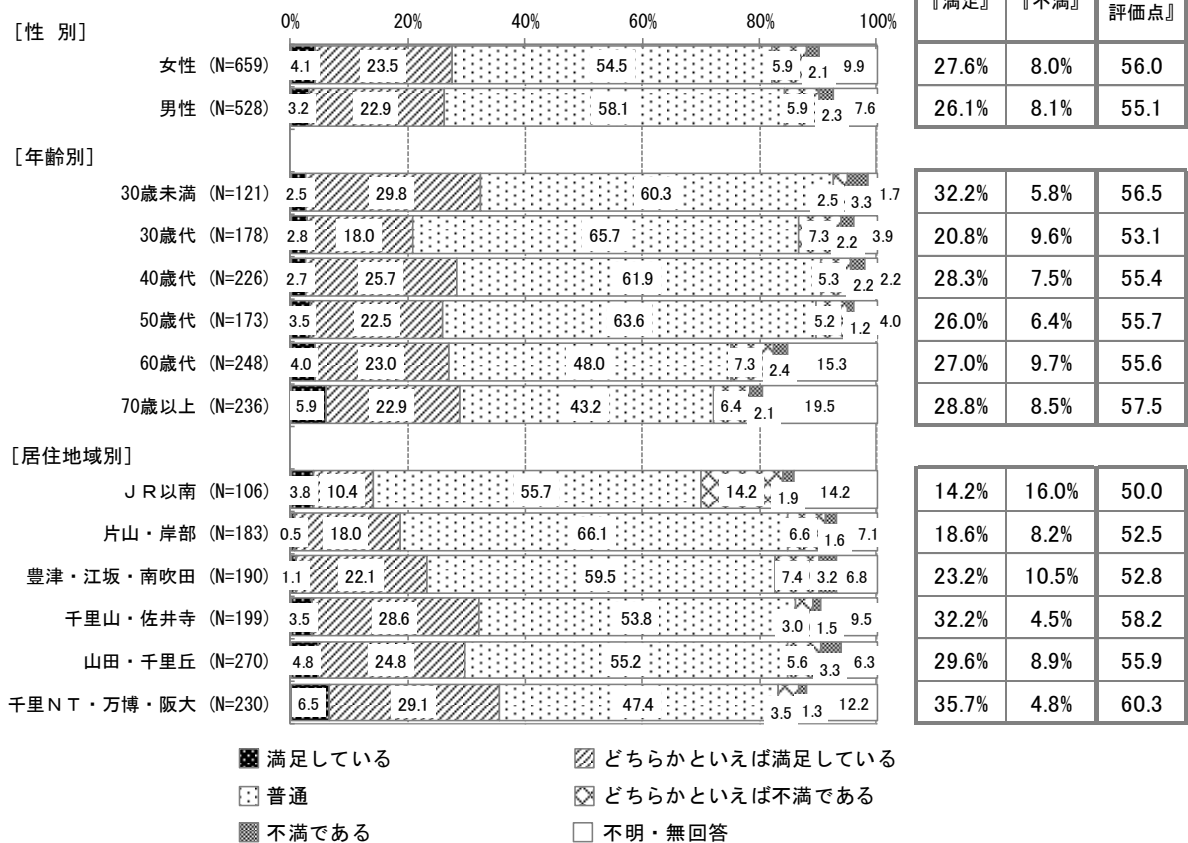


図 3.9.66 性別・年齢別・居住地域別 環境についての満足度・重要度②

33. 自然環境の保全【満足度】



33. 自然環境の保全【重要度】

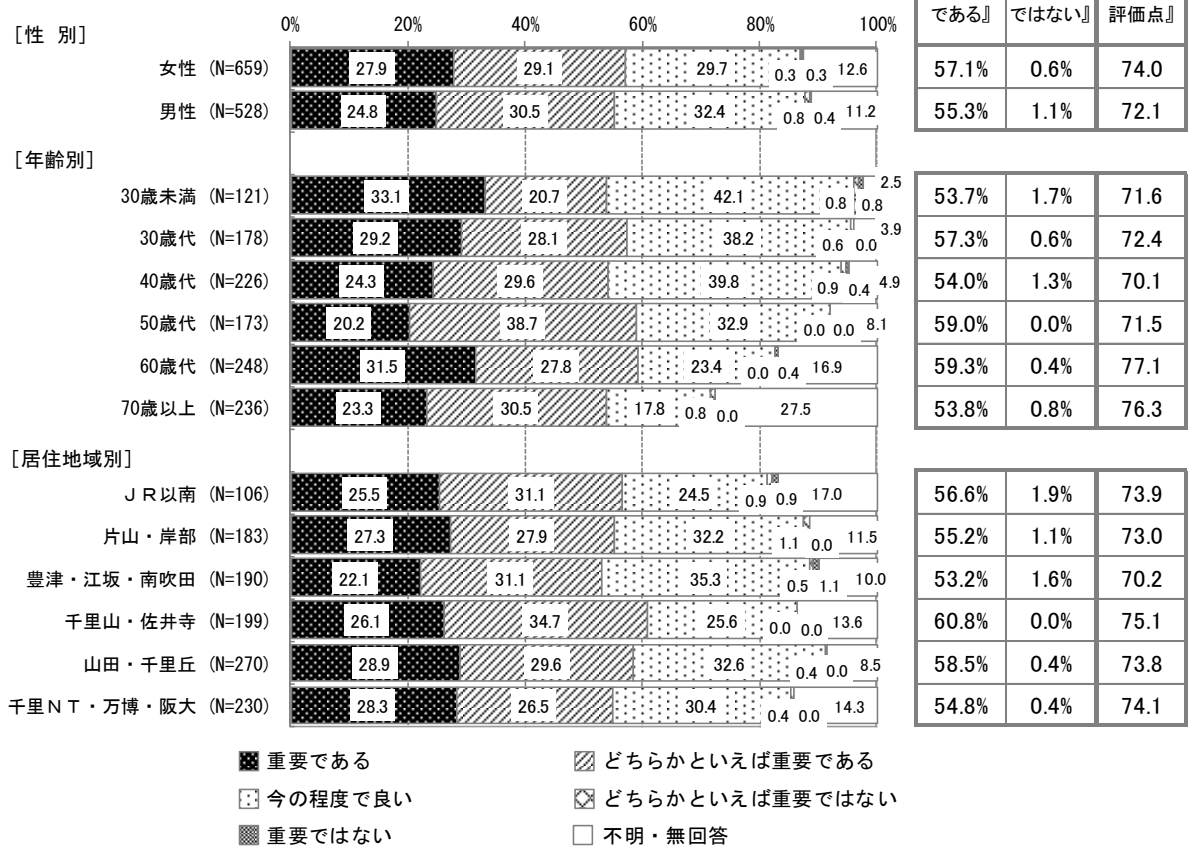
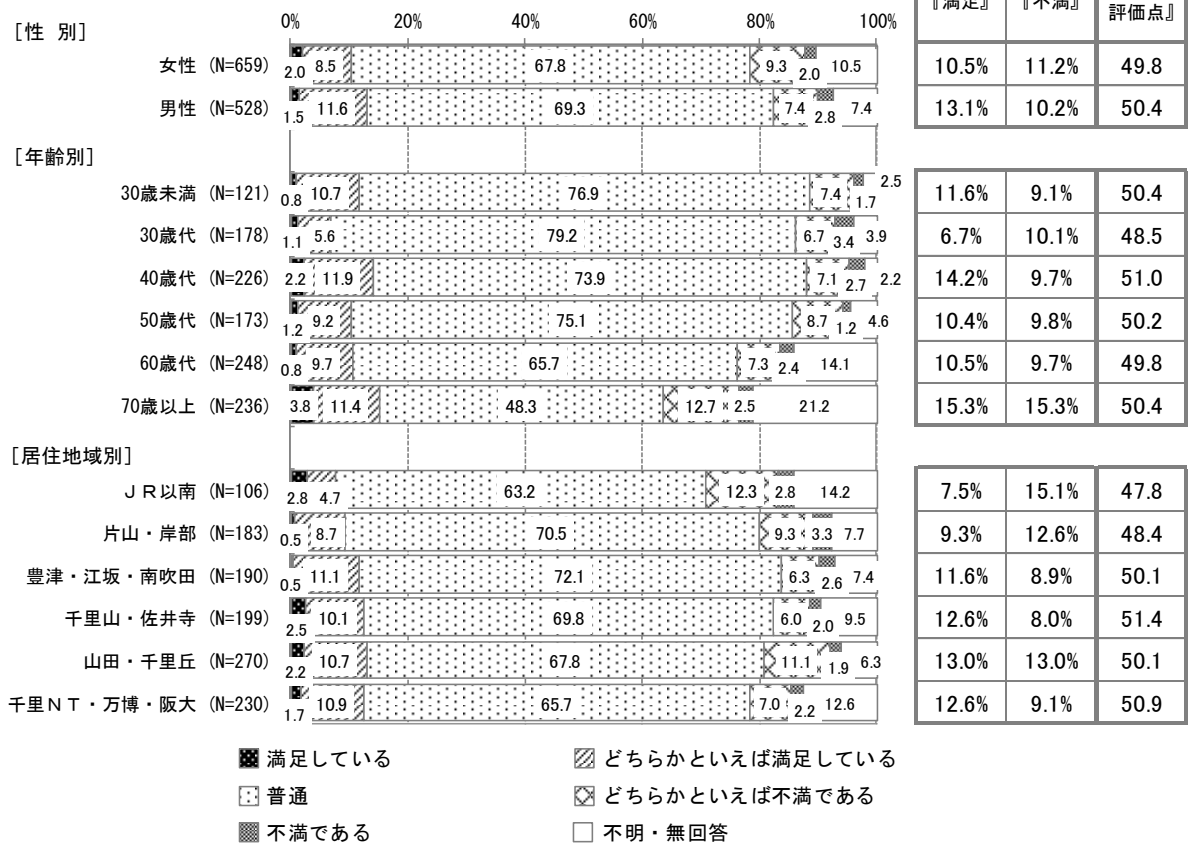


図 3.9.67 性別・年齢別・居住地域別 環境についての満足度・重要度③

34. 地球温暖化防止対策【満足度】



34. 地球温暖化防止対策【重要度】

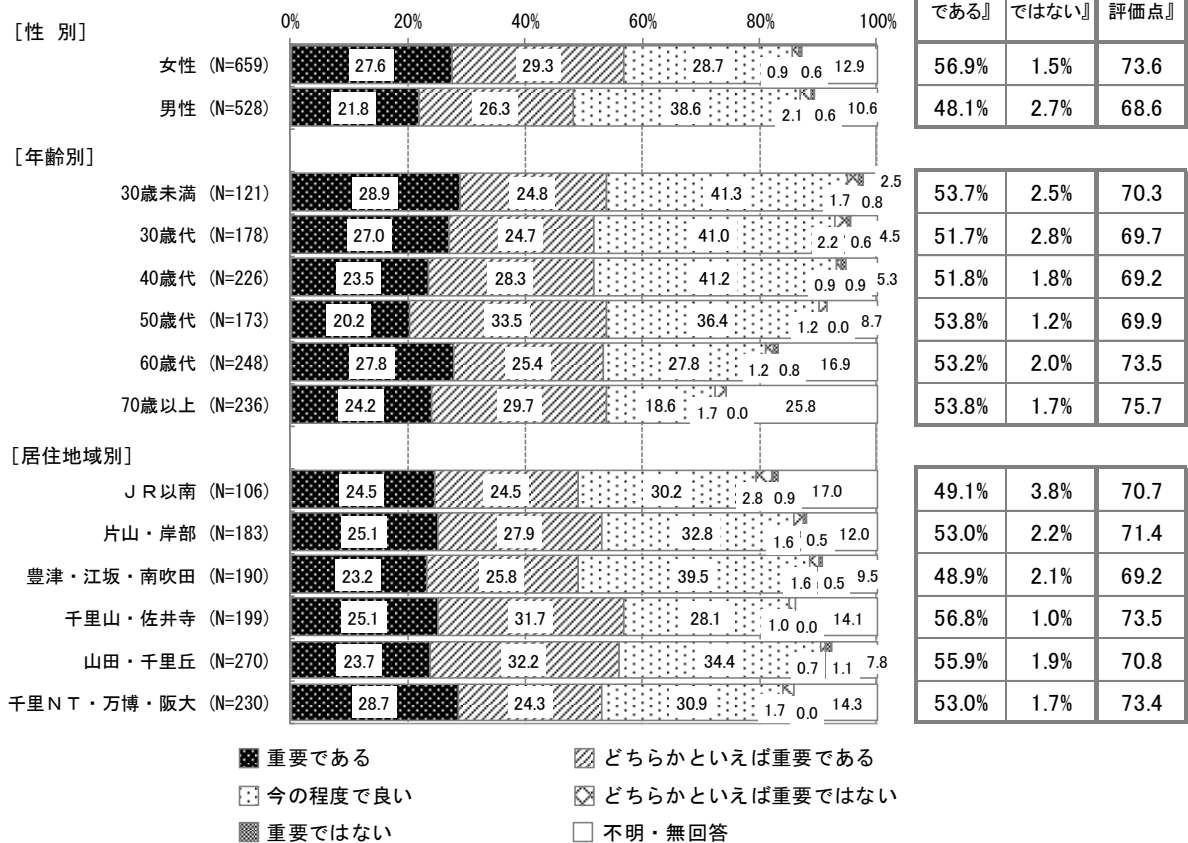
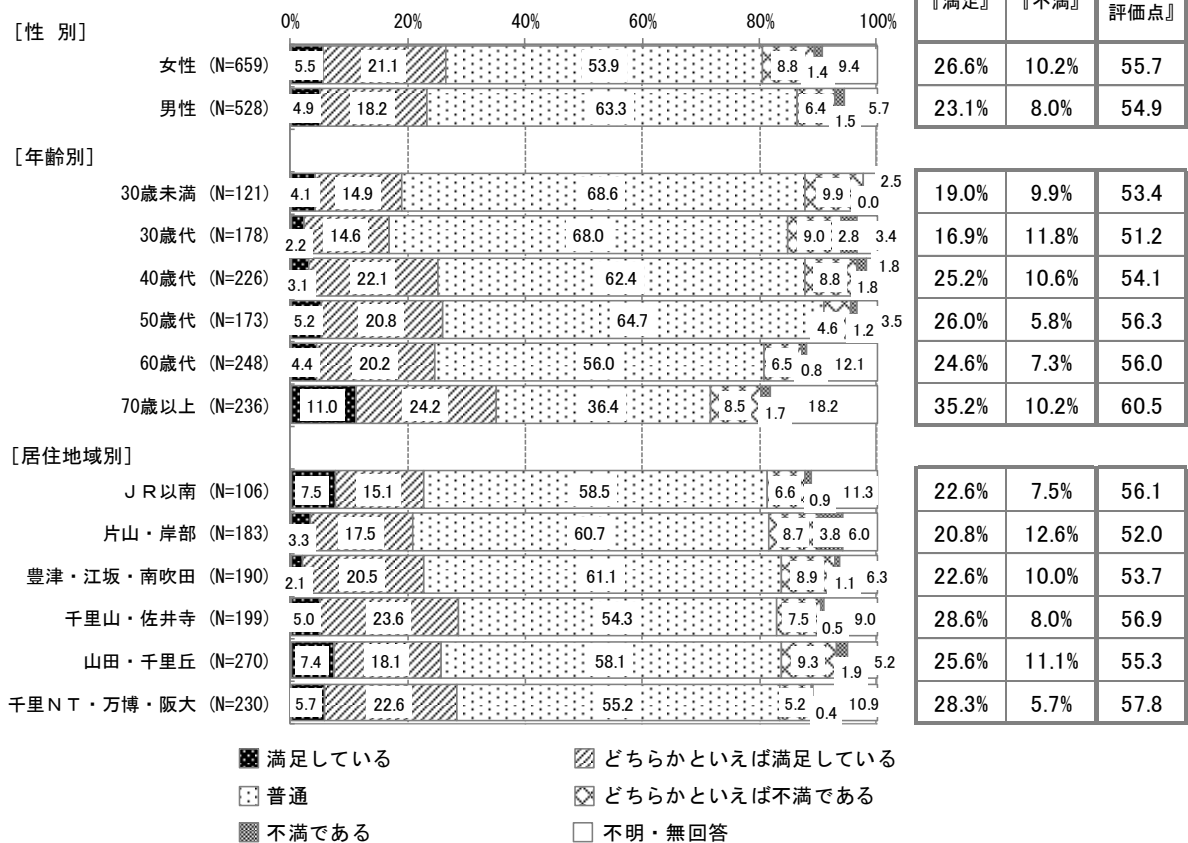


図 3.9.68 性別・年齢別・居住地域別 環境についての満足度・重要度④

35. ごみの発生抑制・排出抑制やリサイクルなどごみ減量の取組 【満足度】



35. ごみの発生抑制・排出抑制やリサイクルなどごみ減量の取組 【重要度】

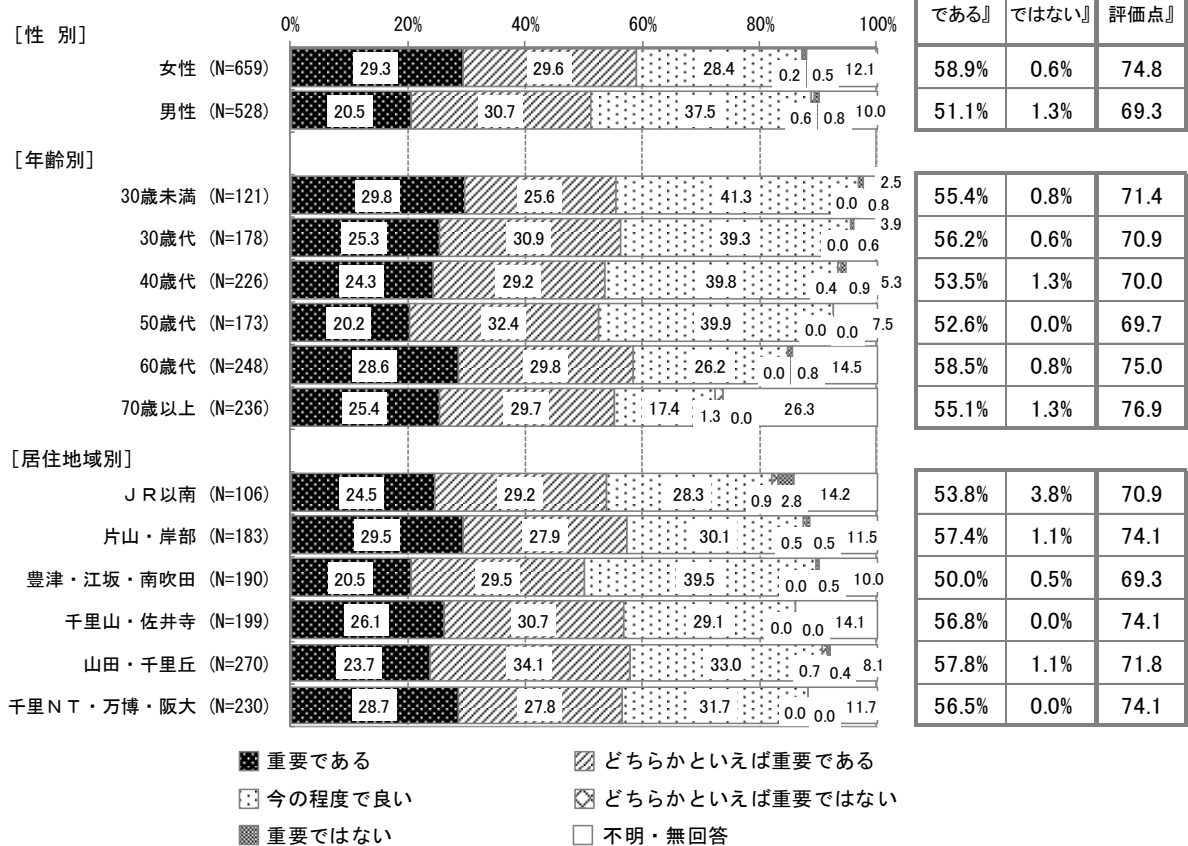
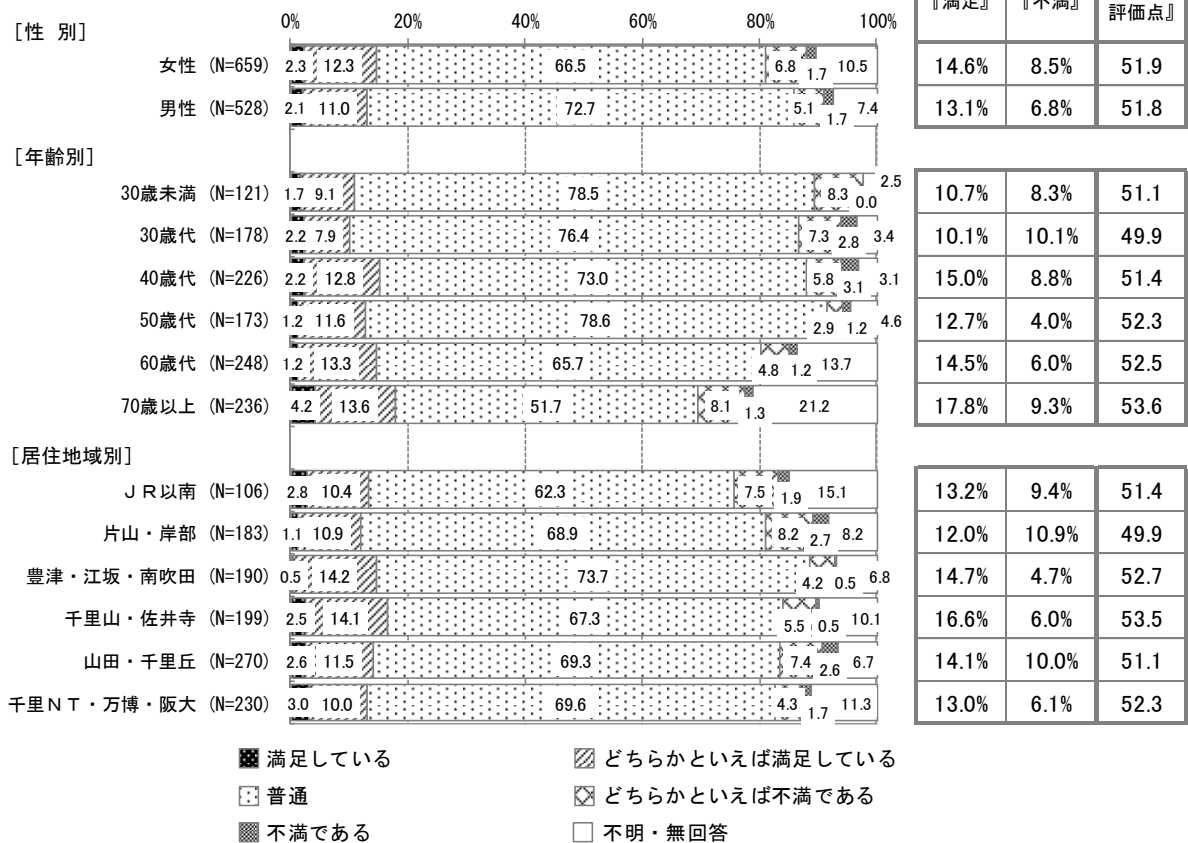


図 3.9.69 性別・年齢別・居住地域別 環境についての満足度・重要度⑤

36. 省エネ・節エネの取組【満足度】



36. 省エネ・節エネの取組【重要度】

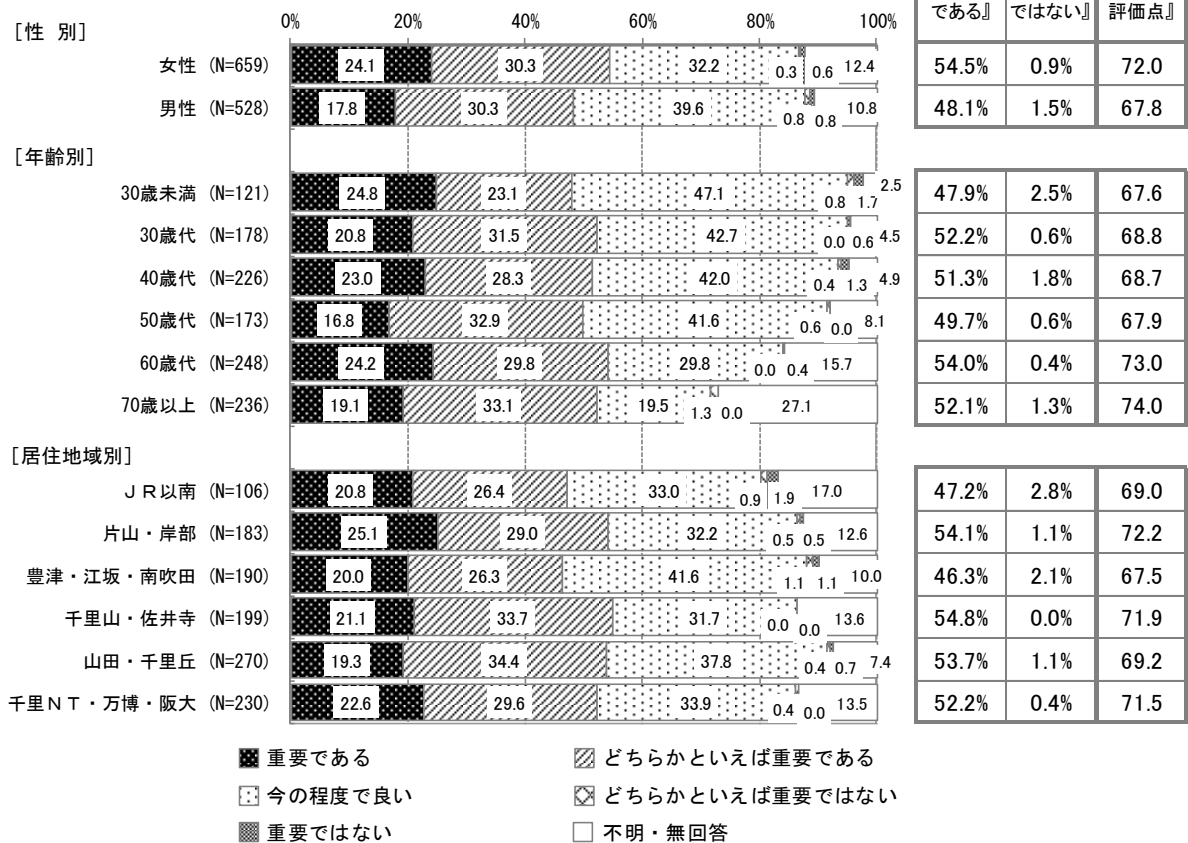
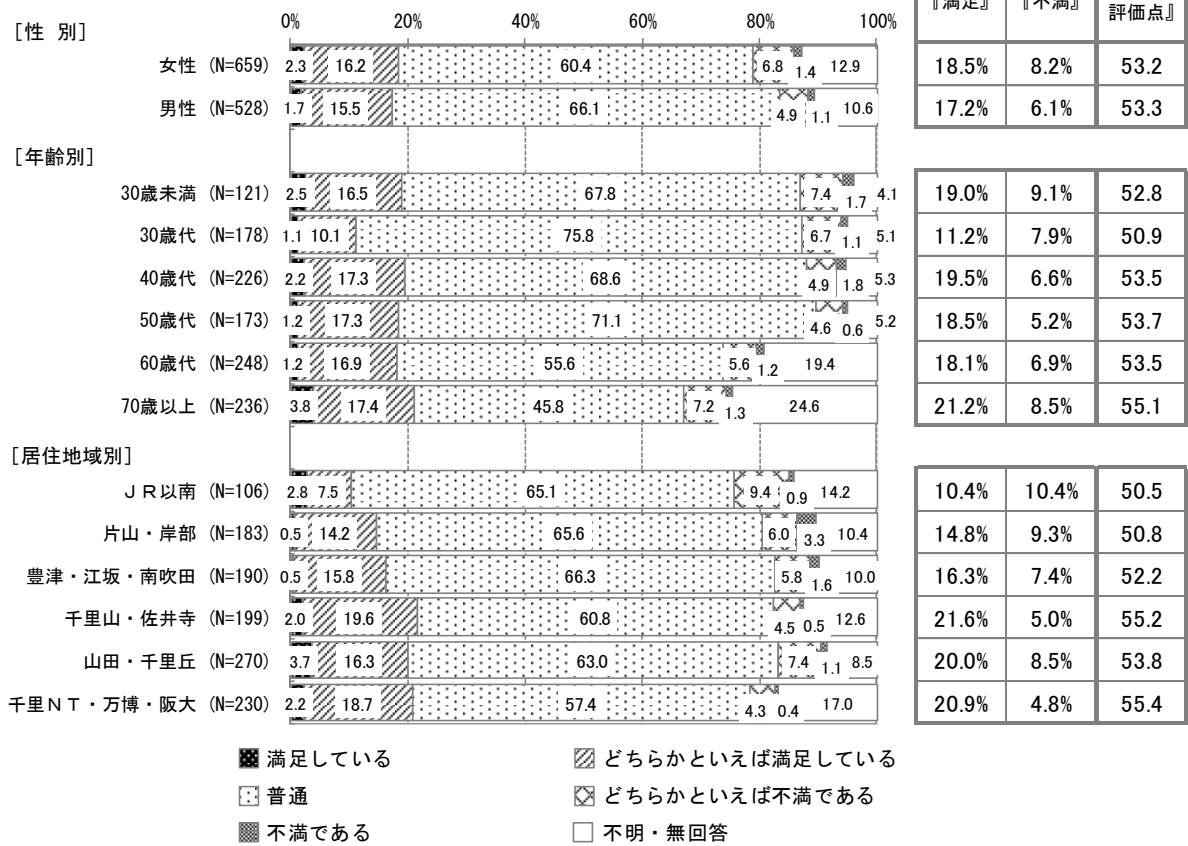


図 3.9.70 性別・年齢別・居住地域別 環境についての満足度・重要度⑥

37. 項目31～36の総合評価【満足度】



37. 項目31～36の総合評価【重要度】

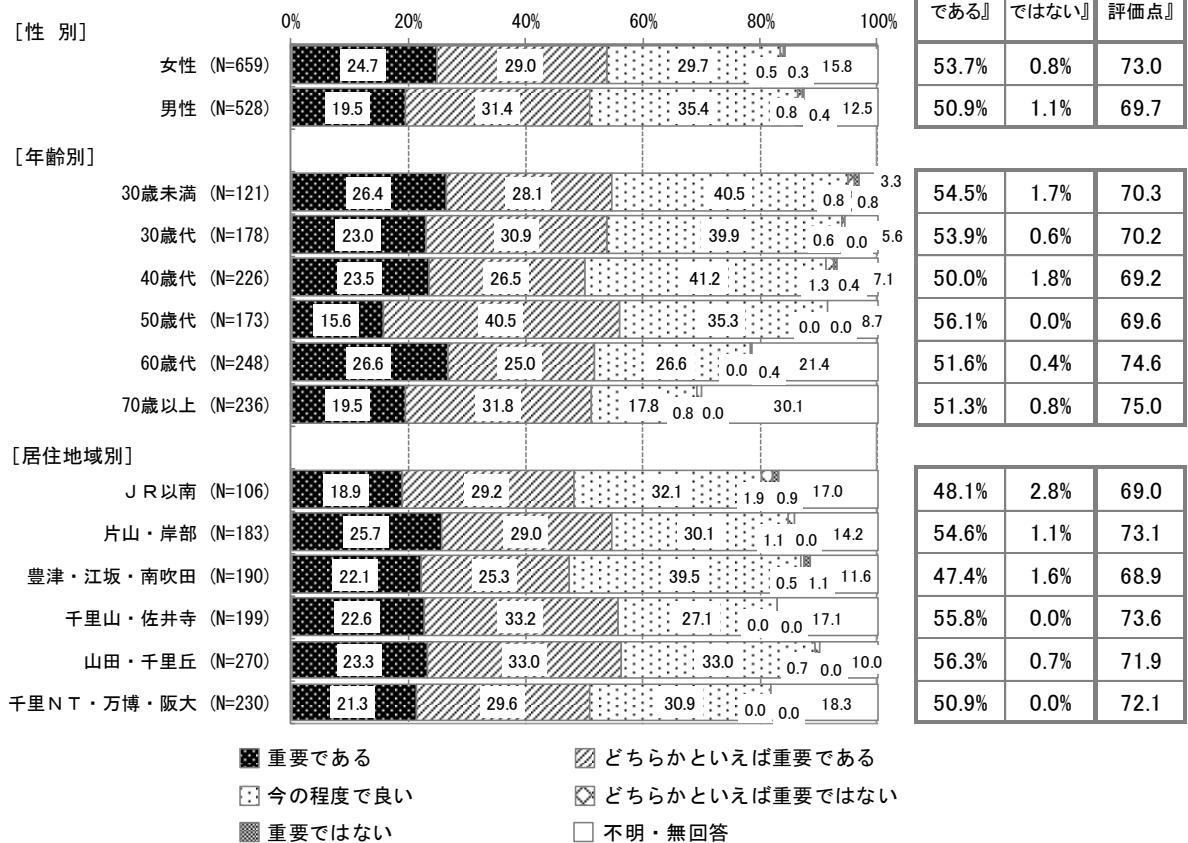


図 3.9.71 性別・年齢別・居住地域別 環境についての満足度・重要度⑦

## (2)-6 にぎわいについての満足度・重要度

N=1,193

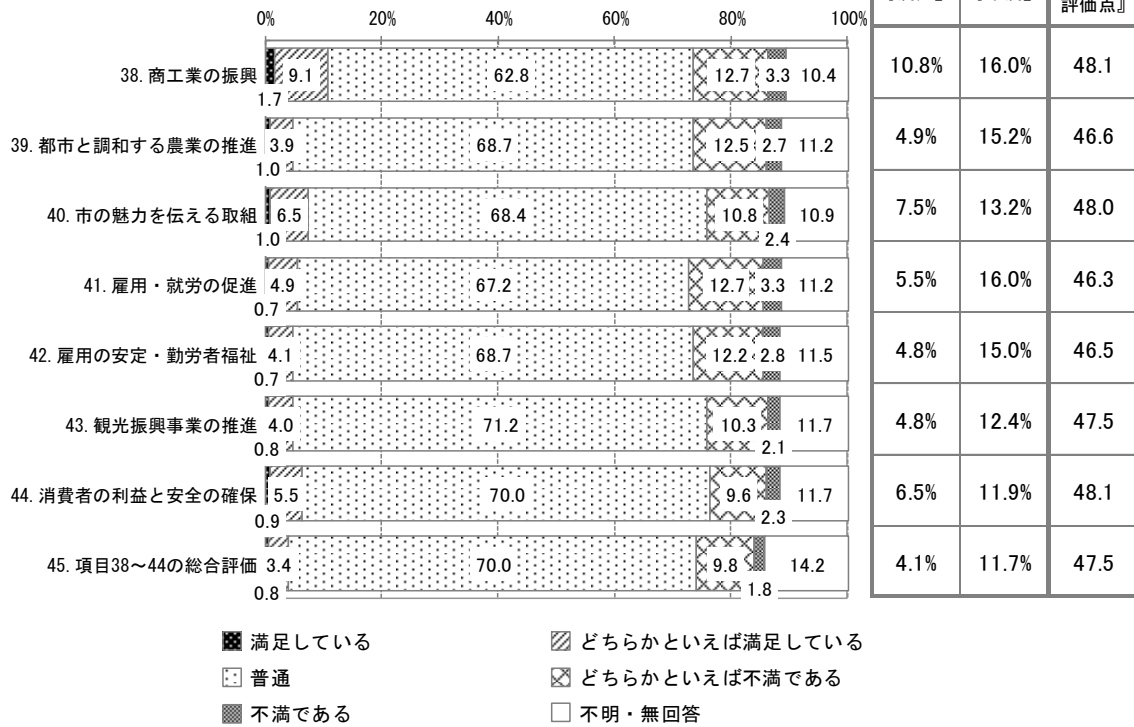


図 3.9.72 にぎわいについての満足度

N=1,193

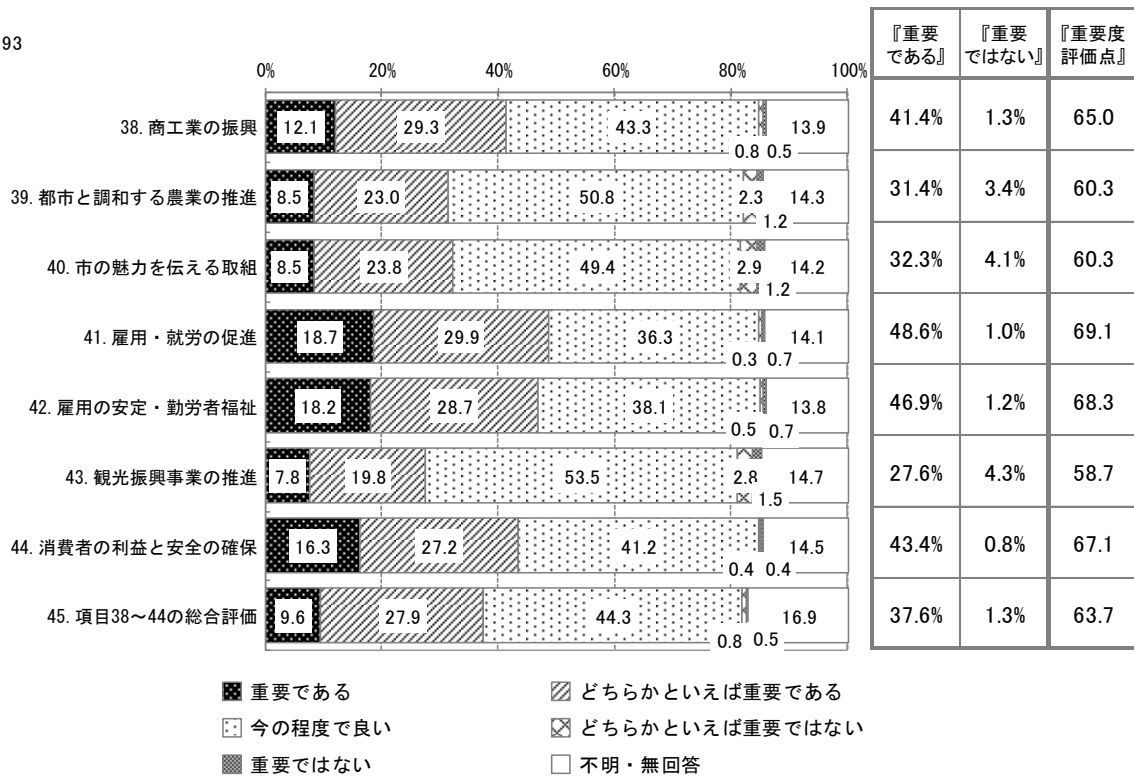


図 3.9.73 にぎわいについての重要度



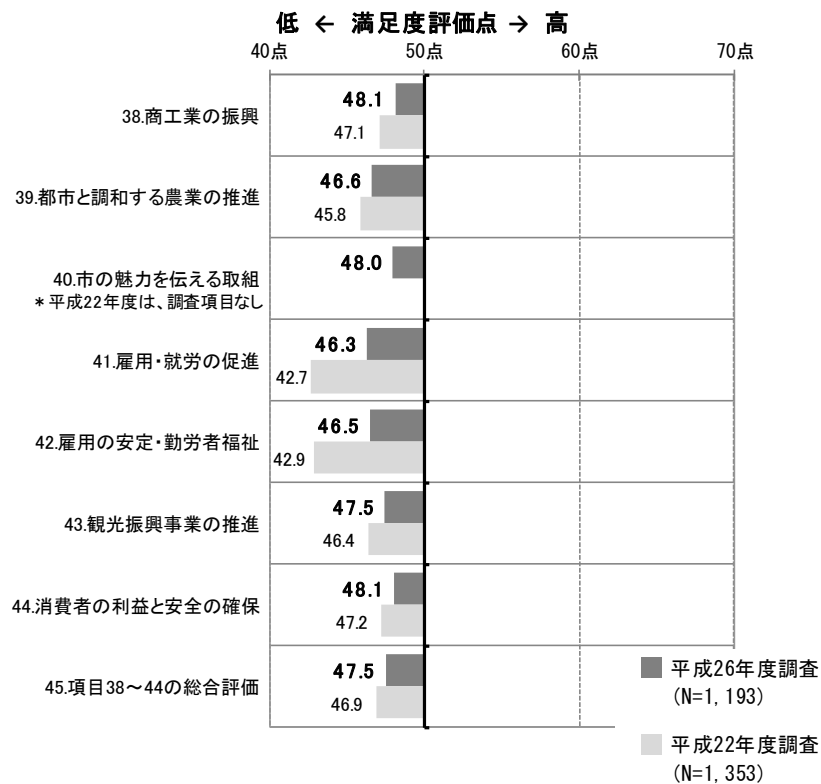


図 3.9.74 にぎわいについての満足度評価点の経年比較

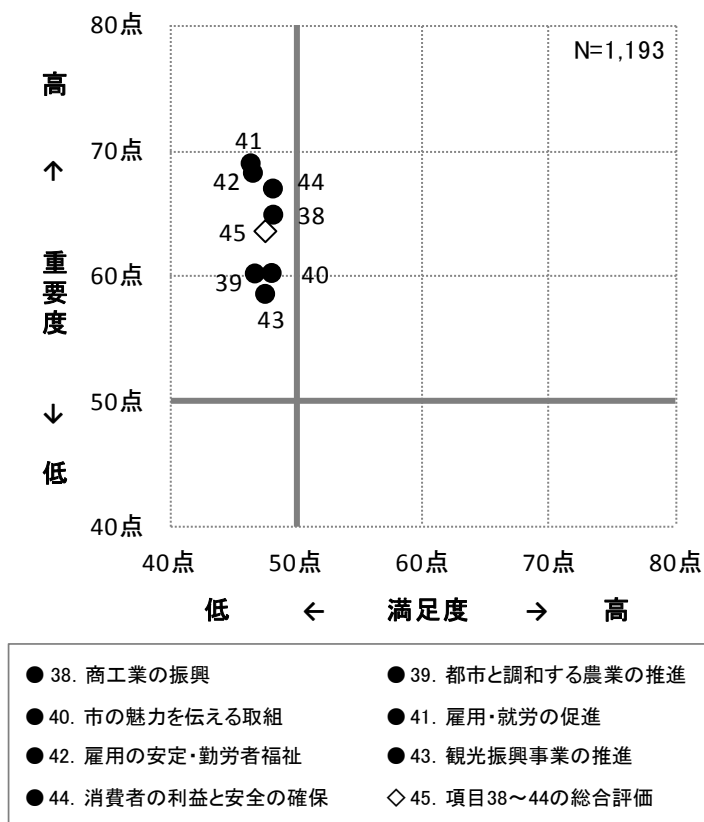


図 3.9.75 にぎわいについての満足度と重要度の関係

## ■満足度

- にぎわいについての満足度（図3.9.72）は、全項目で「普通」が6～7割を占めている。
- 満足度の評価点は、《38. 商工業の振興》（48.1点）と《44. 消費者の利益と安全の確保》（48.1点）が最も高いが、全項目で評価点が50点未満と低くなっている。
- 平成22年度と比較（図3.9.74）すると、全ての項目で平成22年度よりも高くなっている。特に、《41. 雇用・就労の促進》、《42. 雇用の安定・勤労者福祉》は、評価点が上がっている。
- 性別に評価点（図3.9.76～図3.9.83）をみると、《40. 市の魅力を伝える取組》などは、男性より女性の方が高くなっている。一方、《38. 商工業の振興》、《41. 雇用・就労の促進》、《42. 雇用の安定・勤労者福祉》では男性の方が高くなっている。
- 年齢別に評価点をみると、《38. 商工業の振興》は30歳未満、《40. 市の魅力を伝える取組》、《45. 項目38～44の総合評価》は60歳代、それ以外の項目は70歳以上が最も高くなっている。
- 居住地域別に評価点をみると、《38. 商工業の振興》の豊津・江坂・南吹田地域（51.3点）以外は、全て50点未満となっている。

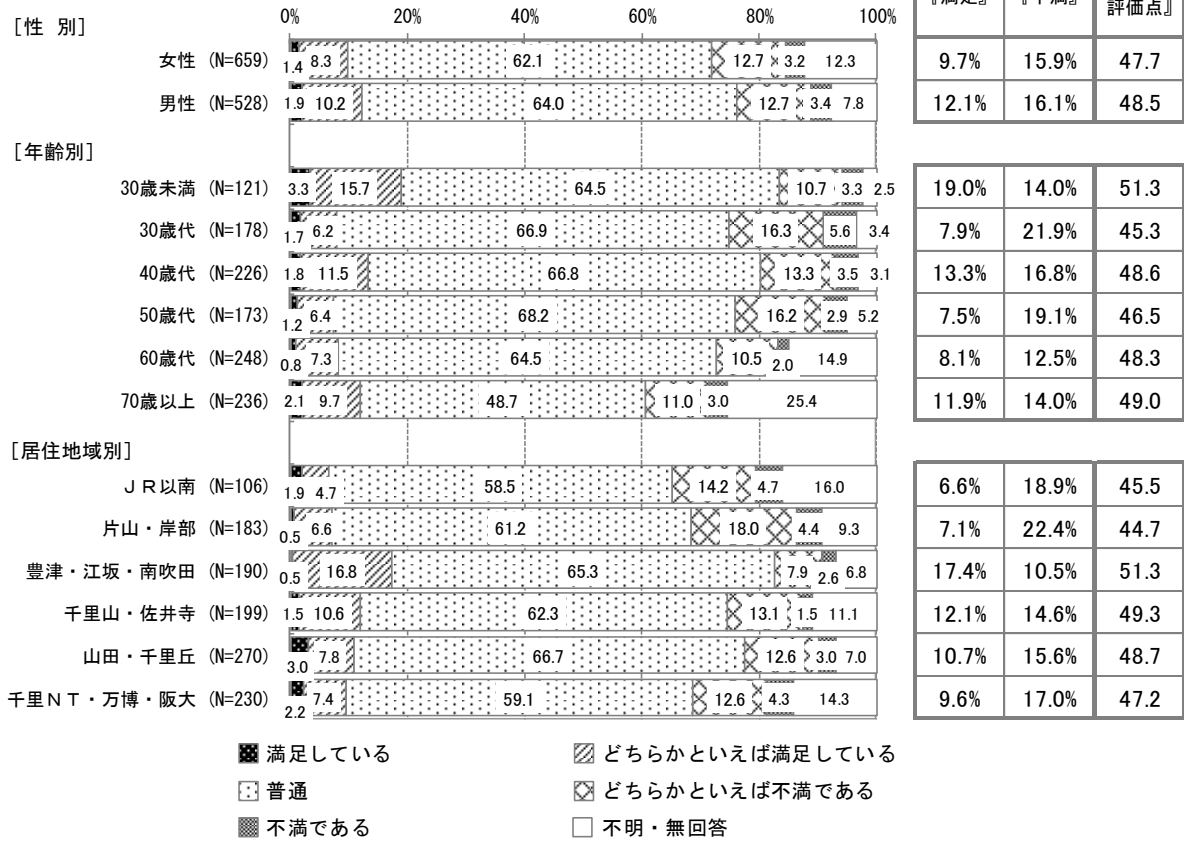
## ■重要度

- にぎわいについての重要度（図3.9.73）は、全項目で『重要である』の方が『重要ではない』に比べ割合が高い。特に、《41. 雇用・就労の促進》（48.6%）、《42. 雇用の安定・勤労者福祉》（46.9%）が他の項目と比べて高くなっている。また、《43. 観光振興事業の推進》（53.5%）、《39. 都市と調和する農業の推進》（50.8%）、《40. 市の魅力を伝える取組》（49.4%）では、「今の程度で良い」が5割程度を占めている。
- 重要度の評価点は、《41. 雇用・就労の促進》（69.1点）が最も高く、次いで、《42. 雇用の安定・勤労者福祉》（68.3点）、《44. 消費者の利益と安全の確保》（67.1点）となっている。
- 性別に評価点（図3.9.76～図3.9.83）をみると、男女ともに《41. 雇用・就労の促進》が最も高く、次いで、《42. 雇用の安定・勤労者福祉》となっている。
- 年齢別に評価点をみると、《41. 雇用・就労の促進》は30歳未満、それ以外の項目は70歳以上が最も高くなっている。一方、全項目で40歳代の評価点が最も低くなっている。また、《40. 市の魅力を伝える取組》（70歳以上67.3点、40歳代56.8点）、《43. 観光振興事業の推進》（70歳以上65.0点、40歳代55.5点）などは年代による差が大きくなっている。
- 居住地域別に評価点をみると、《38. 商工業の振興》、《40. 市の魅力を伝える取組》、《41. 雇用・就労の促進》はJR以南地域、《43. 観光振興事業の推進》は千里ニュータウン・万博・阪大地域、それ以外の項目は片山・岸部地域が最も高くなっている。

## ■満足度と重要度の関係

- 満足度と重要度の関係（図3.9.75）について、重要と考えながら満足度が相対的にみて低い項目（重要度評価点が高く、かつ満足度の評価点が低いもので、両者の差が大きい項目）の上位をみると、《41. 雇用・就労の促進》（満足度46.3点、重要度69.1点、差22.8点）、《42. 雇用の安定・勤労者福祉》（満足度46.5点、重要度68.3点、差21.8点）となっている。

38. 商工業の振興【満足度】



38. 商工業の振興【重要度】

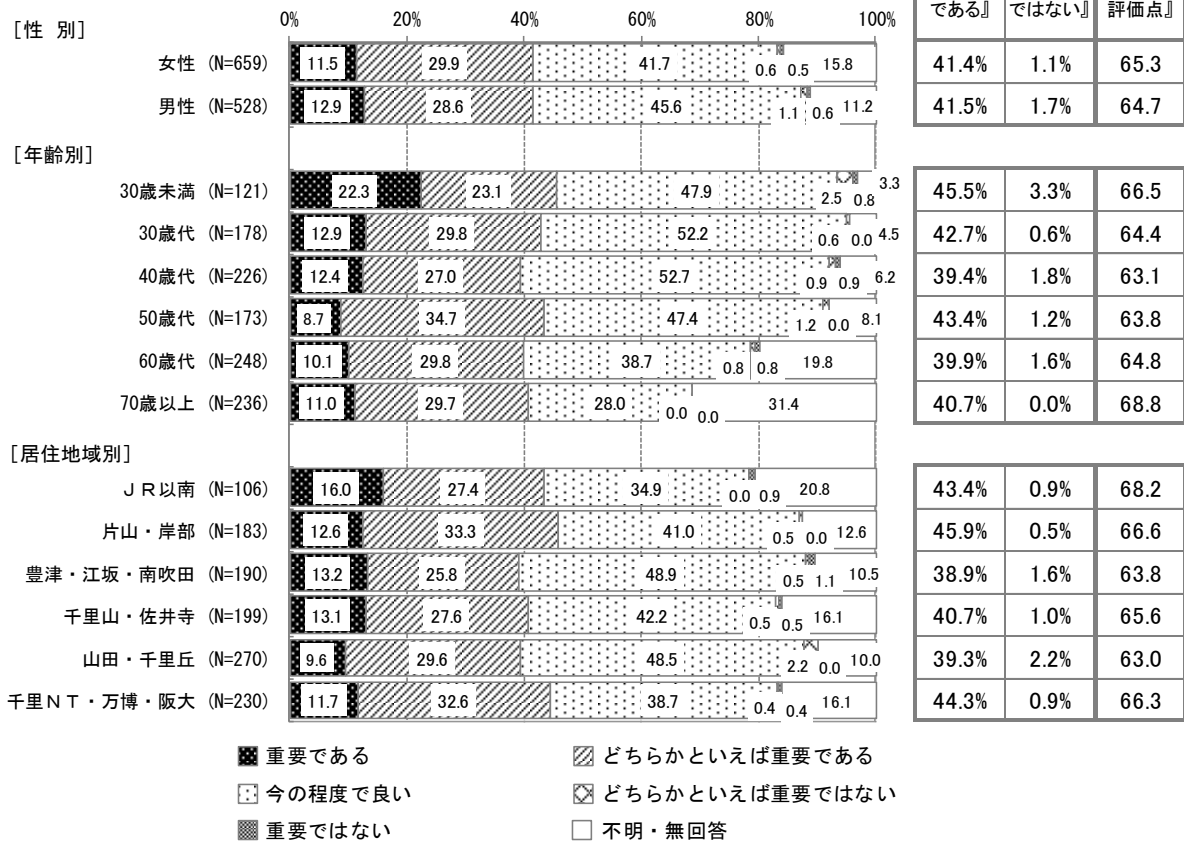
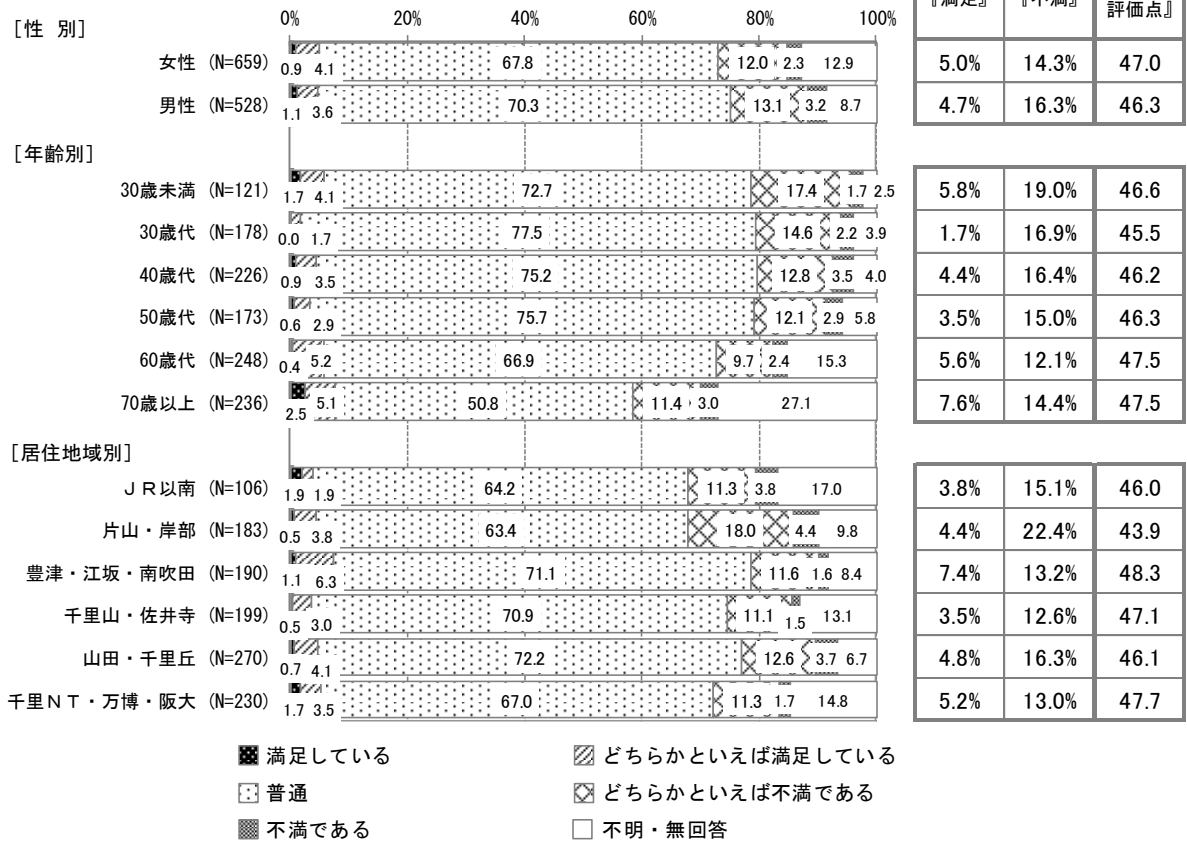


図 3.9.76 性別・年齢別・居住地域別 にぎわいについての満足度・重要度①

39. 都市と調和する農業の推進 【満足度】



39. 都市と調和する農業の推進 【重要度】

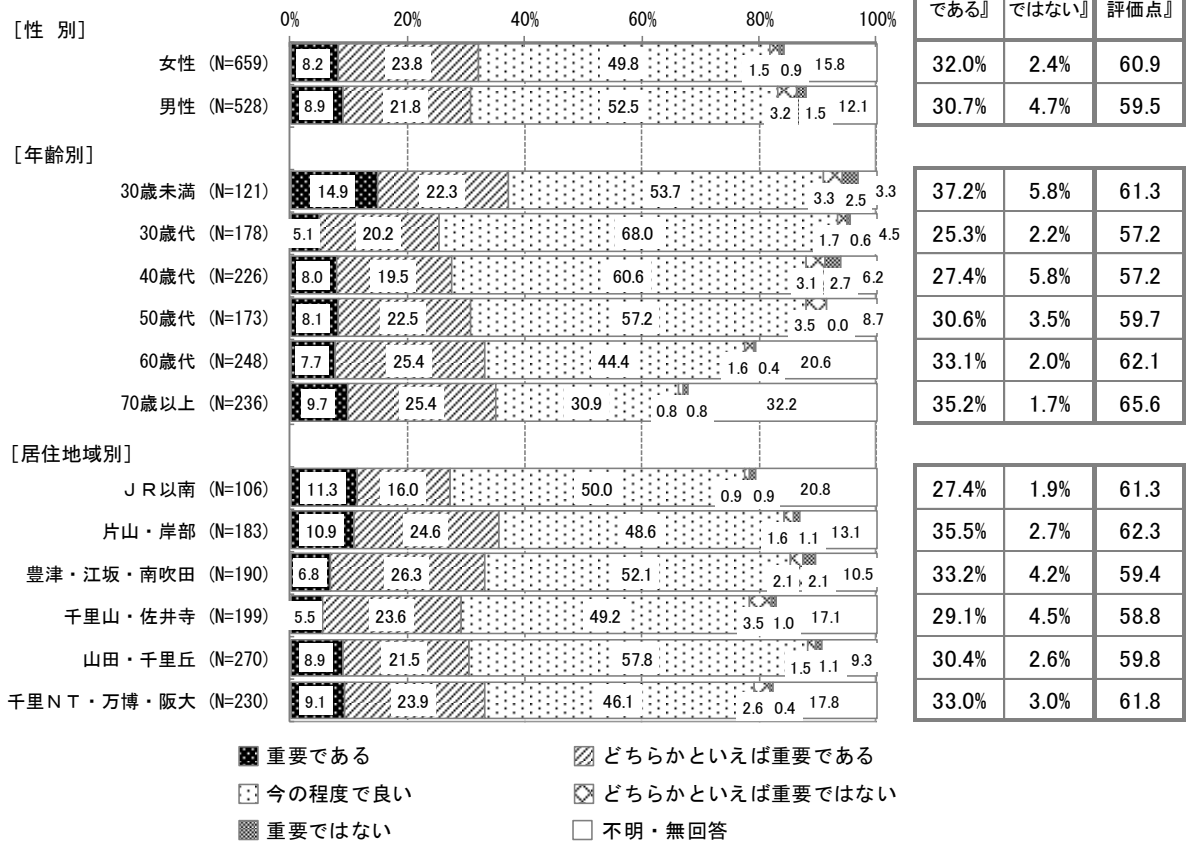
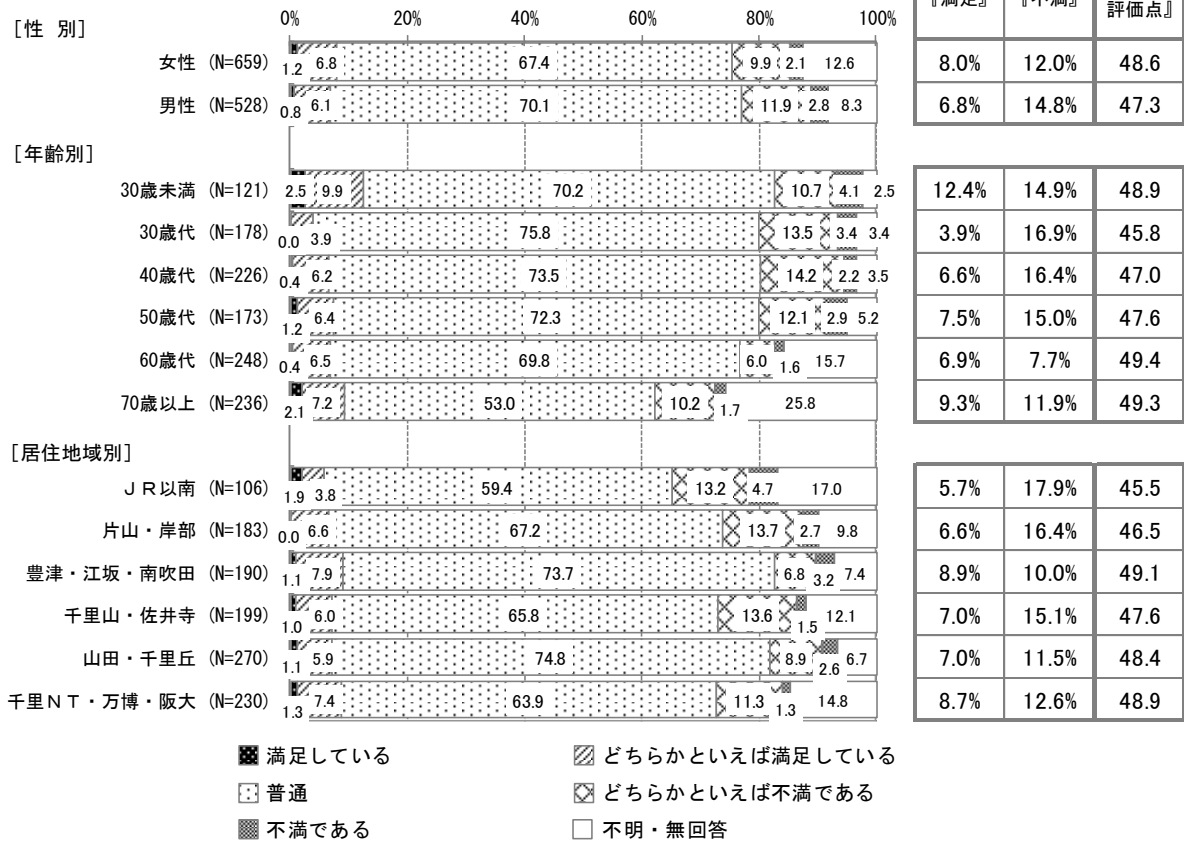


図 3.9.77 性別・年齢別・居住地域別 にぎわいについての満足度・重要度②

40. 市の魅力を伝える取組【満足度】



40. 市の魅力を伝える取組【重要度】

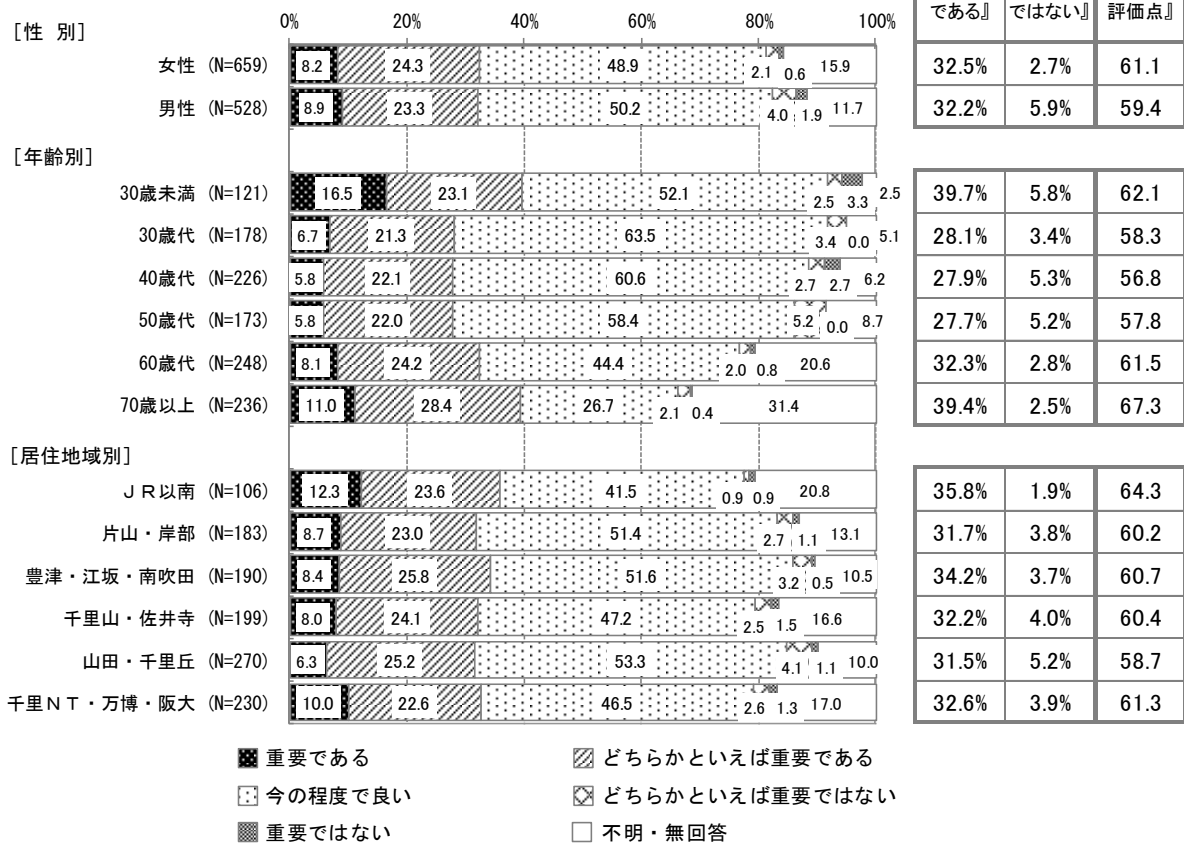
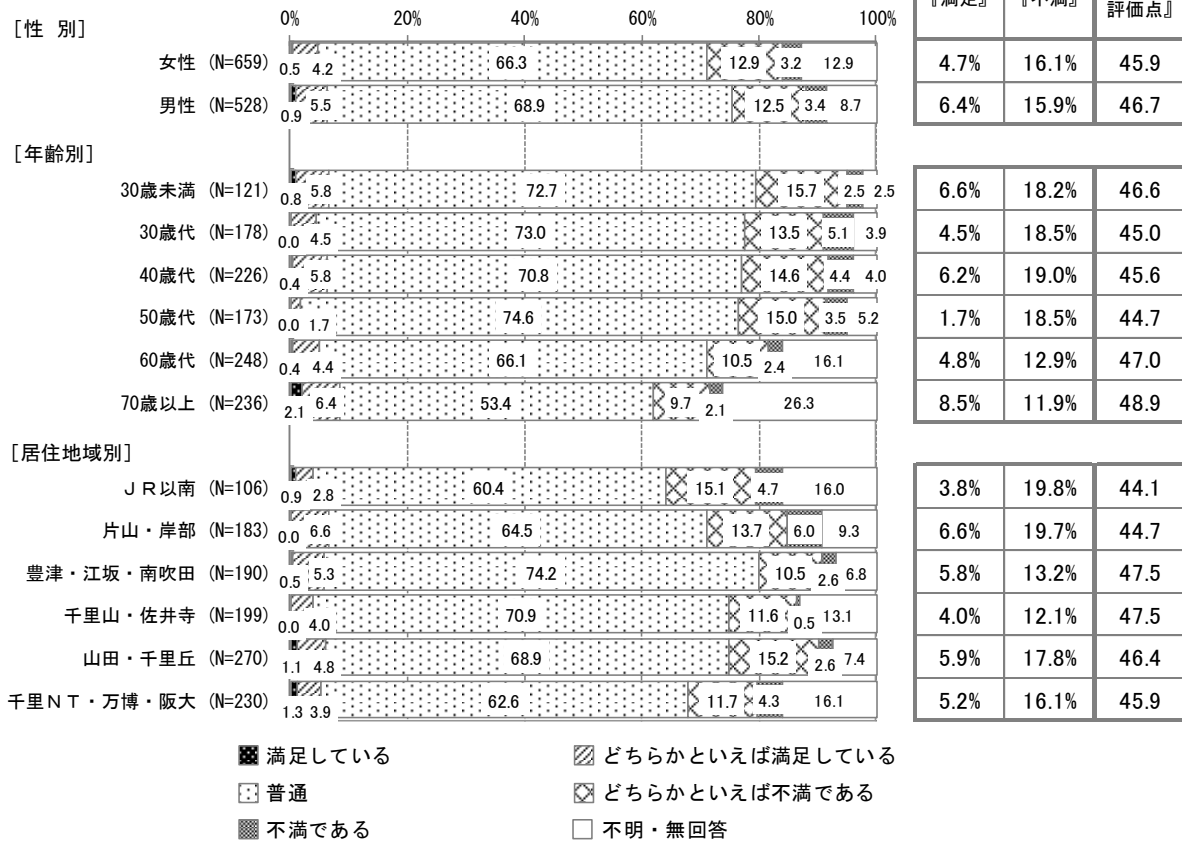


図 3.9.78 性別・年齢別・居住地域別 にぎわいについての満足度・重要度③

41. 雇用・就労の促進【満足度】



41. 雇用・就労の促進【重要度】

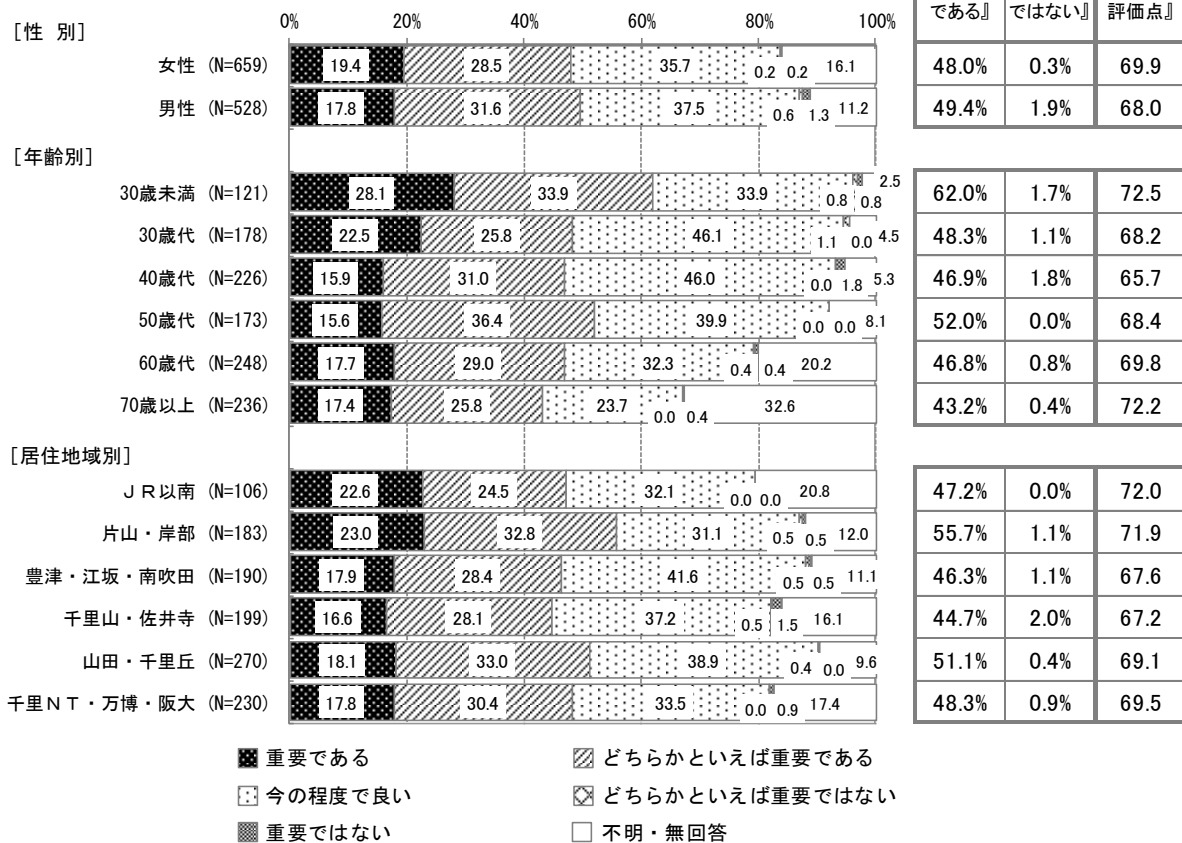
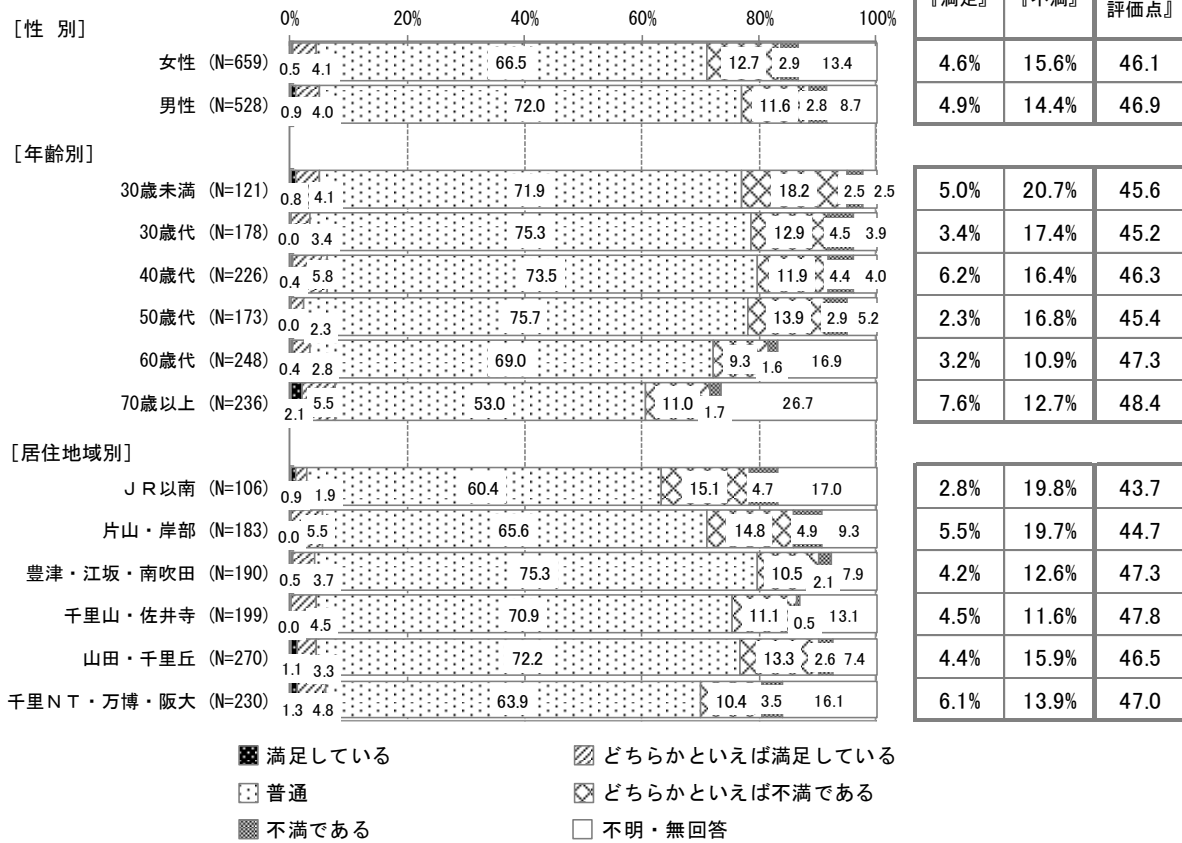


図 3.9.79 性別・年齢別・居住地域別 にぎわいについての満足度・重要度④

42. 雇用の安定・勤労者福祉 【満足度】



42. 雇用の安定・勤労者福祉 【重要度】

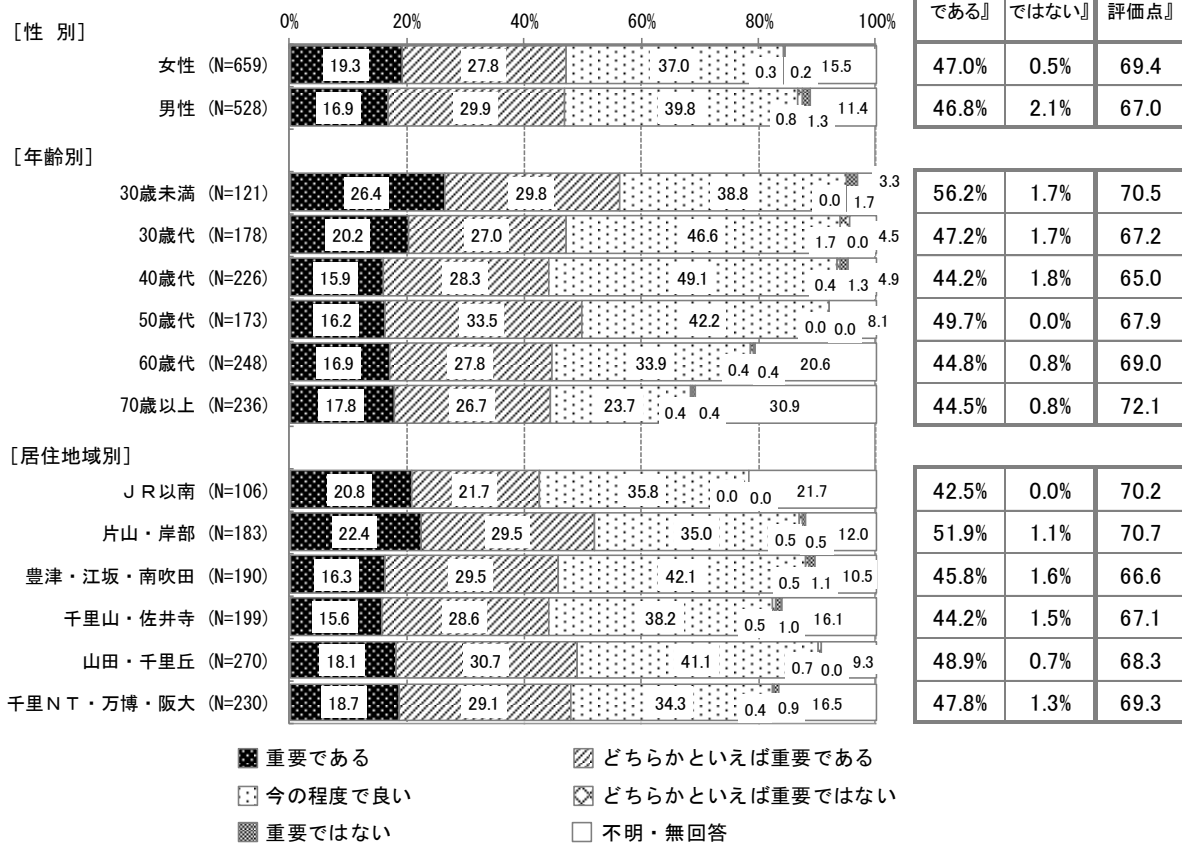
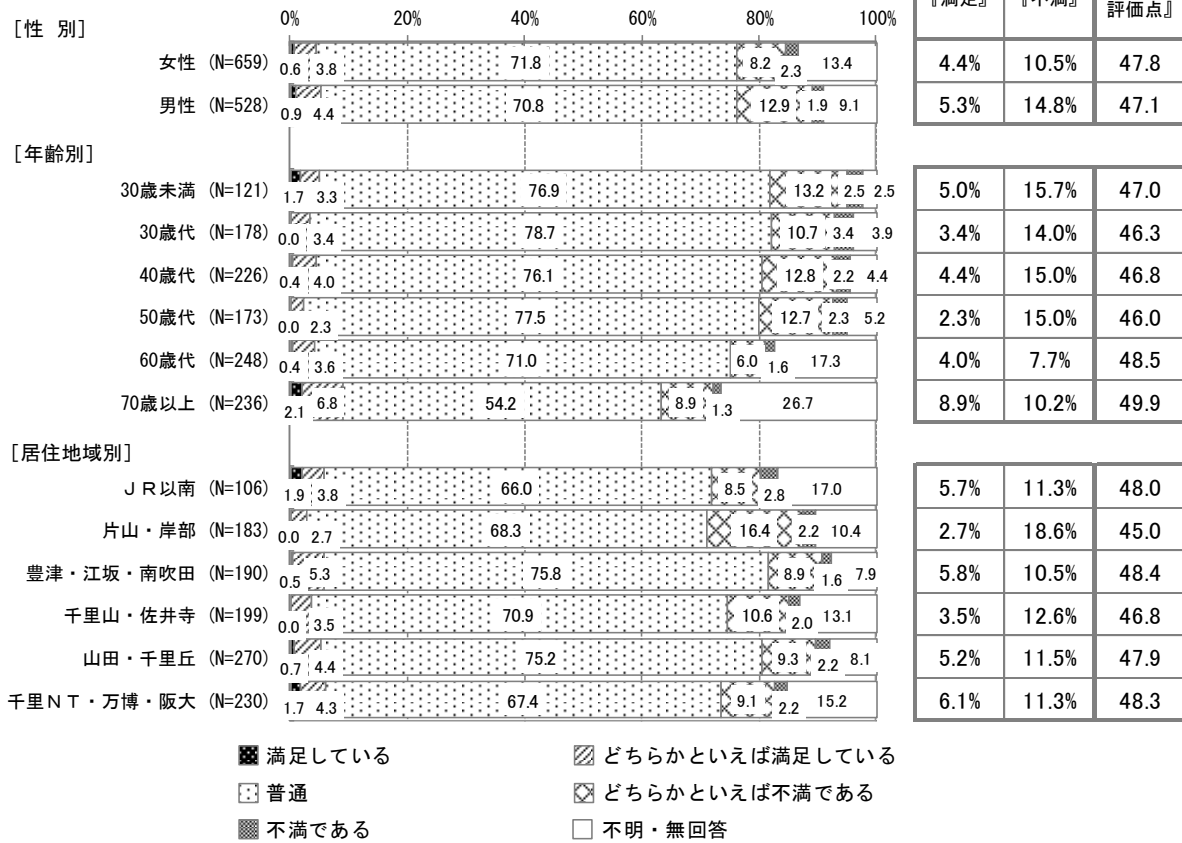


図 3.9.80 性別・年齢別・居住地域別 にぎわいについての満足度・重要度⑤

43. 観光振興事業の推進【満足度】



43. 観光振興事業の推進【重要度】

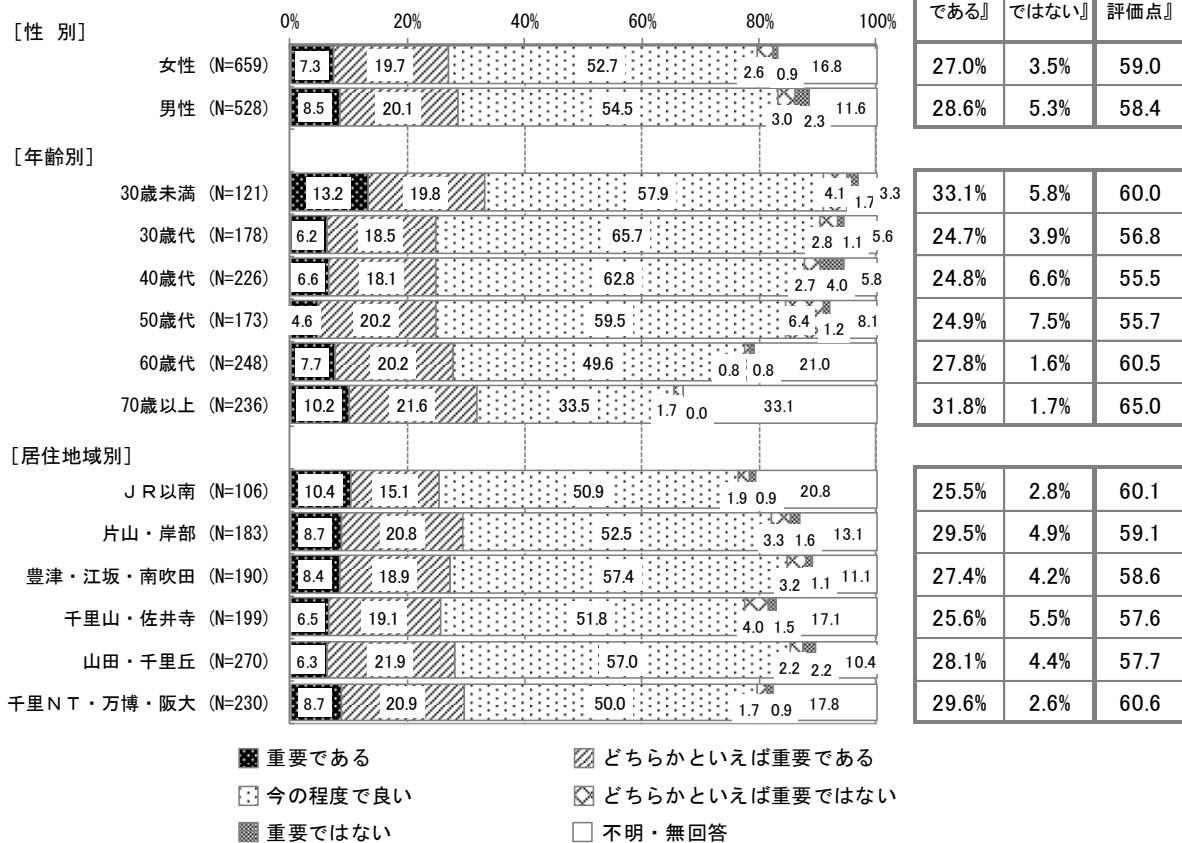
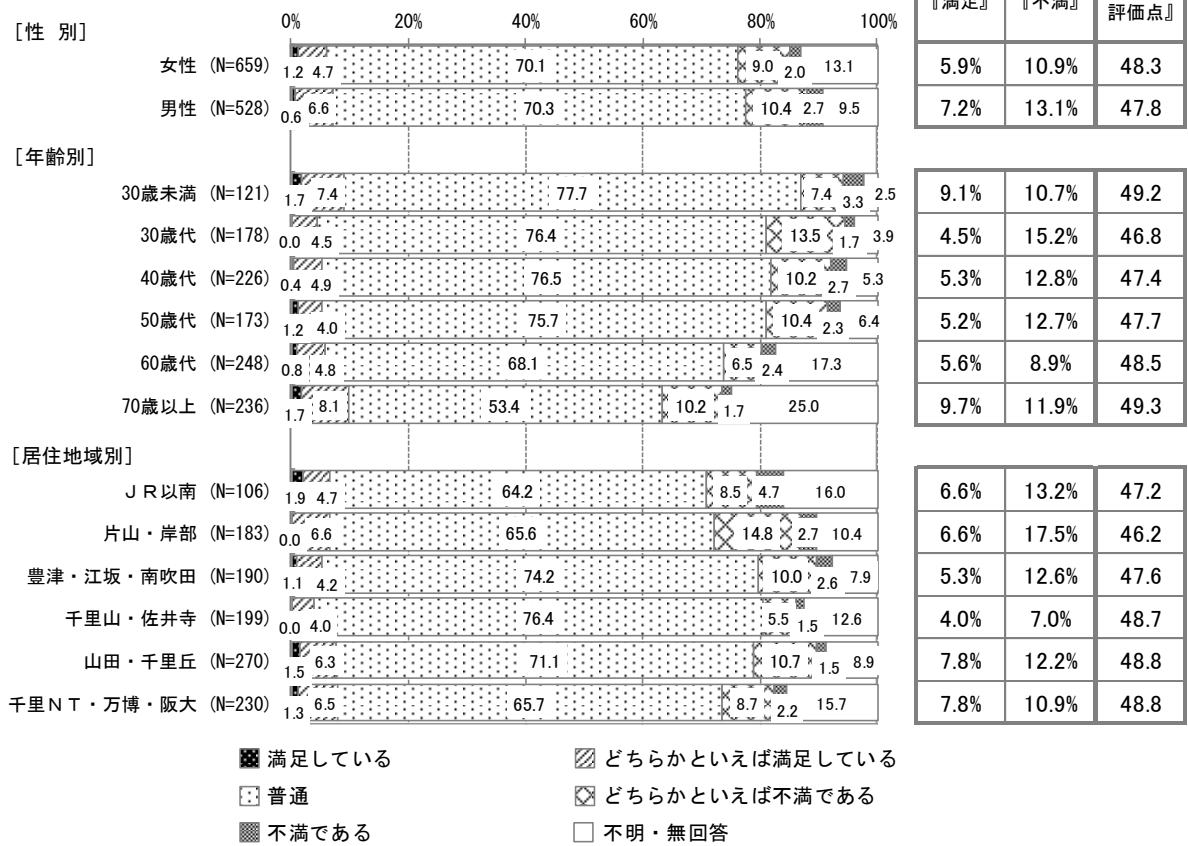


図 3.9.81 性別・年齢別・居住地域別 にぎわいについての満足度・重要度⑥



44. 消費者の利益と安全の確保 【満足度】



44. 消費者の利益と安全の確保 【重要度】

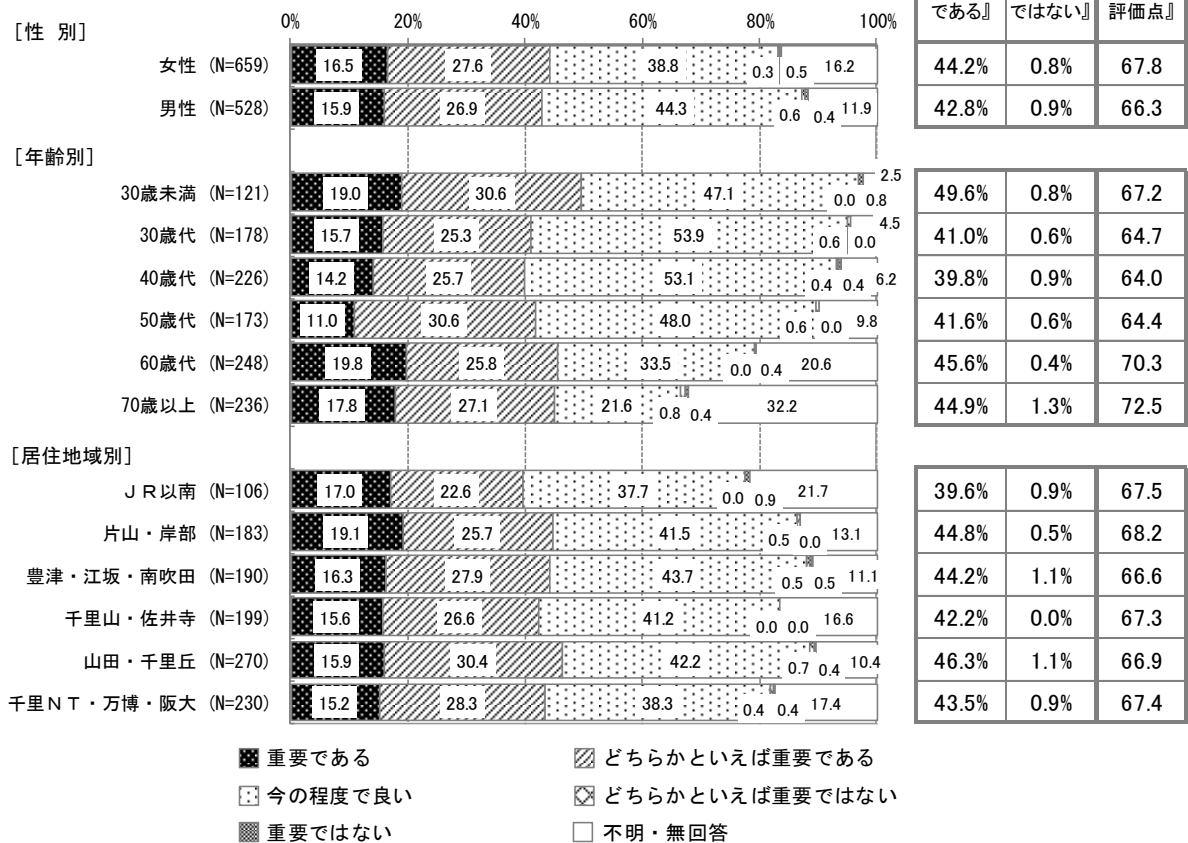
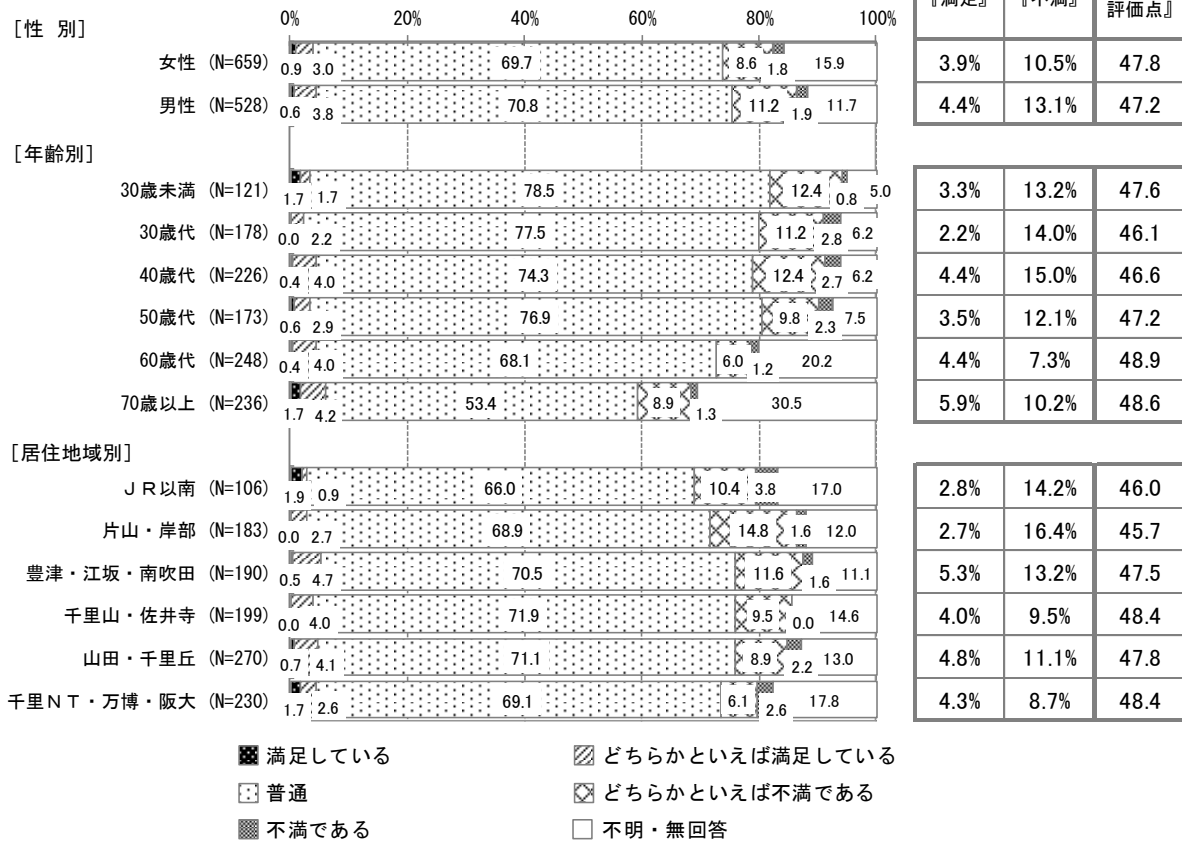


図 3.9.82 性別・年齢別・居住地域別 にぎわいについての満足度・重要度⑦

45. 項目38～44の総合評価【満足度】



45. 項目38～44の総合評価【重要度】

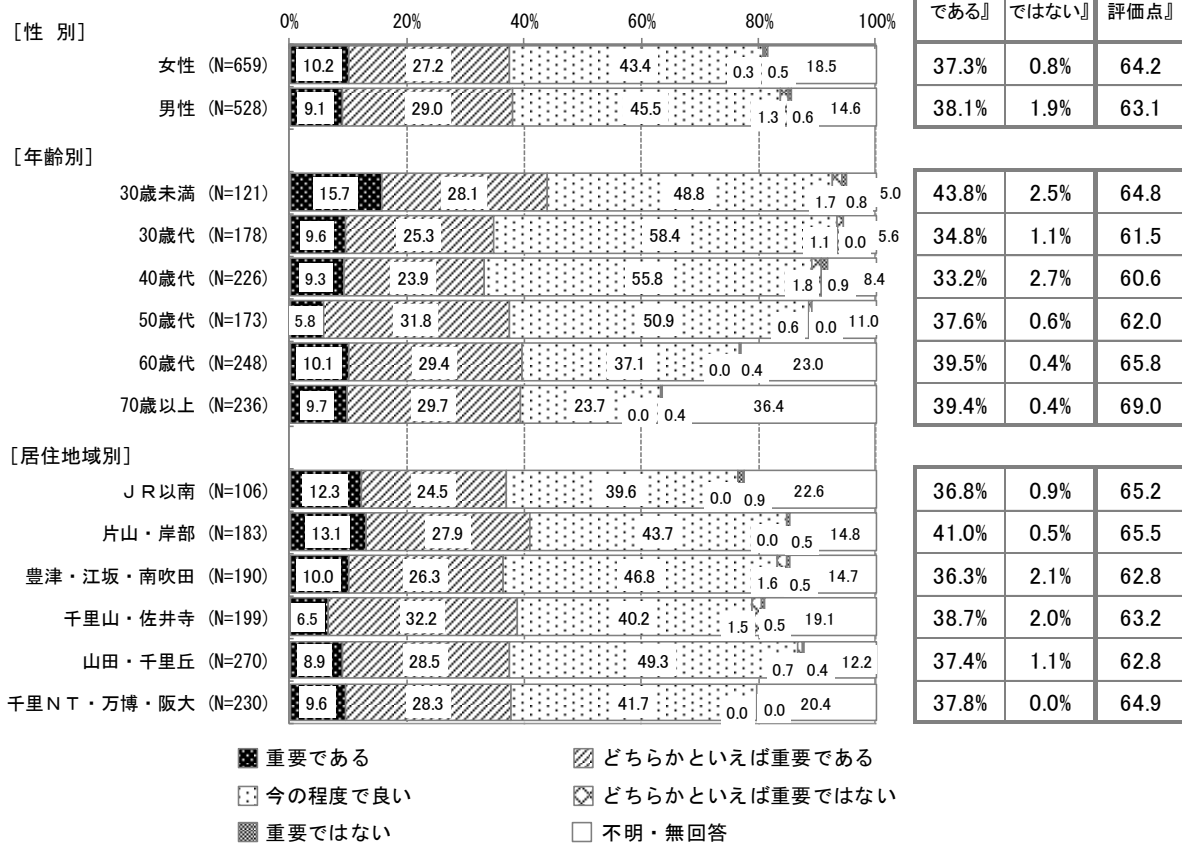


図 3.9.83 性別・年齢別・居住地域別 にぎわいについての満足度・重要度⑧

## (2)-7 市政全般についての満足度・重要度

N=1,193

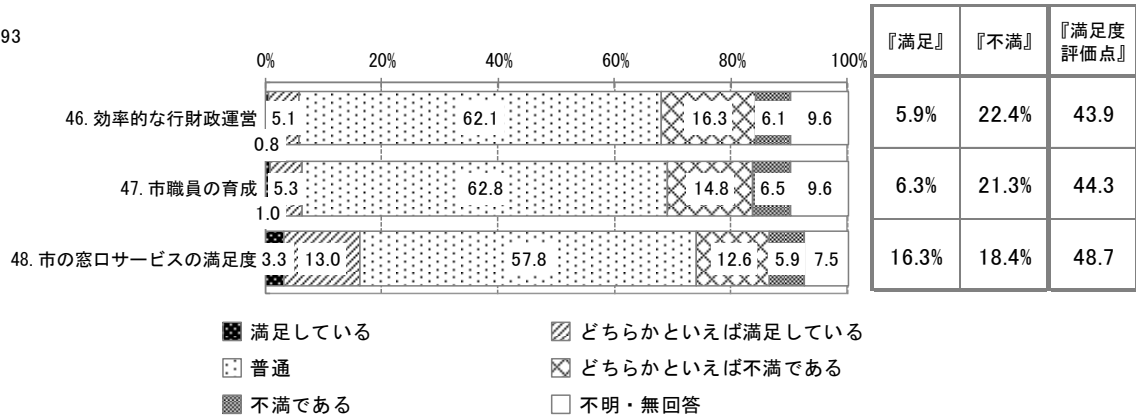


図 3.9.84 市政全般についての満足度

N=1,193件

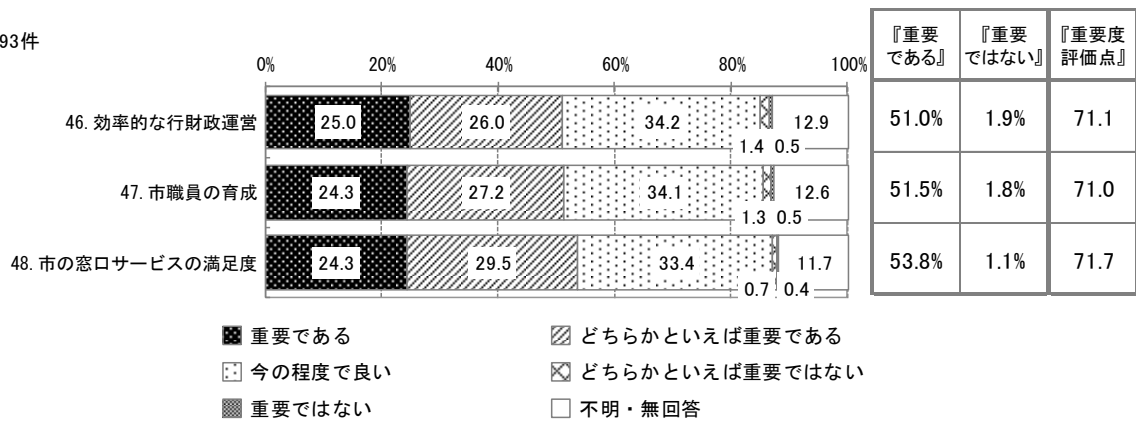


図 3.9.85 市政全般についての重要度

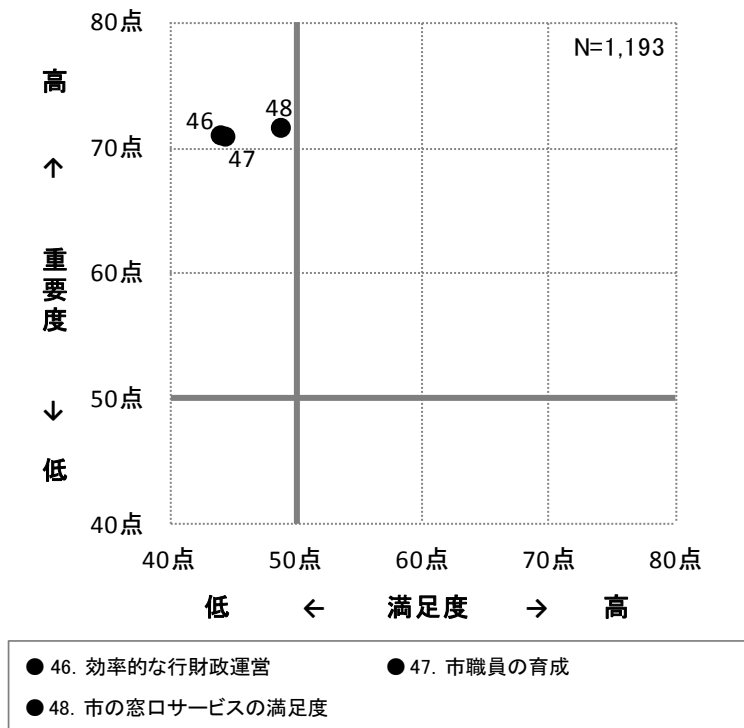


図 3.9.86 市政全般についての満足度と重要度の関係

## ■満足度

- 市政全般についての満足度（図3.9.84）は、全項目で「普通」が6割前後を占めている。また、全項目で『不満』の方が『満足』に比べ割合が高くなっている。
- 満足度の評価点は、《48.市の窓口サービスの満足度》（48.7点）が最も高いが、全項目で評価点が50点未満と低くなっている。
  
- 性別に評価点（図3.9.87～図3.9.89）をみると、全項目で女性より男性の方が高くなっている。特に、《48.市の窓口サービスの満足度》（女性47.9点、男性49.6点）では男女差が大きくなっている。
- 年齢別に評価点をみると、《48.市の窓口サービスの満足度》は70歳以上、それ以外の項目は60歳代が最も高くなっている。一方、全項目で30歳代の評価点が最も低くなっている。また、《48.市の窓口サービスの満足度》は年代による差が大きく、最も高い70歳以上では56.5点となっているが、最も低い30歳代では44.0点と12.5点の差がある。
- 居住地域別に評価点をみると、《48.市の窓口サービスの満足度》の千里ニュータウン・万博・阪大地域（51.6点）以外は、全て50点未満となっている。

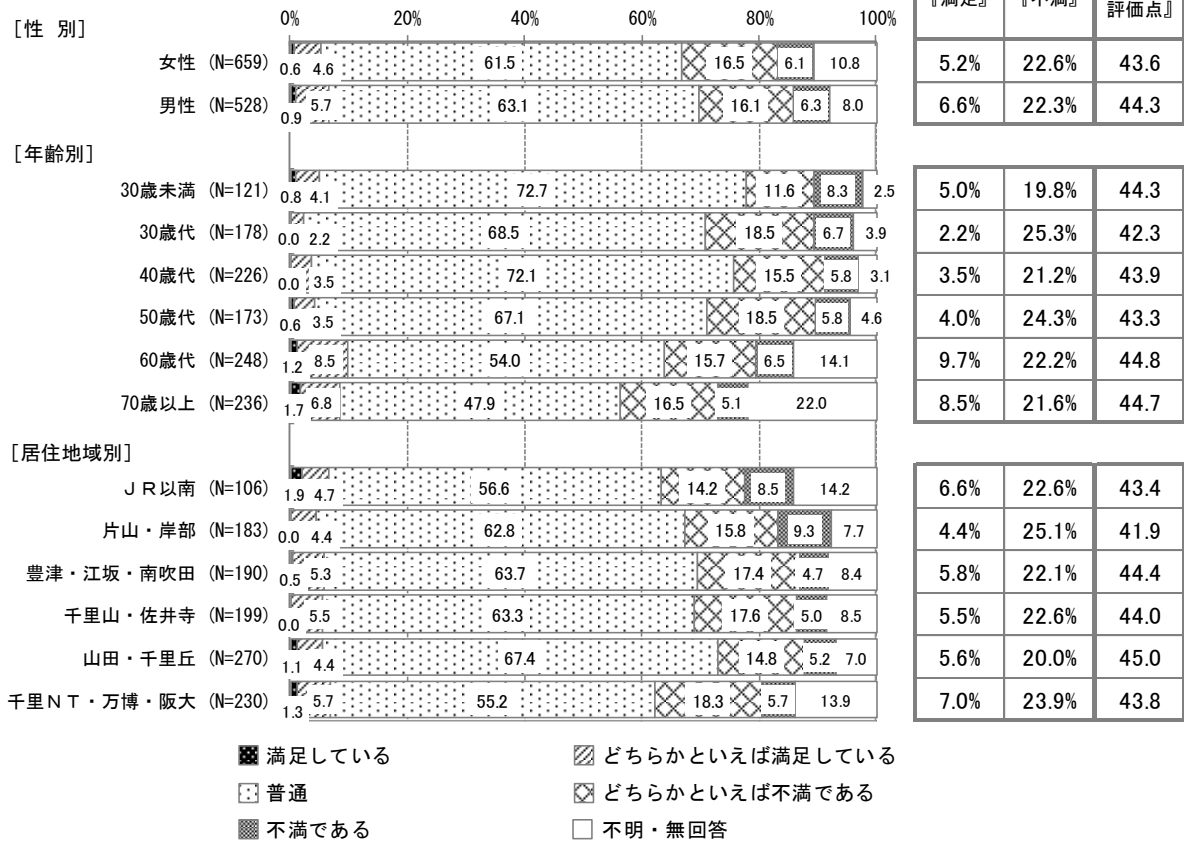
## ■重要度

- 市政全般についての重要度（図3.9.85）は、全項目で『重要である』の方が『重要ではない』に比べ割合が高くなっている。
- 重要度の評価点は、全項目で71点台となっている。
  
- 性別に評価点（図3.9.87～図3.9.89）をみると、男女ともに《48.市の窓口サービスの満足度》が最も高いが、全項目で評価点が70点以上と高くなっている。
- 年齢別に評価点をみると、《46.効率的な行財政運営》は60歳代、それ以外の項目は70歳以上が最も高くなっている。
- 居住地域別に評価点をみると、《46.効率的な行財政運営》は片山・岸部地域、それ以外の項目はJR以南地域が最も高くなっている。

## ■満足度と重要度の関係

- 満足度と重要度の関係（図3.9.86）について、重要と考えながら満足度が相対的にみて低い項目（重要度評価点が高く、かつ満足度の評価点が低いもので、両者の差が大きい項目）の上位をみると、《46.効率的な行財政運営》（満足度43.9点、重要度71.1点、差27.2点）、《47.市職員の育成》（満足度44.3点、重要度71.0点、差26.7点）となっている。

46. 効率的な行政運営【満足度】



46. 効率的な行政運営【重要度】

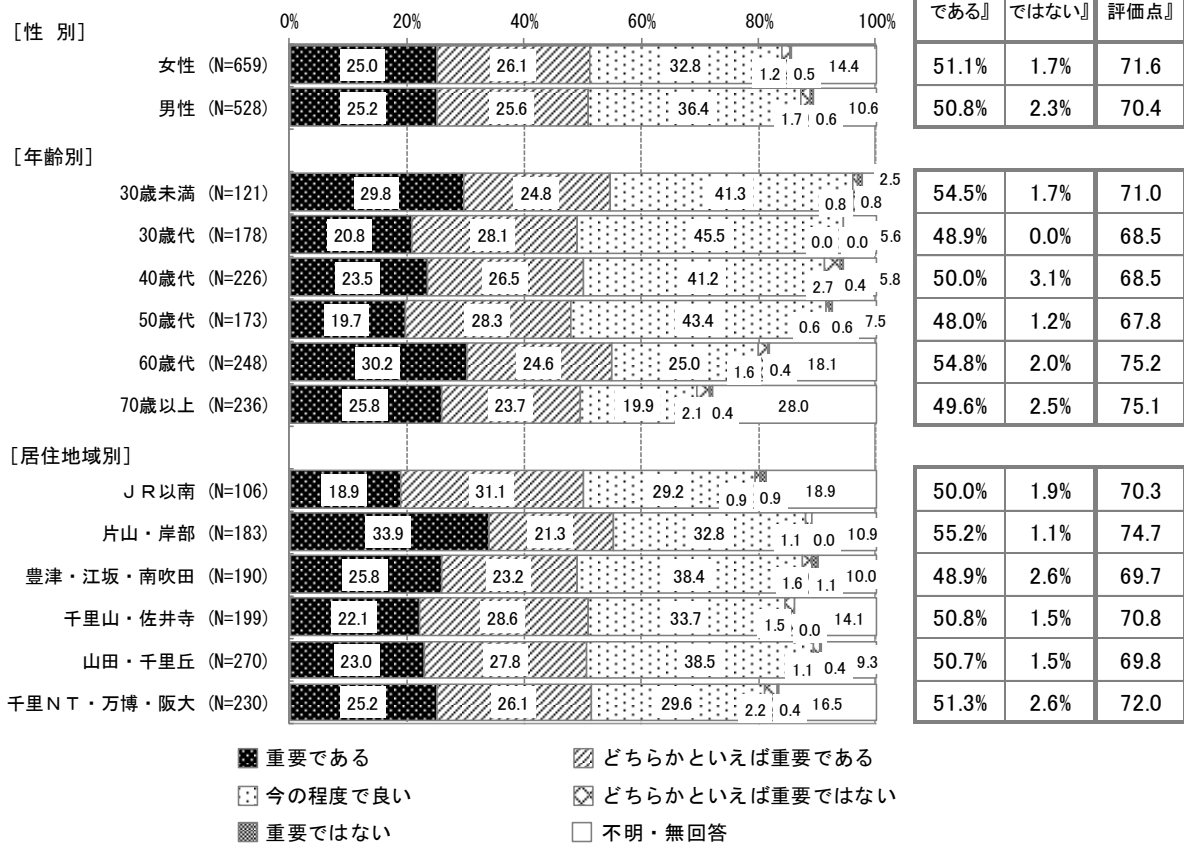
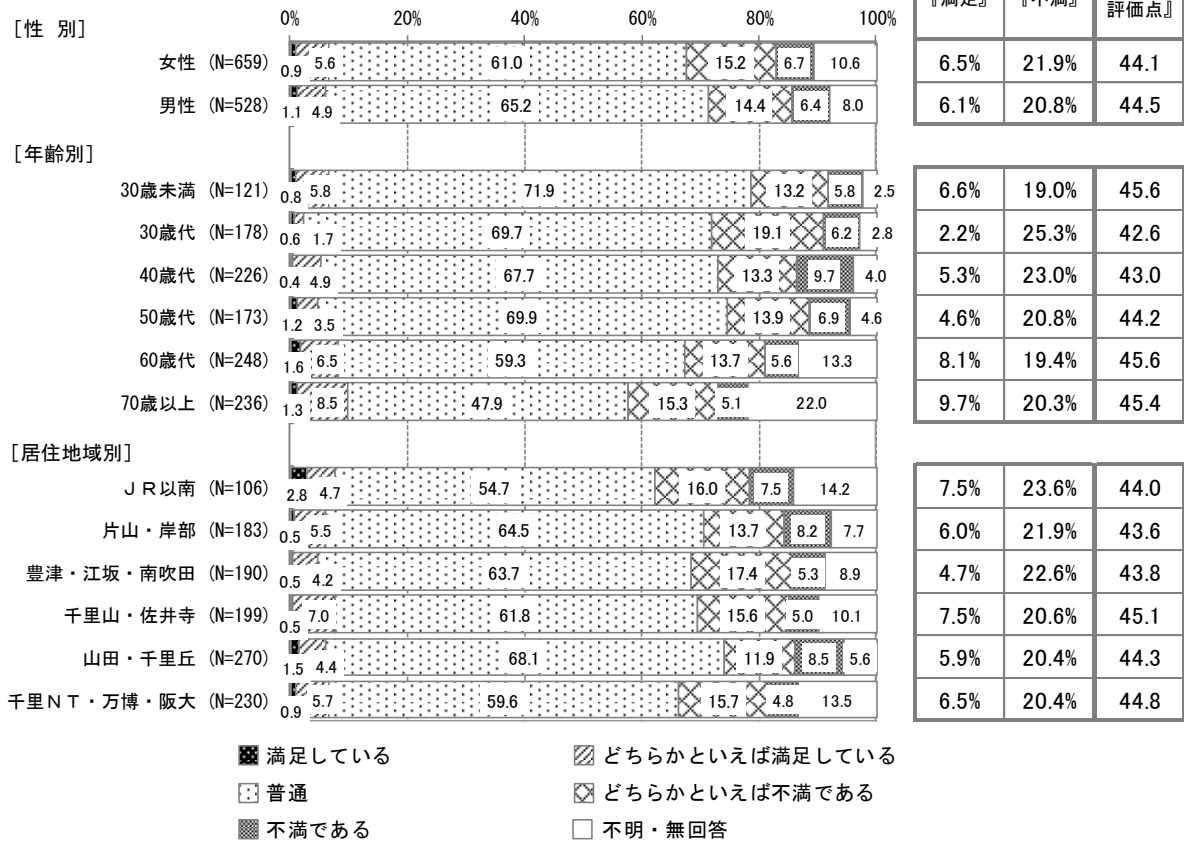


図 3.9.87 性別・年齢別・居住地域別 市政全般についての満足度・重要度①

47. 市職員の育成【満足度】



47. 市職員の育成【重要度】

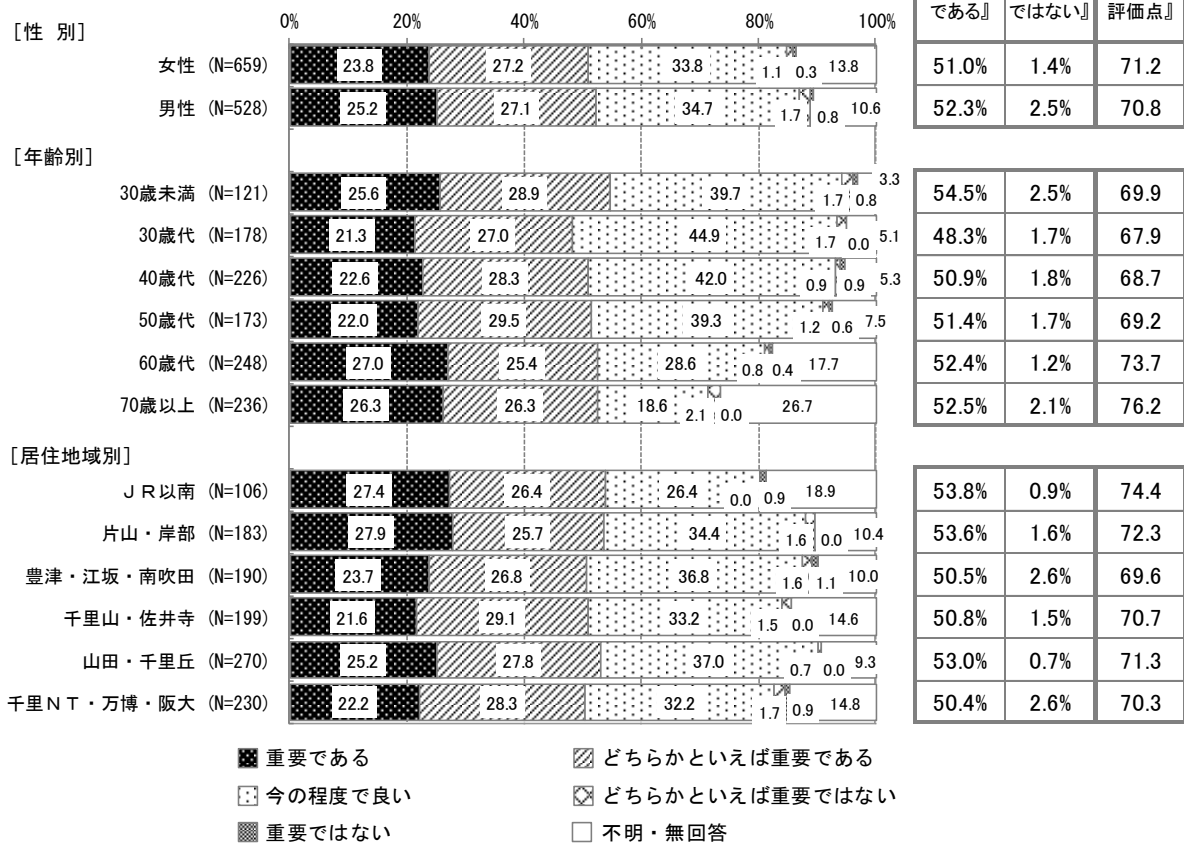
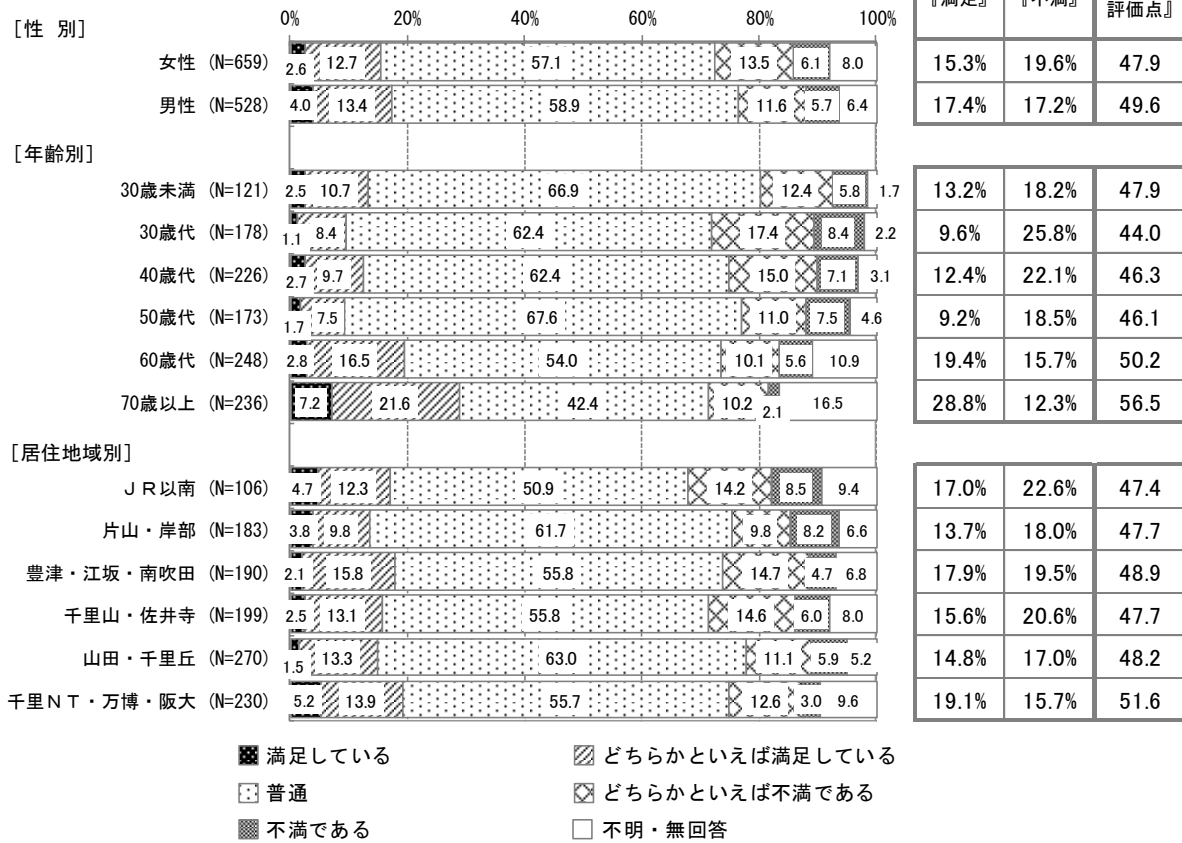


図 3.9.88 性別・年齢別・居住地域別 市政全般についての満足度・重要度②

48. 市の窓口サービスの満足度 【満足度】



48. 市の窓口サービスの満足度 【重要度】

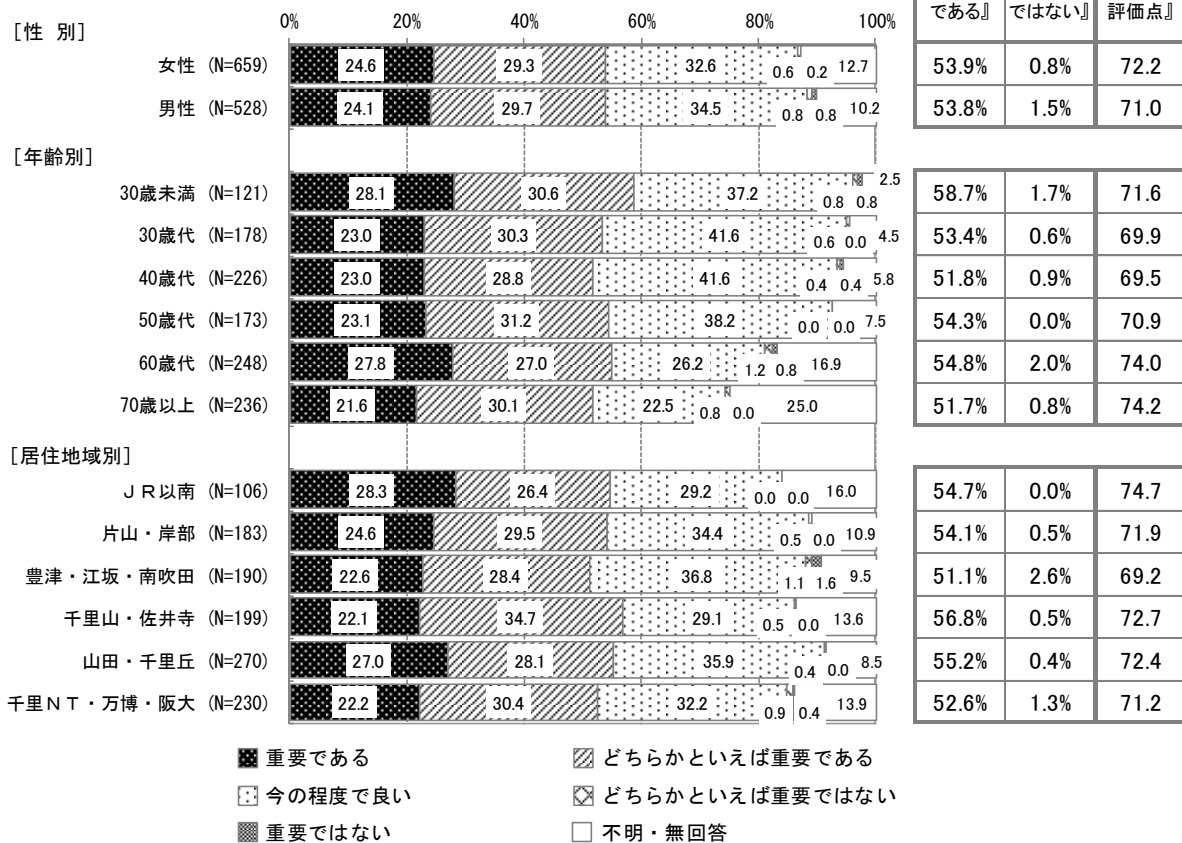
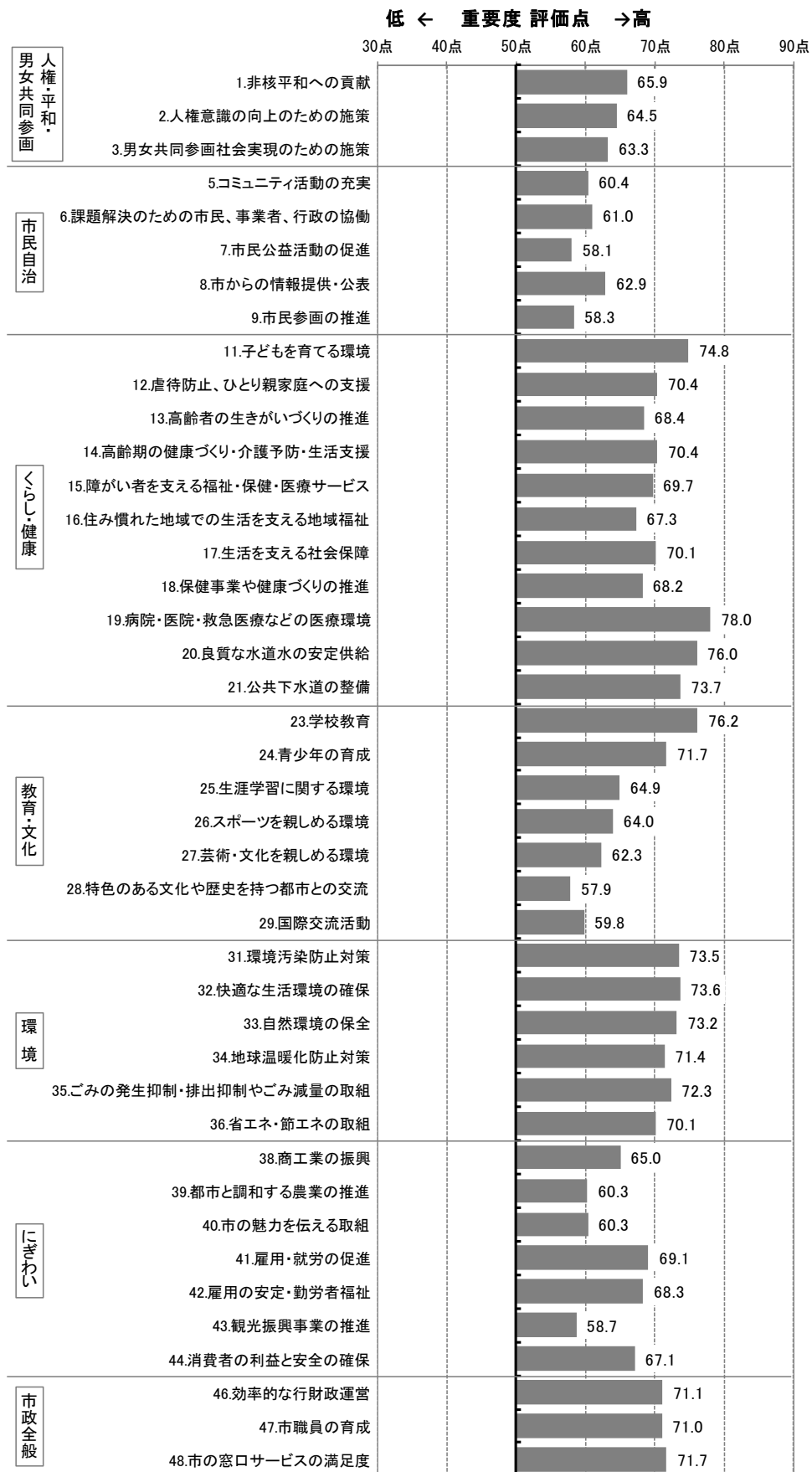


図 3.9.89 性別・年齢別・居住地域別 市政全般についての満足度・重要度③

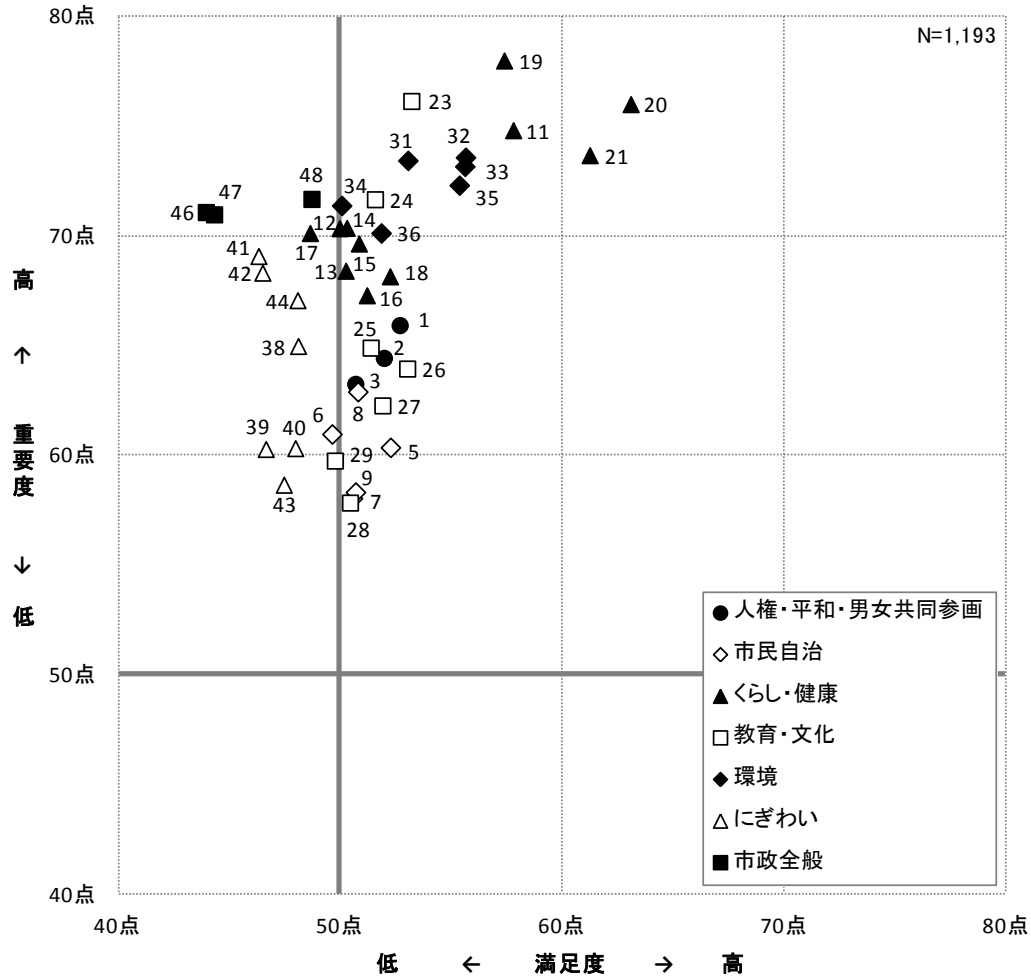






N=1,193

図 3.9.91 全項目の重要度評価点



<p>●人権・平和・男女共同参画</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 非核平和への貢献</li> <li>2. 人権意識の向上のための施策</li> <li>3. 男女共同参画社会実現のための施策</li> </ol>	<p>□教育・文化</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>23. 学校教育</li> <li>24. 青少年の育成</li> <li>25. 生涯学習に関する環境</li> <li>26. スポーツを親しめる環境</li> <li>27. 芸術・文化を親しめる環境</li> <li>28. 特色のある文化や歴史を持つ都市との交流</li> <li>29. 国際交流活動</li> </ol>
<p>◇市民自治</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>5. コミュニティ活動の充実</li> <li>6. 課題解決のための市民、事業者、行政の協働</li> <li>7. 市民公益活動の促進</li> <li>8. 市からの情報提供・公表</li> <li>9. 市民参画の推進</li> </ol>	<p>◆環境</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>31. 環境汚染防止対策</li> <li>32. 快適な生活環境の確保</li> <li>33. 自然環境の保全</li> <li>34. 地球温暖化防止対策</li> <li>35. ごみの発生抑制・排出抑制やごみ減量の取組</li> <li>36. 省エネ・節エネの取組</li> </ol>
<p>▲暮らし・健康</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>11. 子どもを育てる環境</li> <li>12. 虐待防止、ひとり親家庭への支援</li> <li>13. 高齢者の生きがいづくりの推進</li> <li>14. 高齢期の健康づくり・介護予防・生活支援</li> <li>15. 障がい者を支える福祉・保健・医療サービス</li> <li>16. 住み慣れた地域での生活を支える地域福祉</li> <li>17. 生活を支える社会保障</li> <li>18. 保健事業や健康づくりの推進</li> <li>19. 病院・医院・救急医療などの医療環境</li> <li>20. 良質な水道水の安定供給</li> <li>21. 公共下水道の整備</li> </ol>	<p>△にぎわい</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>38. 商工業の振興</li> <li>39. 都市と調和する農業の推進</li> <li>40. 市の魅力を伝える取組</li> <li>41. 雇用・就労の促進</li> <li>42. 雇用の安定・勤労者福祉</li> <li>43. 観光振興事業の推進</li> <li>44. 消費者の利益と安全の確保</li> </ol>
	<p>■市政全般</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>46. 効率的な行財政運営</li> <li>47. 市職員の育成</li> <li>48. 市の窓口サービスの満足度</li> </ol>

図 3.9.92 全項目の満足度と重要度の関係

## ■満足度

- 満足度評価点（図3.9.90）は、全42項目（各項目の総合評価を除く）のうち29項目が50点以上となっている。
- 満足度評価点が高い順にみると、《20. 良質な水道水の安定供給》（63.1点）が最も高く、次いで、《21. 公共下水道の整備》（61.3点）、《11. 子どもを育てる環境》（57.8点）、《19. 病院・医院・救急医療などの医療環境》（57.4点）となっている。
- 一方、《46. 効率的な行財政運営》（43.9点）が最も低く、次いで、《47. 市職員の育成》（44.3点）、《41. 雇用・就労の促進》（46.3点）となっている。

## ■重要度

- 重要度評価点（図3.9.91）は、全項目が50点以上で、全42項目（各項目の総合評価を除く）のうち18項目が70点以上となっている。
- 重要度評価点が高い順にみると、《19. 病院・医院・救急医療などの医療環境》（78.0点）が最も高く、次いで、《23. 学校教育》（76.2点）、《20. 良質な水道水の安定供給》（76.0点）、《11. 子どもを育てる環境》（74.8点）となっている。

## ■満足度と重要度の関係

- 満足度と重要度の関係（図3.9.92）について、重要と考えながら満足度が相対的にみて低い項目（重要度評価点が高く、かつ満足度の評価点が低いもので、両者の差が大きい項目）の上位をみると、《46. 効率的な行財政運営》（満足度43.9点、重要度71.1点、差27.2点）、《47. 市職員の育成》（満足度44.3点、重要度71.0点、差26.7点）、《48. 市の窓口サービスの満足度》（満足度48.7点、重要度71.7点、差23.0点）となっており、市政全般の項目が上位を占めている。
- 市政全般の項目以外では、《23. 学校教育》（満足度53.2点、重要度76.2点、差23.0点）、《41. 雇用・就労の促進》（満足度46.3点、重要度69.1点、差22.8点）、《42. 雇用の安定・勤労者福祉》（満足度46.5点、重要度68.3点、差21.8点）が上位となっている。

## (2)-9 各項目の総合評価についての満足度・重要度

N=1,193

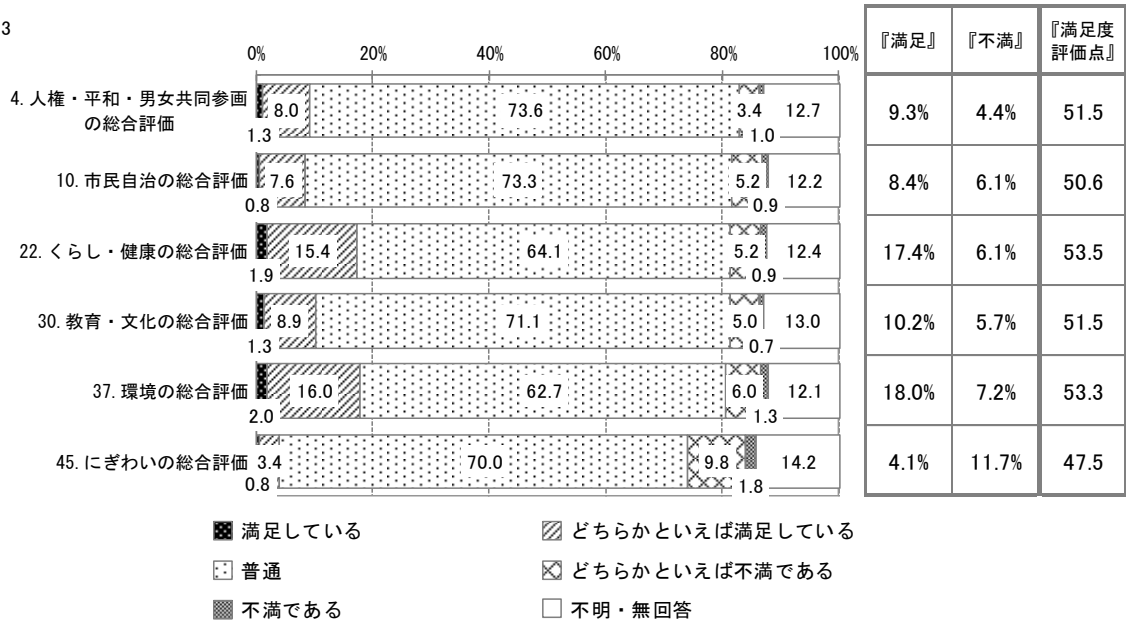


図 3.9.93 各項目の総合評価についての満足度

N=1,193

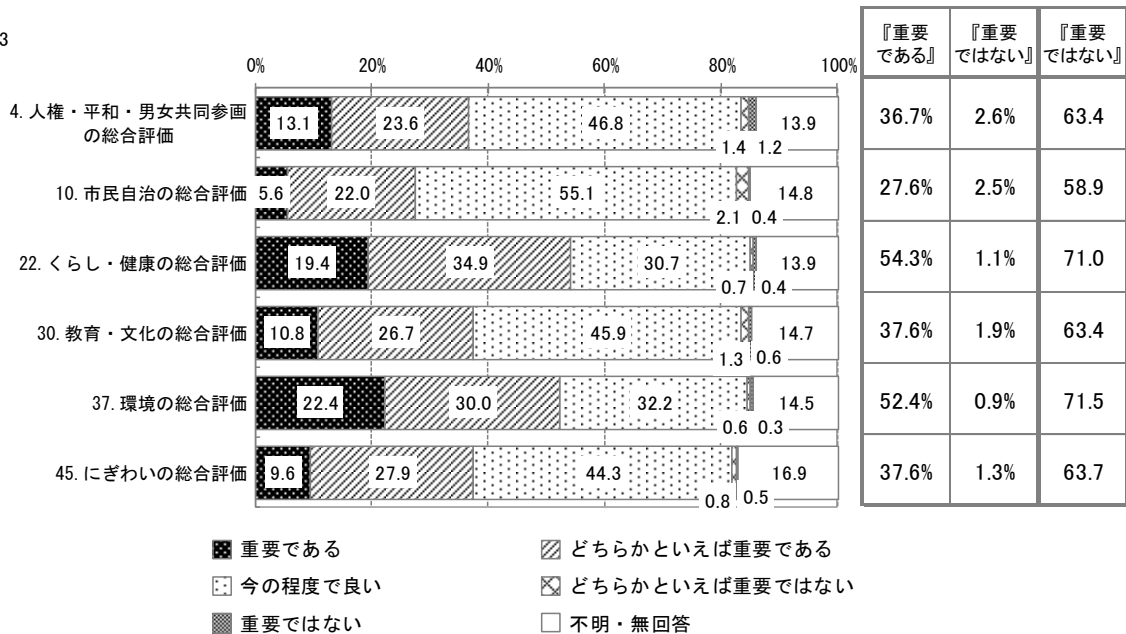


図 3.9.94 各項目の総合評価についての重要度

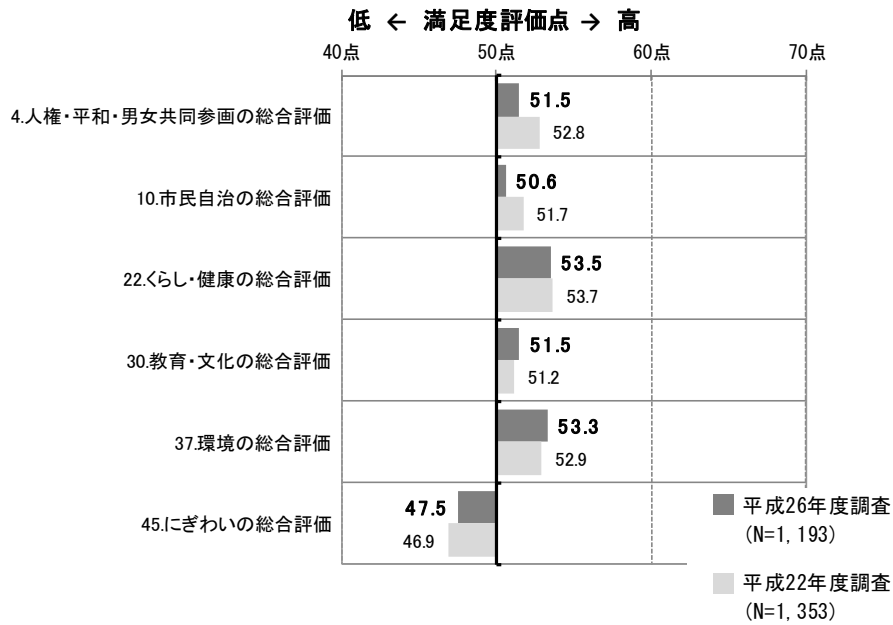


図 3.9.95 各項目の総合評価についての満足度評価点の経年比較

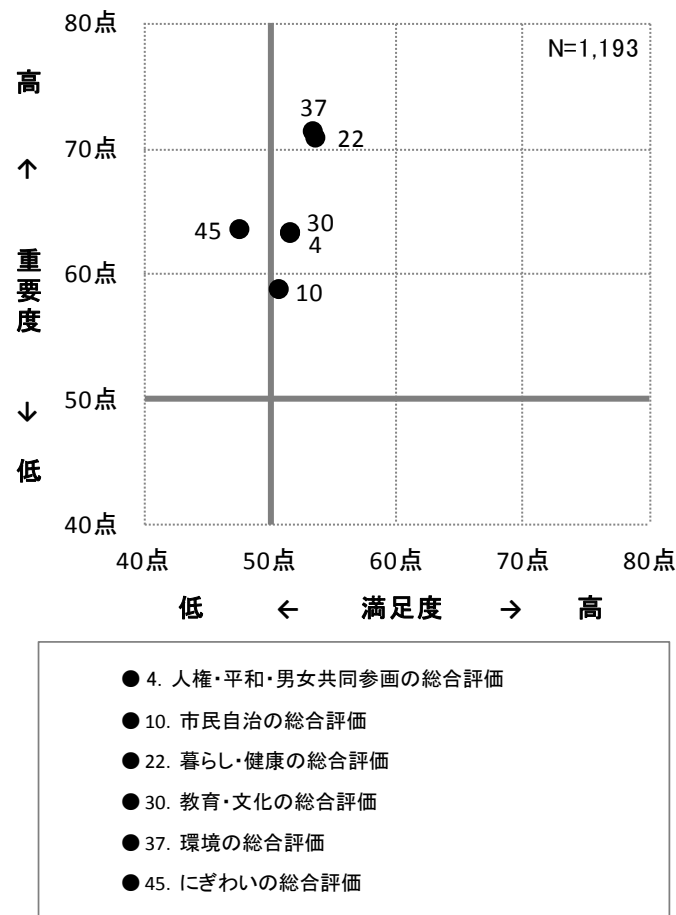


図 3.9.96 各項目の総合評価についての満足度と重要度の関係

## ■満足度

- 各項目の総合評価の満足度（図3.9.93）をみると、『満足』は《37. 環境の総合評価》（18.0%）が最も多く、次いで、《22. 暮らし・健康の総合評価》（17.4%）となっている。これに対し、《にぎわいの総合評価》（4.1%）が最も低くなっている。
- 満足度の評価点は、《22. 暮らし・健康の総合評価》（53.5点）が最も高く、次いで、《37. 環境の総合評価》（53.3点）となっている。一方、《45. にぎわいの総合評価》（47.5点）が最も低く、50点未満となっている。
- 平成22年度と比較（図3.9.95）すると、《45. にぎわいの総合評価》、《37. 環境の総合評価》、《30. 教育・文化の総合評価》では、平成22年度よりも高くなっている。

## ■重要度

- 各項目の総合評価の重要度（図3.9.94）は、『重要である』は《22. 暮らし・健康の総合評価》（54.3%）が最も高く、次いで、《37. 環境の総合評価》（52.4%）となっている。
- 重要度の評価点は、《37. 環境の総合評価》（71.5点）が最も高く、次いで、《22. 暮らし・健康の総合評価》（71.0点）が70点以上となっている。

## ■満足度と重要度の関係

- 満足度と重要度の関係（図3.9.96）について、重要と考えながら満足度が相対的にみて低い項目（重要度評価点が高く、かつ満足度の評価点が低いもので、両者の差が大きい項目）の上位をみると、《37. 環境の総合評価》（満足度53.3点、重要度71.5点、差18.2点）、《22. 暮らし・健康の総合評価》（満足度53.5点、重要度71.0点、差17.5点）、《45. にぎわいの総合評価》（満足度47.5点、重要度63.7点、差16.2点）となっている。